

令和8年度

工事名：米代東部森林管理署上小阿仁支署
南沢森林事務所新築工事ほか

設 計 図 書

東北森林管理局

米代東部森林管理署上小阿仁支署 南沢森林事務所新築工事ほか

令和8年3月

図 面 目 録							
図面番号		図 面 名 称		図面番号		図 面 名 称	
		森林事務所新築の部				取りこわしの部	
1	A-0	表紙・図面目録		40	K-1	取りこわし特記仕様書（萩形森林事務所）	
2	A-1	木造特記仕様書（1）		41	K-2	案内図・配置図・求積図・仕上表（萩形森林事務所）	
3	A-2	木造特記仕様書（2）		42	K-3	平面図（萩形森林事務所）	
4	A-3	木造特記仕様書（3）		43	K-4	立面図・断面図（萩形森林事務所）	
5	A-4	木造特記仕様書（4）		44	K-5	建具表・外構図（萩形森林事務所）	
6	A-5	木造特記仕様書（5）		45	K-6	伏図・詳細図（萩形森林事務所）	
7	A-6	木造特記仕様書（6）		46	K-7	取りこわし特記仕様書（南沢森林事務所）	
8	A-7	木造特記仕様書（7）		47	K-8	案内図・配置図・求積図・仕上表（南沢森林事務所）	
9	A-8	木造特記仕様書（8）		48	K-9	平面図（南沢森林事務所）	
10	A-9	木造特記仕様書（9）		49	K-10	立面図・断面図（南沢森林事務所）	
11	A-10	木造特記仕様書（10）		50	K-11	建具表・外構図（南沢森林事務所）	
12	A-11	木造特記仕様書（11）		51	K-12	伏図・詳細図（南沢森林事務所）	
13	A-12	木造特記仕様書（12）					
14	A-13	木造特記仕様書（13）					
15	A-14	使用材料表（1）					
16	A-15	使用材料表（2）					
17	A-16	使用材料表（3）					
18	A-17	案内図・配置図・外構図					
19	A-18	平面図・求積図					
20	A-19	仕上表（1）					
21	A-20	建具表（1）					
22	A-21	仕上表（2）・建具表（2）・設計概要					
23	A-22	立面図・断面図					
24	A-23	矩計図					
25	A-24	展開図・天井伏図					
26	A-25	基礎伏図・土台伏図					
27	A-26	梁伏図・小屋伏図					
28	A-27	平面図・軸組図・CLT図					
29	A-28	壁量チェック図					
30	A-29	木造関係補足事項					
31	E-1	電気設備工事 特記仕様書					
32	E-2	配置図・引込開閉器盤結線図					
33	E-3	電灯設備配線図、照明器具姿図、分電盤結線図					
34	E-4	コンセント設備配線図、構内情報・構内交換設備配線図					
35	M-1	機械設備工事特記仕様書					
36	M-2	配置図・凡例					
37	M-3	給排水衛生設備 平面図・衛生器具表・樹リスト					
38	M-4	冷暖房設備 平面図・機器表					
39	M-5	換気設備 平面図・機器表					

<p>・ 場所打ちコンクリート杭地業</p> <p>工法 (4. 2. 2) (4. 5. 1、4～6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アースドリル工法 ・ 安定液 ※使用する ・ 使用しない ・ リバース工法 ・ オールケーシング工法 ・ 孔内の水張り ・ 行う ・ 行わない <p>併用する工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法 鋼管巻き材料 ・ SKK400 ・ SKK490 ・ 拡底杭工法 安定液 ・ 使用する ・ 使用しない <p>寸法等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>軸径 (mm)</th> <th>拡底径 (mm)</th> <th>杭長 (m)</th> <th>セト数</th> <th>長期設計支持力 (kN/本)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>試験杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>試験杭</p> <p>試験杭の位置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による () <p>孔壁の保持状況 (孔壁測定)</p> <p>測定箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 試験杭 () 箇所及び本杭 () 箇所 <p>杭の支持層への根入れ深さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による () <p>杭の精度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 杭の傾斜 ・ 1/100以内 <p>鉄筋の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ SD295A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SD345</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>帯筋 ・ 図示による ()</p> <p>鉄筋の最小かぶり厚さ ・ 100mm</p> <p>鉄筋かこの補強</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 杭径1. 5m以下の場合鋼板6×50 (mm)、1. 5mを超える場合は鋼板9×50～75 (mm)の補強リングを3m以下の間隔で、かつ1筋につき3箇所以上入れ、リングと主筋と接触部を溶接する <p>組み立てた鉄筋の節ごとの継手</p> <ul style="list-style-type: none"> ※重ね継手 重ね継手の長さ ・ 図示による () <p>主筋の基礎底盤への定着長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による () <p>セメントの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ※高炉セメントB種 [G] <p>コンクリートの設計基準強度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による () <p>コンクリートの種別</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A種 ・ B種 ・ 評定等の内容による <p>スランプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ※18cm <p>構造体強度補正</p> <ul style="list-style-type: none"> ※3N/mm² ・ 図示による () ・ 評定等の内容による <p>材料 (4. 6. 2、3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○再生クラッシャー [G] ・ 切込み砂利又は切込み砕石 <p>砂利厚さ及び範囲</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>厚さ</th> <th>範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※60</td> <td>○基礎下 ○土間コンクリート下</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 土に接するスラブ下 ・ 図示による ()</td> </tr> </tbody> </table> <p>厚さ及び範囲 (4. 6. 4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>厚さ</th> <th>範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※50</td> <td>○基礎スラブ下 ・ 基礎梁下 ・ 土に接するスラブ下</td> </tr> </tbody> </table> <p>設計基準強度及びスランプ</p> <ul style="list-style-type: none"> 設計基準強度 ※18N/mm² スランプ ※15cm又は18cm 		軸径 (mm)	拡底径 (mm)	杭長 (m)	セト数	長期設計支持力 (kN/本)	備考	試験杭							本杭							種類の記号	呼び径 (mm)	備考	・ SD295A			・ SD345			厚さ	範囲	※60	○基礎下 ○土間コンクリート下		・ 土に接するスラブ下 ・ 図示による ()	厚さ	範囲	※50	○基礎スラブ下 ・ 基礎梁下 ・ 土に接するスラブ下	<p>○ 床下防湿層 (4. 6. 2、5)</p> <p>材料 ※ポリエチレンフィルム厚さ0. 15mm以上</p> <p>範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ○建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下 (ピット下を除く) <p>種類及び施工方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による () <p>形状等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による () 支持地盤の長期設計支持力 ・ () kN/m² 支持地盤 ・ 図示による () 型枠使用の有無 ・ 無し ・ 有り 型枠の使用箇所等は図示による () <p>鉄筋の種類等 (5. 2. 1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ SD295A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SD345</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>鉄線の形状等 (5. 2. 2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 溶接金網</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>鉄筋の継手の方法及び定着 (5. 3. 4) (5. 5. 2) (5. 6. 3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>継手の方法</th> <th>呼び径</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>・ ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐力壁の鉄筋</td> <td>・ 重ね継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋</td> <td>○ 重ね継手</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>継手位置</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図示による (構造関係共通事項 (配筋標準図) 5. 1、6. 1、7. 1、7. 3、8. 1) <p>柱及び梁主筋の重ね継手の長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による (構造関係共通事項 (配筋標準図) 3. 1 表3. 1) ・ 図示による (構造関係共通事項 (配筋標準図) 3. 1 (a) (3)) <p>耐力壁の重ね継手の長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による (構造関係共通事項 (配筋標準図) 3. 1 表3. 1) ・ 図示による (構造関係共通事項 (配筋標準図) 3. 1 (a) (3)) <p>鉄筋の定着長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 3. 1 (b)) <p>最小かぶり厚さ (5. 3. 5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 表4. 1) <p>耐久性上不利な箇所がある場合 (塩害を受けるおそれのある部分等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あり 使用箇所 () ・ 最小かぶり厚さに加える厚さ () mm <p>各部配筋 (5. 3. 7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図示による (構造関係共通図 (配筋標準図)) ○ 図示による () <p>圧接完了後の圧接部の試験 (5. 4. 10)</p> <p>試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ※超音波探傷試験 ・ 引張試験 試験方法等 ※標準仕様書5. 4. 10 (f) (b) ①～⑥による <p>機械式継手 (5. 5. 2)</p> <p>適用箇所 (打放し仕上げ部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による () <p>H12建告第1463号に適合する性能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A級 <p>機械式継手の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による () <p>適用箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による () <p>H12建告第1463号に適合する性能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A級 <p>溶接継手の工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による () <p>溶接継手の種類 (5. 6. 3)</p> <p>コンクリートの種類 (6. 2. 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ I類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ・ II類 (JIS A 5308に適合したコンクリート) 	種類の記号	呼び径 (mm)	備考	○ SD295A			・ SD345			種類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	・ 溶接金網				・ 鉄筋格子				部位	継手の方法	呼び径	柱、梁の主筋	・ ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手		耐力壁の鉄筋	・ 重ね継手		その他の鉄筋	○ 重ね継手		<p>○ コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm²)</th> <th>スランプ (cm)</th> <th>気乾単位容積質量 (t/m³)</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○24</td> <td>・ ※標準仕様書 6. 2. 2 による</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 21</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>構造体強度補正值 ・ ※標準仕様書表6. 3. 2による</p> <p>種類 (6. 3. 1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>セメントの種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種</td> <td>建物躯体 (下記以外)</td> </tr> <tr> <td>・ 高炉セメントB種 [G]</td> <td>基礎、地中梁</td> </tr> <tr> <td>・ フライアッシュセメントB種 [G]</td> <td>基礎、地中梁</td> </tr> </tbody> </table> <p>普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下かつ28日目で402J/g以下のものとする。</p> <p>使用骨材のアルカリシリカ反応による区分 (6. 3. 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※A ・ B <p>混和剤の種類 (6. 3. 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 標準仕様書 6. 3. 1 (4) (a) による <p>混和材の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 標準仕様書 6. 3. 1 (4) (b) による <p>コンクリートの種類 (6. 14. 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ※普通コンクリート <p>セメントの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 [G] ・ フライアッシュセメントB種 [G] <p>設計基準強度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ※18 (N/mm²) <p>スランプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ※15cm又は18cm <p>適用箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ※標準仕様書 6. 14. 1 (4) (7～カ) による <p>打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地 (6. 6. 4) (6. 8. 1)</p> <p>打継ぎの位置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による () <p>目地寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 標準仕様書 9. 7. 3 (1) (7)～(9) ・ 図示による () <p>ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 図示による () <p>構造体コンクリートの仕上り (6. 2. 5)</p> <p>合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>コンクリートの仕上りの平たんさ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ a種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ b種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ c種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>打増し厚さ (打放し仕上げ部) (6. 8. 1)</p> <p>コンクリート打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 20mm <p>コンクリート打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10mm ・ 20mm <p>床型枠用鋼製デッキプレートを使用する場合は、プレートが支持される梁の側面については、打増しを行うこと。</p> <p>コンクリートの打増し厚さ ※10mm</p> <p>施工範囲 ※図示による ()</p> <p>せき板の材料及び厚さ [G] (6. 8. 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 合板 () ※12mm) MCR工法用のシート 適用箇所 ・ 図示による スリーブの材種・規格等 ・ 図示による 	設計基準強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	適用箇所	○24	・ ※標準仕様書 6. 2. 2 による			・ 21				セメントの種類	適用箇所	※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種	建物躯体 (下記以外)	・ 高炉セメントB種 [G]	基礎、地中梁	・ フライアッシュセメントB種 [G]	基礎、地中梁	種別	適用箇所	・ A種		○ B種		・ C種		種別	適用箇所	・ a種		○ b種		・ c種		<p>・ 断熱材兼用型枠 (6. 8. 2)</p> <p>使用箇所 ※図示による (6. 8. 2)</p> <p>厚さ 20～40mm</p> <p>熱抵抗値 0. 73m²K/W以上を有するものとする。建築技術評価「断熱材兼用型枠工法の開発」において評価を取得したもの、又は同等以上とする。</p> <p>実施要領</p> <ul style="list-style-type: none"> ※図示による (構造関係共通図 (構造関係共通事項)) <p>4章 水廻り工事</p> <p>○ 防腐・防蟻処理 <4. 2. 1～3></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">適用部材</th> <th colspan="3">処理の種類及び処理の方法</th> </tr> <tr> <th>防腐・防蟻処理が不要な樹種</th> <th>薬剤の加圧注入</th> <th>薬剤の塗布等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td></td> <td>・ K2 ・ K3 ・ K4</td> <td>○ 行う</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>インサイジング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適用する ・ 適用しない <p>○ 薬剤の塗布等による処理</p> <p>薬剤の種類 ○</p> <p>適用部材 ・ 図示</p> <p>処理の方法 ○</p> <ul style="list-style-type: none"> ※木造標準仕様書4. 2. 1 (ウ) (b) ①から⑤までによる <p>・ 薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用部位</th> <th>処理の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>合板、集成材、単板積層材の薬剤の加圧注入 (K3) による防腐・防蟻処理</p> <p>適用部位 ・ 図示</p> <p>地盤に接する鉄筋コンクリートによる床下の防蟻処理</p> <p>適用は木造標準仕様書4. 2. 2 ・ (ア) による ・ (イ) による</p> <p>地盤の土壌の防蟻処理</p> <p>使用する薬剤</p> <p>有効成分の系統 ()</p> <p>剤型の種類 ・ 液剤 ・ 粒剤</p> <p>処理方法及び使用量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 帯状散布 (帯状の幅：約20cm) 液剤：処理長さ 1L/m 粒剤： () ・ 面状散布 液剤：3L/m² 粒剤： () <p>○ 基礎外周部の換気孔 <4. 2. 4></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ねこ土台 材質等 (※防鼠スクリーン又は防虫網) ・ 換気孔 材質等 (※防鼠スクリーン又は防虫網) <p>小屋裏換気方法は木造標準仕様書 4. 2. 4 (3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (a) ・ (b) ・ (c) ・ (d) ・ (e) <p>換気孔の大きさ ・ 図示</p> <p>防火被覆処理 <4. 3. 1～3></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防火被覆材の材料 ・ 図示 ・ 防火被覆材の厚さ ・ 図示 ・ 接合部等の防火被覆処理 ・ 図示 	適用部材	処理の種類及び処理の方法			防腐・防蟻処理が不要な樹種	薬剤の加圧注入	薬剤の塗布等	○		・ K2 ・ K3 ・ K4	○ 行う	○				適用部位	処理の方法					<p>5章 屋根・壁・床・土間</p> <p>○ 木材 <5. 2. 2></p> <p>軸組構法 (壁構造系) 工事に使用する木材は、使用材料表 1 による。</p> <p>構造用面材 <5. 2. 3></p> <p>軸組構法 (壁構造系) 工事に使用する構造用面材は、使用材料表 2 による。</p> <p>接合金物 <5. 2. 4></p> <p>Z、C、D、Sマーク表示金物</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>Z、C、D、Sマークの規格</th> <th>短期許容耐力 (kN)</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 火打金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 筋かいプレート</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 引き寄せ金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 梁受け金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>Z、C、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。</p> <p>(工事名) 南沢森林事務所新築工事 A-02</p> <p>木造特記仕様書 (その2) A1: - 3</p> <p>秋田県建築設計事業協同組合 A3: - 5. 1</p> <p>令和 8年 3月</p>	種類	Z、C、D、Sマークの規格	短期許容耐力 (kN)	その他	・ 火打金物				・ 筋かいプレート				・ 引き寄せ金物				・ 梁受け金物			
		軸径 (mm)	拡底径 (mm)	杭長 (m)	セト数	長期設計支持力 (kN/本)	備考																																																																																																																																																			
試験杭																																																																																																																																																										
本杭																																																																																																																																																										
種類の記号	呼び径 (mm)	備考																																																																																																																																																								
・ SD295A																																																																																																																																																										
・ SD345																																																																																																																																																										
厚さ	範囲																																																																																																																																																									
※60	○基礎下 ○土間コンクリート下																																																																																																																																																									
	・ 土に接するスラブ下 ・ 図示による ()																																																																																																																																																									
厚さ	範囲																																																																																																																																																									
※50	○基礎スラブ下 ・ 基礎梁下 ・ 土に接するスラブ下																																																																																																																																																									
種類の記号	呼び径 (mm)	備考																																																																																																																																																								
○ SD295A																																																																																																																																																										
・ SD345																																																																																																																																																										
種類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位																																																																																																																																																							
・ 溶接金網																																																																																																																																																										
・ 鉄筋格子																																																																																																																																																										
部位	継手の方法	呼び径																																																																																																																																																								
柱、梁の主筋	・ ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手																																																																																																																																																									
耐力壁の鉄筋	・ 重ね継手																																																																																																																																																									
その他の鉄筋	○ 重ね継手																																																																																																																																																									
設計基準強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	適用箇所																																																																																																																																																							
○24	・ ※標準仕様書 6. 2. 2 による																																																																																																																																																									
・ 21																																																																																																																																																										
セメントの種類	適用箇所																																																																																																																																																									
※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種	建物躯体 (下記以外)																																																																																																																																																									
・ 高炉セメントB種 [G]	基礎、地中梁																																																																																																																																																									
・ フライアッシュセメントB種 [G]	基礎、地中梁																																																																																																																																																									
種別	適用箇所																																																																																																																																																									
・ A種																																																																																																																																																										
○ B種																																																																																																																																																										
・ C種																																																																																																																																																										
種別	適用箇所																																																																																																																																																									
・ a種																																																																																																																																																										
○ b種																																																																																																																																																										
・ c種																																																																																																																																																										
適用部材	処理の種類及び処理の方法																																																																																																																																																									
	防腐・防蟻処理が不要な樹種	薬剤の加圧注入	薬剤の塗布等																																																																																																																																																							
○		・ K2 ・ K3 ・ K4	○ 行う																																																																																																																																																							
○																																																																																																																																																										
適用部位	処理の方法																																																																																																																																																									
種類	Z、C、D、Sマークの規格	短期許容耐力 (kN)	その他																																																																																																																																																							
・ 火打金物																																																																																																																																																										
・ 筋かいプレート																																																																																																																																																										
・ 引き寄せ金物																																																																																																																																																										
・ 梁受け金物																																																																																																																																																										
<p>○ 砂利地業</p> <p>材料 (4. 6. 2、3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○再生クラッシャー [G] ・ 切込み砂利又は切込み砕石 <p>砂利厚さ及び範囲</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>厚さ</th> <th>範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※60</td> <td>○基礎下 ○土間コンクリート下</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 土に接するスラブ下 ・ 図示による ()</td> </tr> </tbody> </table> <p>厚さ及び範囲 (4. 6. 4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>厚さ</th> <th>範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※50</td> <td>○基礎スラブ下 ・ 基礎梁下 ・ 土に接するスラブ下</td> </tr> </tbody> </table> <p>設計基準強度及びスランプ</p> <ul style="list-style-type: none"> 設計基準強度 ※18N/mm² スランプ ※15cm又は18cm 	厚さ	範囲	※60	○基礎下 ○土間コンクリート下		・ 土に接するスラブ下 ・ 図示による ()	厚さ	範囲	※50	○基礎スラブ下 ・ 基礎梁下 ・ 土に接するスラブ下	<p>○ 捨コンクリート地業 (4. 6. 4)</p> <p>材料 (4. 6. 2、3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○再生クラッシャー [G] ・ 切込み砂利又は切込み砕石 <p>砂利厚さ及び範囲</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>厚さ</th> <th>範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※60</td> <td>○基礎下 ○土間コンクリート下</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 土に接するスラブ下 ・ 図示による ()</td> </tr> </tbody> </table> <p>厚さ及び範囲 (4. 6. 4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>厚さ</th> <th>範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※50</td> <td>○基礎スラブ下 ・ 基礎梁下 ・ 土に接するスラブ下</td> </tr> </tbody> </table> <p>設計基準強度及びスランプ</p> <ul style="list-style-type: none"> 設計基準強度 ※18N/mm² スランプ ※15cm又は18cm 	厚さ	範囲	※60	○基礎下 ○土間コンクリート下		・ 土に接するスラブ下 ・ 図示による ()	厚さ	範囲	※50	○基礎スラブ下 ・ 基礎梁下 ・ 土に接するスラブ下																																																																																																																																					
厚さ	範囲																																																																																																																																																									
※60	○基礎下 ○土間コンクリート下																																																																																																																																																									
	・ 土に接するスラブ下 ・ 図示による ()																																																																																																																																																									
厚さ	範囲																																																																																																																																																									
※50	○基礎スラブ下 ・ 基礎梁下 ・ 土に接するスラブ下																																																																																																																																																									
厚さ	範囲																																																																																																																																																									
※60	○基礎下 ○土間コンクリート下																																																																																																																																																									
	・ 土に接するスラブ下 ・ 図示による ()																																																																																																																																																									
厚さ	範囲																																																																																																																																																									
※50	○基礎スラブ下 ・ 基礎梁下 ・ 土に接するスラブ下																																																																																																																																																									

<p>釘及び木ねじ</p> <p>・ 釘及び木ねじ</p> <p>・ ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金</p> <p>・ ラグ スクリュー</p> <p>・ ドリフトピン</p> <p>・ 木栓及び木だぼ</p> <p>・ 接着剤</p>	<p>Z、C、D、Sマーク表示金物以外の接合金物</p> <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>材質</th><th>寸法・形状等</th><th>表面処理</th><th>備考</th></tr> <tr><td>・</td><td></td><td>図示</td><td></td><td></td></tr> </table> <p><5. 2. 4><5. 5. 7><5. 5. 9></p> <p>釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘</p> <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>材質</th><th>その他</th></tr> <tr><td>・鉄丸釘</td><td>表面処理された鉄</td><td></td></tr> <tr><td>・太め鉄丸釘</td><td>表面処理された鉄</td><td></td></tr> <tr><td>・ステンレス鋼釘</td><td>ステンレス製</td><td></td></tr> </table> <p>木ねじ (JIS B 1112 又は JIS B 1135)、その他の木ねじ</p> <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>材質</th><th>その他</th></tr> <tr><td>・十字穴付き木ねじ</td><td>ステンレス製</td><td>JIS B 1112</td></tr> <tr><td>・すりわれ付き木ねじ</td><td>ステンレス製</td><td>JIS B 1135</td></tr> </table> <p>Z、C、D、Sマーク表示金物</p> <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>Z、C、D、Sマークの規格</th><th>その他</th></tr> <tr><td>・アンカーボルト</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・六角ボルト</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・座金</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>Z、C、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。</p> <p>Z、C、D、Sマーク表示金物以外の接合金物</p> <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>材質</th><th>寸法・形状等</th><th>表面処理</th><th>備考</th></tr> <tr><td>・</td><td></td><td>図示</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>ボルト、ナット及び座金</p> <p>材料</p> <p>※木造標準仕様書表5. 2. 2による</p> <p>寸法</p> <p>図示</p> <p>座金の種別</p> <p>・引張応力を受ける座金 木造標準仕様書5. 2. 3 ()</p> <p>・せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書5. 2. 4 ()</p> <p>表面処理</p> <p>アンカーボルト、ナット及び座金</p> <p>材質</p> <p>寸法</p> <p>図示</p> <p>座金の種別</p> <p>・引張応力を受ける座金 木造標準仕様書5. 2. 3 ()</p> <p>・せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書5. 2. 4 ()</p> <p>表面処理</p>	種類	材質	寸法・形状等	表面処理	備考	・		図示			種類	材質	その他	・鉄丸釘	表面処理された鉄		・太め鉄丸釘	表面処理された鉄		・ステンレス鋼釘	ステンレス製		種類	材質	その他	・十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112	・すりわれ付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1135	種類	Z、C、D、Sマークの規格	その他	・アンカーボルト			・六角ボルト			・座金			種類	材質	寸法・形状等	表面処理	備考	・		図示			<p>・ 孔あけ加工</p> <p><5. 4. 3></p> <p>ボルト孔の径</p> <p>・ 図示</p> <p>※木造標準仕様書表5. 4. 2. による</p> <p>ドリフトピンの孔径</p> <p>・ 図示</p> <p>※ピン径と同径</p> <p>・ 表面の仕上げ</p> <p><5. 4. 4>(18. 13. 2)</p> <p>見え掛り面の表面の仕上げの程度</p> <p>・ 製材</p> <p>機械加工</p> <p>・ A種</p> <p>・ B種</p> <p>・ C種</p> <p><表 5. 4. 3></p> <p>手加工</p> <p>・ H-A種</p> <p>・ H-B種</p> <p>・ H-C種</p> <p><表 5. 4. 5></p> <p>・ 構造用集成材</p> <p>機械加工</p> <p>・ A種</p> <p>※B種</p> <p><表 5. 4. 4></p> <p>・ 丸太材</p> <p>機械加工</p> <p>・ A種</p> <p>・ B種</p> <p><表 5. 4. 6></p> <p>手加工</p> <p>・ H-A種</p> <p>・ H-B種</p> <p><表 5. 4. 7></p> <p>・ 木材保護塗料塗り</p> <p>施工箇所</p> <p>種別</p> <p>・ 図示</p> <p>・ A種</p> <p>・ B種</p> <p><(18. 13. 2)></p> <p>・ アンカーボルトの設置等</p> <p><5. 5. 3></p> <p>埋め込み深さ</p> <p>・</p> <p>・ 図示</p> <p>保持及び埋込み工法</p> <p>・ A種</p> <p>・ B種</p> <p>埋め込み位置の許容誤差</p> <p>・</p> <p>※±5mm</p> <p>・ 基礎天端及び柱底均しモルタルの仕上げ</p> <p><5. 5. 4></p> <p>材料</p> <p>・ 木造標準仕様書5. 5. 4(7)による</p> <p>・ 無収縮モルタル</p> <p>モルタルの厚さ</p> <p>・</p> <p>・ 図示</p> <p>・ 建方精度</p> <p><5. 5. 6></p> <p>建入れ直し後の建方精度の許容値</p> <p>・</p> <p>※1/1, 000以下</p> <p>・ 接合金具の工法</p> <p><5. 5. 8></p> <p>熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱</p> <p>・ 埋め木</p> <p>・ 簡易発泡硬質ウレタンフォーム断熱材 (JIS A 9526)</p> <p>・ 釘及び木ねじの工法</p> <p><5. 5. 9></p> <p>構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち</p> <p>・ 隠し釘打ち</p> <p>・ 釘頭埋め木</p> <p>・ つぶし頭釘打ち</p> <p>・ 釘頭現し</p> <p>木ねじの留付け</p> <p>※木ねじ頭埋め木</p> <p>・ 火打土台</p> <p><5. 6. 2></p> <p>・ 木製の火打土台</p> <p>・ 鋼製の火打土台</p> <p>・ 火打梁</p> <p><5. 7. 8><5. 8. 6></p> <p>小屋組</p> <p>・ 木製の火打梁</p> <p>・ 鋼製の火打梁</p> <p>床組</p> <p>・ 木製の火打梁</p> <p>・ 鋼製の火打梁</p> <p>・ 床束</p> <p><5. 8. 2></p> <p>・ 木製床束</p> <p>・ 鋼製床束</p> <p>・ 樹脂製床束</p>	<p>木ねじ (JIS B 1112 又は JIS B 1135)、その他の木ねじ</p> <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>材質</th><th>その他</th></tr> <tr><td>・十字穴付き木ねじ</td><td>ステンレス製</td><td>JIS B 1112</td></tr> <tr><td>・すりわり付き木ねじ</td><td>ステンレス製</td><td>JIS B 1135</td></tr> </table> <p><6. 2. 4><6. 5. 11></p> <p>Z、C、D、Sマーク表示金物</p> <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>Z、C、D、Sマークの規格</th><th>その他</th></tr> <tr><td>・アンカーボルト</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・六角ボルト</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・座金</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>Z、C、D、Sマーク表示金物以外の接合金物</p> <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>材質</th><th>寸法・形状等</th><th>表面処理</th><th>備考</th></tr> <tr><td>・</td><td></td><td>図示</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>ボルト、ナット及び座金</p> <p>材料</p> <p>※木造標準仕様書表6. 2. 2による</p> <p>寸法</p> <p>図示</p> <p>座金の種別</p> <p>・引張応力を受ける座金 木造標準仕様書6. 2. 3 ()</p> <p>・せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書6. 2. 4 ()</p> <p>表面処理</p> <p>アンカーボルト、ナット及び座金</p> <p>材質</p> <p>寸法</p> <p>図示</p> <p>座金の種別</p> <p>・引張応力を受ける座金 木造標準仕様書6. 2. 3 ()</p> <p>・せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書6. 2. 4 ()</p> <p>表面処理</p> <p><6. 2. 4></p> <p>・ ラグ スクリュー</p> <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>Z、C、D、Sマークの規格</th><th>その他</th></tr> <tr><td>・ラグスクリュー</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>Z、C、D、Sマーク表示金物以外のラグスクリュー</p> <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>材質等</th><th>形状・寸法等</th><th>表面処理</th></tr> <tr><td>・ラグスクリュー</td><td>木造標準仕様書表6. 2. 2のボルトによる</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>・ ドリフトピン</p> <p><6. 2. 4></p> <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>材質等</th><th>径・寸法等</th><th>表面処理</th></tr> <tr><td>・ドリフトピン</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td></td><td>※SS400</td><td>※丸鋼</td><td></td></tr> </table> <p>・ 木栓及び木だぼ</p> <p><6. 2. 4></p> <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>樹種</th><th>形状・長さ等</th><th>その他</th></tr> <tr><td>・木栓</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・木だぼ</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>・ 接着剤</p> <p><6. 2. 4></p> <p>・ 床鳴り防止用接着剤</p> <p>接着剤の種類 (床根太用接着剤JIS A 5550) 種類 ()</p> <p>・ 接着剤による接合</p> <p>・ 接着剤を併用した接合</p> <p>接着剤の種類 ()</p> <p>・ 現寸図</p> <p><6. 4. 2></p> <p>・ 床書き現寸図を作成する</p> <p>・ 孔あけ加工</p> <p><6. 4. 5></p> <p>ボルト孔の径</p> <p>・ 図示</p> <p>※木造標準仕様書表 6. 4. 1による</p> <p>ドリフトピンの孔径</p> <p>・ 図示</p> <p>※ピン径と同径</p> <p>・ 表面の仕上げ</p> <p><6. 4. 6>(18. 13. 2)</p> <p>見え掛り面の表面仕上げ</p> <p>・ 製材</p>	種類	材質	その他	・十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112	・すりわり付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1135	種類	Z、C、D、Sマークの規格	その他	・アンカーボルト			・六角ボルト			・座金			種類	材質	寸法・形状等	表面処理	備考	・		図示			種類	Z、C、D、Sマークの規格	その他	・ラグスクリュー			種類	材質等	形状・寸法等	表面処理	・ラグスクリュー	木造標準仕様書表6. 2. 2のボルトによる			種類	材質等	径・寸法等	表面処理	・ドリフトピン	・	・	・		※SS400	※丸鋼		種類	樹種	形状・長さ等	その他	・木栓				・木だぼ				<p>○ アンカーボルトの設置等</p> <p><6. 5. 3></p> <p>埋め込み深さ</p> <p>・</p> <p>・ 図示</p> <p>保持及び埋込み工法</p> <p>・ A種</p> <p>・ B種</p> <p>埋込み位置の許容誤差</p> <p>・</p> <p>※± 5mm</p> <p>○ 基礎天端及び柱底均しモルタル仕上げ</p> <p><6. 5. 4></p> <p>材料</p> <p>・ 木造標準仕様書 6. 5. 4(7)による</p> <p>・ 無収縮モルタル</p> <p>モルタルの厚さ</p> <p>・ 図示</p> <p>柱底均しモルタルの工法</p> <p>・ A種</p> <p>※B種</p> <p>○ 建方精度</p> <p><6. 5. 7></p> <p>建入れ直し後の建方精度の許容値</p> <p>・</p> <p>※1/1, 000以下</p> <p>・ 接合金具の工法</p> <p><6. 5. 9></p> <p>熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱</p> <p>・ 埋め木</p> <p>・ 簡易発泡硬質ウレタンフォーム断熱材 (JIS A 9526)</p> <p>・ 釘及び木ねじの工法</p> <p><6. 5. 10></p> <p>構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち</p> <p>・ 隠し釘打ち</p> <p>・ 釘頭埋め木</p> <p>・ つぶし頭釘打ち</p> <p>・ 釘頭現し</p> <p>木ねじの留付け</p> <p>※木ねじ頭埋め木</p> <p>・ 輪型ジベル</p> <p><6. 5. 15></p> <p>輪型ジベル</p> <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>材質・形状・寸法等</th></tr> <tr><td>・</td><td></td></tr> </table> <p>・ 圧入型ジベル</p> <p><6. 5. 16></p> <p>圧入型ジベル</p> <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>材質・形状・寸法等</th></tr> <tr><td>・</td><td></td></tr> </table> <p>○ 火打土台</p> <p><6. 6. 2></p> <p>○ 木製の火打土台</p> <p>・ 鋼製の火打土台</p> <p>○ 火打梁</p> <p><6. 7. 8><6. 8. 6></p> <p>○ 小屋組</p> <p>・ 木製の火打梁</p> <p>○ 鋼製の火打梁</p> <p>・ 床組</p> <p>・ 木製の火打梁</p> <p>・ 鋼製の火打梁</p> <p>○ 床束</p> <p><6. 8. 2></p> <p>・ 木製床束</p> <p>○ 鋼製床束</p> <p>・ 樹脂製床束</p>	種類	材質・形状・寸法等	・		種類	材質・形状・寸法等	・		<p>7章 鉄骨構造</p> <p>・ 木材等</p> <p><7. 2. 2><7. 2. 3></p> <p>枠組壁工法工事に使用する木材等は、使用材料表5による。</p> <p>・ 釘及び木ねじ</p> <p><7. 2. 4></p> <p>釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘</p> <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>材質</th><th>その他</th></tr> <tr><td>・鉄丸釘</td><td>表面処理された鉄</td><td></td></tr> <tr><td>・太め鉄丸釘</td><td>表面処理された鉄</td><td></td></tr> <tr><td>・ステンレス鋼釘</td><td>ステンレス製</td><td></td></tr> </table> <p>木ねじ (JIS B1112 又は JIS B 1135)、その他の木ねじ</p> <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>材質</th><th>その他</th></tr> <tr><td>・十字穴付き木ねじ</td><td>ステンレス製</td><td>JIS B 1112</td></tr> <tr><td>・ドリフトピン</td><td>ステンレス製</td><td>JIS B 1125</td></tr> </table> <p>(工事名) 南沢森林事務所新築工事</p> <p>A-03</p> <p>4</p> <p>木造特記仕様書 (その3)</p> <p>A1: -</p> <p>A3: -</p> <p>5.1</p> <p>秋田県建築設計事業協同組合</p> <p>令和 8年 3月</p>	種類	材質	その他	・鉄丸釘	表面処理された鉄		・太め鉄丸釘	表面処理された鉄		・ステンレス鋼釘	ステンレス製		種類	材質	その他	・十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112	・ドリフトピン	ステンレス製	JIS B 1125
	種類	材質	寸法・形状等	表面処理	備考																																																																																																																																																							
	・		図示																																																																																																																																																									
	種類	材質	その他																																																																																																																																																									
	・鉄丸釘	表面処理された鉄																																																																																																																																																										
	・太め鉄丸釘	表面処理された鉄																																																																																																																																																										
	・ステンレス鋼釘	ステンレス製																																																																																																																																																										
	種類	材質	その他																																																																																																																																																									
	・十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112																																																																																																																																																									
	・すりわれ付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1135																																																																																																																																																									
種類	Z、C、D、Sマークの規格	その他																																																																																																																																																										
・アンカーボルト																																																																																																																																																												
・六角ボルト																																																																																																																																																												
・座金																																																																																																																																																												
種類	材質	寸法・形状等	表面処理	備考																																																																																																																																																								
・		図示																																																																																																																																																										
種類	材質	その他																																																																																																																																																										
・十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112																																																																																																																																																										
・すりわり付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1135																																																																																																																																																										
種類	Z、C、D、Sマークの規格	その他																																																																																																																																																										
・アンカーボルト																																																																																																																																																												
・六角ボルト																																																																																																																																																												
・座金																																																																																																																																																												
種類	材質	寸法・形状等	表面処理	備考																																																																																																																																																								
・		図示																																																																																																																																																										
種類	Z、C、D、Sマークの規格	その他																																																																																																																																																										
・ラグスクリュー																																																																																																																																																												
種類	材質等	形状・寸法等	表面処理																																																																																																																																																									
・ラグスクリュー	木造標準仕様書表6. 2. 2のボルトによる																																																																																																																																																											
種類	材質等	径・寸法等	表面処理																																																																																																																																																									
・ドリフトピン	・	・	・																																																																																																																																																									
	※SS400	※丸鋼																																																																																																																																																										
種類	樹種	形状・長さ等	その他																																																																																																																																																									
・木栓																																																																																																																																																												
・木だぼ																																																																																																																																																												
種類	材質・形状・寸法等																																																																																																																																																											
・																																																																																																																																																												
種類	材質・形状・寸法等																																																																																																																																																											
・																																																																																																																																																												
種類	材質	その他																																																																																																																																																										
・鉄丸釘	表面処理された鉄																																																																																																																																																											
・太め鉄丸釘	表面処理された鉄																																																																																																																																																											
・ステンレス鋼釘	ステンレス製																																																																																																																																																											
種類	材質	その他																																																																																																																																																										
・十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112																																																																																																																																																										
・ドリフトピン	ステンレス製	JIS B 1125																																																																																																																																																										

<p>・ 接合金物</p> <p><7. 2. 4></p> <p>C、Z、D、S、X マーク表示金物</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>C、Z、D、S、X マークの規格</th> <th>短期許容耐力 (kN)</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 引き寄せ金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 梁受け金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>C、Z、D、S、X マーク表示金物に付属する接合具も含む。</p> <p>その他の接合金物 (C、Z、D、S、X マーク表示金物以外)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>材 質</th> <th>寸法・形状等</th> <th>表面処理等</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>図示</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>C、Z、D、S マーク表示金物</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>C、Z、D、S マークの規格</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ アンカーボルト</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 六角ボルト</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 座金</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>C、Z、D、S マーク表示金物に付属する接合具も含む。</p> <p>Z、C、D、S マーク表示金物以外の接合金物</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>材 質</th> <th>寸法・形状等</th> <th>表面処理</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>図示</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ボルト、ナット及び座金</p> <p>材 料</p> <p>※木造標準仕様書7.2.4による 寸法 図示</p> <p>座金の種別 ・ 引張応力を受ける座金 木造標準仕様書7.2.5 () ・ せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書7.2.6 ()</p> <p>表面処理</p> <p>アンカーボルト、ナット及び座金</p> <p>材 質</p> <p>寸法 図示</p> <p>座金の種別 ・ 引張応力を受ける座金 木造標準仕様書7.2.5 () ・ せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書7.2.6 ()</p> <p>表面処理</p> <p>・ 接着剤</p> <p><7. 2. 4></p> <p>・ 床鳴り防止用接着剤 接着剤の種類 (床根太用接着剤JIS A 5550) 種類 ()</p> <p>・ 接着剤による接合</p> <p>・ 接着剤を併用した接合 接着剤の種類 ()</p> <p>・ アンカーボルトの設置等</p> <p><7. 5. 3></p> <p>保持及び埋込み工法 ・ A種 ・ B種 埋込み位置の許容誤差 ・ ※±5mm</p> <p>・ 基礎天端均しモルタルの仕上げ</p> <p><7. 5. 4></p> <p>材料 ・ 木造標準仕様書 7.5.4(7)による ・ 無収縮モルタルモルタルの厚さ ・ 図示</p> <p>・ 床束</p> <p><7. 7. 2></p> <p>・ 木製床束</p> <p>・ 鋼製床束</p> <p>・ 樹脂製床束</p>	種 類	C、Z、D、S、X マークの規格	短期許容耐力 (kN)	その他	・ 引き寄せ金物				・ 梁受け金物				・				・				種 類	材 質	寸法・形状等	表面処理等	備 考	・		図示			・					種 類	C、Z、D、S マークの規格	その他	・ アンカーボルト			・ 六角ボルト			・ 座金			種 類	材 質	寸法・形状等	表面処理	備 考	・		図示			・					<p>・ だば</p> <p><8. 2. 5></p> <p>Zマーク表示金物</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>Zマークの規格等</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ラグスクリューだば</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>Zマーク表示金物以外のだば</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>材質等</th> <th>寸法・形状等</th> <th>表面処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ラグスクリューだば</td> <td>木造標準仕様書表8.2.6のボルトによる</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ジャッキボルト</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>材 質</th> <th>寸法・形状</th> <th>表面処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>SS400</td> <td>図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>図示</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>垂木用スライド金物</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>材 質</th> <th>寸法・形状</th> <th>表面処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>SS400</td> <td>図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>図示</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 釘及び木ねじ</p> <p><8. 2. 5></p> <p>釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>材 質</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 鉄丸釘</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 太め鉄丸釘</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ステンレス鋼釘</td> <td>ステンレス製</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金</p> <p><8. 2. 5></p> <p>M、Z、D、S マーク表示金物</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>M、Zマークの規格等</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ アンカーボルト</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 座金</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>M、Z、D、S マーク表示金物には付属する接合具も含む。</p> <p>M、Z、D、S マーク表示金物以外の接合金物</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>材 質</th> <th>寸法・形状等</th> <th>表面処理</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>図示</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ボルト、ナット及び座金</p> <p>材 料</p> <p>※木造標準仕様書表8.2.6による 寸法 図示</p> <p>座金の種別 ・ 引張応力を受ける座金 木造標準仕様書8.2.7 () ・ せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書8.2.8 ()</p> <p>表面処理</p> <p>アンカーボルト、ナット及び座金</p> <p>材 質</p> <p>寸法 図示</p> <p>種別 ・ 引張応力を受ける座金 木造標準仕様書8.2.7 () ・ せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書8.2.8 ()</p> <p>表面処理</p> <p>・ 通しボルト、高ナット及び座金</p> <p><8. 2. 5></p> <p>Mマーク表示金物</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>Mマークの規格等</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 通しボルト</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>Mマーク表示金物に付属する接合具も含む。</p>	種 類	Zマークの規格等	その他	・ ラグスクリューだば			・			種 類	材質等	寸法・形状等	表面処理	・ ラグスクリューだば	木造標準仕様書表8.2.6のボルトによる			・				種 類	材 質	寸法・形状	表面処理	・	SS400	図示		・		図示		種 類	材 質	寸法・形状	表面処理	・	SS400	図示		・		図示		種 類	材 質	その他	・ 鉄丸釘	表面処理された鉄		・ 太め鉄丸釘	表面処理された鉄		・ ステンレス鋼釘	ステンレス製		種 類	M、Zマークの規格等	その他	・ アンカーボルト			・ 座金			種 類	材 質	寸法・形状等	表面処理	備 考	・		図示			・					種 類	Mマークの規格等	その他	・ 通しボルト			・			<p>Mマーク表示金物以外</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>材質・強度等</th> <th>寸法・種別等</th> <th>表面処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 通しボルト</td> <td>SR235</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 高ナット</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 座金</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 接着剤</p> <p><8. 2. 5></p> <p>床鳴り防止用接着剤 接着剤の種類 (床根太用接着剤 JIS A5550)</p> <p>・ 断面加工</p> <p><8. 4. 2></p> <p>機械加工</p> <p>断面形状 木造標準仕様書図 8.4.1 による ・ イ ・ ロ ・ ハ ・ ニ</p> <p>さね形状 ・ 図示 ※製造所の仕様</p> <p>・ 交差部形状加工</p> <p><8. 4. 3></p> <p>交差部の形状 ・ ※製造所の仕様 突出部分が壁面から200mm未満の場合の補強方法 ※図示</p> <p>・ 丸太壁用木材の表面仕上げ</p> <p><8. 4. 5> (18. 13. 2)</p> <p>機械加工 ・ 自動機械かんな掛け仕上げ 手加工 ・ ちょうな、曲面かんな 又はディスクサンダー掛け</p> <p>・ 木材保護塗料塗り</p> <p>(18. 13. 2)</p> <p>施工場所 ・ ※図示 種別 ・ A種 ※B種</p> <p>・ 孔あけ加工</p> <p><8. 4. 6></p> <p>ボルト孔の径 ・ 図示 ※木造標準仕様書表8.4.4による ドリフトピンの孔径 ・ ※ピン径と同径</p> <p>・ 丸太壁用木材以外の表面仕上げ</p> <p><8. 4. 6> (18. 13. 2)</p> <p>見え掛り面の表面仕上げ</p> <p>・ 構造用集材</p> <p>・ 製材</p> <p>機械加工 ・ A種 ・ B種 ・ C種 <表 8.4.5> 手加工 ・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種 <表 8.4.7></p> <p>・ 丸太材の表面仕上げ</p> <p>機械加工 ・ A種 ・ B種 <表 8.4.8> 手加工 ・ H-A種 ・ H-B種 <表 8.4.9></p> <p>・ 木材保護塗料塗り</p> <p>(18. 13. 2)</p> <p>施工箇所 ・ 図示 種別 ・ A種 ※B種</p> <p>・ 継手の方法</p> <p><8. 4. 7></p> <p>丸太組壁用木材に設ける継手の方法 ・ 図示</p> <p>・ 仮組立</p> <p><8. 4. 9></p> <p>・ 適用する</p> <p>・ アンカーボルトの設置等</p> <p><8. 5. 3></p> <p>保持及び埋込み工法 ・ A種 ・ B種</p> <p>・ 基礎天端及び柱底均しモルタルの仕上げ</p> <p><8. 5. 4></p> <p>材料 ・ 木造標準仕様書 8.5.4(7)による ・ 無収縮モルタルモルタルの厚さ ・ 図示</p> <p>・ 通しボルトの増締め</p> <p><8. 5. 7></p> <p>・ 木造標準仕様書 8.5.7(9) (i)の工法 ・ 図示 ・ 木造標準仕様書 8.5.7(9) (7)の(a)~(c)以外の時期に増締めを行う場合の時期 ()</p> <p>・ ジャッキボルトの増締め</p> <p><8. 5. 8></p> <p>・ 木造標準仕様書 8.5.8(2)の(7)~(7)以外の時期に増締めを行う場合の時期 ()</p> <p>・ 釘及び木ねじの工法</p> <p><8. 5. 11></p> <p>構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち ・ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し</p> <p>木ねじの留付け ※木ねじ頭埋め木</p> <p>・ 火打土台</p> <p><8. 6. 2></p> <p>・ 木製の火打土台 ・ 鋼製の火打土台</p> <p>・ 火打梁</p> <p><8. 7. 9><8. 8. 6></p> <p>小屋組 ・ 木製の火打梁 ・ 鋼製の火打梁 床組 ・ 木製の火打梁 ・ 鋼製の火打梁</p> <p>・ 床束</p> <p><8. 8. 2></p> <p>・ 木製床束</p> <p>・ 鋼製床束</p> <p>・ 樹脂製床束</p>	種 類	材質・強度等	寸法・種別等	表面処理	・ 通しボルト	SR235			・ 高ナット				・ 座金				<p>・ 階段</p> <p><8. 9. 7></p> <p>階段の取付け ※木造標準仕様書 8.9.7(1) ・ (ア)による ・ (イ)による ・ (ウ)による</p> <p>・ 木材</p> <p><9. 2. 2></p> <p>CLTパネル工法工事に使用する木材は、使用材料表8による</p> <p>・ 接合金物</p> <p><9. 2. 3></p> <p>X、Z、C、D、S マーク表示金物</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>X、Z、C、D、S マークの規格</th> <th>短期許容耐力 (kN)</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 引張金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ せん断金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>X、Z、C、D、S マーク表示金物に付属する接合具も含む。</p> <p>・ 釘及び木ねじ</p> <p><9. 2. 3></p> <p>釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>材 質</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 太め鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ステンレス鋼くぎ</td> <td>ステンレス製</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>木ねじ (JIS B 1112又はJIS B 1135)、その他の木ねじ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>材 質</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 十字穴付き木ねじ</td> <td>ステンレス製</td> <td>JIS B 1112</td> </tr> <tr> <td>・ すりわり付き木ねじ</td> <td>ステンレス製</td> <td>JIS B 1135</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金</p> <p><9. 2. 3></p> <p>X、Z、C、D、S マーク表示金物</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>X、Z、C、D、S マークの規格等</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ アンカーボルト</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 座金</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>X、Z、C、D、S マーク表示金物に付属する接合具も含む。</p> <p>X、Z、C、D、S マーク表示金物以外の接合金物</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>材 質</th> <th>寸法・形状等</th> <th>表面処理</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>図示</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ボルト、ナット及び座金</p> <p>材 料</p> <p>形状 ・ 図示</p> <p>寸法 図示</p> <p>表面処理</p> <p>アンカーボルト、ナット及び座金</p> <p>材 料</p> <p>形状 ・ 図示</p> <p>寸法 図示</p> <p>表面処理</p> <p>・ ラグスクリュー</p> <p><9. 2. 3></p> <p>Z、C、D、S マーク表示金物</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>Z、C、D、S マークの規格</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ラグスクリュー</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>Z、C、D、S マーク表示金物以外のラグスクリュー</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>材質等</th> <th>形状・寸法等</th> <th>表面処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ラグスクリュー</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種 類	X、Z、C、D、S マークの規格	短期許容耐力 (kN)	その他	・ 引張金物				・ せん断金物				・				・				種 類	材 質	その他	・ 鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・ 太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・ ステンレス鋼くぎ	ステンレス製		種 類	材 質	その他	・ 十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112	・ すりわり付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1135	種 類	X、Z、C、D、S マークの規格等	その他	・ アンカーボルト			・ 座金			種 類	材 質	寸法・形状等	表面処理	備 考	・		図示			・					種 類	Z、C、D、S マークの規格	その他	・ ラグスクリュー			・			種 類	材質等	形状・寸法等	表面処理	・ ラグスクリュー				・				<p>8 章 丸太組壁構造</p> <p>・ 丸太組壁用木材等</p> <p><8. 2. 2><8. 2. 3></p> <p>丸太組構法工事に使用する木材等は、使用材料表6による。</p> <p>・ 構造用面材</p> <p><8. 2. 4></p> <p>丸太組構法工事に使用する構造用面材は、使用材料表7による。</p> <p>・ 接合金物</p> <p><8. 2. 5></p> <p>M、Z、C、D、S マーク表示金物</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>M、Z、C、D、S マークの規格等</th> <th>短期許容耐力 (kN)</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 支柱高さ調整金物</td> <td>Mマーク</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>M、Z、C、D、S マーク表示金物に付属する接合具も含む。</p>	種 類	M、Z、C、D、S マークの規格等	短期許容耐力 (kN)	その他	・ 支柱高さ調整金物	Mマーク			・			
	種 類	C、Z、D、S、X マークの規格	短期許容耐力 (kN)	その他																																																																																																																																																																																																																																																																										
	・ 引き寄せ金物																																																																																																																																																																																																																																																																													
	・ 梁受け金物																																																																																																																																																																																																																																																																													
	・																																																																																																																																																																																																																																																																													
	・																																																																																																																																																																																																																																																																													
	種 類	材 質	寸法・形状等	表面処理等	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																									
	・		図示																																																																																																																																																																																																																																																																											
	・																																																																																																																																																																																																																																																																													
	種 類	C、Z、D、S マークの規格	その他																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ アンカーボルト																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ 六角ボルト																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ 座金																																																																																																																																																																																																																																																																														
種 類	材 質	寸法・形状等	表面処理	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																										
・		図示																																																																																																																																																																																																																																																																												
・																																																																																																																																																																																																																																																																														
種 類	Zマークの規格等	その他																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ ラグスクリューだば																																																																																																																																																																																																																																																																														
・																																																																																																																																																																																																																																																																														
種 類	材質等	寸法・形状等	表面処理																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ ラグスクリューだば	木造標準仕様書表8.2.6のボルトによる																																																																																																																																																																																																																																																																													
・																																																																																																																																																																																																																																																																														
種 類	材 質	寸法・形状	表面処理																																																																																																																																																																																																																																																																											
・	SS400	図示																																																																																																																																																																																																																																																																												
・		図示																																																																																																																																																																																																																																																																												
種 類	材 質	寸法・形状	表面処理																																																																																																																																																																																																																																																																											
・	SS400	図示																																																																																																																																																																																																																																																																												
・		図示																																																																																																																																																																																																																																																																												
種 類	材 質	その他																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 鉄丸釘	表面処理された鉄																																																																																																																																																																																																																																																																													
・ 太め鉄丸釘	表面処理された鉄																																																																																																																																																																																																																																																																													
・ ステンレス鋼釘	ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																																																													
種 類	M、Zマークの規格等	その他																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ アンカーボルト																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ 座金																																																																																																																																																																																																																																																																														
種 類	材 質	寸法・形状等	表面処理	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																										
・		図示																																																																																																																																																																																																																																																																												
・																																																																																																																																																																																																																																																																														
種 類	Mマークの規格等	その他																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 通しボルト																																																																																																																																																																																																																																																																														
・																																																																																																																																																																																																																																																																														
種 類	材質・強度等	寸法・種別等	表面処理																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ 通しボルト	SR235																																																																																																																																																																																																																																																																													
・ 高ナット																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ 座金																																																																																																																																																																																																																																																																														
種 類	X、Z、C、D、S マークの規格	短期許容耐力 (kN)	その他																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ 引張金物																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ せん断金物																																																																																																																																																																																																																																																																														
・																																																																																																																																																																																																																																																																														
・																																																																																																																																																																																																																																																																														
種 類	材 質	その他																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																																																																																																																																																																																																																																																													
・ 太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																																																																																																																																																																																																																																																													
・ ステンレス鋼くぎ	ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																																																													
種 類	材 質	その他																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ すりわり付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1135																																																																																																																																																																																																																																																																												
種 類	X、Z、C、D、S マークの規格等	その他																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ アンカーボルト																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ 座金																																																																																																																																																																																																																																																																														
種 類	材 質	寸法・形状等	表面処理	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																										
・		図示																																																																																																																																																																																																																																																																												
・																																																																																																																																																																																																																																																																														
種 類	Z、C、D、S マークの規格	その他																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ ラグスクリュー																																																																																																																																																																																																																																																																														
・																																																																																																																																																																																																																																																																														
種 類	材質等	形状・寸法等	表面処理																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ ラグスクリュー																																																																																																																																																																																																																																																																														
・																																																																																																																																																																																																																																																																														
種 類	M、Z、C、D、S マークの規格等	短期許容耐力 (kN)	その他																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ 支柱高さ調整金物	Mマーク																																																																																																																																																																																																																																																																													
・																																																																																																																																																																																																																																																																														
<p>(工事名) 南沢森林事務所新築工事</p> <p>木造特記仕様書 (その4) A1: - A3: -</p> <p>秋田県建築設計事業協同組合 令和 8年 3月</p>	<p>A-04</p> <p>5</p> <p>5 1</p>																																																																																																																																																																																																																																																																													

<p>・ドリフトピン <9.2.3></p> <p>ドリフトピン</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質等</th> <th>形状・寸法等</th> <th>表面処理</th> </tr> <tr> <td>・ドリフトピン</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>※SS400</td> <td>※丸鋼</td> <td></td> </tr> </table> <p>・孔あけ加工 <9.4.4></p> <p>ボルト孔の径 図示 ※木造標準仕様書表9.4.4による</p> <p>ドリフトピンの孔径 ※ピン径と同径</p> <p>・表面の仕上げ <9.4.5></p> <p>表面仕上げ 直交集成板 ・B種 ※A種</p> <p>・木材保護塗料塗り (18.13.2)</p> <p>施工箇所 図示 種別 ・A種 ・B種</p> <p>・アンカーボルトの設置等 <9.5.3></p> <p>保持及び埋込み工法 ・A種 ・B種(土台を設ける場合) 埋込み位置の許容差 ・±2mm ・±5mm(土台を設ける場合)</p> <p>・基礎天端均しモルタルの仕上げ <9.5.4></p> <p>材料 ・木造標準仕様書9.5.4(7)による ・無収縮モルタル</p> <p>モルタルの厚さ 図示</p> <p>・建方精度 <9.5.7></p> <p>建入れ直し後の建方精度の許容値</p> <p>※垂直、水平の誤差の範囲1/1,000以下、かつ床、壁の天端の平坦さ±3mm</p> <p>・接合金物の工法 <9.5.9></p> <p>熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱</p> <p>・埋め木 ・簡易発泡硬質ウレタンフォーム断熱材 (JIS A 9526)</p> <p>・釘及び木ねじの工法 <9.5.10></p> <p>構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち</p> <p>・隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 木ねじの留付け ※木ねじ頭埋め木</p>	種類	材質等	形状・寸法等	表面処理	・ドリフトピン	・	・			※SS400	※丸鋼		<p>○ 外壁通気構法 下地 <10.8.2></p> <p>積雪地の場合の下地補強</p> <table border="1"> <tr> <th>工法種別</th> <th>補強方法</th> <th>補強高さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・縦通気胴縁工法</td> <td>※木造標準仕様書10.8.2(7)(h)による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○横通気胴縁工法</td> <td>※木造標準仕様書10.8.2(7)(i)による</td> <td></td> </tr> </table> <p>・和室の造作 <10.10.1></p> <p>柱 ・背割不要の処理</p>	工法種別	補強方法	補強高さ(mm)	・縦通気胴縁工法	※木造標準仕様書10.8.2(7)(h)による		○横通気胴縁工法	※木造標準仕様書10.8.2(7)(i)による		<p>取付け用モルタル・</p> <p>※専門工事業者の指定する製品</p> <p>既調査の目地モルタル・</p> <p>※専門工事業者の指定する製品</p> <p>石裏面処理材・</p> <p>※専門工事業者の指定する製品</p> <p>裏打ち処理材・</p> <p>※専門工事業者の指定する製品</p> <p>金物の固定に使用する充填材料等・</p> <p>※専門工事業者の指定する製品</p>	<p>取付け金物 標準仕様書10.2.2(3)</p> <p>材質 ※ステンレス (SUS304)</p> <p>寸法 引金物 だぼ かすがい 受金物</p> <p>ファスナーの方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式</p> <p>吊金物及び化粧吊りボルト</p> <p>・設ける 吊金物</p> <p>※SUS304 径6mm 長さ80mm (加工物) 化粧吊りボルト</p> <p>※SUS304 M10 化粧ナット付き</p> <p>・設けない</p> <p>あと施工アンカーの材質及び寸法 ()</p> <p>石裏面処理 ・適用する ・適用しない 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない 目地 一般目地 目地幅(mm) ・ ※6以上 伸縮調整目地 位置 図示 ※他の部位との取合い部</p> <p>シーリング材の目地寸法 ・ 図示 ※幅・深さとも10mm</p>																																																																																							
	種類	材質等	形状・寸法等	表面処理																																																																																																											
・ドリフトピン	・	・																																																																																																													
	※SS400	※丸鋼																																																																																																													
工法種別	補強方法	補強高さ(mm)																																																																																																													
・縦通気胴縁工法	※木造標準仕様書10.8.2(7)(h)による																																																																																																														
○横通気胴縁工法	※木造標準仕様書10.8.2(7)(i)による																																																																																																														
<p>11章 施工 水防</p> <p>・FRP系塗膜 防水 <11.2.2、4></p> <p>・ルーフトレン ・FRP系塗膜防水用ルーフトレン ・鋳鉄製 ・オーバーフロー管 ※つば付き 製造所の指定する製品</p> <p>・下地合板の上の防水板 種類 (・ ※ケイ酸カルシウム板) 厚さ (・ ※10mm)</p> <p>防水層平場の勾配 ・ ※1/100以上</p> <p>水張り試験 ・行う</p> <p>シーリング <11.3.2><表11.3.1><11.3.3></p> <p>下表以外は、木造標準仕様書表11.3.1による。 ただし、外装壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは標準仕様書11章による。</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類(記号)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>シーリング材の目地寸法 ・ ※木造標準仕様書10.3.3(a)(1)から(3)までによる。</p> <p>○ 防水テープ <11.4.2></p> <p>両面粘着防水テープの幅 ・ ※50mm以上</p> <p>・バルコニー 手すり <11.4.3></p> <p>バルコニー手すりの工法 ・ 図示 ※木造標準仕様書11.4.3(7)①から⑤までによる</p> <p>・ケイ酸質系 塗布防水 <11.5.1>(9.6.1、3)(表9.6.1、2)</p> <p>防水層の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・C-U I</td> <td></td> <td>・C-U P</td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	シーリング材の種類(記号)							種別	施工箇所	種別	施工箇所	・C-U I		・C-U P		<p>12章 施工 石材</p> <p>・施工 (10.1.3、5)</p> <p>石材の割付け 図示 粗面仕上げの場合のみ込みとなる部分の仕上げ ・ 図示 屋内の床を本磨きとする場合のワックスがけ ・ 行う (適用箇所 ・すべて ・) ・行わない</p> <p>・石材等 (10.2.1、3)(表10.2.1、2)</p> <p>天然石</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>岩石の種類</th> <th>等級</th> <th>形状及び寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表面仕上げの種類</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・床石</td> <td></td> <td>※2等品</td> <td>※正方形に近い矩形(石材1枚の面積が0.8㎡以下)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>テラズブロック</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種石の種類</th> <th>種石の大きさ(mm)</th> <th>形状による区分</th> <th>仕上面に寸法による区分(mm)</th> <th>仕上げの種類</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※大理石 ・花こう岩</td> <td>※1.5~12</td> <td>・平もの ・役もの</td> <td>・片面 ・両面</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>テラズタイル</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種石の種類</th> <th>種石の大きさ(mm)</th> <th>寸法による区分</th> <th>表面仕上げ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※大理石 ・花こう岩</td> <td>※1.5~12</td> <td>・300型 ・400型</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	岩石の種類	等級	形状及び寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げの種類	備考	・床石		※2等品	※正方形に近い矩形(石材1枚の面積が0.8㎡以下)				施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状による区分	仕上面に寸法による区分(mm)	仕上げの種類	備考		※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・平もの ・役もの	・片面 ・両面			施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考		※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・300型 ・400型			<p>・外壁湿式工法 (10.2.2、3)(10.3.2、3)</p> <p>受金物 材質 ・ ※SUS304 形状及び寸法 ・L-75×75×6 (mm) の加工 長さ 100mm ・L-75×75×6 (mm) の加工 長さ 150mm</p> <p>アンカーの材質及び寸法 ・ ※SS400 M12 あと施工アンカーの材質及び寸法等 () ドレンパイプの材質 ・樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25~35φ</p> <p>石裏面処理 ・適用する ・適用しない 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない 下地ごしらえ ※流し筋工法 ・あと施工アンカー工法 ・あと施工アンカー・横筋流し工法</p> <p>目地 一般目地 目地幅(mm) ※6以上 シーリング材 ・適用する ・適用しない</p> <p>伸縮調整目地 位置 図示 ※標準仕様書表11.1.1 による シーリング材の目地寸法 ・ 図示 ※幅・深さとも10mm</p> <p>・内壁空積工法 (10.2.2)(10.4.2、3)</p> <p>受金物 材質 ・ ※SUS304 形状及び寸法 ・L-75×75×6 (mm) の加工 長さ 100mm ・L-75×75×6 (mm) の加工 長さ 150mm</p> <p>アンカーの材質及び寸法 ※SS400 M12 あと施工アンカーの材質及び寸法等 () 石裏面処理 ・適用する ・適用しない 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない 下地ごしらえ ※あと施工アンカー ・横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法</p> <p>目地 一般目地 目地幅(mm) ・ ※6以上 シーリング材 ・適用する ・適用しない</p> <p>伸縮調整目地 位置 図示 ※6mm程度ごと シーリング材の目地寸法 ・ 図示 ※幅・深さとも10mm</p> <p>・乾式工法 (10.2.2)(10.5.2、3)(表10.2.4)</p> <p>乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等 () 取付け方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式 アンカーの材質及び寸法 ・ ※ステンレス (SUS304) M10 あと施工アンカーの材質及び寸法等 () だぼ用の穴の位置 図示 ※標準仕様書10.5.2.(2)(7)による</p> <p>石裏面処理 ・適用する ・適用しない 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない 外壁の工法</p> <p>倍の風圧力に対応した工法 目地 目地幅(mm) ・ ※8以上 シーリング材 図示 ※標準仕様書9.7による</p> <p>・床及び階段の石張り (10.6.2、3)</p> <p>床石張りの石裏面処理 ・適用する ・適用しない 階段張りの石裏面処理 ・適用する ・適用しない 目地 一般目地 目地幅(mm) 図示 ・ 屋外4以上 ・ 屋内3~6 シーリング材 ・適用する ・適用しない</p> <p>伸縮調整目地 位置 ・ 図示 ※床面積 30㎡ 程度ごと、細長い通路の場合 6m 程度ごと及び他の部材と取り合う箇所</p> <p>シーリング材の目地寸法 ・ 図示 ※幅・深さとも10mm</p> <p>・アーチ、上げ裏等の石張り (10.2.2)(10.7.1、2)</p> <p>取付け工法 ・内壁空積工法 ・乾式工法</p>	<p>13章 施工 タイル</p> <p>○ 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11.1.3)(表11.1.1)</p> <p>位置 図示 ※標準仕様書表11.1.1による 目地寸法 図示 ※標準仕様書表9.7.3による</p> <p>○ セメントモルタルによるタイル張り (11.2.2、7)</p> <p>タイルの形状、寸法等</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状寸法(mm)</th> <th>再生材料の適用(G)</th> <th>吸水率による区分 I Ⅱ Ⅲ Ⅳ</th> <th>うわすり 有 無</th> <th>役物 有 無</th> <th>色 種 類</th> <th>耐凍害性 有 無</th> <th>耐汚濁性 有 無</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行う ○行わない 見本焼き ・行う ○行わない 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・目荒し工法 (高圧水洗処理) ・MCR工法 壁タイル張りの工法 内装タイル ・密着張り ・改良積上げ張り ・改良圧着張り ・ユニットタイル 外装タイル ・密着張り ・改良積上げ張り ・改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り</p> <p>既製調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 (品質・性能)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>保水率</td> <td>70.0%以上</td> </tr> <tr> <td>単位容積質量</td> <td>1.8kg/L以上</td> </tr> <tr> <td>接着強さ</td> <td>標準時 0.6N/mm²以上 温冷繰り返し後 0.4N/mm²以上</td> </tr> <tr> <td>長さ変化率</td> <td>0.2%以下</td> </tr> <tr> <td>曲げ強さ</td> <td>4.0N/mm²以上</td> </tr> </table>	施工箇所	形状寸法(mm)	再生材料の適用(G)	吸水率による区分 I Ⅱ Ⅲ Ⅳ	うわすり 有 無	役物 有 無	色 種 類	耐凍害性 有 無	耐汚濁性 有 無	備考			○	○	○	○	○	○	○																						項目	品質・性能	保水率	70.0%以上	単位容積質量	1.8kg/L以上	接着強さ	標準時 0.6N/mm ² 以上 温冷繰り返し後 0.4N/mm ² 以上	長さ変化率	0.2%以下	曲げ強さ	4.0N/mm ² 以上
施工箇所	シーリング材の種類(記号)																																																																																																														
種別	施工箇所	種別	施工箇所																																																																																																												
・C-U I		・C-U P																																																																																																													
施工箇所	岩石の種類	等級	形状及び寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げの種類	備考																																																																																																									
・床石		※2等品	※正方形に近い矩形(石材1枚の面積が0.8㎡以下)																																																																																																												
施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状による区分	仕上面に寸法による区分(mm)	仕上げの種類	備考																																																																																																									
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・平もの ・役もの	・片面 ・両面																																																																																																											
施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考																																																																																																										
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・300型 ・400型																																																																																																												
施工箇所	形状寸法(mm)	再生材料の適用(G)	吸水率による区分 I Ⅱ Ⅲ Ⅳ	うわすり 有 無	役物 有 無	色 種 類	耐凍害性 有 無	耐汚濁性 有 無	備考																																																																																																						
		○	○	○	○	○	○	○																																																																																																							
項目	品質・性能																																																																																																														
保水率	70.0%以上																																																																																																														
単位容積質量	1.8kg/L以上																																																																																																														
接着強さ	標準時 0.6N/mm ² 以上 温冷繰り返し後 0.4N/mm ² 以上																																																																																																														
長さ変化率	0.2%以下																																																																																																														
曲げ強さ	4.0N/mm ² 以上																																																																																																														
<p>10章 施工 木</p> <p>○ 材料 <10.2.2></p> <p>木工事に使用する木材等は、使用材料表9による</p> <p><10.2.3></p> <p>木工事に使用する合板等は、使用材料表10による</p> <p><10.2.4></p> <p>○ 釘</p> <p>○JIS A 5508 材質 () ・JIS A 5508に規定されているもの以外の釘 ・材質 () ・造作材化粧面の釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し ※隠し釘打ち</p> <p>・木ねじ</p> <p>・JIS B 1112又はJIS B 1135 材質 ※ステンレス ・JIS B 1112又はJIS B 1135に規定されているもの以外の木ねじ 材質 ()</p> <p>○ 表面仕上げ <10.1.3></p> <p>○ 製材の表面仕上げ</p> <p>○機械加工 ・A種 ○B種 ・C種 <表10.1.1> ・手加工 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 <表10.1.2> ※内部造作材はH-B種 ※下地材はH-C種 ・造作用集成材の表面仕上げ ・機械加工 ・A種 ・B種 ・C種 <表10.1.1></p> <p>・木材の耐候性 処理 <10.3.1>(18.13.2)</p> <p>屋外に使用する仕上げ木材</p> <p>・木材保護塗料塗り 施工箇所 図示 種別 ・A種 ・B種</p> <p>・木材の防虫 処理 <10.3.2></p> <p>施工箇所 図示 処理方法 図示</p>	<p>(工事名) 南沢森林事務所新築工事 A-05</p> <p>木造特記仕様書(その5) A1: - A3: -</p> <p>秋田県建築設計事業協同組合 令和8年3月 5.1</p>																																																																																																														

	<p>(試験方法)</p> <p>(1) 試料の調製 製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。 練り混ぜは、JIS R5201「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。</p> <p>(2) 保水率の試験方法 JIS R3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス(縦150mm、横150mm、厚さ5mm)の上にJIS P3801「ろ紙(化学分析用)」に規定する5Aろ紙(直径11cm)のをせ、その中央部に真ちゆう製リング型わく(内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm)を設置し、(1)で調製した試料を金べらで平滑に詰込む。 その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるよう静置する。60分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて、1mmの単位まで測定する。試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。 保水率=50/平均値×100 (注) 50:リング型わくの径 mm</p> <p>(3) 単位容積質量の試験方法 JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。</p> <p>(4) 接着強さ(標準時)の試験方法 イ) 適用タイルが「モザイクタイルの場合」(試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押し出し又はプレス成形による施ゆうの「50角ユニットタイル(外のり寸法約300mm×300mm)」を圧着する。 その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) JIS A6909「建築用仕上塗材」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、エポキシ樹脂接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜き取る(全てが0.6N/mm²以上を確保していること。)</p> <p>ロ) 適用タイルが「小口タイル・二丁掛けタイル」の場合(試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ7mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押し出し又はプレス成形による施ゆうの「小口タイル108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。 その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) 「モザイクタイル」の場合と同様に行う。</p> <p>(5) 接着強さ(温冷繰返し後)の試験方法 (試験体の作製) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛けタイル」とも、各々(4)接着強さ(標準時)の試験方法の「試験体」と同様とする。 (温冷繰返し試験) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛けタイル」とも、各々JISA6909「建築用仕上塗材」に規定する7.11温冷繰返し試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20℃±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちに-20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加温し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視によって調べる。 (温冷繰返し後の接着強さ試験方法) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛けタイル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さの試験方法と同様に行う。(全てが0.4N/mm²以上を確保していること。)</p> <p>(6) 長さ変化率の試験方法 JIS A6203「セメント混和用ポリマーディスペーション及び再乳化形粉末樹脂」9.9長さ変化率に準ずる。</p> <p>(7) 曲げ強さの試験方法 JIS A6916「建築下地調整塗材」の7.11曲げ強さ試験に準ずる。 試験室の状態: 試験室は、温度20±2℃、湿度65±10%とする。</p> <p>既製調合目地材 (品質・性能)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>保水率</td> <td>30.0%以上</td> </tr> <tr> <td>長さ変化率</td> <td>0.2%以下(収縮)</td> </tr> <tr> <td>吸水量</td> <td>50g以下</td> </tr> <tr> <td>単位容積質量</td> <td>1.80kg/L以上</td> </tr> </table>	項目	品質・性能	保水率	30.0%以上	長さ変化率	0.2%以下(収縮)	吸水量	50g以下	単位容積質量	1.80kg/L以上
項目	品質・性能										
保水率	30.0%以上										
長さ変化率	0.2%以下(収縮)										
吸水量	50g以下										
単位容積質量	1.80kg/L以上										

	<p>(試験方法)</p> <p>(1) 試験の条件 試験室は、温度20±2℃、湿度65±5%RHの標準状態とする。また、試験に使用する材料、器具などを、予め24時間以上標準状態に置いた後使用する。</p> <p>(2) 試料の調整 正味質量と標準練り上がり量より、1.0~1.2Lの試料を練り上げるのに要する材料に相当する量を計算して用意し、さらに標準加水量より用意した材料に相当する量の練り混ぜ水を計算して用意する。 練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」11.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し3分間練り混ぜて試料とする。</p> <p>(3) 保水性(ろ紙法) JIS R 3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス(縦200mm、横200mm、厚さ5mm)の上にJIS P 3801「ろ紙(化学分析用)」に規定する5Aろ紙(直径18.5cm)のをせ、その中央部に真鍮製リング型わく(内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm)を設置し、(2)で練り混ぜた試料を金べらで平滑に詰め込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。10分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて1mmまで測定する。試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。 保水率(%)=50/平均値×100 (注) 50:リング型わくの径(mm)</p> <p>(4) 単位容積質量 (2)で練り混ぜた試料を、JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」の6.4に規定する方法で求める。</p> <p>(5) 長さ変化率 (2)で調整した試料を用いてJIS A 1171の7.8長さ変化率試験に従って行う。</p> <p>(6) 吸水量 (2)で調整した試料を用いてJIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」7.5に規定する方法で24時間の吸水量を求める。試験体数は3個とし、その平均値とする。</p> <p>タイルの形状、寸法等 (11.3.2~4、7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法(mm)</th> <th rowspan="2">再生材料の適用</th> <th colspan="2">吸水率による区分</th> <th colspan="2">うわぐすり</th> <th colspan="2">役物</th> <th colspan="2">色</th> <th colspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>I類</th> <th>II類</th> <th>III類</th> <th>IV類</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>有</th> <th>無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行う ・行わない 見本焼き ・行う ・行わない</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p> <p>目地シーリング材 打継ぎ目地 ※ポリウレタン系シーリング材</p> <p>ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系シーリング材</p> <p>伸縮調整目地 ※変成シリコーン系シーリング材</p> <p>その他の目地 ※変成シリコーン系シーリング材</p> <p>下地調整塗材を行うコンクリート素地面の処理 ・MCR工法 ・目荒し工法(高圧水洗処理)</p>	施工箇所	形状寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分		うわぐすり		役物		色		耐凍害性		備考	I類	II類	III類	IV類	有	無	有	無	有	無																																										
施工箇所	形状寸法(mm)				再生材料の適用	吸水率による区分		うわぐすり		役物		色		耐凍害性		備考																																																			
		I類	II類	III類		IV類	有	無	有	無	有	無																																																							

<p>14章 図 14.2.2</p> <p>○ 材料</p>	<p><14.2.2></p> <p>下葺材料 ○アスファルトルーフィング940 ※改質アスファルトルーフィング下葺材(一般タイプ)</p> <p>改質アスファルトルーフィングの積雪寒冷地対策 ・行う</p>														
<p>○ 金属板葺</p>	<p><14.3.2~8></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">板及びコイルの種類</th> <th rowspan="2">塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号</th> <th rowspan="2">厚さ(mm)</th> <th rowspan="2">屋根葺形式</th> <th colspan="2">固定釘等の材質</th> </tr> <tr> <th>葺</th> <th>葺</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※JIS G 3322の屋根用コイル</td> <td></td> <td></td> <td>・平葺(一文字葺) ・心木あり瓦葺葺 ・心木なし瓦葺葺 ・横葺 ○立平葺</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>心木の防蟻・防蟻処理方法()</p>	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式	固定釘等の材質		葺	葺	※JIS G 3322の屋根用コイル			・平葺(一文字葺) ・心木あり瓦葺葺 ・心木なし瓦葺葺 ・横葺 ○立平葺		
板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号					厚さ(mm)	屋根葺形式	固定釘等の材質							
		葺	葺												
※JIS G 3322の屋根用コイル			・平葺(一文字葺) ・心木あり瓦葺葺 ・心木なし瓦葺葺 ・横葺 ○立平葺												

<p>・折板葺</p> <p><14.4.2、3><表14.3.1></p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形式</th> <th>山高、山ピッチによる区分</th> <th>耐力による区分</th> <th>材料による区分</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>軒先面戸板</th> <th>耐火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・重ね形 ・はげ絡め形</td> <td></td> <td>()種</td> <td></td> <td></td> <td>・有り ・無し</td> <td>・30分 ・無し</td> </tr> </tbody> </table> <p>材料 板及びコイルの種類() 塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類および記号()</p> <p>断熱材 ・有り(種別): 厚さ(mm): 防火性能: 時間) ・無し</p> <p>タイトフレームを留め付ける下地材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>形状</th> <th>寸法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>工法 建築基準法に基づく風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法 雪止め ・設置する(施工箇所 ・図示 ・)</p>	施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能		・重ね形 ・はげ絡め形		()種			・有り ・無し	・30分 ・無し	材質	形状	寸法																										
施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能																																							
	・重ね形 ・はげ絡め形		()種			・有り ・無し	・30分 ・無し																																							
材質	形状	寸法																																												
<p>・粘土瓦葺</p> <p><14.5.2、3></p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">種類</th> <th colspan="5">役物</th> <th rowspan="2">大きさ</th> <th rowspan="2">産地等</th> </tr> <tr> <th>形状による区分</th> <th>製法による区分</th> <th>寸法による区分</th> <th>軒瓦</th> <th>そで瓦</th> <th>のし瓦</th> <th>冠瓦</th> <th>半瓦</th> <th>雪止め瓦</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・J形瓦</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・S形瓦</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・F形瓦</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>補強用心木の防蟻・防蟻処理方法()</p> <p>工法 建築基準法に基づく風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法 瓦葺木の留付け工法 ※図示 棟の工法 ・木造標準仕様書14.5.3(5)(7)から(イ)までによる</p>	種類		役物					大きさ	産地等	形状による区分	製法による区分	寸法による区分	軒瓦	そで瓦	のし瓦	冠瓦	半瓦	雪止め瓦	・J形瓦			・	・	・	・	・	・	・S形瓦			・	・	・	・	・	※図示	・F形瓦			・	・	・	・	・	
種類		役物					大きさ	産地等																																						
形状による区分	製法による区分	寸法による区分	軒瓦	そで瓦	のし瓦	冠瓦			半瓦	雪止め瓦																																				
・J形瓦			・	・	・	・	・	・																																						
・S形瓦			・	・	・	・	・	※図示																																						
・F形瓦			・	・	・	・	・																																							
<p>・スレート葺</p> <p><14.6.2></p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">寸法(mm)(全長さ×全幅)</th> <th colspan="2">役物</th> <th rowspan="2">着色(色調)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>棟</th> <th>けらば</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・平形</td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・無・有()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・波形</td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・無・有()</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>工法 建築基準法に基づく風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法 雪止め ・設置する(図示)</p>	種類	寸法(mm)(全長さ×全幅)	役物		着色(色調)	備考	棟	けらば	・平形		・	・	・無・有()		・波形		・	・	・無・有()																										
種類	寸法(mm)(全長さ×全幅)			役物				着色(色調)	備考																																					
		棟	けらば																																											
・平形		・	・	・無・有()																																										
・波形		・	・	・無・有()																																										
<p>・アスファルトシングル葺</p> <p><14.7.2></p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>品質</th> <th>形状</th> <th>色調</th> <th>寸法(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>工法 建築基準法に基づく風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法 軒先、けらば等に曲面を設ける場合 ・ ※半径500mm以上 雪止め ・設置する(図示)</p>	品質	形状	色調	寸法(mm)	備考																																								
品質	形状	色調	寸法(mm)	備考																																										

<p>・と い</p> <p><14.8.2、3><表14.8.1></p>	<p>とこの材料 ・金属材料(鋼板を除く) 種類 ・木造標準仕様書表14.8.1() 板厚 ・谷どい 種類 ・木造標準仕様書表14.8.1() 板厚 ・鋼板 板厚 ※一般部0.35mm、谷どい部0.4mm</p> <p>・硬質塩化ビニル樹脂製 種類 () 外径 () 厚さ () 長さ ()</p> <p>とこの受金物 材種 ・溶融亜鉛めっきを行った鋼板製 ・鋼板製 形状 ・市販品(とこの径100以下) ・25×4.5以上</p> <p>足金物 材種 ・溶融亜鉛めっきを行った鋼板製 ・鋼板製 多雪地域 ・適用する ・適用しない</p> <p>硬質塩化ビニル製集水器の形状 ・図示 硬質塩化ビニル製あんこの形状 ・図示</p>																																																					
<p>15章 倒 壊 工 事</p> <p>○ ステンレスの表面仕上げ (14.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ※HL程度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鏡面仕上げ程度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ No.2B程度</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2)(表14.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>色合い等</th> <th>施工箇所(成形板、笠木、建具以外)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ AB-1種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ AB-2種</td> <td>・標準色・特注色</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ AC-1種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ AC-2種</td> <td>・標準色・特注色</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ BA-1種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ BA-2種</td> <td>・標準色・特注色</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ BB-1種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ BB-2種</td> <td>・標準色・特注色</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ BC-1種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ BC-2種</td> <td>・標準色・特注色</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td>・標準色・特注色</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>陽極酸化皮膜の着色方法 ・ ※二次電解着色 (14.2.3)(表14.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表面処理方法</th> <th>種 別</th> <th>施工箇所(手すり、タラップ以外)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 溶融亜鉛めっき</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 電気亜鉛めっき</td> <td>・ D種 ・ E種 ・ F種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種 類	施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)	・ ※HL程度		・ 鏡面仕上げ程度		・ No.2B程度		種 別	色合い等	施工箇所(成形板、笠木、建具以外)	・ AB-1種			・ AB-2種	・標準色・特注色		・ AC-1種			・ AC-2種	・標準色・特注色		・ BA-1種			・ BA-2種	・標準色・特注色		・ BB-1種			・ BB-2種	・標準色・特注色		・ BC-1種			・ BC-2種	・標準色・特注色		・ C種	・標準色・特注色		表面処理方法	種 別	施工箇所(手すり、タラップ以外)	・ 溶融亜鉛めっき	・ A種 ・ B種 ・ C種		・ 電気亜鉛めっき	・ D種 ・ E種 ・ F種		<p>(14.4.2~4)(表14.4.1)</p> <p>野縁等の種類 屋外 ・ ※25形 屋内 ・ ※19形</p> <p>・ 屋外の軒天井、ピロティ天井等 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・ 図示 周辺部の端からの間隔 ・ 図示 野縁の間隔 ・ 図示</p> <p>・ 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ・ 図示</p> <p>・ 天井のふところ高が1.5m以上3.0m以下の場合 補強方法 ・ 図示 ※標準仕様書14.4.4(8)による</p> <p>・ 天井のふところ高が3.0mを超える場合 補強方法 ・ 図示</p> <p>・ 天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ・ 図示 補強方法 ・ 図示</p>
種 類	施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)																																																					
・ ※HL程度																																																						
・ 鏡面仕上げ程度																																																						
・ No.2B程度																																																						
種 別	色合い等	施工箇所(成形板、笠木、建具以外)																																																				
・ AB-1種																																																						
・ AB-2種	・標準色・特注色																																																					
・ AC-1種																																																						
・ AC-2種	・標準色・特注色																																																					
・ BA-1種																																																						
・ BA-2種	・標準色・特注色																																																					
・ BB-1種																																																						
・ BB-2種	・標準色・特注色																																																					
・ BC-1種																																																						
・ BC-2種	・標準色・特注色																																																					
・ C種	・標準色・特注色																																																					
表面処理方法	種 別	施工箇所(手すり、タラップ以外)																																																				
・ 溶融亜鉛めっき	・ A種 ・ B種 ・ C種																																																					
・ 電気亜鉛めっき	・ D種 ・ E種 ・ F種																																																					
<p>・ 軽量鉄骨天井下地</p> <p><14.6.2></p>	<p>(14.4.2~4)(表14.4.1)</p> <p>野縁等の種類 屋外 ・ ※25形 屋内 ・ ※19形</p> <p>・ 屋外の軒天井、ピロティ天井等 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・ 図示 周辺部の端からの間隔 ・ 図示 野縁の間隔 ・ 図示</p> <p>・ 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ・ 図示</p> <p>・ 天井のふところ高が1.5m以上3.0m以下の場合 補強方法 ・ 図示 ※標準仕様書14.4.4(8)による</p> <p>・ 天井のふところ高が3.0mを超える場合 補強方法 ・ 図示</p> <p>・ 天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ・ 図示 補強方法 ・ 図示</p>																																																					

<p>(工事名) 南沢森林事務所新築工事</p>	<p>A-06</p>
<p>木造特記仕様書(その6)</p>	<p>7</p>
<p>秋田県建築設計事業協同組合 令和 8年 3月</p>	<p>51</p>

<p>・ 軽量鉄骨壁下地</p> <p>・ 金属成形板張り</p> <p>・ アルミニウム製笠木</p> <p>○ 手すり及びタラップ</p>	<p>(14.5.3)(表14.5.1)</p> <p>スタッド、ランナーの種類</p> <p>※標準仕様書表14.5.1による</p> <p>スタッドの高さによる区分に応じた種類</p> <p>スタッドの高さが5.0mを超える場合 図示</p> <p>出入口及びこれに準ずる開口部の補強</p> <p>※標準仕様書表14.5.4(5)による</p> <p>(14.6.2.3)(表14.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">製法</th> <th rowspan="2">形状</th> <th rowspan="2">寸法(mm)</th> <th rowspan="2">板厚(mm)</th> <th colspan="2">表面処理</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>色合い等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・アルミニウム</td> <td rowspan="2">・押し出し ・ロール</td> <td rowspan="2">スパン ドレル形</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・プレス</td> <td rowspan="2">パネル形</td> </tr> </tbody> </table> <p>取付け用下地 設ける (施工箇所 図示)</p> <p>伸縮調整継手 設けない</p> <p>(14.7.2.3)(表14.2.1)(表14.7.1)</p> <p>種類 250形 300形 350形</p> <p>表面処理 種別 () 種 色合い等 (標準色 特注色)</p> <p>笠木の固定金具の工法等</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力の (1 1.15 1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>(14.8.2.3)</p> <p>手すり SUS304</p> <p>表面処理 HL程度</p> <p>鋼製</p> <p>表面処理 ※標準仕様書表14.2.2 C種</p> <p>タラップ SUS304</p> <p>表面処理 研磨なし HL程度</p> <p>鋼製</p> <p>表面処理 ※標準仕様書表14.2.2 C種</p>	種別	製法	形状	寸法(mm)	板厚(mm)	表面処理		種別	色合い等	・アルミニウム	・押し出し ・ロール	スパン ドレル形					・プレス	パネル形	<p>・ セルフレベリング材塗り</p> <p>・ 仕上げ塗材仕上げ</p> <p>(15.5.2)(表15.5.1)</p> <p>・ せっこう系 ・ セメント系</p> <p>(15.6.2)</p> <p>建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※規制対象外</p> <p>仕上げ塗材の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>防火材料</th> <th>仕上げの形状及び工法等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">・薄付け仕上げ塗材</td> <td>・外装薄塗材Si</td> <td>・</td> <td>・砂壁状</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材Si</td> <td>・</td> <td>・ゆず肌状 (吹付け ローラー塗り)</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材E</td> <td>・</td> <td>・さざ波状</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材E</td> <td>・</td> <td>・平たん状</td> </tr> <tr> <td>・防水形外装薄塗材E</td> <td>・</td> <td>・凹凸状 (吹付け 塗り)</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材S</td> <td>・</td> <td>・着色骨材砂壁状 (吹付け 塗り)</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材C</td> <td>・</td> <td>・砂壁状じゅらく</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材L</td> <td>・</td> <td>・京壁状じゅらく</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材Si</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材E</td> <td>・</td> <td>・吸放湿性 適用する 適用しない</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">・厚付け仕上げ塗材</td> <td>・外装厚塗材C</td> <td>・</td> <td>・吹出し 凸部処理 平たん状</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材Si</td> <td>・</td> <td>・凹凸状 ひき起こし かき落とし</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材E</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材C</td> <td>・</td> <td>・吸放湿性 適用する 適用しない</td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材L</td> <td>・</td> <td>・上塗材 適用する 適用しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>(15.6.4)</p> <p>ALCパネルの場合の下地処理</p> <p>(15.7.2)</p> <p>マステック塗材塗り</p> <p>種別 A種 B種</p> <p>(15.8.3)</p> <p>せっこうプラスター塗り</p> <p>下塗り</p> <p>既調合プラスター (下塗り用)</p> <p>現場調合プラスター (下塗り用)</p> <p>上塗り</p> <p>既調合プラスター (上塗り用)</p> <p>しっくい塗り</p> <p>(15.12.2.3)</p> <p>ロックウール吹付け</p> <p>ロックウールのホルムアルデヒド放散量</p> <p>※規制対象外</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※規制対象外</p> <p>仕上げ吹付け厚さ (mm) 図示 25</p> <p>(15.10.2.3)</p> <p>しっくい塗り</p> <p>しっくい</p> <p>現場調合材料 ※標準仕様書15.10.2(1)(7)による</p> <p>既調合材料</p> <p>製造所 ()</p> <p>種類 ()</p> <p>下地</p> <p>※木ずり、こまい土壁塗り、せっこうラスボード、せっこうボード</p> <p>調合及び塗厚</p> <p>木ずり下地の場合 ※標準仕様書表15.10.1</p> <p>こまい土壁下地の場合 ※標準仕様書表15.10.2</p> <p>(15.11.2.3、4、5、7、8)</p> <p>こまい土壁塗り</p> <p>のり</p> <p>土壁用ののり ぶのり ※つのまた ぎんなんそう 粉末海藻</p> <p>砂壁用ののり ※ぶのり つのまた こんにやくのり にかわ 合成樹脂系混和剤</p> <p>色土</p> <p>土物仕上に用いる色土の種類 ()</p> <p>大津仕上に用いる色土の種類 ()</p> <p>色砂の種類</p> <p>天然砂と岩石の砕砂</p> <p>人工的に着色 製造したもの</p> <p>調合</p> <p>下塗りの場合</p> <p>※標準仕様書表15.11.2</p> <p>塗厚</p> <p>建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合 ()</p> <p>※標準仕様書表15.11.3による</p> <p>工程 ※A種 B種</p> <p>土物仕上げ</p> <p>種類</p> <p>土物仕上げ工法</p> <p>水ごね土物1工法 水ごね土物2工法</p> <p>のりさし土物工法 のりごね土物工法</p> <p>砂壁仕上げ工法</p> <p>切返し仕上げ工法</p> <p>大津仕上げ</p> <p>種類</p> <p>普通大津仕上げ工法 大津みがき仕上げ工法</p>	種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等	・薄付け仕上げ塗材	・外装薄塗材Si	・	・砂壁状	・可とう形外装薄塗材Si	・	・ゆず肌状 (吹付け ローラー塗り)	・外装薄塗材E	・	・さざ波状	・可とう形外装薄塗材E	・	・平たん状	・防水形外装薄塗材E	・	・凹凸状 (吹付け 塗り)	・外装薄塗材S	・	・着色骨材砂壁状 (吹付け 塗り)	・内装薄塗材C	・	・砂壁状じゅらく	・内装薄塗材L	・	・京壁状じゅらく	・内装薄塗材Si	・	・	・内装薄塗材E	・	・吸放湿性 適用する 適用しない	・厚付け仕上げ塗材	・外装厚塗材C	・	・吹出し 凸部処理 平たん状	・外装厚塗材Si	・	・凹凸状 ひき起こし かき落とし	・外装厚塗材E	・	・	・内装厚塗材C	・	・吸放湿性 適用する 適用しない	・内装厚塗材L	・	・上塗材 適用する 適用しない	<p>17章 建築工事</p> <p>防火戸 (16.1.3)</p> <p>○ 見本の製作等 (16.1.4)</p> <p>建具見本の製作</p> <p>行う (建具符号:) 行わない</p> <p>建具見本の程度</p> <p>工事に使用するものとして、あらかじめ製作する</p> <p>納まり等が分かる程度のもの</p> <p>特殊な建具の仮組</p> <p>行う (建具符号:) 行わない</p> <p>防犯建物部品 (16.1.6)</p> <p>○ アルミニウム製建具 (16.2.2.4、5)(表14.2.1)(表16.2.1)</p> <p>性能値等</p> <p>耐風圧性の等級 () 気密性の等級 ()</p> <p>水密性の等級 ()</p> <p>外部に面する建具の種類</p> <p>A種 (建具符号: 建具表による)</p> <p>B種 (建具符号: 建具表による)</p> <p>C種 (建具符号: 建具表による)</p> <p>D種 (建具符号: 建具表による)</p> <p>E種 (建具符号: 建具表による)</p> <p>防音ドア 防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号: 建具表による)</p> <p>断熱ドア 断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号: 建具表による)</p> <p>耐震ドア 面内変形追随性の等級 () (建具符号: 建具表による)</p> <p>ステンレス鋼板 ※SUS304、430J1L又はSUS443J1</p> <p>枠の見込み寸法 建具表による</p> <p>表面処理</p> <p>外部に面する建具</p> <p>種別 BB-1 BB-2 (標準仕様書表14.2.1)</p> <p>着色 標準色 特注色</p> <p>屋内の建具</p> <p>種別 BC-1 BC-2 (標準仕様書表14.2.1)</p> <p>着色 標準色 特注色</p> <p>結露水の処理方法 図示</p> <p>水切り板、ぜん板 図示</p> <p>○ 網戸等 (16.2.3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 防虫網</td> <td>※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (SUS316) 製</td> <td>※ 0.25mm 以上</td> <td>※ 16~18 メッシュ</td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>ステンレス (SUS304) 線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法 15mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>性能等級</p> <p>性能値等</p> <p>耐風圧性の等級 () 気密性の等級 ()</p> <p>水密性の等級 ()</p> <p>外部に面する建具</p> <p>A種 (建具符号: 建具表による)</p> <p>B種 (建具符号: 建具表による)</p> <p>C種 (建具符号: 建具表による)</p> <p>D種 (建具符号: 建具表による)</p> <p>E種 (建具符号: 建具表による)</p> <p>防音ドア 防音サッシ 遮音性の等級 (T-1 T-2) (建具符号: 建具表による)</p> <p>断熱ドア 断熱サッシ 断熱性の等級 (H-4 H-5 H-6) (建具符号: 建具表による)</p> <p>枠の見込み寸法 建具表による</p> <p>表面色 標準色 特注色</p> <p>水切り板、ぜん板 ※図示</p> <p>ガラス ※複層ガラス</p> <p>鋼製建具 (16.2.2)(16.4.2~4)(表16.4.2)</p> <p>性能等級</p> <p>簡易気密型ドアセット</p> <p>適用する (建具符号: 建具表による)</p> <p>適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性</p> <p>S-4 (建具符号: 建具表による)</p> <p>S-5 (建具符号: 建具表による)</p> <p>S-6 (建具符号: 建具表による)</p> <p>防音ドア 防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号: 建具表による)</p> <p>断熱ドア 断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号: 建具表による)</p> <p>耐震ドア 面内変形追随性の等級 () (建具符号: 建具表による)</p> <p>ステンレス鋼板 ※SUS304、430J1L又はSUS443J1</p> <p>鋼板類の厚さ(mm) ※標準仕様書表16.4.2による</p>	種類	材質	線径	網目	○ 防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (SUS316) 製	※ 0.25mm 以上	※ 16~18 メッシュ	・防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法 15mm	<p>鋼製軽量建具 (16.2.2)(16.5.2~4)</p> <p>性能等級</p> <p>簡易気密型ドアセット</p> <p>適用する (建具符号: 建具表による)</p> <p>適用しない</p> <p>防音ドア 防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号: 建具表による)</p> <p>断熱ドア 断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号: 建具表による)</p> <p>耐震ドア 面内変形追随性の等級 () (建具符号: 建具表による)</p> <p>材料 鋼板 ※亜鉛めっき鋼板 ビニル被膜鋼板</p> <p>カラー鋼板 ステンレス鋼板</p> <p>ステンレス鋼板 ※SUS304、430J1L又はSUS443J1</p> <p>鋼板類の厚さ(mm) 使用箇所 ()</p> <p>※標準仕様書表16.5.1による</p> <p>召合せ、縦小口包み板の材質 ※鋼板</p> <p>ステンレス製建具 (16.2.2)(16.4.2)(16.6.2~5)</p> <p>性能等級</p> <p>簡易気密型ドアセット</p> <p>適用する (建具符号: 建具表による)</p> <p>適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性</p> <p>S-4 (建具符号: 建具表による)</p> <p>S-5 (建具符号: 建具表による)</p> <p>S-6 (建具符号: 建具表による)</p> <p>防音ドア 防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号: 建具表による)</p> <p>断熱ドア 断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号: 建具表による)</p> <p>耐震ドア 面内変形追随性の等級 () (建具符号: 建具表による)</p> <p>ステンレス鋼板 ※SUS304、430J1L又はSUS443J1</p> <p>表面仕上げ ※HL 鏡面仕上げ</p> <p>ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ 角出し曲げ</p> <p>(16.7.2~4)</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率 ※B種</p> <p>建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※規制対象外</p> <p>○ フラッシュ戸</p> <p>表面材の合板の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○普通合板 G</td> <td>表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ラワン合板程度) 不透明塗料塗り (※しな合板程度) 板面の品質 () 接着の程度 (1類 2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板 G</td> <td>樹種名 () 接着の程度 (1類 2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・特殊加工化粧合板 G</td> <td>化粧加工の方法 (オーパーレイ プリント 塗装) 表面性能 () タイプ 接着の程度 (1類 2類)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>表面材の厚さ ※標準仕様書表16.7.6による</p> <p>かまち戸</p> <p>かまち樹種 () 鏡板樹種 ()</p> <p>見込み寸法 建具表による ※36mm</p> <p>ふすま</p> <p>張りの種別 (I型 II型)</p> <p>上張り (押入等の裏側以外)</p> <p>鳥の子</p> <p>新鳥の子又はビニル紙程度</p> <p>縁仕上げ</p> <p>塗り縁 生地縁 (素地)</p> <p>生地縁 (ウレタンクリヤー塗装)</p> <p>見込み寸法 建具表による ※19.5mm</p> <p>戸ぶすま</p> <p>見込み寸法 建具表による ※30mm</p> <p>紙張り障子</p> <p>見込み寸法 建具表による ※30mm</p> <p>枠、くつずりの材料 建具表による</p>	合板の種類	規格等	備考	○普通合板 G	表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ラワン合板程度) 不透明塗料塗り (※しな合板程度) 板面の品質 () 接着の程度 (1類 2類)		・天然木化粧合板 G	樹種名 () 接着の程度 (1類 2類)		・特殊加工化粧合板 G	化粧加工の方法 (オーパーレイ プリント 塗装) 表面性能 () タイプ 接着の程度 (1類 2類)		<p>(16.2.2)(16.5.2~4)</p> <p>(16.2.2)(16.4.2)(16.6.2~5)</p> <p>(16.7.2~4)</p> <p>(16.2.3)</p> <p>(16.2.5)(16.3.2~5)</p> <p>(16.2.2)(16.4.2~4)(表16.4.2)</p> <p>(16.2.2)(16.4.2)(表16.4.2)</p> <p>(16.2.2)(16.5.2~4)</p> <p>(16.2.2)(16.4.2)(表16.4.2)</p> <p>(16.2.2)(16.5.2~4)</p>	<p>16章 工事</p> <p>○ モルタル塗り (15.3.2.5)</p> <p>モルタル</p> <p>現場調合材料 既調合材料</p> <p>既調合材料 ()</p> <p>既製目地材 設ける 施工箇所 ()</p> <p>形状 (※図示)</p> <p>設けない</p> <p>床の目地 設ける (目地割り)</p> <p>※2㎡程度 (最大目地間隔3m程度)</p> <p>(種類 ※押し目地)</p> <p>設けない</p> <p>外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着剤試験</p> <p>適用する 適用しない</p> <p>防水剤 (品質・性能)</p> <p>(試験方法) JIS A1404「建築用セメント防水剤試験方法」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防水剤の種類</td> <td>建築用のモルタルに用いるセメント防水剤</td> </tr> <tr> <td>混合割合</td> <td>セメント重量の5%以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(凝結時間 始発:1時間以上 終結:10時間以内)</td> </tr> <tr> <td>凝結及び安定性</td> <td>(安定性) 収縮性、膨張性のひび割れ及びそりに確認する。</td> </tr> <tr> <td>曲げ及び圧縮強度比</td> <td>防水剤を混入したもの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比 70%以上</td> </tr> <tr> <td>吸水比</td> <td>吸水比 95%以下</td> </tr> <tr> <td>透水比</td> <td>防水剤を混入したもの、しないものの透水比 80%以下、ただし、透水試験における水圧は、3.0×10 Paとし1時間行う</td> </tr> </tbody> </table> <p>ラス系下地 (15.2.4)</p> <p>ラス系下地</p> <p>通気構法単層下地</p> <p>換気口部の防水処理</p> <p>通気構法二層下地</p> <p>直張りラスモルタル下地</p> <p>直張りラスシートモルタル下地</p> <p>耐力壁、防火構造、準防火構造等の指定 ()</p> <p>ラスの材料</p> <p>素材による区分 ()</p> <p>種類 ()</p> <p>単位面積当たりの質量 ()</p> <p>(工事名) 南沢森林事務所新築工事</p> <p>木造特記仕様書 (その7) A1: - A3: -</p> <p>秋田県建築設計事業協同組合 令和 8年 3月</p> <p>A-07</p> <p>8</p> <p>51</p>	項目	品質・性能	防水剤の種類	建築用のモルタルに用いるセメント防水剤	混合割合	セメント重量の5%以下		(凝結時間 始発:1時間以上 終結:10時間以内)	凝結及び安定性	(安定性) 収縮性、膨張性のひび割れ及びそりに確認する。	曲げ及び圧縮強度比	防水剤を混入したもの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比 70%以上	吸水比	吸水比 95%以下	透水比	防水剤を混入したもの、しないものの透水比 80%以下、ただし、透水試験における水圧は、3.0×10 Paとし1時間行う
	種別						製法	形状	寸法(mm)	板厚(mm)										表面処理																																																																																															
種別		色合い等																																																																																																																	
・アルミニウム	・押し出し ・ロール	スパン ドレル形																																																																																																																	
							・プレス	パネル形																																																																																																											
種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等																																																																																																																
・薄付け仕上げ塗材	・外装薄塗材Si	・	・砂壁状																																																																																																																
	・可とう形外装薄塗材Si	・	・ゆず肌状 (吹付け ローラー塗り)																																																																																																																
	・外装薄塗材E	・	・さざ波状																																																																																																																
	・可とう形外装薄塗材E	・	・平たん状																																																																																																																
	・防水形外装薄塗材E	・	・凹凸状 (吹付け 塗り)																																																																																																																
	・外装薄塗材S	・	・着色骨材砂壁状 (吹付け 塗り)																																																																																																																
	・内装薄塗材C	・	・砂壁状じゅらく																																																																																																																
	・内装薄塗材L	・	・京壁状じゅらく																																																																																																																
	・内装薄塗材Si	・	・																																																																																																																
	・内装薄塗材E	・	・吸放湿性 適用する 適用しない																																																																																																																
・厚付け仕上げ塗材	・外装厚塗材C	・	・吹出し 凸部処理 平たん状																																																																																																																
	・外装厚塗材Si	・	・凹凸状 ひき起こし かき落とし																																																																																																																
	・外装厚塗材E	・	・																																																																																																																
	・内装厚塗材C	・	・吸放湿性 適用する 適用しない																																																																																																																
	・内装厚塗材L	・	・上塗材 適用する 適用しない																																																																																																																
種類	材質	線径	網目																																																																																																																
○ 防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (SUS316) 製	※ 0.25mm 以上	※ 16~18 メッシュ																																																																																																																
・防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法 15mm																																																																																																																
合板の種類	規格等	備考																																																																																																																	
○普通合板 G	表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ラワン合板程度) 不透明塗料塗り (※しな合板程度) 板面の品質 () 接着の程度 (1類 2類)																																																																																																																		
・天然木化粧合板 G	樹種名 () 接着の程度 (1類 2類)																																																																																																																		
・特殊加工化粧合板 G	化粧加工の方法 (オーパーレイ プリント 塗装) 表面性能 () タイプ 接着の程度 (1類 2類)																																																																																																																		
項目	品質・性能																																																																																																																		
防水剤の種類	建築用のモルタルに用いるセメント防水剤																																																																																																																		
混合割合	セメント重量の5%以下																																																																																																																		
	(凝結時間 始発:1時間以上 終結:10時間以内)																																																																																																																		
凝結及び安定性	(安定性) 収縮性、膨張性のひび割れ及びそりに確認する。																																																																																																																		
曲げ及び圧縮強度比	防水剤を混入したもの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比 70%以上																																																																																																																		
吸水比	吸水比 95%以下																																																																																																																		
透水比	防水剤を混入したもの、しないものの透水比 80%以下、ただし、透水試験における水圧は、3.0×10 Paとし1時間行う																																																																																																																		

<p>○ 建具用金物 (16. 8. 2、3) (表16. 8. 1)</p> <p>金物の種類及び見え掛り部の材質等</p> <ul style="list-style-type: none"> ※標準仕様書表16. 8. 1により適用は建具表による 金属性建具に使用する丁番の枚数及び大きさ <ul style="list-style-type: none"> ・建具表による ※標準仕様書表16. 8. 2 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ <ul style="list-style-type: none"> ・建具表による ※標準仕様書表16. 8. 3 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ <ul style="list-style-type: none"> ・建具表による ※標準仕様書表16. 8. 4 木製建具に使用する戸車及びレール <ul style="list-style-type: none"> ・建具表による ※標準仕様書表16. 8. 5 <p>握り玉及び、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置</p> <p>○ 建具表による</p> <p>○ 錠前類</p> <p>【シリンダ箱錠及びシリンダ本締り錠】</p> <p>(品質)</p> <p>デッドボルトの出寸法は17mm以上とする。</p> <p>鍵付きのものはマスターキー、グランドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーシステムが構築できるものとする。</p> <p>(性能)</p>	<p>使用頻度による性能</p> <ol style="list-style-type: none"> (シリンダ箱錠のみ) ラッチボルトの開閉繰り返し試験(40万回)を行った後、ハンドルでの開閉操作力及びラッチング力が試験前の2倍未満であり、動作に支障がない。 キーによるデッドボルトの施錠繰り返し試験(10万回)を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠操作に支障がない。(シリンダ本締り錠のみ) シリンダ単体の施錠繰り返し試験の評価は、シリンダだけの回転トルクが10N・cm以下とする。 キーによる施錠機構の施錠繰り返し試験(10万回)を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠操作に支障がない。 キーによる抜き差し繰り返し試験(10万回)を行った後、キーの抜き差しに要する荷重は10N以下である。また、未使用の合鍵でシリンダが回転でき、かつ、1箇所1段差浅い刻みをもつ異なるキーでは、シリンダが回転しないこと。(キーに加えるトルクは、150N・cmとする) <p>外力に対する性能</p> <ol style="list-style-type: none"> デッドボルトの押込み強度試験(10KN)を行った後、荷重を除いたときのデッドボルトの出寸法は8mm以上であること。 デッドボルトの側圧強度試験(10KN)を行った際、加圧板がデッドボルトを通過しない。 デッドボルトの押込み強度(衝撃荷重)試験(58. 8J)の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態(デッドボルトの突出量が8mm未満)にならないこと。 デッドボルトの側圧強度(衝撃荷重)試験(58. 8J)の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態(加圧板がデッドボルトを通過した状態)にならないこと。 (シリンダ本締り錠はグレード3以上の彫込錠の場合) ストライクプレートは厚さ1. 5mm以上のステンレス鋼製とし、トロコケは厚さ1. 6mm以上の鋼製の一体絞りとする。又はストライクの強度と同等以上の強度をもつものとする。 <p>使用部の質量に対する性能(シリンダ箱錠のみ)</p> <ol style="list-style-type: none"> ラッチボルトの側圧強度試験(4KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドル操作及びラッチングに支障がない。 レバーハンドルのねじり強度試験(3. 5KN・cm)を行った後、トルクを除いたときハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。 握り玉のねじり強度試験(3KN・cm)を行った後、トルクを除いたとき、握り玉が正常に作動していること。また、施錠時握り玉が固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。 ハンドルの引張強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。 ハンドルの垂直荷重強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。 <p>鍵</p> <ol style="list-style-type: none"> かぎ(鍵)数は、1. 5万以上とする。ただし、異なるキーウェイ形状であっても、共通のキーセクションが存在する場合は、有効かぎ(鍵)違い数とみなさないものとする。 同一タンブラーの使用数は、60%以下とする。また、6本タンブラーにおいては、キーの同一刻みは、最大2連続までとしていること。 <p>試験方法は、JIS A 1541-1(建築金物一錠一第1部：試験方法)による。</p> <p>【レバーハンドル】</p> <p>(性能)</p> <p>ねじり強度</p> <p>レバーハンドルのねじり強度試験(3. 5KN・cm)を行った後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がないこと。</p>
--	--

<p>引張り強度</p> <p>ハンドルの引張強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がないこと。</p>	<p>垂直荷重強度</p> <p>ハンドルの垂直荷重強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がないこと。</p>	<p>試験方法は、JIS A 1541-1(建築金物一錠一第1部：試験方法)による。</p>																																																																																																																																																																		
<p>○ クローザ類 (品質・性能)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">性能試験項目</th> <th colspan="3">区分</th> </tr> <tr> <th>①ドアクローザ</th> <th>②ヒンジクローザ</th> <th>③フロアヒンジ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">閉じ力及び初期による区分値(注1)(注2)</td> <td>閉じ力 Grade2</td> <td>閉じモーメント(N・m)</td> <td>効 率 (%)</td> <td>閉じモーメント(N・m)</td> <td>効 率 (%)</td> <td>閉じモーメント(N・m)</td> <td>効 率 (%)</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>5以上</td> <td>30以上</td> <td>5以上</td> <td>30以上</td> <td>5以上</td> <td>30以上</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10以上</td> <td>30以上</td> <td>10以上</td> <td>30以上</td> <td>10以上</td> <td>30以上</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>15以上</td> <td>35以上</td> <td>15以上</td> <td>35以上</td> <td>15以上</td> <td>35以上</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>25以上</td> <td>40以上</td> <td>25以上</td> <td>40以上</td> <td>25以上</td> <td>40以上</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>35以上</td> <td>45以上</td> <td>35以上</td> <td>45以上</td> <td>35以上</td> <td>45以上</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>45以上</td> <td>45以上</td> <td>45以上</td> <td>45以上</td> <td>45以上</td> <td>45以上</td> </tr> <tr> <td>閉じ速度(秒)</td> <td colspan="6">常温(5~35℃)無風状態において、開扉(70°)から全閉(0°)までの時間を5~8秒に調整できること。</td> </tr> <tr> <td>温度依存性(℃)</td> <td colspan="6">緩衝油の流動点は、JIS K 2269(原油及び石油製品の流動点並びに石油製品曇り点試験方法)により測定し、-15℃以下であること。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ストップ入力</td> <td>ストップ入力</td> <td colspan="2">60N・m以下 但し、コンシールド型は200N・m以下</td> <td colspan="2">100N・m以下</td> <td colspan="2">100N・m以下</td> </tr> <tr> <td>ストップ解除力</td> <td colspan="2">8N・m以上</td> <td colspan="2">3N・m以上</td> <td colspan="2">10N・m以上</td> </tr> <tr> <td>バックチェック初性能(秒)期(バックチェック機能有する機種のみ適用)</td> <td>バックチェック</td> <td colspan="2">ドア開扉方向に荷重60N/m²を開扉50°から負荷する。バックチェック開始角度(70~85°)から更に20°まで開く間の時間は0. 8秒以上としていること。</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ディレードアクション性能(秒)</td> <td>ディレードアクション解除角度(60~75°)</td> <td colspan="2">(ディレードアクション機能有する機種のみ適用)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>戸の開鎖位置(中心吊り込み両自由のみに適用)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>±3mm以内</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">耐久性能</td> <td>繰返し開閉後の閉じ力 Grade2 (N・m)</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> </tr> <tr> <td>繰返し開閉後の効 率 Grade2 (%)</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> </tr> <tr> <td>繰返し開閉後の閉じ速度(秒)</td> <td colspan="6">耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> </tr> <tr> <td>繰返し開閉後のバックチェック性能(秒)</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">繰返し開閉後のディレードアクション性能(秒)</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>繰返し開閉後の戸閉鎖位置(mm)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>耐久試験後 ±6mm以内</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>耐久性の試験回数(繰返し開閉回数)</td> <td>Grade2</td> <td>20万回</td> <td>10万回</td> <td>30万回</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. パラレル取付けは、右記の閉じモーメントの70%程度までとする。</p> <p>注2. コンシールド型は右記の閉じモーメントの50%程度までとする。</p> <p>Grade1を選定する場合は、図示による。(試験方法)</p> <p>1) 性能試験は、JIS A 1510-3(建築用ドア金物の試験方法一第3部：フロアヒンジ、ドアクローザ及びヒンジクローザ)に規定する試験方法による。</p> <p>2) 試験ドアの質量は、1番手は25kg、2番手は40kg、3番手は60kg、4番手は80kg、5番手は100kg、6番手は120kgとする。</p>			性能試験項目	区分			①ドアクローザ	②ヒンジクローザ	③フロアヒンジ	閉じ力及び初期による区分値(注1)(注2)	閉じ力 Grade2	閉じモーメント(N・m)	効 率 (%)	閉じモーメント(N・m)	効 率 (%)	閉じモーメント(N・m)	効 率 (%)	1	5以上	30以上	5以上	30以上	5以上	30以上	2	10以上	30以上	10以上	30以上	10以上	30以上	3	15以上	35以上	15以上	35以上	15以上	35以上	4	25以上	40以上	25以上	40以上	25以上	40以上	5	35以上	45以上	35以上	45以上	35以上	45以上	6	45以上	45以上	45以上	45以上	45以上	45以上	閉じ速度(秒)	常温(5~35℃)無風状態において、開扉(70°)から全閉(0°)までの時間を5~8秒に調整できること。						温度依存性(℃)	緩衝油の流動点は、JIS K 2269(原油及び石油製品の流動点並びに石油製品曇り点試験方法)により測定し、-15℃以下であること。						ストップ入力	ストップ入力	60N・m以下 但し、コンシールド型は200N・m以下		100N・m以下		100N・m以下		ストップ解除力	8N・m以上		3N・m以上		10N・m以上		バックチェック初性能(秒)期(バックチェック機能有する機種のみ適用)	バックチェック	ドア開扉方向に荷重60N/m ² を開扉50°から負荷する。バックチェック開始角度(70~85°)から更に20°まで開く間の時間は0. 8秒以上としていること。		—	—	—	—	ディレードアクション性能(秒)	ディレードアクション解除角度(60~75°)	(ディレードアクション機能有する機種のみ適用)		—	—	—	—	戸の開鎖位置(中心吊り込み両自由のみに適用)	—	—	—	—	—	±3mm以内	—	耐久性能	繰返し開閉後の閉じ力 Grade2 (N・m)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	繰返し開閉後の効 率 Grade2 (%)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	繰返し開閉後の閉じ速度(秒)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。						繰返し開閉後のバックチェック性能(秒)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	—	—	—	—	—	繰返し開閉後のディレードアクション性能(秒)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	—	—	—	—	—	—	繰返し開閉後の戸閉鎖位置(mm)	—	—	—	—	耐久試験後 ±6mm以内	—	耐久性の試験回数(繰返し開閉回数)	Grade2	20万回	10万回	30万回	—	—	—
性能試験項目	区分																																																																																																																																																																			
	①ドアクローザ	②ヒンジクローザ	③フロアヒンジ																																																																																																																																																																	
閉じ力及び初期による区分値(注1)(注2)	閉じ力 Grade2	閉じモーメント(N・m)	効 率 (%)	閉じモーメント(N・m)	効 率 (%)	閉じモーメント(N・m)	効 率 (%)																																																																																																																																																													
	1	5以上	30以上	5以上	30以上	5以上	30以上																																																																																																																																																													
	2	10以上	30以上	10以上	30以上	10以上	30以上																																																																																																																																																													
	3	15以上	35以上	15以上	35以上	15以上	35以上																																																																																																																																																													
	4	25以上	40以上	25以上	40以上	25以上	40以上																																																																																																																																																													
	5	35以上	45以上	35以上	45以上	35以上	45以上																																																																																																																																																													
6	45以上	45以上	45以上	45以上	45以上	45以上																																																																																																																																																														
閉じ速度(秒)	常温(5~35℃)無風状態において、開扉(70°)から全閉(0°)までの時間を5~8秒に調整できること。																																																																																																																																																																			
温度依存性(℃)	緩衝油の流動点は、JIS K 2269(原油及び石油製品の流動点並びに石油製品曇り点試験方法)により測定し、-15℃以下であること。																																																																																																																																																																			
ストップ入力	ストップ入力	60N・m以下 但し、コンシールド型は200N・m以下		100N・m以下		100N・m以下																																																																																																																																																														
	ストップ解除力	8N・m以上		3N・m以上		10N・m以上																																																																																																																																																														
バックチェック初性能(秒)期(バックチェック機能有する機種のみ適用)	バックチェック	ドア開扉方向に荷重60N/m ² を開扉50°から負荷する。バックチェック開始角度(70~85°)から更に20°まで開く間の時間は0. 8秒以上としていること。		—	—	—	—																																																																																																																																																													
ディレードアクション性能(秒)	ディレードアクション解除角度(60~75°)	(ディレードアクション機能有する機種のみ適用)		—	—	—	—																																																																																																																																																													
戸の開鎖位置(中心吊り込み両自由のみに適用)	—	—	—	—	—	±3mm以内	—																																																																																																																																																													
耐久性能	繰返し開閉後の閉じ力 Grade2 (N・m)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。																																																																																																																																																													
	繰返し開閉後の効 率 Grade2 (%)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。																																																																																																																																																													
	繰返し開閉後の閉じ速度(秒)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。																																																																																																																																																																		
	繰返し開閉後のバックチェック性能(秒)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	—	—	—	—	—																																																																																																																																																													
繰返し開閉後のディレードアクション性能(秒)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																													
	繰返し開閉後の戸閉鎖位置(mm)	—	—	—	—	耐久試験後 ±6mm以内	—																																																																																																																																																													
耐久性の試験回数(繰返し開閉回数)	Grade2	20万回	10万回	30万回	—	—	—																																																																																																																																																													

<p>○ 鍵</p> <p>マスターキー</p> <p>鍵の製作本数</p> <p>鍵箱</p> <p>○ 製作する</p> <p>・無し</p> <p>・製作しない</p> <p>※各室3本1組(室名札付き)</p> <p>※有</p>	<p>(16. 8. 4)</p>
<p>自動ドア開閉装置</p>	<p>(16. 9. 2、3)</p>
<p>引き戸用駆動装置</p> <p>性能値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種類・開閉方式 () ・耐電圧 () ・温度上昇 () ・耐久性(サイクル) () ・防錆 () <ul style="list-style-type: none"> ・電源 () <p>※標準仕様書表16. 9. 1</p> <p>多機能トイレ出入り口引き戸用駆動装置</p> <p>性能値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐電圧 () ・温度上昇 () ・耐久性(サイクル) () ・防錆 () ・電源 () <p>※標準仕様書表16. 9. 2</p> <p>引き戸用検出装置</p> <p>性能値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐電圧 () ・防錆 () ・防滴 () ・電源 () <p>※標準仕様書表16. 9. 3</p> <p>戸の開閉方式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建具表による <p>引き戸用検出装置の種類 標準仕様書表16. 9. 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建具表による <p>凍結防止措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用する ・適用しない 	<p>(16. 10. 3) (表16. 10. 1)</p>
<p>自閉式上吊り引戸装置</p>	<p>(16. 10. 3) (表16. 10. 1)</p>
<p>重量シャッター</p>	<p>(16. 11. 2、3)</p>
<p>シャッターの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理用シャッター 耐風圧強度 () N/m² ・外壁用防火シャッター 耐風圧強度 () N/m² ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター <p>開閉方式の種類 ※上部電動式(手動併用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上部電動式 ・上部手動式 <p>二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示 <p>障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示 <p>屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設ける (設置箇所・図示) 「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」(昭和48年12月28日建設省告示第2563号)に定める基準に適合するもの ・可動板板式 ※障害物感知装置(自動閉鎖型) ・設けない <p>管理用シャッターのシャッターケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設ける ・設けない 	<p>(16. 11. 2、3)</p>

<p>○ 軽量シャッター</p> <p>開閉方式の種類 ※手動式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上部電動式(手動併用) <p>耐風圧強度 () N/m²</p> <p>スラットの材質の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)めっきの付着量 (※Z06又はF06) ・JIS G 3322(塗装溶融亜鉛-5%7ルニウム合金めっき鋼板及び鋼帯)めっきの付着量 (※AZ90) <p>スラットの形状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 	<p>(16. 12. 2~4)</p>																		
<p>○ ガラス</p>	<p>(16. 13. 2、3)</p>																		
<p>フロント板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類</p> <p>○ 建具表による</p> <p>型板ガラスの厚さによる種類</p> <p>○ 建具表による</p> <p>網入板ガラス及び線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類</p> <p>○ 建具表による</p> <p>合わせガラス</p> <p>材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建具表による <p>形状による種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平面合わせガラス ・曲面合わせガラス <p>落球衝撃及び離特性並びにショットバック衝撃特性による種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Ⅰ類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類 <p>強化ガラス</p> <p>形状による種類、材料板ガラスの種類による名称</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建具表による <p>破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Ⅰ類 ・Ⅲ類 <p>熱線吸収板ガラス</p> <p>板ガラスによる種類、厚さによる種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建具表による <p>性能による種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1種 ・2種 <p>複層ガラス</p> <p>材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 建具表による <p>断熱性による区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・T1 ・T2 ○ T3 ・T4 ・T5 ・T6 <p>日射取得性、日射遮蔽性による区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ G ・S <p>乾燥気体の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ アルゴン ・空気 <p>熱線反射ガラス</p> <p>材料 板ガラスの種類及び厚さによる種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建具表による <p>日射遮蔽性による区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1種 ・2種 ・3種 <p>耐久性による区分(日射熱遮蔽性による区分が2種の場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A類 ・B類 <p>映像調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行わない ・行う <p>倍強度ガラス</p> <p>材料 板ガラスの種類及び厚さによる種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建具表による <p>ガラスの留め材及び溝の大きさ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建具の種類</th> <th>ガラス留め材</th> <th>ガラス溝の大きさ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ シーリング材</td> <td>・図示</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>・ガasket</td> <td>・建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>・グレイズチャンネル形</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>鋼製及び鋼製軽量</td> <td>・シーリング材</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・建具の製造所の仕様による</td> </tr> </tbody> </table>	建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)	○ シーリング材	・図示	—	アルミニウム製	・ガasket	・建具の製造所の仕様による	・グレイズチャンネル形	・	・	鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	・図示	・	・	・建具の製造所の仕様による	<p>(9. 7) (16. 14. 2~4) (表16. 14. 1)</p>
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)																	
○ シーリング材	・図示	—																	
アルミニウム製	・ガasket	・建具の製造所の仕様による																	
・グレイズチャンネル形	・	・																	
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	・図示																	
・	・	・建具の製造所の仕様による																	

(工事名)	南沢森林事務所新築工事	A-08
木造特記仕様書(その8)	A1: — A3: —	9
秋田県建築設計事業協同組合 令和8年3月		51

ステンレス製	・シーリング材	・図示 ・建具の製造所の仕様による
樹脂製	・シーリング材 ・ガasket ・グレイズンチャンネル材	・図示 ・建具の製造所の仕様による

(16.14.5)

表面形状	呼び寸法	厚さ	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能
正方形	・125×125	80	・	・	・	・有り
	・160×160	95	・125	・	・	・
	・200×200	95	・125	・	・	・
長方形	・250×125	80	・	・	・	・
	・320×160	95	・	・	・	・

曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。
壁用金属枠及び補強材
※図示
カ骨 材質 ※ステンレス鋼 (SUS304)
寸法 ※径5.5mm
形状 ※はしご形状複筋及び単筋
化粧目地モルタルの色 ()
金属製化粧カバー
材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製
寸法 ※図示
形状 ※図示
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法
目地部の横力骨の納まり
・図示
※ガラスブロック製造所の仕様による

18章 建築工事

○ 材料 (18.1.3)

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外
・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする。
(箇所：)

○ 素地ごしらえ (18.2.2~7)

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種・B種
	透明塗料塗りの場合	※B種・A種
鉄鋼面		※C種・A種・B種
亜鉛めっき鋼面		・A種・B種
モルタル面及びプラスター面		※B種・A種
コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面		※B種・A種
押出成形セメント板面		・A種・B種
せっこうボード面及びその他ボード面	目地：縦目処理工法以外	※A種・B種

○ 錆止め塗料塗り (18.3.2、3)

下地面等		工程の種別	塗料の種別
鉄鋼面	見え隠り部分	※A種・B種	※A種
	見え隠れ部分	※B種・A種	EP-G (屋内) の場合 ・A種 ※B種
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具等	※A種・B種	・B種 ※A種・C種
	鋼製建具等以外	※B種・A種	(EP-Gの場合C種)

○ 塗装 (18.4.1~18.14.2)

塗装	種別	塗料の種類	高日射反射率塗料の適用
○ 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部屋外	※A種・B種	※1種・2種
	木部屋内	※B種・A種	※1種・2種
○ クリヤラッカー塗り (CL)	鉄鋼面	※B種・A種	—
	亜鉛めっき鋼面	—	※1種・2種
○ 耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面	—	上塗り塗料の等級 () 級
	亜鉛めっき鋼面	—	上塗り塗料の等級 () 級
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・A種・B種 ・C種	
○ つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面その他ボード面等	※B種・A種	—
	屋内の鉄鋼面	※B種・A種	—
○ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)		※B種・A種	—

19章 電気工事

○ 接着剤 (19.2.2)

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外
接着剤は可塑性 (難揮発性の可塑性を除く) が添付されていないものとする
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類
・図示

種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考
・	○ 無地	・	
※FS	・マダラ柄 ・柄物	※2.0	

目地処理する場合の工法 ・ 熱溶接工法

○ ビニル床シート (19.2.2、3)

種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考
・TT	・無地	・300×300	・2.0	
・FT	・柄物	・450×450	・2.5	
・FOA		・500×500	・3.0	
・FOB				
※KT				

○ ビニル床タイル (19.2.2)

目地処理する場合の工法 ・ 熱溶接工法

種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考
・TT	・無地	・300×300	・2.0	
・FT	・柄物	・450×450	・2.5	
・FOA		・500×500	・3.0	
・FOB				
※KT				

○ 特殊機能床

・帯電防止床シート
種類 ()
性能 ()
厚さ (mm)

・帯電防止床タイル
種類 ()
性能 ()
寸法 厚さ (× mm)

・視覚障害者用床タイル
視覚障害者用誘導ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による
種類 ()
形状 ()

・耐荷重性床シート
種類 ()
厚さ (mm)

・防滑性床シート
種類 ()
厚さ (mm)

・防滑性床タイル
種類 ()
寸法 厚さ (× mm)

○ ビニル幅木 (19.2.2)

材質の種類 ・軟質 ・硬質
高さ (mm) ・ ※60・75・100
厚さ (mm) ・ ※1.5以上

○ ゴム床タイル (19.2.2)

種類 ・単層品 ・積層品
色柄 ()
厚さ (mm) ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0
寸法 (mm) ()

○ 織じゅうたん (19.3.3、4) (表19.3.1)

織り方	パイル形状
・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	・カットパイル ・ループパイル ・カット/ループ併用

色柄 (・) ※模様の無い無地)
パイル糸の種類等

※無地の織じゅうたんの種別 (・A種・B種・C種)
帯電性 ・適用する ・適用しない
織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法

下敷き材
※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm

○ 畳敷き (19.6.2) (表19.6.1)

種類 ・A種 ・B種 ・C種
・D種 (畳床：・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N)

下地の種類 ・標準仕様書表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロロ (G))

○ タフテッドカーペット

パイル形状	パイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考
・カットパイル	・5~7	・全面接着工法	・適用する	
・ループパイル	・4~6	・グリッパー工法	・適用しない	
・カット、ループ併用				

下敷き材 (グリッパー工法の場合)
※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm

○ ニードルパンチカーペット
厚さ (mm) ()
帯電性 ・適用する
・適用しない
備考 ()

○ タイルカーペット

パイルの形状	種類	施工箇所	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考
・カットパイル	・第一種 ・第二種		・	・	・
・カット、ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5	
※ループパイル	・		・	・	・
	※第一種		※500×500	※6.5	

○ タイルカーペットの敷き方 平場
階段部分

・模様流し ※市松敷き
・市松敷き ※模様流し

見切り、押え金物
材質 ()
種類 ()
形状等 ※図示

○ 合成樹脂塗床 (19.4.2) (19.4.3) (表19.4.4、5)

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床			・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ ※平滑仕上げ
・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床		・薄膜流し戻工法 ・厚膜流し戻工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ

塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

○ フローリング張り (19.5.2~6) (表19.5.1~5)

・単層フローリング (フローリングボード1等)
工法 ・釘止め工法 (・根太張り ・直張り)
・接着工法

樹種 ・ ※なら
間伐材等の適用 ・適用する ・適用しない

・単層フローリング (フローリングブロック1等)
樹種 ・
厚さ ・
大きさ ・
間伐材等の適用 ・適用する ・適用しない

○ 複合フローリング
工法 ・釘止め工法 (・根太張り ・直張り)
○ 接着工法

樹種 ・ ※なら
種別 ・A種 ・B種 ○C種
間伐材等の適用 ・適用する ・適用しない

フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外
接着工法の場合の裏面緩衝材 ※合成樹脂発泡シート

・現場塗装仕上げ ・オイルステインの上、ワックス塗り
・生地のままワックス塗り
※ウレタン樹脂ワニス塗り

○ 畳敷き (19.6.2) (表19.6.1)

種類 ・A種 ・B種 ・C種
・D種 (畳床：・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N)

下地の種類 ・標準仕様書表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロロ (G))

○ せっこうボードその他ボード及び合板張り (19.7.2、3) (表19.7.1)

合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※規制対象外

種類	JISの記号	厚さ (mm)、規格等
・硬質木毛セメント板 (G)	HW	・15・20・25
・中質木毛セメント板 (G)	MW	・15・20・25
・普通木毛セメント板 (G)	NW	・15・20・25
・硬質木片セメント板 (G)	HF	・12・15・18・21
・普通木片セメント板 (G)	NF	・30
○ けい酸カルシウム板	0.8 FK 1.0 FK	タイプ2 (無石綿) ○6・8
・ロックウール化粧吸音板	DR	・フラットタイプ (・9 (不燃) ・12 (不燃)) ・凹凸タイプ (・12 (不燃) ・15 (不燃))
・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	・25
・グラスウール吸音ボード 32K	GW-B	・25 (ガラスクロス包)
○ せっこうボード	GB-R	○12.5 (不燃) ・15 (不燃)
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5 (不燃) ・化粧無 (下地張り用) ・化粧有 (トラバーチン模様)
○ シーリングせっこうボード	GB-S	12.5 (・不燃 ・準不燃)
・強化せっこうボード	GB-F	9.5 (不燃) ・15 (不燃)
・せっこうラスボード	GB-L	9.5
・化粧せっこうボード (木目)	GB-D	12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (・砥目 ・板目) 専用下地材共
・化粧せっこうボード (トラバーチン模様)	GB-D	9.5 (準不燃)
・普通合板 (G)		表面の樹種 生地、透明塗料塗り (・ ※ラワン程度) 不透明塗料塗り (・ ※しな程度) 板面の品質 () 厚さ (mm) () 接着の程度 (・1類 ・2類) ・防虫処理
・天然木化粧合板 (G)		化粧板の樹種名 () 接着の程度 (・1類 ・2類) 厚さ (mm) () ・防虫処理
・特殊加工化粧合板 (G)		化粧加工の方法 (・オーバーレイ ・プリント ・塗装) 表面性能 () タイプ 接着の程度 (・1類 ・2類) 厚さ (mm) () ・防虫処理
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による 厚さ (・ ※1.2)
・ポリエステル樹脂化粧板		
・ミディアムデンシティファイバーボード (G)	MDF	・3・7・9・12
・単板張りパーティクルボード (G)		・無研磨板 ・研磨板 ・10・12・15・18
・化粧パーティクルボード (G)		・単板オーバーレイ ・プラスチックオーバーレイ ・塗装 ・10 (難燃) ・12 (難燃)
・ハードボード (素地) (G)	HB	・無研磨板 (・スタンダード ・テンパード) ・研磨板 (・スタンダード ・テンパード)
・ハードボード (化粧) (G)		・内装用 ・外装用 ・2.5・3.5・5・7
・インシュレーションボード (G)	IB	A級 (・天井仕上げ ・内装仕上げ) ・9・12・15・18

せっこうボード等の下地 ※図示
遮音シール材
・適用する (・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド)
・適用しない

合板類の張付け ※B種 ・A種
せっこうボードの目地工法 ・仕上表による

○ 壁紙張り (19.8.2、3)

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備考 (参考価格)
	紙	織	プラスチック	無機質	その他		
・	・	○	・	・	・	・不燃 ・準不燃	
・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃	
・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃	
・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃	

モルタル・プラスター面の素地ごしらえ ・A種 ※B種
コンクリート面の素地ごしらえ ・A種 ※B種
せっこうボード面の素地ごしらえ ・A種 ※B種

(工事名) 南沢森林事務所新築工事	A-09
木造特記仕様書 (その9)	A1: - A3: -
秋田県建築設計事業協同組合 令和 8年 3月	51

断熱材

(19.9.2、3)

フェノールフォームを使用した断熱材のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外

断熱材打込み工法

種 類	厚さ (mm)	施工箇所
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・	・
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキム層なし)	・	・
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・	・
・ フェノールフォーム断熱材	・	・

断熱材現場発泡工法

断熱材の種類 ※A種 1 またはA種 1 H

吹付け厚さ (mm) 25 30

施工箇所 図示

現場発泡断熱材 (品質・性能)

項目	品質・性能
難燃性	下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法にしようしている発熱性試験 (コーンカオリ試験) に適合していること。
発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の (1)～(3) に適合していること。 (1) 総発熱量が9MJ/m ² 以下であること。 (2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200kW/m ² を超えないこと。

(試験方法)

(1) 原液試験 (原液粘度試験)

JIS K 7117-1「プラスチック-液状、乳濁状又は分散状の樹脂-ブルクフィールド」形回転粘度計による見掛け粘度の測定方法」による。

(2) 発泡品試験

1) 試料の作製は、JIS A9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1による。

2) 試料の状態調節は、JIS A 9526の6.2.2による。また、試験片の作製は、JIS A 9526の6.2.3による。

3) 試験片の状態調節及び試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。

(3) 圧縮強さの試験

JIS A 9526の6.2.5により、測定はJIS K 7220「硬質発泡プラスチック-圧縮特性の求め方」による。

(4) 熱伝導率試験

JIS A 9526の6.2.6により、JIS A 1412-1「熱絶縁材の熱抵抗及び熱伝導率の測定方法-第一部:保護熱板法 (GHP法)」又はJIS A 1412-2「熱絶縁材の熱抵抗及び熱伝導率の測定方法-第二部:熱流計法 (HFM法)」によって、平均温度 (23±2) °C、高温板と低温板の温度差 (25±5) °C で熱伝導を測定する。

(5) 接着強さ試験

JIS A 9526の6.2.7による。

(6) 透湿率試験

JIS A 9526の6.2.8により、測定はJIS A 1324「建築材料の透湿性測定方法」又はJIS K 7225「硬質発泡プラスチック-水蒸気透過性の求め方」による。

(7) 難燃性の表面加熱試験

JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。

(8) 発熱性試験

建築基準法に基づく指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している試験方法に準じる。

○防湿材

種類 ○木造標準仕様書20.1.2(2)・(a)・(b)・(c)

厚さ

施工箇所 ○図示

気密材

種類 木造標準仕様書20.1.2(3)(a)から(f)まで

厚さ 図示

施工箇所 図示

防風材

種類 ※JIS A 6111に基づく透湿防水シートB

厚さ 図示

施工箇所 図示

20章 断熱材等

断熱材等

(20.1.2~4)

ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外

断熱材

施工箇所 ※図示

断熱材の種類		規格番号	厚さ又は使用量
分類	材料名		
○フェルト状断熱材	○グラスウール	・JIS A 9521	
	・ロックウール	・JIS A 9504 ・JIS A 9521	
	○ボード状断熱材	○グラスウール	・JIS A 9521
○ボード状断熱材	・ロックウール	・JIS A 9504 ・JIS A 9521	
	・ビーズ法ポリスチレンフォーム	・JIS A 9521	
	・押出法ポリスチレンフォーム		
	・硬質ウレタンフォーム		
	・ポリエチレンフォーム		
	・フェノールフォーム		
	・インシュレーションファイバー		
・グラスウール			
・ばら状断熱材	・ロックウール	・JIS A 9523	
	・セルローズファイバー		
・現場発泡断熱材	・吹付け硬質ウレタンフォームA種1又はA種1H (難燃性を有するもの)	・JIS A 9526	

項目	品質・性能
難燃性	下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験 (コーンカオリ試験) に適合していること。
発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の (1)から (3) までに適合していること。 (1) 総発熱量が9MJ/m ² 以下であること。 (2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200kW/m ² を超えないこと。

(試験方法)

(1) 原液試験 (原液粘度試験)

JIS K 7117-1「プラスチック-液状、乳濁状又は分散状の樹脂-ブルクフィールド」形回転粘度計による見掛け粘度の測定方法」による。

(2) 発泡品試験

1) 試料の作製は、JIS A9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1による。

2) 試料の状態調節は、JIS A 9526の6.2.2による。また、試験片の作製は、JIS A 9526の6.2.3による。

3) 試験片の状態調節及び試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。

(3) 圧縮強さの試験

JIS A 9526の6.2.5により、測定はJIS K 7220「硬質発泡プラスチック-圧縮特性の求め方」による。

(4) 熱伝導率試験

JIS A 9526の6.2.6により、JIS A 1412-1「熱絶縁材の熱抵抗及び熱伝導率の測定方法-第一部:保護熱板法 (GHP法)」又はJIS A 1412-2「熱絶縁材の熱抵抗及び熱伝導率の測定方法-第二部:熱流計法 (HFM法)」によって、平均温度 (23±2) °C、高温板と低温板の温度差 (25±5) °C で熱伝導を測定する。

(5) 接着強さ試験

JIS A 9526の6.2.7による。

(6) 透湿率試験

JIS A 9526の6.2.8により、測定はJIS A 1324「建築材料の透湿性測定方法」又はJIS K 7225「硬質発泡プラスチック-水蒸気透過性の求め方」による。

(7) 難燃性の表面加熱試験

JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。

(8) 発熱性試験

建築基準法に基づく指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している試験方法に準じる。

○防湿材

種類 ○木造標準仕様書20.1.2(2)・(a)・(b)・(c)

厚さ

施工箇所 ○図示

気密材

種類 木造標準仕様書20.1.2(3)(a)から(f)まで

厚さ 図示

施工箇所 図示

防風材

種類 ※JIS A 6111に基づく透湿防水シートB

厚さ 図示

施工箇所 図示

断熱材の施工

防湿層の施工 省略する

・ 充填断熱工法

・ 外張断熱工法

各部位の工法

防蟻処理 行う

図示 ※木造標準仕様書20.1.5(7)から(コ)までによる。

施工箇所	構法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材	備考
	・ 置敷式	・ 500×500		・ 1.0G	・ 3,000N	・ 帯電防止床タイル	
	・ 支柱調整式			・ 0.6G	・ 5,000N	・ タイルカーペット	

寸法精度

※標準仕様書20.2.2(b)(5)(i)～(iii)による

厚さ±0.5mm

平坦度 パネル周辺部 1.0mm以下

図心と各頂点を結ぶ線上部 2.0mm以下

表面仕上材の品質・性能は、標準仕様書19章による。

構成材の材質

・ アルミニウム製

・ 鋼製 (仕上げ:)

スロープ及びボーダー 製造所の仕様による 図示

配線用取り出しパネル

フリアクセスフロア全体面積に対する設置割合

・ 20～30%

配線取り出し開口

・ パネル1枚につき、40mm×80mm程度の開口 1箇所以上

・ 図示

空調用吹き出し (吸い込み) パネル

・ なし

・ あり (形式、施工箇所: 図示)

(性能)

(1) 耐荷重性能 変形5.0mm以下 残留変形3.0mm以下

(2) 耐衝撃性能 残留変形3.0mm以下及び損傷がないこと

(3) ローリングロード性能 (3,000Nの場合の試験の適用は任意)

所定荷重1,000Nによる繰返し試験後、残留変形3.0mm以下

(4) 耐震性能

イ) 固定台試験による耐震性能

項目	性能
①ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接合面が剥離したとき	水平荷重の1/2が下記<適用地震時水平力>以上
②上記①以外の部分が耐力に達したとき	水平荷重の1/1.5が下記<適用地震時水平力>以上
③適用地震時水平力を加力した支柱頂部の変位	設計床高さ ≤250mm がほぼ弾性範囲内
	設計床高さ >250mm 構造床面からの高さの1/50以下

<適用地震時水平力>

・ 3,000N 0.6Gタイプ

支柱一本が負担する床荷重 { (m²当り自重+3,000N) / m²当りの支柱本数 } ×0.6

・ 3,000N 1.0Gタイプ

支柱一本が負担する床荷重 { (m²当り自重+3,000N) / m²当りの支柱本数 } ×1.0

・ 5,000N 0.6Gタイプ

支柱一本が負担する床荷重 { (m²当り自重+5,000N) / m²当りの支柱本数 } ×0.6

・ 5,000N 1.0Gタイプ

支柱一本が負担する床荷重 { (m²当り自重+5,000N) / m²当りの支柱本数 } ×1.0

ロ) 振動台試験における耐震性能 (設計床高さ ≤300mmの場合のみ)

振動台試験において、パネルの脱落や使用上支障をきたす損傷、せり上がり、隙間及び水平移動がない。

(5) 耐燃焼性能

建築基準法第2条第9号の規定に基づく不燃材料又は燃焼終了後の残炎時間が0秒

(6) 帯電防止性能評価値 (U)

0.6以上

(7) 感電防止性能

漏えい抵抗 (R) ≥1×10⁶ Ω

(8) 歩行感

通常の歩行において空洞音やがたつきがなく、歩行感に違和感がない

(9) メンテナンス性

交換が必要な部品については交換できるように設計されている。

(試験方法)

(1) 耐震性能

1) 設計床高さ ≤300mmの場合

試験体ユニット1,000mm×2,500mm程度

所定の重りの質量 3,000N:200kg 5,000N:350kg

加振 0.6G:所定加速度600cm/S²

1.0G:所定加速度1,000cm/S²

2) 300mm<設計床高さ ≤600mmの場合

①固定台による耐震性能試験

イ、支柱調整式-支柱分離型・支柱固定タイプの全てのタイプ共、下記の試験方法-1又は、試験方法-2による。

ロ、原則として、試験方法-1はパネル単体設置 (Aタイプ) に適用し、試験方法-2はパネル連結設置 (Bタイプ) に適用するものとする。

②試験方法-1

イ、試験は、コンクリート (JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類:N300) に接着した支柱の頂部に対し、水平方向に適用地震時水平力及び水平最大耐力までを加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。

ロ、加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。

③試験方法-2

イ、試験は、コンクリート (JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類:N300) に接着した数ユニットの支柱の頂部に対し、水平方向に数ユニット分相当の、適用地震時水平力及び水平最大耐力までを加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。

加力方向は支柱要素に対して最も不利な方向とする。

ロ、最終的に水平力を支持する支柱の本数で除した値を、支柱1本当たりの水平力とする。また、800mm×800mmに荷重板3,200N (5,000N/1m²相当) を1箇所設ける。試験体数は、1セットとする。

④零点補正及び測定記録

試験体と試験機の隙間等を除去するため、始めに適用地震時水平力の1/2程度の水平力を加力した後、速やかに除荷して“0”にした状態を零点とする。また、水平力による各測定点の荷重及び変形曲線を測定し記録する。

3) 共通事項

試験体使用する表面仕上材

種類: タイルカーペット

繊維素材: ナイロン100%

パネル形態: ループパイル

パイル長: 3.0mm~4.0mm

パッキン素材: 塩化ビニル樹脂

全厚: 6.0mm~7.0mm

単位質量: 4.0kg/m²~64.0kg/m²

人体耐電圧: 2KV以下

構造形式	構成基材の種類	総厚さ (mm)	表面仕上材		遮音性 (dB/500Hz)	防火性能
			材質	厚さ (mm)		
・ スタッド式 (内蔵)	・	・	・ 鋼板	・ 0.6	・	・ 不燃
・ スタッド式 (露出)	・	・	・	・ 0.8	・	・
・ スタッドパネル式	・	・	・	・	・	・
・ パネル式	・	・	・	・	・	・

パネル内に取付ける建具 あり (※図示)

なし

表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。

パネルの材料のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外

走行方向	操作方法	圧接装置の操作方法	総厚さ (mm)	表面仕上材		遮音性 (dB/500Hz)
				材質	パネル表面仕上材	
・ 平行方向移動式	・ 手動式	・ フッシュ式	・	・ 鋼板	・ 焼付塗装	・ 3.6未満
・ 二方向移動式	・ 電動式	・ ハンドル式	・	・	・ 壁紙張り	・ 3.6以上
	・ 部分電動式	・	・	・	・	・

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能

標準仕様書19章による

遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする。

ハンガーレールの取付け下地の補強

※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。

図示

(品質・性能及び試験方法)

(1) パネル (表面材、心材、フレーム材、幅木、笠木及び補強材) 及びハンガーレールは、JIS A 6512「可動間仕切」の表9又はこれらと同等以上の品質性能を有し、かつ、接触腐食をおこさないもの又は防食処理を施したものとす。

(2) 吊りボルト

JIS B 1051「炭素鋼及び合金鋼製締結部品の機械的性質-第一部:ボルト、ねじ及び植込みボルト」による。

(3) パネルの外観

JIS A 6512「可動間仕切」の5.a)~c)による。

(4) ホルムアルデヒド等

JIS A 6512「可動間仕切」7材料による。

(5) パネルの操作性

パネル操作の初動力は98N以下とする。

(6) 耐衝撃性

質量50kgにおける衝撃試験において構造部材の折れ、曲りの異常がなく、表面の割れ、はがれがないものとする。また、接点・接床部が外れないこと及び多少のずれを生じても圧接装置の調整で元に戻せるものとする。

(7) 遮音性能

遮音性試験はJIS A 6512に規定する透過損失単位による各区分ごとに、500Hzの音について透過損失の規定値に適合するものとする。

(工事名)	南沢森林事務所新築工事	A-10
木造特記仕様書 (その10)	A1: - A3: -	11
秋田県建築設計事業協同組合		51

令和 8年 3月

- (8) パネルの圧接装置の耐久性
パネルの圧接装置の固定・解除は、7,500回の繰返し耐久試験実施後、質量50kg衝撃試験で異常のないものとする。
- (9) レールの耐久性
レールは普通パネルで吊り車の通過回数が30,000回以上で異常のないものとする。
- (10) 吊り車の耐久性
吊り車は、走行距離60kmで操作性に異常がなく、レールに大きな変形がないものとする。
- (11) 吊りボルトの引張り強度
一本にかかる荷重の15倍以上の引張り強度があるものとする。
- (12) ランナーの引張強度
引張試験を実施し、普通パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナーの数で除した値以上の強度があるものとする。

・ トイレブース (20.2.5)

表面材の材質	脚部		ドアエッジ	
	形状	形状	材質	材質
・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ	・標準 ・R	・アルミニウム製 ・ステンレス製	・表面材と同材

(品質・性能)

(1) パネル

項目	品質・性能
表面材	メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。
裏打ち材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。
心材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。
枠材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっきエッジ材を施した材料とする。
小口	防水処理を施す。

(2) 構造金物

項目	品質・性能
・ 笠木 ・ 脚部 (脚具、幅木) ・ 壁見切り金物 ・ 頭つなぎ等	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、耐蝕性のあるものとする。 頭つなぎ等で使用するビス等の材質はステンレス製とする。

(3) 付属金物

項目	品質・性能
ヒンジ	耐蝕性のあるものとする。
ラッチセット	
戸当り	腐食の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。

- (4) 外観は、JIS A 6512「可動間仕切」の5. b)による。
- (5) パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひっかき性・開閉耐久性

項目	品質・性能		
	耐薬品性及び耐汚染性	耐引っかき性	開閉耐久性
メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	JIS K 6902「熱硬化性樹脂高圧化粧板試験方法」15.2 B 法の表6に示された耐汚染性のうち材料番号3.6.7.8.9.10.17.の試験結果の判定は、「変化なし」であるものとする。また、材料番号1.2.4.5.11.12.13.14.15.18.は、「変化なし又は軽微な変化」であるものとする。又は、これらと同等以上の性能を有するものとする。	—	JIS A 4702「ドアセット」9.4開閉繰返し試験によるスイングドア (開閉回数10万回) を満足していること及び試験終了時点で構造金物、固定金具等に緩みがないこと。
低圧メラミン樹脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MD F、ポリエステル樹脂系化粧パーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。		
ポリエステル樹脂系加工化粧板	JAS「合板の農林規格」第8条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残らないこと。	JAS「合板の農林規格」第8条特殊加工化粧板に示された耐引っかき性B試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。	
ポリエステル樹脂系化粧 MDF	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。		
ポリエステル樹脂系化粧パーティクルボード	JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。		

- (試験方法)
- (1) ヒンジは、JIS A 1510-2「建築用ドア金物の試験方法—第2部：ドア用金物」に規定する試験による。
- (2) 戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2に規定する試験による。

パネルの材料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外

(11.2.2) (19.2.2)

施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)
屋内	・塩化ビニル製	・300×300	・7.0
	・セラミックタイル <input type="checkbox"/>	・300×300	・
屋外	・レジンコンクリート製 ・コンクリート製	・300×300	・
	・セラミックタイル <input type="checkbox"/>	・300×300	・
屋外	・レジンコンクリート製 ・コンクリート製	・300×300	・

ブロックパターンは JIS T 9251 による

(20.2.6)

材 種	幅 (mm)	取付け工法	端部フラットエンド
・ステンレス製 (SUS304) ・ビニルタイヤ入り	・約35	※ 接着工法 ・埋込み工法	・あり ・ビニル製 ・ステンレス製
・	・	・なし	・

・ 手すり (20.2.8)

材種	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	備考
・集成材	・クリアラッカー	・35 ・45		
・ビニル製ハンドル				

・ 黒板及びホワイトボード (20.2.9)

種類	寸法 (mm)	色彩	形式
・黒板	※ 焼付け	※ 緑 ・黒	・平面 ・曲面 ・スクリーン付き引分け
・ホワイトボード	ほうろう	白	・平面 ・曲面 ・スクリーン付き引分け

取付箇所 (20.2.9)

寸法 (mm) ・ 図示

厚さ (mm) ※ 5

・ ブラインド (20.2.10)

・ 表示 (20.2.10)

区分	材質	寸法・形状 (mm)	厚さ (mm)	取付高さ (mm)	備考
・衝突防止表示 (・片面・片面)	※ ステンレス製 ・ 図示	・30φ	・市販品	・ 図示	
○ 室名札	○ アクリル板 ・ 図示	○ 5	○ 図示		
・ピクトグラフ	・アクリル板 ・ 図示	・5	・ 図示		
・とびら番号	・アクリル板 ・ 図示	・5	・ 図示		
・庁舎案内板	・アクリル板 ・ 図示	・5	・ 図示		
・各階案内板	・アクリル板 ・ 図示	・5	・ 図示		

案内用図記号は JIS Z 8210 による誘導標識、非常用進入口等の表示
※ 消防法に適合する市販品色、書体、印刷等の種別、取付け形式等は図示による

・ 煙突ライニング (20.2.11)

煙突用成形ライニング材

(品質・性能)

種類	ソノトライト系けい酸カルシウムライニング材	心材付き繊維積層ライニング材
適用安全使用温度	・400℃ ・650℃	・400℃ ・650℃
加熱線収縮率	2.0%以下	2.0%以下
曲げ強度	0.8N/mm以下	2.0N/mm以下
圧縮強度	1.0N/mm以下	2.0N/mm以下
スポーリング性	試験体に亀裂の発生、剥離あるいは脱落等がないものとする。	
透水性	試験体裏面に水滴が生じないものとする。	
耐酸性	試験体に形状変化が見られず、崩壊する危険性がないものとする。	
石綿	使用不可。	
ライニング材とコンクリートの境界温度	100℃以下とする。	

- (試験方法)
- (1) スポーリング試験
適用安全使用温度 (300℃) から適用安全使用温度まで100℃間隔で30分間加熱冷却を繰返し、各温度設定時の加熱後及び冷却時の試験体亀裂、剥離、脱落の状況を観察する。
(試験体は完成品とし、サイズは内径600mm×長さ1,000mm程度とする。)
- (2) 透水性試験
JIS A 5430「繊維強化セメント板」10.6透水性試験による。
- (3) 耐酸性試験
1.0%濃度の硝酸及び硫酸水溶液に下記の方法で浸せした後、試験体の外観を調べる。
試験は、試験体を温度20℃、湿度60%の試験室に24時間以上静置した後、酸水溶液に1週間 (168時間) 浸せきする。(ただし、酸水溶液は48時間毎に交換する。) その後、48時間以上温度20℃、湿度60%の試験室に静置した後以外観観察を行う。(試験体のサイズは、100mm×50mmとする。)
- (4) 熱伝導率測定
JIS R 2616「耐火断熱れんがの熱伝導率の試験方法」による。
試験設定温度は100℃、150℃、300℃、450℃、600℃とする。

・ ブラインド (20.2.12)

形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックス・レールの材質	寸法
・横形	・手動	※ ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※ アルミニウム合金製 <input type="checkbox"/>	※ 25	※ 鋼製	・ 図示
		・電動	—	—	—	—
・縦形	・手動	※ 2本操作コード式 1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	アルミニウム合金製	・ 図示
		・電動	—	—	—	—

アルミスラット 焼付け塗装仕上げ
クロススラット 消防法で定める防災性能の表示がある特殊樹脂加工

ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は とする。

・ ロールスクリーン (20.2.13)

材 種	操作方式	遮光性能	寸法 (mm)	取付箇所	備考 (参考価格)
・ポリエステル ・ステンレス製 ・鋼製	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	・1級 ・2級 ・3級	・ 図示	・ 図示	

巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料は製造所の仕様による。

・ カーテン (20.2.14)

形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考 (参考価格)
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・電動 ・ひも引き ・手引き	・フランスひだ ・箱ひだ ・つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ	・ 図示	

ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は とする。
暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり
※300mm以上

・ カーテンレール (20.2.14)

材種	※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 ・ステンレス製 ・シングル ・片引き ・引分け
形式	・ダブル ・引分け
強さによる区分	※10—90
仕上げ	※アルマイト
形状	※角形
溝幅×深さ (mm)	・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・ 図示
材質	・集成材 (仕上げ) ・アルミニウム製 押出し型材 (市販品) 表面処理 ・C—1 ・C—2 (・アンパー ・ブラック系 ・ステンカラー)

・ ブラインドボックス及びカーテンボックス

・ 皮膜等の種類 ※標準仕様書表14.2.1による

・ 鋼製 (仕上げ) ()

○ 天井点検口

材種	寸法	形式	外枠	内枠
○アルミニウム製 ・	○450×450 ・600×600	○一脱形 ・屋内外用 ○屋内向 ・気密形	○縁縁タイプ ・目地タイプ	○縁縁タイプ ・目地タイプ

(品質・性能)
内外枠の材質 アルミニウム製
JIS H 4100 AG063S又は同等の性能を有するもの
表面処理 陽極酸化皮膜JIS H 8601 (AA6) 又は同等の性能を有するもの
(外部に用いる場合は、JIS H 8602のB種又は同等以上の性能を有するもの)

内枠及び外枠のコーナピース
鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの

外枠の取付け金物
鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの

内枠の仕上げ材留付金物
アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材、亜鉛めっき鋼板又は同等の性能を有するもの

耐久性能 (繰返し開閉試験)
(1) 50回、100回、300回の内蓋の垂れ下がりが、0.5mm以内。
(2) 開閉試験後、使用上支障をきたす異常がないこと。
枠の寸法許容差 ±0.5mm
外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内

(試験方法)
内蓋 (内枠) の繰返し開閉試験
(1) 試験体は、枠見込み40mm程度のものとする。
吊り金物は、外枠を天井下地取付け用チャンネルに直接留付ける方式 (天井ボードなどの仕上材を挟んで固定しない方式) とする。標準仕様書14章4節により製作した試験体固定用天井下地開口補強に試験体の天井点検口450mm×450mmを吊り金具4箇所にて各メーカー仕様に従い取付ける。
なお、野縁の種類は、19形とし仕上材は、せつこうボード厚さ9.5mm (JIS A 6901「せつこうボード製品」のGB-Rの難燃2級又は発熱性2級以上) 二重張りとする。
(2) 試験は、内蓋を閉じた状態から自由開放状態にする動作を繰返し行う。
(3) 測定は、上記繰返し試験において、各50回、100回、300回毎に内蓋の垂れ下がりが状態を測定する。

○ 床点検口

材種	寸法	形式	備考
○アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600	○一脱形 ・密閉形 ○屋内向	○鍵付き

密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものである

(品質・性能) 以下のもの又は同等のものとする

使用部位	材 料	屋 内 外 用	屋 内 用
受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材	JIS H 4100 の AG063S-T5 (表面処理) JIS H 8602 の B種 又は JIS H 8601 の AA15	
ステンレス鋼製	JIS G 4305 の SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度		JIS G 4305 の SUS430 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度
鋼材	—		公共建築工事標準仕様書 表 18.3.1 及び表 18.3.2 のさび止め塗料塗リ等の防錆処理を行ったもの
二重蓋の中蓋	鋼鉄 その他	JIS G 5501 の FC150、FC200 塩化ビニル樹脂製等	
目地材	黄銅	JIS H 3100 の C2600、C2720、C2801 JIS H 3250 の C3602、C3604	
ステンレス	JIS G 4305 の SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308 の SUS304		
底板材 コーナーピース 底板補強材	ステンレス鋼板	JIS G 4305 の SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308 の SUS 304	JIS G 4305 の SUS430
アルミニウム板	JIS H 4000 (A1100P H24) (表面処理) 陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601 (AA15) JIS H 8602 (B)		—

(工事名)	南沢森林事務所新築工事	A-11
木造特記仕様書 (その11)	A1 : — A3 : —	12
秋田県建築設計事業協同組合 令和 8年 3月		51

底板材 コーナーピース 底板補強材	鋼材	—	鋼板又は JIS G 3313 にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、公共建築工事標準仕様書 表 18.3.1 及び表 18.3.2 のさび止め塗料塗りの防錆処理を行ったもの
パッキン材			塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等 枠の材質、形状に適した弾力性、密着性、気密性を有するもの
アンカー材 取手			鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの 黄銅鍍鉄製、黄銅製、アルミニウム押出材・合金鍍鉄製、ステンレス鍍鋼品、ステンレス製等 ステンレス鋼材、アルミニウム押出材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする
錠			黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする 施設・開設は、錠又は開閉用ハンドル式とする
蓋の耐荷重性能			蓋中央部が荷重値 Pn=1,000N において残留たわみが点検口の有孔径の 0.08%以内であること 受け枠・蓋その他に使用上支障がないこと 破壊荷重は、荷重値の Pn の2倍以上であること

受け枠寸法の許容差 ±0.5mm
蓋付寸法の許容差 ±0.5mm
受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内

(試験方法)
耐荷重試験
試験体は、張物用とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。
試験は、蓋枠の四周を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。
本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。
本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返し行った後、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。
測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について、1,000Nまで3回繰り返す。

方向	タイプ	耐火性能	防水性能	備考
・垂直方向	・完全(全貫通型)	・耐火型	・有り	
・水平方向	・	・非耐火型	・無し	

目地	内壁	外壁
目地材	・シーリング材(見え掛り部のみ)	・シーリング材(見え掛り部のみ) ・シーリング材(内外共)
目地寸法(mm)	・幅 20 × 深さ 10	・幅 20 × 深さ 10

目地材の材質は標準仕様書表9.7.2による

止水板
形式 ・差込式 ・据置式 ・壁張り式
施工箇所 ・図示

材質	クリアランス	耐火性能	備考
・アルミニウム製	・50 ・100	・有り()	
・ステンレス製	・150	・無し	

外部は防水型とする

材質	受け枠	備考
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製	・ステンレス鋼(SUS304) ・硬質アルミニウム合金	

材質	寸法(mm)			備考
	W	D	H	
○流し台	○1200 ・1500 ・1800	○550 ・600 ・650	○800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
・つり戸棚	・1200 ・900	・450	・500 ・700	市販品
・水切り	・1200 ・900 ・600	—	—	市販品 ステンレス製 ・1段式

品質・性能 JIS A 4420による
形状 ※図示

・旗竿

材種	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考
・アルミニウム合金製	・テーパー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式	

・旗竿受金物

形式	材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(m)
・上下式鎖内蔵式	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製	

・フェンス

フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス
・樹脂塗装メッシュフェンス
・鋼管フェンス
・アルミフェンス

高さ ・図示

プレキャスト
コンクリート (20.3.3、4)

コンクリートの設計基準強度
※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小限
300kg/m³を満足する調合強度
・図示

配筋
※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。
・図示

取付け方法
※図示

材種	材種	種類	質量区分	備考
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	—	—	
・コンクリート間知ブロック			・A ・B	

積み方 ※谷積み ・布積み
目塗り ・図示
伸縮調整目地 材種 ・図示
厚さ ・図示

・窯業系
サイディング (20.3.2)

種類	形状	備き長さ 備き幅	厚さ (mm)	表面 仕上げ	耐凍害 性能	防火 耐火性能	備考 (参考価格)
・	・	・	・	・	・	・	・

張り方 ・縦張り ・横張り
換気口部の防水処理 ・図示
※木造標準仕様書20.3.2(3)(ウ)(c)①から④までによる
現場塗装用サイディングの地下処理及び仕上げ
通気胴縁 樹種 ・ ※杉
通気胴縁の防錆処理方法 ()

○複合金属
サイディング (20.3.3)

種類	形状	有効幅 (mm)	長さ (mm)	厚さ (mm)	表面材 しん材の種類	防火 耐火性能	備考 (参考価格)
・	・	・	・	・	・	・	・

張り方 ・縦張り ・横張り
換気口部の防水処理 ・図示
※木造標準仕様書19.3.2(3)(ウ)①から④までによる
通気胴縁 樹種 ・ ※杉
通気胴縁の防錆処理方法 ()

・ALCパネル(薄
形パネル)工事 (20.4.2、3)

種類	形状	厚さ(mm)	幅(mm)	長さ(mm)
・一般パネル	・	・	・	・
・コーナーパネル	・	・	・	・

張り方 ・縦張り ・横張り
工法 ・通気工法 ・直張り工法
通気胴縁 樹種 ・ ※杉
通気胴縁の防錆処理方法 ()

21章
排水
屋外雨水排水 (21.2.1、2)(表21.2.1、2)

材種	種類・記号	形状	呼び径	備考
・遠心力鉄筋コンクリート管	・外圧管(1種)	・B形管	・図示	

種類	形式	適用荷重	鍵	備考
・硬質ポリ塩化ビニル管	・RF-VPIG ・RS-VUIG ・VP ・VU	・	・有り ・無し	左記以外の品質等は(公社)空気調和衛生工学会 SHASE-S209による

基床の厚さ及び種類 ・図示
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料
※接着剤

側塊の形状及び寸法 ・図示
排水樹の種類 ・図示
砂地業に用いる材料
・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂

砂利地業に用いる材料
・再生クラッシュラン G
・現場打ちの場合のコンクリート材料
設計基準強度 ・ ※18N/mm²

現場打ちの場合の鉄筋
種類の記号 ・ ※SD295A
現場打ちの場合の足掛け金物 ・ ※標準仕様書21.2.2(6)(ウ)
材質 ・ステンレス製 ・鋼製
・合成樹脂皮膜加工されたもの

凍上抑制層に用いる材料
砂の粒度試験 ・行う
・行わない

・鑄鉄製ふた (21.2.1)

名称	種類	適用荷重	鍵	備考
鑄鉄製マンホール ふた	・水封形 ・簡易密閉形 (パッキン式) ・密閉型 (テーパー・パッキン式) ・中ふた付き密閉形 (テーパー・パッキン式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・有り ・無し	左記以外の品質等は(公社)空気調和衛生工学会 SHASE-S209による

・グレーチング (21.2.1)

種類	形式	用途	適用荷重	リバ ビツ	亜鉛めっき (付着量)	上面形状
・鋼製	・受枠付き、 ボルト固定	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・柵ふた用 ・U字溝用	・歩行用	・細目	・()	・凹凸形
・ステンレス製	・受枠付き、 ボルト固定	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・柵ふた用 ・U字溝用	・歩行用	—	—	・凹凸形 ・平形

(品質・性能)
＜鋼製グレーチング＞

項目	品質・性能
メインバー、サイドバー 及びエンドプレート	JIS G 3101 SS400 メインバーピッチ 普通目：30mm～35.3mm程度 細目：12.5mm～15mm程度
クロスバー	JIS G 3101 SS400及びJIS G 3505「軟鋼線材」SWRM
受け枠用アングル材	JIS G 3101 SS400及びJIS G 3132「鋼管用熱間圧延炭素鋼線帯」SPHT 溶融亜鉛めっきの付着量 JIS H 8641「溶融亜鉛めっき」による試験において溶融亜鉛めっきの付着量がHD240以上又は、HD250以上
受け枠用アングル材	塗料仕上げとする場合は、樹脂系塗料
アンカー	間隔・側溝の場合500mm内外
ふた	幅及び長さの許容差 ±3.0mm
荷重性能	設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする

＜ステンレス製グレーチング＞

項目	品質・性能
メインバー、クロスバー	JIS G 4303、JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4308、JIS G 4308の SUS304又はJIS G 4304、JIS G 4305の SUS430J1L
エンドバー、サイドバー	JIS G 4303、JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4308、JIS G 4317、JIS G 4308の SUS304、JIS G 4320の SUS304又はJIS G 4304、JIS G 4305の SUS430J1L
受け枠用アングル材	JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4317、JIS G 4320の SUS304又はJIS G 4304、JIS G 4305の SUS430J1L
アンカー	JIS G 3101 SS400、塩害の多い地区は塩害に対する防錆処理を行う間隔・側溝の場合500mm内外
表面仕上げ	ZB程度
ふた	幅及び長さの許容差 ±3.0mm
荷重性能	設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする

(荷重試験方法)
設計荷重は以下の通りとする。

歩車道区分	荷重種別	側溝用(KN)	横断溝用(KN)	加圧面積(cm)
車道	T-20	78.5	109.8	20×50
	T-14	54.9	76.9	20×50

車道	T-6	23.5	33.0	20×24
	T-2	7.8	11.0	20×16
歩道	4.903N/m ² の等分布荷重			

試験体は、下記の種別ごとに強度計算における応力度が最大となる製品について試験を行う。
イ) 溝ふた 横断用 T-20～T-2のうち1体のうち1体
歩道用 T-20～T-2のうち1体
側溝用 T-20～T-2のうち1体
ロ) U字溝用 側溝用 T-14～T-2のうち1体
歩道用 T-14～T-2のうち1体

設計荷重を基準として一方向繰り返し加力を行う。加力速度は、4.903N/sとする。繰り返し加力は3回行った後、残留ひずみ等がないか確認する。その後設計荷重の1.5倍まで加力し、溶接部のはずれ等異常の有無について確認する。

○街きよ、縁石
及び側溝 (21.3.1、2)(表21.3.1)

種類	形状、寸法
○縁石	・図示
・L形側溝	・図示
・U形側溝	・図示
・U形側溝ふた	・図示
・	・図示

地業の材料 ・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂
砂利地業に用いる材料
○再生クラッシュラン ・切込砂利 ・切込砕石
砂利地業の厚さ ・図示 ※100 (mm)
現場打ちの場合のコンクリート材料
設計基準強度 ・ ※18N/mm²
凍上抑制層に用いる材料
砂の粒度試験 ・行う
○行わない

○埋戻し土 (21.2.1)

○路床 (22.2.2、3、5)(表22.2.1)

種別	材料	厚さ(mm)
・盛土	・A種 ・D種	・B種 ・C種 ・図示
・凍上抑制層	・再生クラッシュラン G ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂	・図示
・フィルター層	・砂	・図示

・路床安定処理
安定処理の方法 ・置き換え工法 ・安定処理工法
路床安定化処理用添加材料
種類 ・普通ポルトランドセメント
・高炉セメントB種 G
・フライアッシュセメントB種
・生石灰 ()
・消石灰 ()

添加量 ・ kg/? (目標CBR ・3以上)
・ジオテキスタイル
単位面積質量 ・60g/m²以上
厚さ(mm) ・0.5～1.0
引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm)以上
透水係数 ・1.5×10⁻¹ cm/sec 以上

試験
砂の粒度試験 ・行う ・行わない
路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ・行わない
路床締め度試験 ・行う ・行わない
現場CBR試験 ・行う ・行わない
(22.3.2、3、5)(表22.3.1)

○路盤 (22.3.2、3、5)(表22.3.1)

路盤材料	
種類	
砕石	・クラッシュラン ・粒度調整砕石
再生材	・クラッシュラン G ・粒度調整砕石 G
・クラッシュラン鉄鋼スラグ G	
・粒度調整鉄鋼スラグ G	
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G	

(工事名)	南沢森林事務所新築工事	A-12
木造特記仕様書(その12)	A1: — A3: —	13
秋田県建築設計事業協同組合 令和 8年 3月		51

<p>○ アスファルト舗装</p> <p>(22. 4. 2～6) (表22. 4. 4)</p> <p>アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示</p> <p>材料及び種類</p> <p>アスファルト</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生アスファルト G (・60～80 ・80～100) ・ストレートアスファルト <p>骨材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 G <p>加熱アスファルト混合物等の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・密粒度アスファルト混合物 (13) ・細粒度アスファルト混合物 (13) ・密粒度アスファルト混合物 (13F) <p>シーラントの乳剤の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PK-1 ・PK-2 <p>試験</p> <p>アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う</p> <p>舗装の平坦性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 	<p>○ コンクリート舗装</p> <p>(22. 5. 2～4、6) (表22. 5. 1、3)</p> <p>コンクリート舗装の構成及び厚さ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部位</th> <th>構成</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">コンクリート舗装</td> <td>車路及び駐車場</td> <td>・図示</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>歩行者用通路</td> <td>・図示</td> <td>・ ※70</td> </tr> </tbody> </table> <p>寒冷地の縁部立下り寸法等 ・図示</p> <p>材料</p> <p>コンクリート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリートの種類 ・設計基準強度 ・所定のスランプ ・粗骨材の最大寸法 <p>※普通コンクリート、標準仕様書表22. 5. 1による</p> <p>早強ポルトランドセメント ・使用する ・使用しない</p> <p>注入目地材料 ・高弾性タイプ ※低弾性タイプ</p> <p>目地</p> <p>種類</p> <p>間隔 ・ m程度ごと</p> <p>構造 ・ 図示</p> <p>※標準仕様書表22. 5. 3及び図22. 5. 1による</p> <p>舗装の平坦性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 	舗装の種類	部位	構成	厚さ (mm)	コンクリート舗装	車路及び駐車場	・図示	・図示	歩行者用通路	・図示	・ ※70	<p>○ 砂利敷き</p> <p>○ 路面標示用塗料</p>	<p>○ 23章 植栽工事</p> <p>・ 植栽地の確認等 (23. 1. 3)</p> <p>・ 植栽基盤の整備 (23. 2. 2、4)</p> <p>・ 植込み用土 (23. 2. 3)</p> <p>・ 土壌改良材 (23. 2. 3)</p>												
		舗装の種類	部位	構成	厚さ (mm)																					
コンクリート舗装	車路及び駐車場	・図示	・図示																							
	歩行者用通路	・図示	・ ※70																							
<p>・ カラー舗装 (22. 6. 2～4)</p> <p>・ 加熱系カラー舗装</p> <p>構成・厚さ ・図示</p> <p>加熱系混合物の結合材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物 顔料の添加量 (%) <p>着色骨材 ()</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2種 G 加熱 ・自然石 () <p>・常温系カラー舗装</p> <p>工法 ・ニート工法 ・塗布工法</p> <p>着色部の下部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装 	<p>○ 透水性アスファルト舗装 (22. 7. 2、3、6)</p> <p>構成 ・図示</p> <p>材料</p> <p>骨材 ・道路用砕石</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスファルトコンクリート再生骨材 G (表22. 4. 1) (種類 ・60～80 ・80～100) <p>試験</p> <p>開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う</p> <p>砂の粒度試験 ・行う</p> <p>舗装の平坦性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ※著しい不陸がないもの <p>・コンクリート平板舗装 G (22. 8. 2、3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>目地材</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・普通平板 (N)</td> <td>・300角</td> <td>・</td> <td>・モルタル</td> <td>表面加工</td> </tr> <tr> <td>・透水平板 (P)</td> <td>・</td> <td>※60</td> <td>※砂</td> <td>・研ぎ出し</td> </tr> <tr> <td>・保水性平板 (M)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・洗い出し</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・たたき出し</td> </tr> </tbody> </table> <p>クッション材 ・空練りモルタル ※砂</p>	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備考	・普通平板 (N)	・300角	・	・モルタル	表面加工	・透水平板 (P)	・	※60	※砂	・研ぎ出し	・保水性平板 (M)	・	・	・	・洗い出し					・たたき出し
種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備考																						
・普通平板 (N)	・300角	・	・モルタル	表面加工																						
・透水平板 (P)	・	※60	※砂	・研ぎ出し																						
・保水性平板 (M)	・	・	・	・洗い出し																						
				・たたき出し																						
<p>○ アスファルト舗装</p> <p>(22. 4. 2～6) (表22. 4. 4)</p> <p>アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示</p> <p>材料及び種類</p> <p>アスファルト</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生アスファルト G (・60～80 ・80～100) ・ストレートアスファルト <p>骨材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 G <p>加熱アスファルト混合物等の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・密粒度アスファルト混合物 (13) ・細粒度アスファルト混合物 (13) ・密粒度アスファルト混合物 (13F) <p>シーラントの乳剤の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PK-1 ・PK-2 <p>試験</p> <p>アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う</p> <p>舗装の平坦性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 	<p>○ コンクリート舗装</p> <p>(22. 5. 2～4、6) (表22. 5. 1、3)</p> <p>コンクリート舗装の構成及び厚さ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部位</th> <th>構成</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">コンクリート舗装</td> <td>車路及び駐車場</td> <td>・図示</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>歩行者用通路</td> <td>・図示</td> <td>・ ※70</td> </tr> </tbody> </table> <p>寒冷地の縁部立下り寸法等 ・図示</p> <p>材料</p> <p>コンクリート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリートの種類 ・設計基準強度 ・所定のスランプ ・粗骨材の最大寸法 <p>※普通コンクリート、標準仕様書表22. 5. 1による</p> <p>早強ポルトランドセメント ・使用する ・使用しない</p> <p>注入目地材料 ・高弾性タイプ ※低弾性タイプ</p> <p>目地</p> <p>種類</p> <p>間隔 ・ m程度ごと</p> <p>構造 ・ 図示</p> <p>※標準仕様書表22. 5. 3及び図22. 5. 1による</p> <p>舗装の平坦性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 	舗装の種類	部位	構成	厚さ (mm)	コンクリート舗装	車路及び駐車場	・図示	・図示	歩行者用通路	・図示	・ ※70	<p>○ 砂利敷き</p> <p>○ 路面標示用塗料</p>	<p>○ 23章 植栽工事</p> <p>・ 植栽地の確認等 (23. 1. 3)</p> <p>・ 植栽基盤の整備 (23. 2. 2、4)</p> <p>・ 植込み用土 (23. 2. 3)</p> <p>・ 土壌改良材 (23. 2. 3)</p>												
舗装の種類	部位	構成	厚さ (mm)																							
コンクリート舗装	車路及び駐車場	・図示	・図示																							
	歩行者用通路	・図示	・ ※70																							

<p>普通平板は G (再生材料を用いた舗装用ブロック)、透水平板は G (透水性コンクリート) とする。</p> <p>仕上がり面の平坦性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ※歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内とする。 <p>・インターロッキングブロック舗装 G</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>部位</th> <th>形状寸法</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>曲げ強度 (N/mm²)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・透水性ブロック (P)</td> <td rowspan="2">車路</td> <td rowspan="2">・図示</td> <td rowspan="2">・ ※80</td> <td rowspan="2">※5.0</td> <td rowspan="2">表面加工</td> </tr> <tr> <td>・保水性ブロック (M)</td> </tr> <tr> <td>※普通ブロック (N)</td> <td rowspan="3">歩行者用通路</td> <td rowspan="3">・図示</td> <td rowspan="3">・ ※60</td> <td rowspan="3">※3.0</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>・透水性ブロック (P)</td> </tr> <tr> <td>・保水性ブロック (M)</td> </tr> <tr> <td>※普通ブロック (N)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>クッション材 ・空練りモルタル ※砂</p> <p>歩行者用通路に使用する普通ブロックは G (再生材料を用いた舗装用ブロック)、透水性ブロックは G (透水性コンクリート) とする。</p> <p>仕上がり面の平坦性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ※歩行に支障となる段差がないものとし、インターロッキングブロック間の段差は3mm以内とする。 <p>・舗石舗装</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>形状・寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工方法</th> <th>基層</th> <th>基層の厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・花崗岩</td> <td>・割石</td> <td>・</td> <td>・うろこ張り</td> <td>・コンクリート版</td> <td>・ ※70</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・図示</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・アスファルト混合物</td> <td>・ ※50</td> </tr> </tbody> </table> <p>クッション材 ・空練りモルタル ※砂</p> <p>仕上がり面の平坦性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ※歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差3mm以内とする <p>・ジオテキスタイル</p> <p>単位面積質量 ・60g/m²以上</p> <p>厚さ (mm) ・0.5～1.0</p> <p>引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上</p> <p>透水係数 ・1.5×10⁻¹ cm/sec以上</p>	種類	部位	形状寸法	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm ²)	備考	・透水性ブロック (P)	車路	・図示	・ ※80	※5.0	表面加工	・保水性ブロック (M)	※普通ブロック (N)	歩行者用通路	・図示	・ ※60	※3.0		・透水性ブロック (P)	・保水性ブロック (M)	※普通ブロック (N)						種類	形状・寸法 (mm)	厚さ (mm)	施工方法	基層	基層の厚さ (mm)	・花崗岩	・割石	・	・うろこ張り	・コンクリート版	・ ※70	・	・図示	・	・	・アスファルト混合物	・ ※50	<p>○ 砂利敷き</p> <p>(22. 9. 2)</p> <p>種類 ・A種 (施工範囲： ・図示 ・通路)</p> <p>・B種 (施工範囲： ・図示 ・建物周囲その他)</p>	<p>○ 路面標示用塗料</p> <p>路面標示用塗料はJIS K 5665による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>施工</th> <th>適用</th> <th>色</th> <th>幅 (mm)</th> <th>塗布厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・1種 G</td> <td>常温</td> <td>液状</td> <td>・白</td> <td>・150</td> <td>・1.0</td> </tr> <tr> <td>・2種 G</td> <td>加熱</td> <td></td> <td>・</td> <td>・100</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>※3種1号</td> <td>溶融</td> <td>粉体状</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>G低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料</p>	種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)	・1種 G	常温	液状	・白	・150	・1.0	・2種 G	加熱		・	・100	・	※3種1号	溶融	粉体状	・	・	・
種類	部位	形状寸法	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm ²)	備考																																																																		
・透水性ブロック (P)	車路	・図示	・ ※80	※5.0	表面加工																																																																		
・保水性ブロック (M)																																																																							
※普通ブロック (N)	歩行者用通路	・図示	・ ※60	※3.0																																																																			
・透水性ブロック (P)																																																																							
・保水性ブロック (M)																																																																							
※普通ブロック (N)																																																																							
種類	形状・寸法 (mm)	厚さ (mm)	施工方法	基層	基層の厚さ (mm)																																																																		
・花崗岩	・割石	・	・うろこ張り	・コンクリート版	・ ※70																																																																		
・	・図示	・	・	・アスファルト混合物	・ ※50																																																																		
種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)																																																																		
・1種 G	常温	液状	・白	・150	・1.0																																																																		
・2種 G	加熱		・	・100	・																																																																		
※3種1号	溶融	粉体状	・	・	・																																																																		
<p>○ 23章 植栽工事</p> <p>・ 植栽地の確認等 (23. 1. 3)</p> <p>・ 植栽基盤の整備 (23. 2. 2、4)</p> <p>・ 植込み用土 (23. 2. 3)</p> <p>・ 土壌改良材 (23. 2. 3)</p>	<p>○ 23章 植栽工事</p> <p>・ 植栽地の確認等 (23. 1. 3)</p> <p>・ 植栽基盤の整備 (23. 2. 2、4)</p> <p>・ 植込み用土 (23. 2. 3)</p> <p>・ 土壌改良材 (23. 2. 3)</p>	<p>○ 23章 植栽工事</p> <p>・ 植栽地の確認等 (23. 1. 3)</p> <p>・ 植栽基盤の整備 (23. 2. 2、4)</p> <p>・ 植込み用土 (23. 2. 3)</p> <p>・ 土壌改良材 (23. 2. 3)</p>	<p>○ 23章 植栽工事</p> <p>・ 植栽地の確認等 (23. 1. 3)</p> <p>・ 植栽基盤の整備 (23. 2. 2、4)</p> <p>・ 植込み用土 (23. 2. 3)</p> <p>・ 土壌改良材 (23. 2. 3)</p>																																																																				

<p>種別及び指定量等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バーク堆肥 G ・図示 ※植栽範囲 <p>施工箇所</p> <p>使用量 植栽基盤面積1㎡あたり (・50L ・)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) G ・図示 ※植栽範囲 <p>施工箇所</p> <p>使用量 植栽基盤面積1㎡あたり (・10L ・)</p> <p>材料</p> <p>「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする</p> <p>・ 樹木 (23. 3. 2)</p> <p>・ 支柱 (23. 3. 2、3)</p> <p>支柱材 ・ 真竹 ※丸太 (間伐材) G</p> <p>防腐処理方法 ・ ※加圧式防腐処理丸太材</p> <p>形式 ・ 図示</p> <p>・ 幹巻き用材料 (23. 3. 2)</p> <p>材料 ・わら及びこも ※幹巻き用テープ</p> <p>・ 芝 (23. 4. 2、3)</p> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ノシバ ※コウライシバ <p>芝張りの工法</p> <p>平地 ・べた張り ※目地張り</p> <p>法面 ・目地張り ※べた張り</p> <p>・ 吹付けは種 (23. 4. 2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種子の種類</th> <th>発芽率</th> <th>種子の量 (g/m²)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>※ 洋芝類 (採取後2年以内)</td> <td>※ 発芽率80%以上</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 地被類 (23. 4. 2)</p> <p>・ 新植、芝等の枯保証、移植樹木の枯損処置 (23. 3. 4、6) (23. 4. 7)</p> <p>新植樹木 (芝張り、吹付けは種及び地被類を含む) の枯損償の期間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ※引渡しの日から1年 <p>移植樹木の枯損処置を行う期間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ※引渡しの日から1年 <p>・ 屋上緑化 G (23. 5. 2～4)</p> <p>植栽基盤及び材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋上緑化システム ・ 図示 <p>土壌層の厚さ</p> <p>排水層</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽量骨材 (層の厚さ：) ・板状成形品 <p>植込み用土 ・人工軽量土 ※改良土</p> <p>樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示 <p>見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示 <p>(品質・性能)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>透水フィルターの材質及び透水性</td> <td>材質は、合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるもの。透水性は、その週の数値が直前の週の数値より高い値を維持し、透水係数の上昇傾向を確認できること。</td> </tr> <tr> <td>透水、排水層等構成材の主要材質</td> <td>合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるもの。 (保水層を有する場合は、保水層共)</td> </tr> <tr> <td>排水層</td> <td>植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。</td> </tr> <tr> <td>排水層の鉛直方向の排水性能</td> <td>240L/m²/h以上</td> </tr> <tr> <td>耐荷重性能</td> <td>最大土壌層厚の単位面積当たりの重量の1.5倍以上、かつ、一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。</td> </tr> <tr> <td>排水層の許容圧縮強度</td> <td>3×10⁴N/m²の載荷重で破壊・有害なひずみなど異常のないこと。 (保水層を有する場合は保水層共)</td> </tr> <tr> <td>耐根層</td> <td>重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。</td> </tr> <tr> <td>耐根層保護層</td> <td>材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート (絶縁シートも含む) の下に設ける場合は省略することができるものとする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(試験方法)</p> <p>(1) 透水フィルターの透水性</p> <p>(イ) JIS A 1218「土の透水試験方法」の定水位透水試験に準じたインターロッキングブロックの透水性試験装置の下部に試験体 (透水フィルター) をセットし、その上に砂 (JIS A 5308「レディミクストコンクリート」付属書Aに規定する砂) 及びシルト#250を容積比9:1</p>	種子の種類	発芽率	種子の量 (g/m ²)	備考	・	・	・	・	※ 洋芝類 (採取後2年以内)	※ 発芽率80%以上			項目	性能	透水フィルターの材質及び透水性	材質は、合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるもの。透水性は、その週の数値が直前の週の数値より高い値を維持し、透水係数の上昇傾向を確認できること。	透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるもの。 (保水層を有する場合は、保水層共)	排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。	排水層の鉛直方向の排水性能	240L/m ² /h以上	耐荷重性能	最大土壌層厚の単位面積当たりの重量の1.5倍以上、かつ、一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。	排水層の許容圧縮強度	3×10 ⁴ N/m ² の載荷重で破壊・有害なひずみなど異常のないこと。 (保水層を有する場合は保水層共)	耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。	耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート (絶縁シートも含む) の下に設ける場合は省略することができるものとする。	<p>・ 樹木 (23. 3. 2)</p> <p>・ 支柱 (23. 3. 2、3)</p> <p>支柱材 ・ 真竹 ※丸太 (間伐材) G</p> <p>防腐処理方法 ・ ※加圧式防腐処理丸太材</p> <p>形式 ・ 図示</p> <p>・ 幹巻き用材料 (23. 3. 2)</p> <p>材料 ・わら及びこも ※幹巻き用テープ</p> <p>・ 芝 (23. 4. 2、3)</p> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ノシバ ※コウライシバ <p>芝張りの工法</p> <p>平地 ・べた張り ※目地張り</p> <p>法面 ・目地張り ※べた張り</p> <p>・ 吹付けは種 (23. 4. 2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種子の種類</th> <th>発芽率</th> <th>種子の量 (g/m²)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>※ 洋芝類 (採取後2年以内)</td> <td>※ 発芽率80%以上</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 地被類 (23. 4. 2)</p> <p>・ 新植、芝等の枯保証、移植樹木の枯損処置 (23. 3. 4、6) (23. 4. 7)</p> <p>新植樹木 (芝張り、吹付けは種及び地被類を含む) の枯損償の期間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ※引渡しの日から1年 <p>移植樹木の枯損処置を行う期間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ※引渡しの日から1年 <p>・ 屋上緑化 G (23. 5. 2～4)</p> <p>植栽基盤及び材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋上緑化システム ・ 図示 <p>土壌層の厚さ</p> <p>排水層</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽量骨材 (層の厚さ：) ・板状成形品 <p>植込み用土 ・人工軽量土 ※改良土</p> <p>樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示 <p>見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示 <p>(品質・性能)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>透水フィルターの材質及び透水性</td> <td>材質は、合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるもの。透水性は、その週の数値が直前の週の数値より高い値を維持し、透水係数の上昇傾向を確認できること。</td> </tr> <tr> <td>透水、排水層等構成材の主要材質</td> <td>合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるもの。 (保水層を有する場合は、保水層共)</td> </tr> <tr> <td>排水層</td> <td>植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。</td> </tr> <tr> <td>排水層の鉛直方向の排水性能</td> <td>240L/m²/h以上</td> </tr> <tr> <td>耐荷重性能</td> <td>最大土壌層厚の単位面積当たりの重量の1.5倍以上、かつ、一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。</td> </tr> <tr> <td>排水層の許容圧縮強度</td> <td>3×10⁴N/m²の載荷重で破壊・有害なひずみなど異常のないこと。 (保水層を有する場合は保水層共)</td> </tr> <tr> <td>耐根層</td> <td>重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。</td> </tr> <tr> <td>耐根層保護層</td> <td>材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート (絶縁シートも含む) の下に設ける場合は省略することができるものとする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(試験方法)</p> <p>(1) 透水フィルターの透水性</p> <p>(イ) JIS A 1218「土の透水試験方法」の定水位透水試験に準じたインターロッキングブロックの透水性試験装置の下部に試験体 (透水フィルター) をセットし、その上に砂 (JIS A 5308「レディミクストコンクリート」付属書Aに規定する砂) 及びシルト#250を容積比9:1</p>	種子の種類	発芽率	種子の量 (g/m ²)	備考	・	・	・	・	※ 洋芝類 (採取後2年以内)	※ 発芽率80%以上			項目	性能	透水フィルターの材質及び透水性	材質は、合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるもの。透水性は、その週の数値が直前の週の数値より高い値を維持し、透水係数の上昇傾向を確認できること。	透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるもの。 (保水層を有する場合は、保水層共)	排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。	排水層の鉛直方向の排水性能	240L/m ² /h以上	耐荷重性能	最大土壌層厚の単位面積当たりの重量の1.5倍以上、かつ、一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。	排水層の許容圧縮強度	3×10 ⁴ N/m ² の載荷重で破壊・有害なひずみなど異常のないこと。 (保水層を有する場合は保水層共)	耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。	耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート (絶縁シートも含む) の下に設ける場合は省略することができるものとする。
種子の種類	発芽率	種子の量 (g/m ²)	備考																																																										
・	・	・	・																																																										
※ 洋芝類 (採取後2年以内)	※ 発芽率80%以上																																																												
項目	性能																																																												
透水フィルターの材質及び透水性	材質は、合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるもの。透水性は、その週の数値が直前の週の数値より高い値を維持し、透水係数の上昇傾向を確認できること。																																																												
透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるもの。 (保水層を有する場合は、保水層共)																																																												
排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。																																																												
排水層の鉛直方向の排水性能	240L/m ² /h以上																																																												
耐荷重性能	最大土壌層厚の単位面積当たりの重量の1.5倍以上、かつ、一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。																																																												
排水層の許容圧縮強度	3×10 ⁴ N/m ² の載荷重で破壊・有害なひずみなど異常のないこと。 (保水層を有する場合は保水層共)																																																												
耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。																																																												
耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート (絶縁シートも含む) の下に設ける場合は省略することができるものとする。																																																												
種子の種類	発芽率	種子の量 (g/m ²)	備考																																																										
・	・	・	・																																																										
※ 洋芝類 (採取後2年以内)	※ 発芽率80%以上																																																												
項目	性能																																																												
透水フィルターの材質及び透水性	材質は、合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるもの。透水性は、その週の数値が直前の週の数値より高い値を維持し、透水係数の上昇傾向を確認できること。																																																												
透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるもの。 (保水層を有する場合は、保水層共)																																																												
排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。																																																												
排水層の鉛直方向の排水性能	240L/m ² /h以上																																																												
耐荷重性能	最大土壌層厚の単位面積当たりの重量の1.5倍以上、かつ、一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。																																																												
排水層の許容圧縮強度	3×10 ⁴ N/m ² の載荷重で破壊・有害なひずみなど異常のないこと。 (保水層を有する場合は保水層共)																																																												
耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。																																																												
耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート (絶縁シートも含む) の下に設ける場合は省略することができるものとする。																																																												

<p>の割合で混合し、高さ80mmの試験容器に加圧せずに均一に充填する。(試験体1体)</p> <p>(ロ) 常温で1日置いた後、上部より給水する。給水5日間連続後取り出して自然水切り2日とした給水サイクルを繰り返す。週2回を下回らない測定回数で圧力差の水頭差110mmを保持したまま、1分間の透水量を計量し、透水係数を算出する。なお、乾燥工程の試験室は20±3℃温度60±5%とする。</p> <p>(ハ) 水切り工程は、試験体の入った試験装置を取り出し、試験室内に水が切れる状態で保管する。</p> <p>(ニ) 各サイクルごとの透水係数の推移をグラフ化し、6週間を過ぎるまでにその週の数値が直前の週の数値より高い値を維持し、透水係数の上昇傾向を確認できれば目詰まりが解消方向にあると判断し、合格とする。</p> <p>(ホ) 試験開始後6週間、流出時間合計が30日を超えた時点で透水係数がまだ上昇に転じない場合は、その後も透水量が増加する方向へ向かうまで流出時間を延長して確認することも可とする。</p> <p>(2) 排水層の耐荷重性能</p> <p>(イ) 最大土壌層厚の単位面積当たりの重量の1.5倍かつ3×10⁴N/m²の等分布荷重による加圧試験を行い、排水層及び耐根層等に有害な変形・破壊の起きないことを確認する。又その時の圧縮応力に対する歪み (%) を測定する。(保水層を有する場合は保水層も対象とする。)</p> <p>(ロ) 試験体は耐根層から透水層までを通常使用状態にセットした3体とする。加圧速度は10mm/min以下とする。</p> <p>・ 屋上緑化軽量システム</p> <p>樹木、芝及び地被類の樹種並びに種類、寸法、株立数等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示 <p>見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示 <p>(品質・性能)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>透水、排水層等構成材の主要材質</td> <td>合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 (保水層を有する場合は、保水層共)</td> </tr> <tr> <td>透水層</td> <td>目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植込み用土を流出させない構造であること。</td> </tr> <tr> <td>排水層</td> <td>植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。</td> </tr> <tr> <td>排水層の鉛直方向の排水性能</td> <td>240L/m²/h以上</td> </tr> <tr> <td>耐荷重性能</td> <td>一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。</td> </tr> <tr> <td>排水層の許容圧縮強度</td> <td>3×10⁴N/m²以上の載荷重で破壊・有害なひずみなど異常がないこと。 (保水層を有する場合は保水層共)</td> </tr> <tr> <td>耐根層</td> <td>重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。</td> </tr> <tr> <td>耐根層保護層</td> <td>材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート (絶縁シートも含む) の下に設ける場合は省略することができるものとする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(試験方法)</p> <p>(1) 排水層の耐荷重性能</p> <p>(イ) 3×10⁴N/m²の等分布荷重による加圧試験を行い、排水層及び耐根層等に有害な変形・破壊の起きないことを確認する。また、その時の圧縮応力に対する歪み (%) を測定する。(保水層を有する場合は保水層も対象とする。)</p> <p>(ロ) 試験体は耐根層から透水層までを通常使用状態にセットした3体とする。加圧速度は10mm/min以下とする。</p> <p>工法</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>支柱 ・設置する (形式 ・図示)</p> <p>かん水装置 ・設置する (種類 ・)</p>	項目	品質・性能	透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 (保水層を有する場合は、保水層共)	透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植込み用土を流出させない構造であること。	排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。	排水層の鉛直方向の排水性能	240L/m ² /h以上	耐荷重性能	一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。	排水層の許容圧縮強度	3×10 ⁴ N/m ² 以上の載荷重で破壊・有害なひずみなど異常がないこと。 (保水層を有する場合は保水層共)	耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。	耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート (絶縁シートも含む) の下に設ける場合は省略することができるものとする。	<p>(工事名) 南沢森林事務所新築工事</p> <p>A1 : -</p> <p>A3 : -</p> <p>秋田県建築設計事業協同組合</p> <p>令和 8年 3月</p>	<p>A-13</p> <p>14</p> <p>51</p>
項目	品質・性能																			
透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 (保水層を有する場合は、保水層共)																			
透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植込み用土を流出させない構造であること。																			
排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。																			
排水層の鉛直方向の排水性能	240L/m ² /h以上																			
耐荷重性能	一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。																			
排水層の許容圧縮強度	3×10 ⁴ N/m ² 以上の載荷重で破壊・有害なひずみなど異常がないこと。 (保水層を有する場合は保水層共)																			
耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。																			
耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート (絶縁シートも含む) の下に設ける場合は省略することができるものとする。																			

使用材料表 1	<5. 2. 2>							
・「製材の日本農林規格」による目視等級区分構造用製材 [G]								
施工箇所	樹種	構造材の種類	等級	寸法 (mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用	
		・ 構造材Ⅰ (甲Ⅰ) ・ 構造材Ⅱ (甲Ⅱ) ・ 乙種	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級		・ SD15 ・ SD20		・	
・「製材の日本農林規格」による機械等級区分構造用製材 [G]								
施工箇所	樹種	曲げ性能 (等級)	寸法 (mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用		
				・ SD15 ・ SD20		・		
(注)無等級材、広葉樹製材及び丸太材の縦振動ヤング係数による基準強度の確認は、以下による。無等級材のうち次の樹種については、製材の日本農林規格第6条に定める品質曲げ性能における等級の区分に準拠する。それ以外の樹種については、既往の研究等に基づき適切に定め、施工計画書を作成し、提出する。 あかまつ、べいまつ、からまつ、ひば、ひのき、べいつが、えぞまつ、とどまつ、すぎ								
(参考)製材の日本農林規格第6条に定める等級の区分(機械的等級区分と測定曲げヤング係数)								
等級	E50	E70	E90	E110	E130	E150		
曲げヤング率 (×10N/mm)	3.9以上 5.9未満	5.9以上 7.8未満	7.8以上 9.8未満	9.8以上 11.8未満	11.8以上 13.7未満	13.7以上		
・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 [G]								
施工箇所	樹種	等級	寸法 (mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用		
		・ 特等 ・ 1等 ・ 2等				・		
加工前に縦振動ヤング係数を測定する部材 (対象部材：)								
・無等級材 [G]								
施工箇所	寸法 (mm)	樹種	含水率 (%)	保存処理	強度試験	材面の品質	間伐材等の適用	
					・ 製材のJAS規格第6条 (対象部材：) ・ 縦振動ヤング係数測定 (対象部材：)	・ 製材のJAS規格第6条 ・ 旧JAS規格第10条 ひき角類1等	・	
旧JAS規格とは、昭和42年農林省告示第1842号をいう。								
・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定された製材 [G]								
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級 (材面の品質)	含水率 (%)	間伐材等の適用			
					・			
・「製材の日本農林規格」による下地用製材 [G]								
施工箇所	樹種	等級	寸法 (mm)	含水率 (%)	保存処理	間伐材等の適用		
		・ 1級 ・ 2級		・ SD15 ・ SD20		・		
・「集成材の日本農林規格」による構造用集成材 [G]								
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	曲げ性能 (強度等級)	材面の品質	接着性能 (使用環境)	保存処理	間伐材等の適用
								・
・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱 [G]								
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用	
		芯材：				・ 1等 ・ 2等	・	
・「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」による甲種枠組材 [G]								
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	等級	間伐材等の適用		
					・ 特級 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	・		

・「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」による乙種枠組材 [G]								
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	等級	間伐材等の適用		
					・ コンストラクション ・ スタンダード ・ ユティリティ	・		
・「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」によるMSR枠組材 [G]								
施工箇所	寸法型式 (mm)	樹種又は樹種群	曲げ強度性能 (MSR等級)	未乾燥材又は乾燥材の別	間伐材等の適用			
					・			
・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定されたMSR枠組材 [G]								
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級	含水率 (%)	間伐材等の適用			
					・			
・「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」による甲種たて継ぎ材 [G]								
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級	含水率 (%)	間伐材等の適用			
			・ 特級 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級		・			
・「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」による乙種たて継ぎ材 [G]								
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級	含水率 (%)	間伐材等の適用			
			・ コンストラクション ・ スタンダード ・ ユティリティ		・			
・「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」によるMSRたて継ぎ材 [G]								
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	曲げ強度性能 (MSR等級)	間伐材等の適用				
				・				
・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定されたたて継ぎ材 [G]								
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級	含水率 (%)	間伐材等の適用			
					・			
・「単板積層材の日本農林規格」による構造用単板積層材 [G]								
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	接着性能 (使用環境)	曲げ性能 (曲げヤング係数区分)	水平せん断区分	保存処理	間伐材等の適用
				・ A ・ B ・ C	・ A種 ・ B種		・ K3	・
・丸太材 [G]								
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	含水率 (%)	末口径 (mm)	間伐材等の適用			
					・			
加工前に縦振動ヤング係数を測定し、基準強度を満たしていることを確認すること。(対象部材：)								
・木質接着成形軸材料 [G]								
施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用				
				・				
・木質複合軸材料 [G]								
施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用				
				・				

・木質断熱複合パネル [G]								
施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用				
				・				
・木質接着複合パネル [G]								
施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用				
				・				
・CLT (直交集成材) [G]								
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	曲げ性能 (強度等級)	種別	接着性能 (使用環境)	間伐材等の適用	
							・	
使用材料表 2								
・構造用パーティクルボード [G]								
施工箇所	表裏面状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ (mm)	間伐材等の適用			
					・			
・構造用MDF [G]								
施工箇所	表裏面状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	厚さ (mm)	間伐材等の適用			
					・			
・「合板の日本農林規格」による構造用合板 [G]								
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	等級	板面の品質	曲げ性能 (強度等級)	単板の樹種名	保存処理	間伐材等の適用
		・ 1類 ・ 特類	・ 2級 ・ 1級					・
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 [G]								
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	間伐材等の適用				
			・ 1類 ・ 特類	・				
・「構造用パネルの日本農林規格」による構造用パネル [G]								
施工箇所	厚さ (mm)	曲げ性能 (等級) (・常態曲げ試験 ・ 湿潤曲げ試験)	間伐材等の適用					
		・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級	・					
・パーティクルボード [G]								
施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	間伐材等の適用			
					・			
・ハードファイバーボード [G]								
施工箇所	厚さ (mm)	油、樹脂等の特殊処理	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	難燃性による区分	間伐材等の適用		
						・		
・パルプセメント板 [G]								
施工箇所	厚さ (mm)	種類	備考					
		かさ密度による区分 ・ 0.9板 ・ 1.1板	化粧加工の有無による区分 ・ 普通板 ・ 化粧板					
・国土交通大臣の認定を受けた壁倍率の数値を定められた構造用面材 [G]								
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用			
					・			

使用材料表 3	<6. 2. 2>							
・「集成材の日本農林規格」による構造用集成材 [G]								
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	曲げ性能 (強度等級)	材面の品質	接着性能 (使用環境)	保存処理	間伐材等の適用
								・
・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱 [G]								
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用	
		芯材：				・ 1等 ・ 2等	・	
・「単板積層材の日本農林規格」による構造用単板積層材 [G]								
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	接着性能 (使用環境)	曲げ性能 (曲げヤング係数区分)	水平せん断区分	保存処理	間伐材等の適用
				・ A ・ B ・ C	・ A種 ・ B種		・ K3	・
・「製材の日本農林規格」による目視等級区分構造用製材 [G]								
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	構造材の種類	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用	
			・ 構造材Ⅰ (甲Ⅰ) ・ 構造材Ⅱ (甲Ⅱ) ・ 乙種	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	・ SD15 ・ SD20		・	
・「製材の日本農林規格」による機械等級区分構造用製材 [G]								
施工箇所	樹種	曲げ性能 (等級)	寸法 (mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用		
				・ SD15 ・ SD20		・		
・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定された製材 [G]								
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級 (材面の品質)	含水率 (%)	間伐材等の適用			
					・			
(注)無等級材、広葉樹製材及び丸太材の縦振動ヤング係数による基準強度の確認は、以下による。無等級材のうち次の樹種については、製材の日本農林規格第6条に定める品質曲げ性能における等級の区分に準拠する。それ以外の樹種については、既往の研究等に基づき適切に定め、施工計画書を作成し、提出する。 あかまつ、べいまつ、からまつ、ひば、ひのき、べいつが、えぞまつ、とどまつ、すぎ								
(参考)製材の日本農林規格第6条に定める等級の区分(機械的等級区分と測定曲げヤング係数)								
等級	E50	E70	E90	E110	E130	E150		
曲げヤング率 (×10N/mm)	3.9以上 5.9未満	5.9以上 7.8未満	7.8以上 9.8未満	9.8以上 11.8未満	11.8以上 13.7未満	13.7以上		
・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 [G]								
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用		
			・ 特等 ・ 1等 ・ 2等			・		
加工前に縦振動ヤング係数を測定する部材 (対象部材：)								
・無等級材 [G]								
施工箇所	寸法 (mm)	樹種	含水率 (%)	保存処理	強度試験	材面の品質	間伐材等の適用	
					・ 製材のJAS規格第6条 (対象部材：) ・ 縦振動ヤング係数測定 (対象部材：)	・ 製材のJAS規格第6条 ・ 旧JAS規格第10条 ひき角類1等	・	
旧JAS規格とは、昭和42年農林省告示第1842号をいう。								
・「製材の日本農林規格」による構造用集成材 [G]								
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	曲げ性能 (強度等級)	材面の品質	接着性能 (使用環境)	保存処理	間伐材等の適用
								・
・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱 [G]								
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用	
		芯材：				・ 1等 ・ 2等	・	
・「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」による甲種枠組材 [G]								
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	等級	間伐材等の適用		
					・ 特級 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	・		
旧JAS規格とは、昭和42年農林省告示第1842号をいう。								
(工事名) 南沢森林事務所新築工事							A-14	
使用材料表 (その1)							A1： - A3： -	
秋田県建築設計事業協同組合 令和 8年 3月							5 1	

・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 🔗

施工箇所	樹種	等級	寸法 (mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		・特等・1等・2等				・

加工前に縦振動ヤング係数を測定する部材（対象部材： ）

・その他の製材 🔗

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質 (等級)	含水率 (%)	間伐材等の適用
				・15以下 ・20以下	・

・「集成材の日本農林規格」による構造用集成材 🔗

施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	曲げ性能 (強度等級)	材面の品質 (使用環境)	接着性能 (使用環境)	保存処理	間伐材等の適用
								・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱 🔗

施行箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面 (面数)	材面の品質	間伐材等の適用
		芯材：				・1等・2等	・

・「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」による甲種枠組材 🔗

施行箇所	樹種又は樹種群	等級	寸法型式 (mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	間伐材等の適用
		・特級・1級・2級・3級				・

・「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」による乙種枠組材 🔗

施行箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	等級	間伐材等の適用
					・コンストラクション ・スタンダード ・ユティリティ	・

・「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」によるMSR枠組材 🔗

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	曲げ強度性能 (MSR等級)	未乾燥材又は乾燥材の別	間伐材等の適用
					・

・「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」による甲種たて継ぎ材 🔗

施工箇所	樹種又は樹種群	等級	寸法型式 (mm)	間伐材等の適用
		・特級・1級・2級・3級		・

・「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」による乙種たて継ぎ材 🔗

施工箇所	樹種又は樹種群	等級	寸法型式 (mm)	間伐材等の適用
		・コンストラクション ・スタンダード ・ユティリティ		・

・「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」によるMSRたて継ぎ材 🔗

施工箇所	樹種又は樹種群	曲げ強度性能 (MSR等級)	寸法型式 (mm)	間伐材等の適用
				・

・木質接着成形軸材料 🔗

施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用
				・

・木質複合軸材料 🔗

施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用
				・

・木質断熱複合パネル 🔗

施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用
				・

・木質接着複合パネル 🔗

施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用
				・

・柱に用いる丸太材 🔗

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	末口径 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用
					・

使用材料表 7 <8. 2. 4>

・「合板の日本農林規格」による構造用合板 🔗

施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	等級	板面の品質	曲げ性能 (強度等級)	単板の樹種名	保存処理	間伐材等の適用
		・1類 ・特類	・2級 ・1級					・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 🔗

施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	単板の樹種名
		・1類 ・特類		・

・パーティクルボード 🔗

施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	間伐材等の適用
					・

・「構造用パネルの日本農林規格」による構造用パネル 🔗

施工箇所	厚さ (mm)	曲げ性能 (等級) (・常態曲げ試験 ・湿潤曲げ試験)	間伐材等の適用
		・1級・2級・3級・4級	・

使用材料表 8

・C L T (直交集成板) 🔗

施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	曲げ性能 (強度等級)	接着性能 (使用環境)	間伐材等の適用
				・2級・1級		・

使用材料表 9 <10. 2. 2>

・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 🔗

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級 (材面の品質)	形状	含水率 (%)	間伐材等の適用
			・2級・1級			・

・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材 🔗

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級 (材面の品質)	形状	含水率 (%)	間伐材等の適用
見え掛り部			・上小節			・
見え掛り面以外			・小節以上			・

・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 🔗

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級 (材面の品質)	含水率 (%)	間伐材等の適用
			・1等	・10以下 ・13以下	・

・「製材の日本農林規格」以外の下地用針葉樹製材 🔗

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	乾燥処理の適用	防虫処理の適用	難燃処理の適用	含水率	間伐材等の適用
				・適用する ・適用しない	・適用する () ・適用しない	・適用する ・適用しない	・A種 ・B種	・

・「製材の日本農林規格」以外の造作及び仕上げに用いる針葉樹製材 🔗

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	乾燥処理の適用	防虫処理の適用	難燃処理の適用	含水率	間伐材等の適用
				・適用する ・適用しない	・適用する () ・適用しない	・適用する ・適用しない ※ A種	・B種 ・A種	・

・「製材の日本農林規格」以外の造作及び仕上げに用いる広葉樹製材 🔗

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	乾燥処理の適用	防虫処理の適用	難燃処理の適用	含水率	間伐材等の適用
				・適用する ・適用しない	・適用する () ・適用しない	・適用する ・適用しない ※ A種	・B種 ・A種	・

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 🔗

施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	見付け材面数 (面)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					・2等 ※ 1等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 🔗

施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面数 (面)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
		化粧薄板： 芯材：				・2等 ※ 1等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱 🔗

施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面数 (面)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
		化粧薄板： 芯材：				・2等 ※ 1等	・

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 🔗

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率 (%)	間伐材等の適用
				※ 15以下	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 🔗

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率 (%)	間伐材等の適用
		化粧薄板： 芯材：			※ 15以下	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱 🔗

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率 (%)	間伐材等の適用
		化粧薄板： 芯材：			※ 15以下	・

・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 🔗

施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理の適用	間伐材等の適用
		・無 (・1等・2等・3等) ・有 (・天然木化粧加工 ・塗装加工)	・適用する () ・適用しない	・

・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 🔗

施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用
		・無 () ・有 (・天然木化粧加工 ・塗装加工)	※ 14以下	・適用する () ・適用しない	・

・C L T (直交集成板) 🔗

施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	曲げ性能 (強度等級)	接着性能 (使用環境)	間伐材等の適用
						・

使用材料表 10 <10. 2. 3>

・「合板の日本農林規格」による普通合板 🔗

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理の適用	間伐材等の適用
						・

・「合板の日本農林規格」による構造用合板 🔗

施工箇所	厚さ (mm)	等級	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理の適用	強度等級の適用	間伐材等の適用
								・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 🔗

施工箇所	単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用
					・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 🔗

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用
					・

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 🔗

施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理の適用	間伐材等の適用
						・

・パーティクルボード 🔗

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ (mm)	間伐材等の適用
		・ ※ 13	・ Pタイプ ・ Mタイプ	・ 15	・

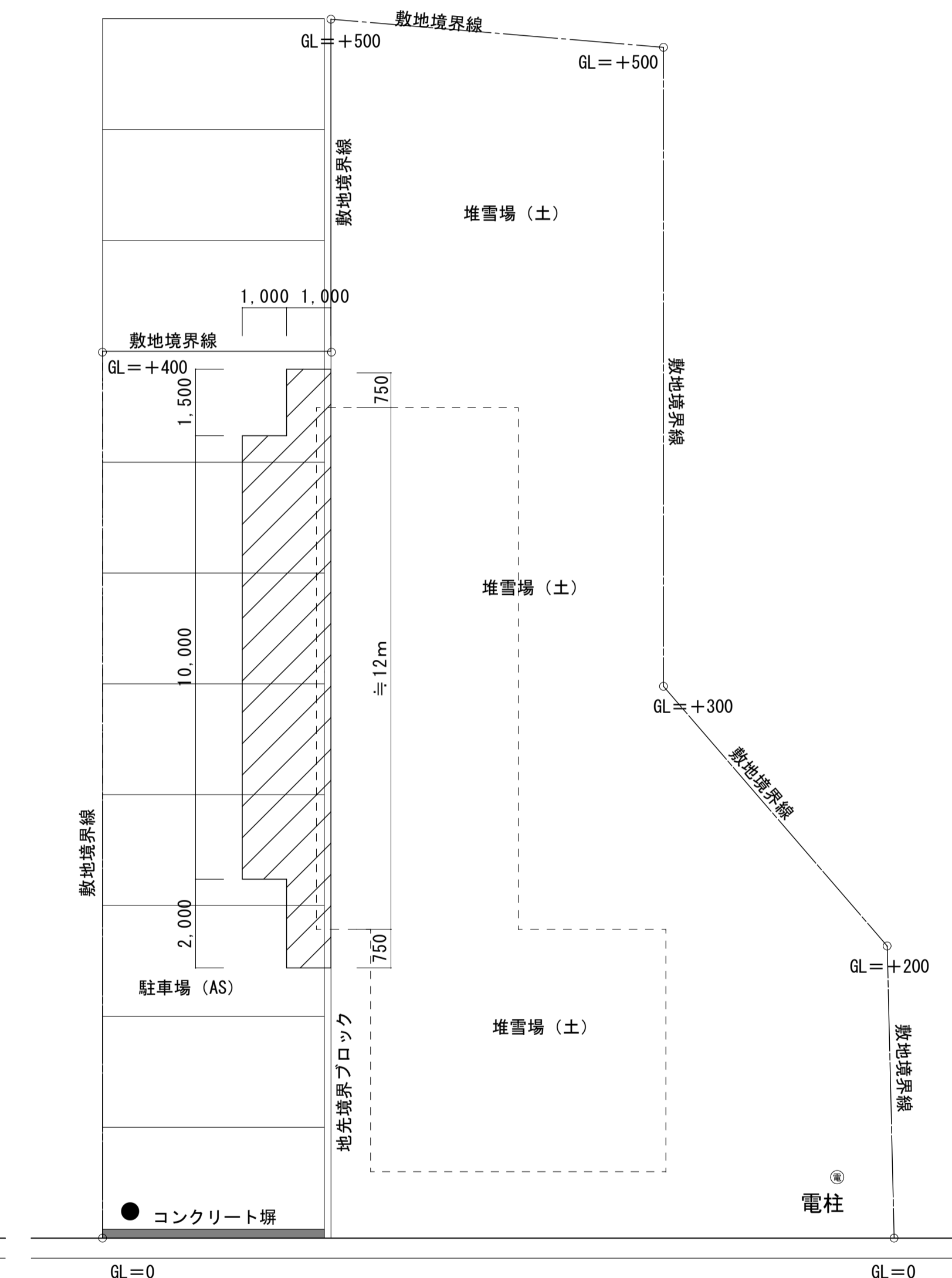
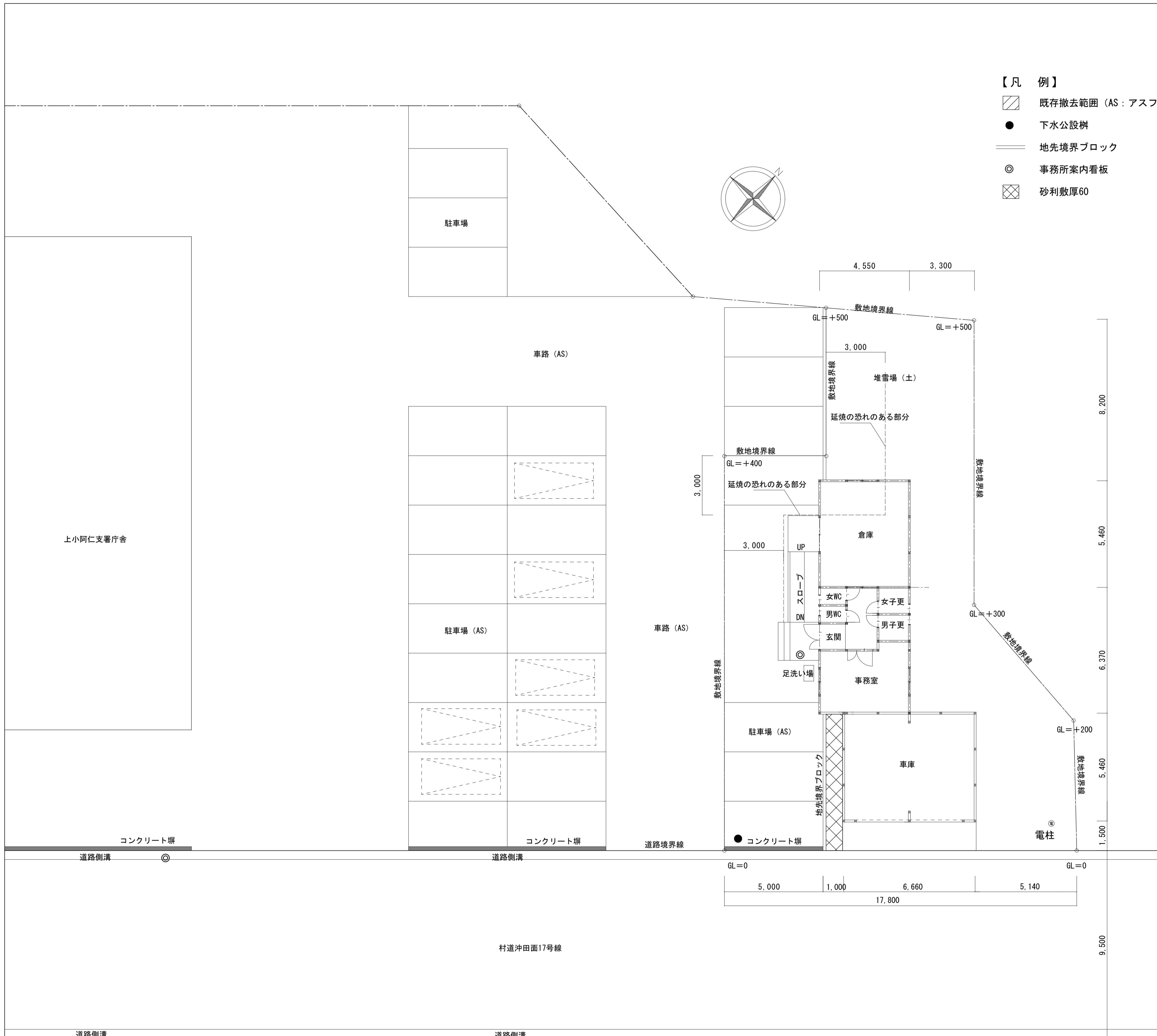
・「構造用パネルの日本農林規格」による構造用パネル 🔗

施工箇所	等級 (・常態曲げ試験 ・湿潤曲げ試験)	厚さ (mm)	間伐材等の適用
	・1級・2級・3級・4級		・

・MDF 🔗

施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用
						・

使用材料表 (その3)	(工事名) 南沢森林事務所新築工事	A-16
	A1: -	17
	A3: -	51
秋田県建築設計事業協同組合 令和 8年 3月		

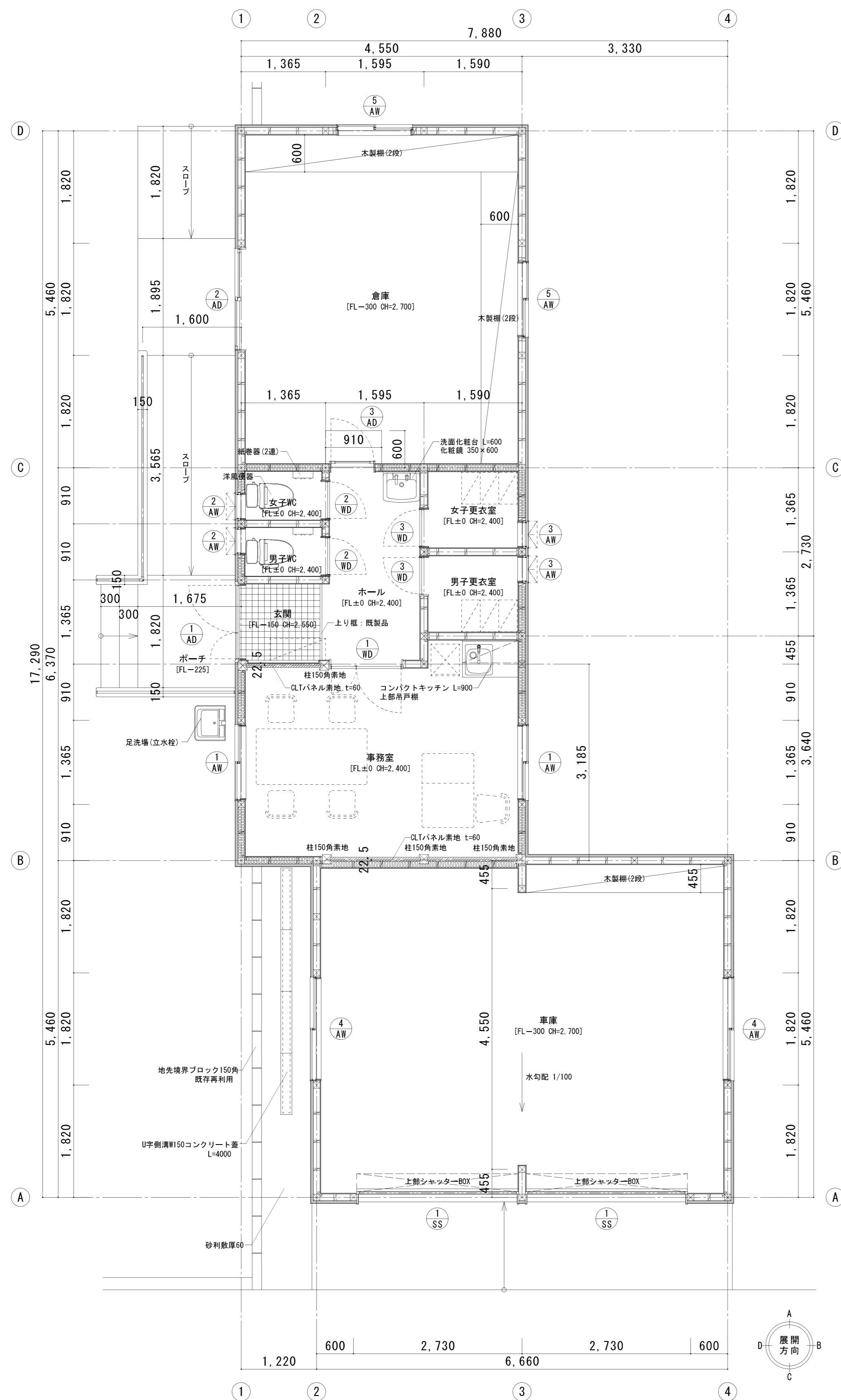


【外構工事内容】

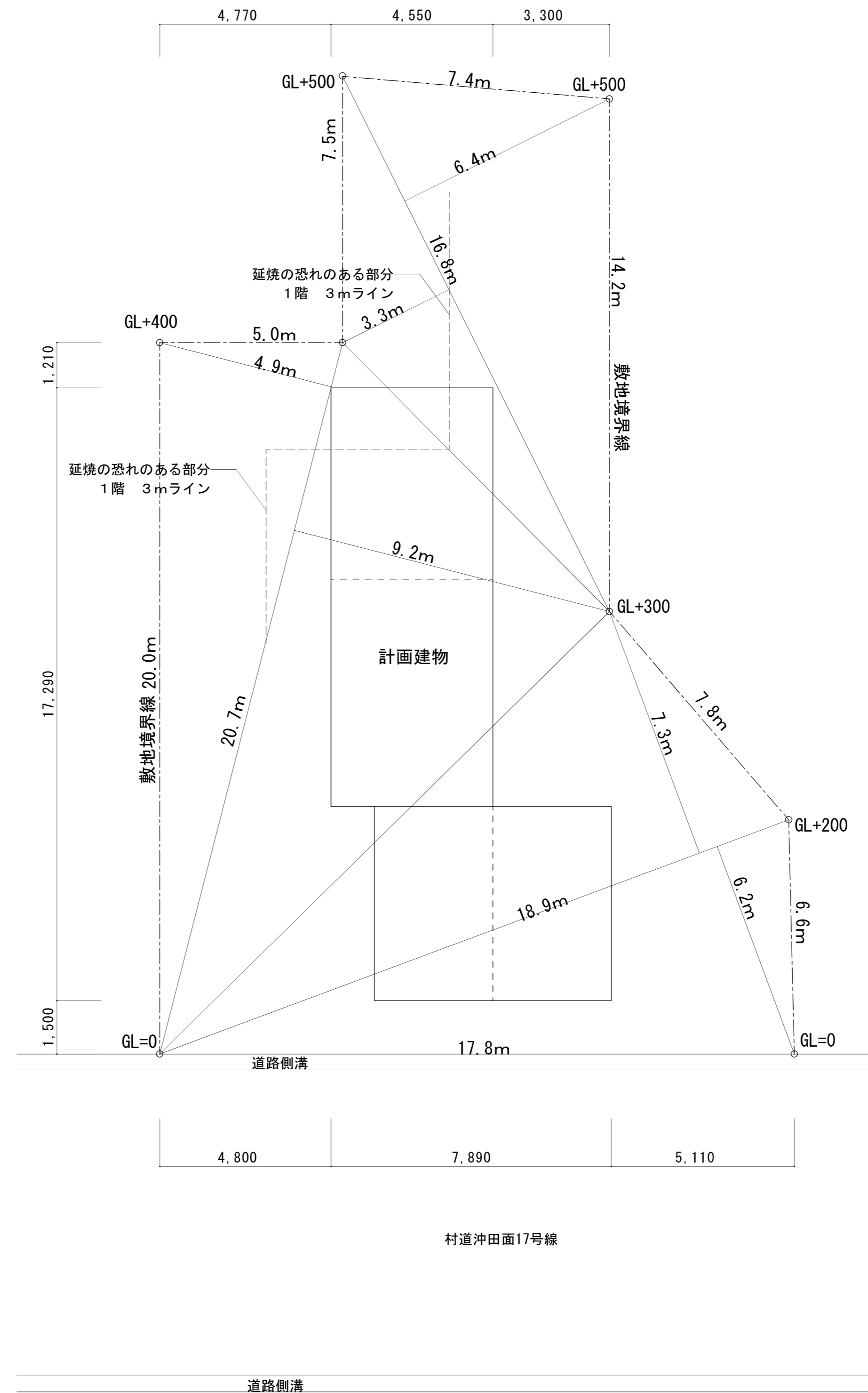
斜線のアスファルト舗装（設備図参照）と地先境界ブロック150角を撤去する。
 計画建物を建設後アスファルト舗装と地先境界ブロックを復旧する。
 堆雪場は根切土にて現状GLと同程度に整地とする。

一級建築士大臣登録第207903号
 石垣 孝浩

(工事名)	南沢森林事務所新築工事	A-17
案内図・配置図・設計概要	A1 : 1/100 A3 : 1/200	18 51
秋田県建築設計事業協同組合 令和8年3月		



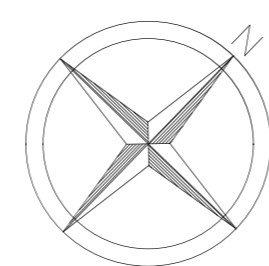
平面詳細図 S=1/50



配置図・求積図 S=1/100

敷地面積

- 16.8 × 6.4 = 107.52
- 16.8 × 3.3 = 55.44
- 20.7 × 4.9 = 101.43
- 20.7 × 9.2 = 190.44
- 18.9 × 7.3 = 137.97
- 18.9 × 6.2 = 117.18
- 709.98
- × 1/2 = 354.99



【設計概要】

- ・ 建築場所 秋田県北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中376-13
- ・ 敷地面積 354.99㎡
- ・ 都市計画区域外 防火指定なし
- ・ 木造平屋建・片流れ屋根・一部CLT

【事務所部分】 床面積 4.55 × 6.37 = 28.98㎡

【車庫部分】 床面積 6.66 × 5.46 = 36.36㎡

【倉庫部分】 床面積 5.46 × 4.55 = 24.84㎡

- ・ 流し台：コンパクトキッチンL=900 上部吊戸棚 LIXIL 1501Bコンロなし程度
- ・ 洗面化粧台：L=600 LIXIL LBFTV-600S程度 化粧鏡350 × 600
- ・ 足洗い流し：650-U型 不凍水栓柱 DLT-12程度
- ・ アルミ庇：出750 巾2000 アルポリックAP60 サポートポール耐積雪仕様程度
- ・ アルミ手すり：樹脂被膜φ34 H=800埋込支柱φ60.5 セフティービームSB程度
- ・ 郵便受け：アルメールWF3型 壁掛けタイプ AM-WF3SC程度
- ・ 看板：既存事務所看板移設（補修の上塗装替え）
- ・ （玄関部分）土間下及び布基礎立上り断熱材：スタイロフォーム厚30

一級建築士大臣登録第207903号
石垣 孝浩

(工事名) 南沢森林事務所新築工事	A-18
平面図・求積図・設計概要	A1 : 1/50・100 A3 : 1/100・200
秋田県建築設計事業協同組合	19 51
令和8年3月	

共通事項		外部仕上げ		内部仕上げ		天 井			
<p>1 各項目の※及び・の適用は特記仕様書と同じとする。</p> <p>2 (〇-〇〇-〇)内の数字は建築工事標準詳細図及び共通詳細図の詳細番号を示す。</p> <p>3 特記以外の建物内部の木部はSOPとする。ただし、和室まわりの木部は塗装なしとする。</p> <p>4 特記以外の屋外の鉄面、垂鉛めっき面はDPとする。ただし、建物内部はSOPとする。</p> <p>5 略号は下表による。</p>		<p>床</p> <p>種別</p> <p>施工箇所</p>		<p>床</p> <p>(1) 特記以外の下地及び詳細番号は下表による。</p>		<p>(1) 軽量鉄骨天井下地は(3-21-1)(3-21-2)(3-21-3)(3-41)(3-42)とする。</p> <p>(2) 特記以外のボード類は下表による。</p>			
<p>略号</p> <p>RC()</p> <p>CB</p> <p>FS</p> <p>FT</p> <p>KT</p> <p>FOA</p> <p>VB</p> <p>WB</p> <p>GB-R</p> <p>GB-L</p> <p>GB-NC</p> <p>GB-NC(T)</p> <p>GB-D</p> <p>GB-S</p> <p>GB-F</p> <p>ケイカル板</p> <p>ケイカル板(P)</p> <p>DR</p> <p>DR(凹凸)</p> <p>DR(軒天)</p> <p>DR(軒天凹凸)</p> <p>RW-B</p> <p>GW-B</p> <p>MDF</p> <p>HB</p> <p>IB</p> <p>PF板</p> <p>SOP</p> <p>EP</p> <p>EP-T</p> <p>EP-G</p> <p>CL</p> <p>UC</p> <p>OS</p> <p>NAD</p> <p>DP</p> <p>WP</p>		<p>仕上げ材等</p> <p>床：標準仕様書表6.2.4による</p> <p>壁、天井：コンクリート打放し(種別)〔()の記載がない場合はコンクリート打ちのままとする〕</p> <p>コンクリートブロック積み</p> <p>複層ビニル床シート</p> <p>複層ビニル床タイル</p> <p>コンポジションビニル床タイル</p> <p>置き敷きビニル床タイル</p> <p>ビニル幅木</p> <p>木製幅木</p> <p>せっこうボード</p> <p>せっこうラスボード</p> <p>不燃積層せっこうボード(化粧無し：下地張り用)</p> <p>不燃積層せっこうボード(化粧有り：トラバーチン模様)</p> <p>化粧せっこうボード(木目)</p> <p>シーリングせっこうボード</p> <p>強化せっこうボード</p> <p>けい酸カルシウム板(タイプ2)</p> <p>吸音用穴あき無糸綿セメントけい酸カルシウム板</p> <p>ロックウール化粧吸音板(フラットタイプ)</p> <p>ロックウール化粧吸音板(凹凸タイプ)</p> <p>ロックウール化粧吸音板(軒天井用：フラットタイプ)</p> <p>ロックウール化粧吸音板(軒天井用：凹凸タイプ)</p> <p>ロックウール吸音ボード</p> <p>グラスウール吸音ボード</p> <p>ミディアムテンシティファイバーボード</p> <p>ハードボード</p> <p>インシュレーションボード</p> <p>押出法ポリスチレンフォーム断熱材</p> <p>合成樹脂調合ペイント塗り</p> <p>合成樹脂エマルジョンペイント塗り</p> <p>合成樹脂エマルジョンペイント模様塗塗り</p> <p>つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り</p> <p>クリヤラッカー塗り</p> <p>ウレタン樹脂ワニス塗り</p> <p>オイルステイン塗り</p> <p>アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り</p> <p>耐候性塗料塗り</p> <p>木材保護塗料塗り</p>		<p>※RC(B)増打厚さ20mm(2-02-8~11出隅部・2-03-21・2-03-22)</p> <p>・複層塗材() ・外装薄塗材()</p> <p>・AE ・塗装なし のうえ</p> <p>・外装タイル密着張り(2-01-4)</p> <p>・外装タイルマスク張り(2-01-7)</p> <p>○複合金属サイディング張り(通気工法9断熱材・透湿シート)</p>		<p>仕上げ種別</p> <p>FS、FT、KT、FOA</p> <p>タイル</p> <p>カーペット</p> <p>畳</p> <p>単層フローリング</p> <p>天然木化粧複合フローリング</p> <p>コンクリート直均し仕上げ、合成樹脂塗床</p> <p>モルタル、防水モルタル</p> <p>(1-01-1) 防水モルタル厚(・15・30)</p> <p>(2) 異なる床仕上げの取合いでくつずり、目地棒がない場合は(4-31-3)による。目地棒がある場合は(4-31-2)による。</p> <p>(3) フリーアクセスフロアの下地</p> <p>・コンクリート直均し仕上げ(1-01-3)</p> <p>・コンクリート直均し仕上げのうえ合成樹脂塗床(1-01-3)</p>		<p>種別</p> <p>厚さ(mm)</p> <p>詳細番号</p> <p>DR</p> <p>DR(凹凸)</p> <p>ケイカル板</p> <p>GB-NC(T)</p> <p>GB-D</p> <p>RW-B 又は GW-B張り</p> <p>(3) 押入れ(6-46-1)の天井はGB-R厚さ12.5mm塗装なし突付けとする。</p> <p>(4) 壁~天井の取合いは天井付き目地(3-11-3、4、7、8：※塩ビ製見切縁・アルミ製見切縁)とする。</p> <p>(5) DRの下張り ・GB-NC厚さ9.5mm ・GB-R厚さ12.5mm</p> <p>(6) GB-NC(T)の大きさ ・910×455mm ・910×910mm</p> <p>(7) 塗装仕上げはGB-R厚さ12.5mm(突付け(V目地))、壁紙張りはGB-R厚さ12.5mm(継目処理)とする。</p>	
<p>不燃材料</p> <p>下表に掲げる新設の内装材については、国土交通大臣の認定した不燃材料(個別認定 NM-〇〇〇〇)を使用する。</p> <p>せっこうボード 厚さ12.5、厚さ15.0</p> <p>不燃積層せっこうボード</p> <p>化粧せっこうボード(木目)</p> <p>紙壁紙</p> <p>織物壁紙</p> <p>ビニル壁紙</p>		<p>壁、柱、はり</p> <p>腰</p> <p>屋根</p> <p>軒天</p> <p>庇</p> <p>外部詳細</p> <p>・屋上パラペット</p> <p>・塔屋取合い</p> <p>・屋根排水溝</p> <p>・屋上点検口</p> <p>・屋上換気塔</p> <p>・屋上管類貫通部</p> <p>・屋上基礎</p> <p>・煙突</p> <p>・雨どい及びルーフドレン</p> <p>・タラップ</p> <p>・懸垂幕受け金物</p> <p>・屋上手すり</p> <p>○庁名文字</p> <p>・くつふきマット</p> <p>○くつ洗い流し</p>		<p>幅木</p> <p>柱壁</p> <p>(1) 特記以外の下地及び詳細番号は下表による。</p> <p>仕上げ種別</p> <p>高さ(mm)</p> <p>詳細番号</p> <p>VB</p> <p>WB(樹種・杉・)</p> <p>FS(ビニル床シート立ち上げ幅木)</p> <p>(1) 特記以外の下地及び詳細番号は下表による。</p> <p>仕上げ種別</p> <p>詳細番号</p> <p>ボード張り(C下地又はPF下地)</p> <p>ボード張り(S下地：一般壁)</p> <p>ボード張り(S下地：遮音壁)</p> <p>内装タイル</p> <p>モルタル塗り</p> <p>吸音材張り(C下地又はPF下地)</p> <p>地下二重壁</p> <p>(2) 特記以外のボード類は下表による。</p> <p>種別</p> <p>厚さ(mm)</p> <p>備考</p> <p>GB-R</p> <p>ケイカル板</p> <p>(3) コンクリート打放し 増打厚さ10mm 出隅部・2-03-22(梁型とも)</p> <p>(4) 下り壁(3-12-1：・塩ビ製見切縁・アルミ製見切縁)の仕上げは壁と同じとする。</p> <p>(5) ボード壁とRC又はCB壁との取合いは(2-24-3・2-24-4・2-24-7)とする。</p> <p>(6) ボード壁とサッシ取合いは(2-24-8)とする。</p> <p>(7) 押入(6-46-1)の壁はGB-R厚さ12.5mm塗装なし突付けとする。</p> <p>(8) 内装タイルを、軽量鉄骨壁下地のボード面に接着張りを行う場合のボードは、(2-01-3)、(2-03-13)による。</p> <p>(9) 内装タイルの床取合いは(2-11-10)とする。</p> <p>(10) 断熱材下地のGW-Bと床取合いは(2-11-11)とする。</p>		<p>内部詳細</p> <p>・断熱材</p> <p>・雨どい及び掃除口</p> <p>・カーペット&ス及びプライドボックス</p> <p>・扉</p> <p>・階段手すり</p> <p>・トラフ</p> <p>・多機能便所</p> <p>・便所防水</p> <p>○流し台およびコンロ台</p> <p>・流し上部水切り</p> <p>・吊戸棚</p> <p>・フード</p> <p>・和室出入口</p> <p>・押入れ</p> <p>・脱衣箱</p> <p>・くつふきマット</p> <p>・タラップ</p> <p>○表示標識</p> <p>・7-01-3</p> <p>・鋼管とい(5-32-1及び2)</p> <p>・アルミニウム製(3-31-3)</p> <p>・木製(3-32-1) ・図示</p> <p>(1) 壁当たりとなる開き戸の取付位置は壁面からの逃げ寸法を100mmとする。</p> <p>(2) RCまたはCB壁に取付く建具は室外側枠納まりする。</p> <p>・ビニル製(7-12-5~7：プラケットは既製品とする。)</p> <p>・集成材(7-12-1~4)(7-12-8) ・図示</p> <p>・ビニル床タイル(1-21-6)</p> <p>・しま鋼板溶融亜鉛メッキ(1-21-3)</p> <p>・グレーチング(1-21-5)</p> <p>・(6-25-1) ・(6-26-1)</p> <p>・(6-26-2) ・(6-26-3) ・図示</p> <p>(6-26-1~3)の固定手すり、可動手すりの配置は(6-25-1)による。</p> <p>便器・洗面・ベッド・汚物流しの配置、便所内法寸法、ライニングの設置位置、高さ等、は図示</p> <p>・塗膜防水(1-31-2)</p> <p>・図示</p> <p>○(6-11-1)</p> <p>・(6-11-3) ・(6-11-4) ・図示</p> <p>・(6-11-5) ・図示</p> <p>・(6-11-2) ・図示</p> <p>・(6-42-1、-2) ・(6-41-)</p> <p>(6-46-1 ・天袋なし ・天袋あり)</p> <p>・(6-32-1)</p> <p>・屋内用(8-21-1) ・排水付き(8-21-2)</p> <p>・泥だまり、排水付き(8-21-3)</p> <p>・(8-31-1)</p> <p>・庁舎案内板 ・各階案内板 ○室名札</p> <p>・ピクトグラフ ・階段表示板</p> <p>・誘導標識(JIS Z 8210によるもの) 既製品</p>			
						<p>(工事名) 南沢森林事務所新築工事</p> <p>A-19</p> <p>20</p> <p>51</p> <p>令和 8年 3月</p>			

共 通 事 項	
表示略号	
略号	建 具
AD	アルミ製戸
AW	アルミ製窓
AG	アルミ製がらり
S	鋼製三方枠
SD	鋼製戸
SW	鋼製窓
SG	鋼製がらり
SS	重量シャッター
LD	鋼製軽量戸
LS	軽量シャッター
SSD	ステンレス製戸
SSW	ステンレス製窓
SSG	ステンレス製がらり
ACW	アルミ製カーテンウォール
PD	樹脂製戸
PW	樹脂製窓
WD	木製戸
OHD	オーバーヘッドドア
H	ふすま
P	紙障子
略号	ガラス
P	フロート板ガラス
F	型板ガラス
NF	網入型板ガラス
WF	線入型板ガラス
NP	網入磨板ガラス
WP	線入磨板ガラス
HAP	熱線吸収フロート板ガラス
Low-e	低放射ガラス
T()	強化ガラス(材料板ガラス)
IG()	複層ガラス(材料板ガラス)
HR()	熱線反射ガラス(材料板ガラス)
DS()	倍強度ガラス(材料板ガラス)
L()	合わせガラス(材料板ガラス)
略号	建具金物
DC	ドアクローザー(スタンダード型)
DC(P)	ドアクローザー(パラレル型)
DC(C)	ドアクローザー(コンソールド型)
FH	フロアヒンジ
EL(D)	非常錠(本締り型)
EL(L)	非常錠(レバーハンドル型)
HG	ヒンジクローザー
PH	ピボットヒンジ
平面図表示建具金物記号	平面図表示建具符号
	ドアクローザー(ストップ付)
	ドアクローザー(ストップなし)
	ドアクローザー(ディレードアクション機能付)
	整理番号
	建具略号
(○-○-○)、(○-○)は建築工事標準詳細図の詳細番号を示す。	
扉見込み寸法(mm)	SD 40 (H=2,400以下、扉一枚の幅=950以下) 及び 50 (H=2,400超える、扉一枚の幅=1,600以下) SSD 50 (H=2,700以上、扉一枚の幅=1,500以下) 60 (H=3,200以上、扉一枚の幅=2,000以下)
	LD 36 H 20(戸ぶすまは30mm) P 24
	WD 30(H=1,000未満、扉一枚の幅=950以下) 36(H=2,000未満、扉一枚の幅=950以下) 40(H=2,400未満、扉一枚の幅=950以下)
形 状	(1) SDのうち、点検扉は特記以外は片面フラッシュ戸とする。 (2) 多機能便所片引戸の枠は、 (・6-27-1 ・6-27-2)による。 (3) 排煙窓の適用は「備考」欄による。 (4) 特殊な性能(簡易気密、防音、断熱、耐震)の建具の適用は「備考」欄による。 (5) 水切りの幅は、「備考」欄による。 (6) 標準型建具の適用は、「標準型建具の適用」欄による。
仕 上 げ	(1) SD、LD、S、SS、SGの仕上げは特記以外、建物外部はDP、建物内部はSOPとする。 (2) WDの仕上げは特記以外はSOPとする。 (3) LDの合わせ及び縦小口包み板は、ステンレス鋼板 SUS304 t=1.5 L型包みとする。 (4) SD及びLDのドアガラリは特記以外、鋼板 厚さ1.2のうえ、建物外部はDP、建物内部はSOPとする。 (5) WDのドアガラリは、建具同材又はプラスチック製とする。 (6) ふすまの上張りの種類は、「備考」欄による。
建具金物	(1) ドアクローザーの適用は建具配置図(平面図)による。なお、ドアクローザーの取付は室内側を原則とする。 (2) 壁当たりとなる開き戸は壁面からの逃げ寸法を100mm程度とし、設けろーザーの有無にかかわらず戸当たりを (3) クレセント及び排煙窓の操作レバーの位置は床面から1,500mm以下とする。 (4) 扉の把手は原則レバーハンドルとし、握り玉の適用は「建具金物」欄による。 (5) 扉の握り玉、把手類の取付位置は床面から800~1,000mmとし、押板類は1,100mmとする。 (6) 自動ドアのセンサーは、「備考」欄による。 (7) 防犯建物部品は「備考」欄による。 (8) 下表以外の建具金物は、「備考」欄による。ただし、既製建具は製造所の指定するものとする。
外部一般扉	丁番 シリンダー箱錠(片面サムターン)
自由開き扉	フロアヒンジ(片自由、ストップ付き) シリンダー本締り錠(片面サムターン) 押棒(引手)(内外共)はステンレス押棒 (HL又はNo.2B仕上)(L≒450)程度
自動ドア (スライディングドア)	引戸用本締り錠(片面サムターン)
内部一般室	ピボットヒンジ シリンダー箱錠(片面サムターン)
湯沸室	ピボットヒンジ 錠なし
便所、洗面所	ピボットヒンジ 錠なし 押棒(引手)(内外共)はステンレス押棒 (HL又はNo.2B仕上)(L≒450)程度
随時閉鎖式 防火戸	ヒンジクローザー(ピボット型、ストップなし) ケースハンドル錠
点検扉	軸吊りヒンジ 点検口錠

内部 鋼製軽量 自閉装置付引戸	自閉・制御装置(ストップ付) ステンレス製振れ止め軸 表示装置・非常開装置・大型サムターン付 引き戸錠(ロッド式)
自由開き扉	押棒(引手)(内外共)はステンレス押棒 (HL又はNo.2B仕上)(L≒450)程度
窓	クレセント
特殊な性能	性能は○印がついたものを適用し、備考欄による。 (1) 防音ドア及び防音サッシの遮音性は (・T-1 ・T-2 ・T-3 ・T-4)とする。 (2) 断熱ドア及び断熱サッシの断熱性は (・H-1 ・H-2 ・H-3 ・H-4 ・H-5)とする。 (3) 耐震ドアの面内変形追随性は (・D-1 ・D-2 ・D-3)とする。
防火戸	(1) ヒューズ装置、熱感知器、煙感知器との連動は「備考」欄による。 (2) 防火戸の種類は下表により、適用は「防火戸の種類」欄による。
種類	性 能
特 特定防火設備 (遮炎1時間)	耐火建築物及び準耐火建築物(以下「耐火建築物等」という)の各階において、特定の床面積以内ごとに設ける防火設備 11階以上の各階において内装に不燃又は準不燃材料を用いた場合に、特定の床面積ごとに設ける防火設備 耐火建築物等において用途が異なる部分の相互間に設ける防火設備
防 防火設備 (遮炎20分)	耐火建築物等の外壁に設ける防火設備 防火地域及び準防火地域以外の建築物の外壁に設ける防火設備 11階以上の各階において内装に難燃材料を用いた場合に、特定の床面積ごとに設ける防火設備 準耐火建築物に形成された堅穴の周囲に設ける防火設備 木造建築物等において用途が異なる部分の相互間に設ける防火設備
自動ドア 開閉装置	(1) 自動ドアの開閉装置は「備考」欄による。 (2) 自動ドアの開閉装置の防錆性能の適用は、「備考」欄による。 (3) 外部に面する自動扉には、凍結防止装置としてヒーター(発熱線はマーク又はPSEマーク表示品、容量30W/m程度のシリコンテープとし、過熱防止用サーモスタット付き)を敷設する。 (補助センサーも同様とする。) (4) センサーの種類は、「備考」欄による。
多機能 便所	・6-25-1 ・図示
防火 防煙シャッター	・4-49-1 ・図示

建具枠・くつずり詳細図											
A 1 A 2 A 3 A 4 A 5 A 6 A 7 A 8											
S 1 S 2 S 3 S 4 S 5 S 6 S 7 S 8											
L 1 L 2											
1 2 3 4 5 6											
I 型(外部) II 型(内部) III 型(内部)											
気密材 SUS304 t=1.5 防風アングル SUS304 扉下端											
A-1 A-2 A-3 A-4 A-5 A-6 D-1 D-2 D-3 D-4 D-5											
B-1 B-2 B-3 B-4 B-5 B-6 B-7 B-8 B-9 B-10 B-11 E-1											
C-1 C-2 C-3 C-4 C-5 C-6 C-7 C-8 C-9 C-10 C-11											
C-12 C-13 C-14 C-15 C-16 C-17 C-18 C-19 C-20											
内倒し 外倒し 突き出し 上げ下げ 片上げ下げ											
※記号、種類は共通事項、建具枠・くつずり詳細図、又は標準詳細図(4-01)による											

(工事名)	南沢森林事務所新築工事	A-20
建具表(1)	A1: - A3: -	21
秋田県建築設計事業協同組合		51
令和 8年 3月		

階	室名	床		幅木		壁・柱		天井		備考	木材使用面積 (㎡)					
		下地区分	仕上げ	下地区分	仕上げ	下地区分	仕上げ	下地区分	仕上げ		床	壁		天井		
											木材	その他	木材	その他	木材	その他
1階 (事務所)	玄関	M	床用タイル100角	M	床用タイル100角	W	石膏ボード厚12.5 E P	W	ロックウール吸音板厚9 下地PB厚9.5			1.7				
	ホール	W	化粧複合フローリング厚12 下地合板厚12鋼製束	W	木製巾木 H=50	W	石膏ボード厚12.5 E P 一部CLT素地仕上げ	W	ロックウール吸音板厚9 下地PB厚9.5	手洗い	4.6		2.9	16.4		6.3
	事務室	W	化粧複合フローリング厚12 下地合板厚12鋼製束	W	木製巾木 H=50	W	石膏ボード厚12.5 E P 一部CLT素地仕上げ	W	杉板張り厚10 下地PB厚9.5	室名札、流し台	14.2		9.8	18.8	14.2	
	男子WC	W	ビニル床シート厚2 下地合板厚12鋼製束	W	木製巾木 H=50	W	ケイカル板厚6 E P	W	ケイカル板厚6 E P	室名札		1.0		8.0		1.0
	女子WC	W	ビニル床シート厚2 下地合板厚12鋼製束	W	木製巾木 H=50	W	ケイカル板厚6 E P	W	ケイカル板厚6 E P	室名札		1.0		8.0		1.0
	男子更衣室	W	ビニル床シート厚2 下地合板厚12鋼製束	W	木製巾木 H=50	W	石膏ボード厚12.5 E P	W	化粧石膏ボード厚9.5	室名札		1.8		11.0		1.8
	女子更衣室	W	ビニル床シート厚2 下地合板厚12鋼製束	W	木製巾木 H=50	W	石膏ボード厚12.5 E P	W	化粧石膏ボード厚9.5	室名札		1.8		11.0		1.8
1階 (車庫)	車庫	C	コンクリート直均し仕上げ	C	コンクリート打放し仕上げ	W	石膏ボード厚12.5 E P	W	石膏ボード厚9.5 E P	棚		34.7		41.6		34.7
	倉庫	C	コンクリート直均し仕上げ	C	コンクリート打放し仕上げ 木製巾木 H=50	W	石膏ボード厚12.5 E P	W	化粧石膏ボード厚9.5	棚		23.6		38.9		23.6
											18.8	65.6	12.7	153.7	14.2	70.2
											20.6% (全体84.4㎡)		7.6% (全体166.4㎡)		16.8% (全体84.4㎡)	

【設計概要】	
・ 建築場所	秋田県北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中376-13
・ 敷地面積	354.99㎡
・ 都市計画区域外	防火指定なし
【外部仕上げ】	
屋根	: ガルバリウム鋼板 厚0.4 立平葺き
下地	: アスファルトルーフィング 940
下地	: 構造用合板 厚12
軒天	: 軒天サイディング張り (有孔板) 厚12 (塗装品)
外壁	: 金属系サイディング張り 厚18
下地	: 透湿防水シート 通気胴縁
【内部仕上げ】	
	: 左記内部仕上げ表による
【開口部】	
	: 左記建具表による
【木部仕上げ】	
	: 素地 (杉) 仕上げ 汚れ止めCL程度
【木造率について】	
構造耐力上主要な部分についての木造化された体積	
割合	: 100%
【内装等の木質化について】	
外壁	: 0%
内部	: 左記木材使用面積表により
床	: 20.6%
壁	: 7.6%
天井	: 16.8%
枠材	: 100%

符号	標準型 建具の 適用	建具形状 ()内は らんまを 示す 建具分類	数量	寸法 (mm) ()内は らんまを 示す		建 具 枠		ガ ラ ス		防火戸 の種類	建 具 金 物	備 考
				幅(W)	高さ(H)	枠見込 (mm)	枠廻り記号 枠一くつずり	種類	厚さ (mm)			
①AW		C-2 引違い窓	2	1,200	1,500	100	—	IG	P3+A6+P3		網戸、クレセント 木製額縁 (L=110) CL	住宅用 (メーカー寸法可) 外部アルミ・内部樹脂製
②AW		C-8 すべり出し窓	2	450	450	70	—	IG	P3+A6+F4		網戸、レバーハンドル 木製額縁 (L=140) CL	住宅用 (メーカー寸法可) 外部アルミ・内部樹脂製
③AW		C-8 すべり出し窓	2	450	450	70	—	IG	P3+A6+F4		網戸、レバーハンドル 木製額縁 (L=140) CL	住宅用 (メーカー寸法可) 外部アルミ・内部樹脂製
④AW		C-2 引違い窓	2	1,700	900	100	—	F	4		クレセント 木製額縁 (L=110) CL	住宅用 (メーカー寸法可) 外部アルミ・内部樹脂製
⑤AW		C-2 引違い窓	2	1,700	900	100	—	F	4		クレセント 木製額縁 (L=110) CL	住宅用 (メーカー寸法可) 外部アルミ・内部樹脂製
①AD		図示 親子開き戸	1	1,200	2,000	80	—	IG	P3+A6+F4		DC、丁番、シリンドー錠 木製額縁 (L=165) CL	
②AD		C-18 引違い戸	1	1,700	2,000	80	—	T	4		戸車、引手、シリンドー錠 木製額縁 (L=165) CL	
③AD		C-17 片開き戸	1	800	2,000	70	—	IG	P3+A6+F4		DC、丁番、シリンドー錠 木製額縁 (L=140) CL	住宅用 (メーカー寸法可) 外部アルミ・内部樹脂製
①WD		図示 親子開き框戸	1	1,200	2,000	160	—	F	4		DC、丁番、レバーハンドル 戸当り、ポリウレタン樹脂塗装	ガラリ
②WD		B-7 片開き戸	2	700	2,000	160	—	F	4		DC、丁番、レバーハンドル 戸当り、ポリウレタン樹脂塗装	ガラリ
③WD		B-8 片開き戸	2	800	2,000	160	—	F	4		DC、丁番、レバーハンドル 戸当り、ポリウレタン樹脂塗装	ガラリ
①SS		B-10 軽量シャッター	2	2,600	2,400	50	—				付属金物一式 三方枠	

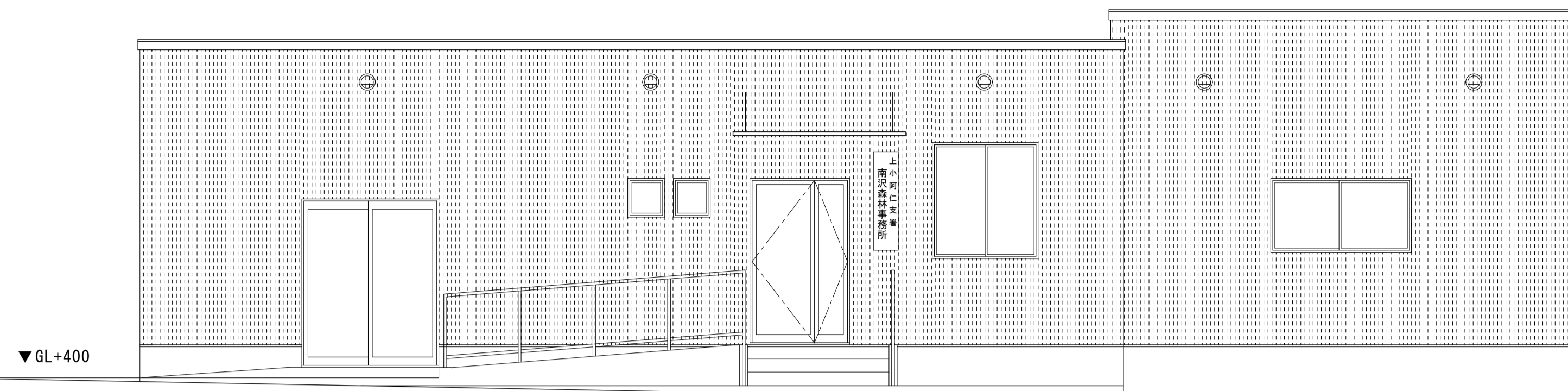
法規チェック

床面積 (事務室)				
採光	必要開口面積	1/20	15.215*1/20	0.761 ㎡
	有効開口面積			
	AW-1	2ヶ所	1.2*1.5*2=3.60	3.60>0.761 OK
換気	必要開口面積	1/20	15.215*1/20	0.761 ㎡
	有効開口面積			
	AW-1	2ヶ所	0.55*1.5*2=1.65	1.65>0.761 OK
排煙	必要開口面積	1/50	15.215*1/50	0.304 ㎡
	有効開口面積			
	AW-1	2ヶ所	0.55*0.75*2=0.825	0.825>0.304 OK

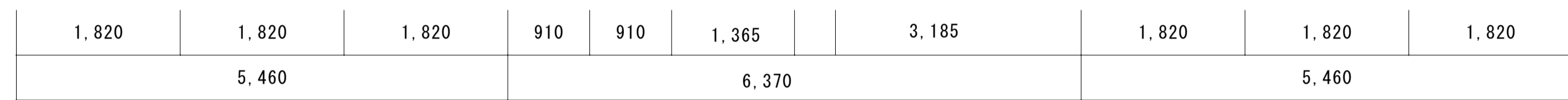
仕上げ材		認定番号
石膏ボード厚9.5	準不燃材	QM-9828
化粧石膏ボード厚9.5	準不燃材	QM-0524
石膏ボード厚12.5	不燃材	NM-8619
シーリング石膏ボード厚12.5	不燃材	NM-9639
ロックウール吸音板厚9 (石膏ボード厚9.5捨て張り工法)	不燃材	NM-8599

一級建築士大臣登録第207903号
石垣 孝浩

(工事名) 南沢森林事務所新築工事	A-21
仕上表 (2)・建具表 (2)・設計概要	22 51
秋田県建築設計事業協同組合 令和8年3月	

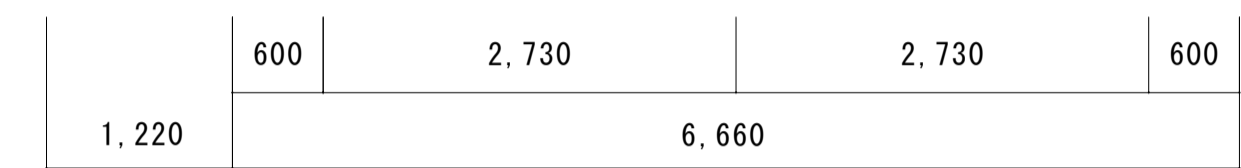
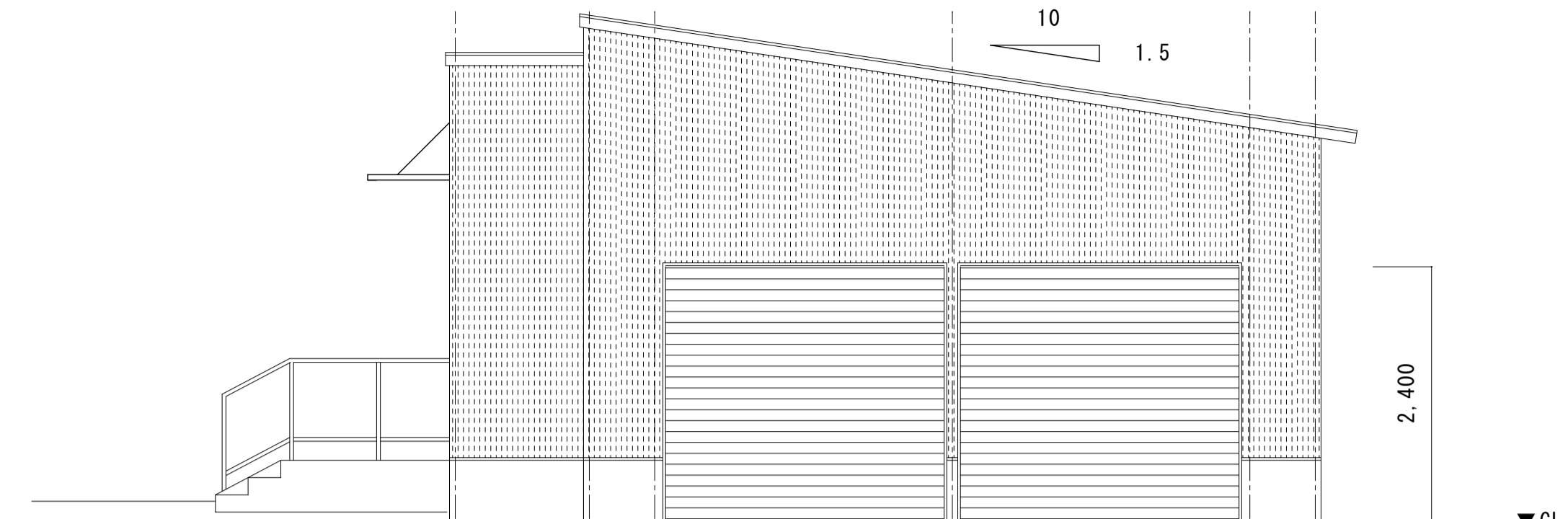


スロープ：10%勾配



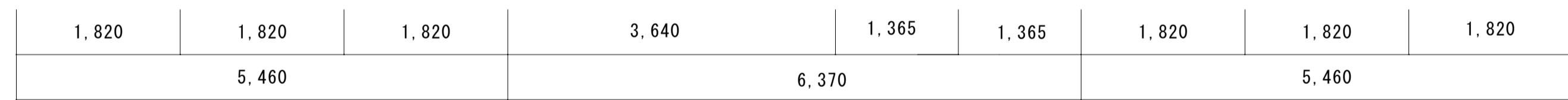
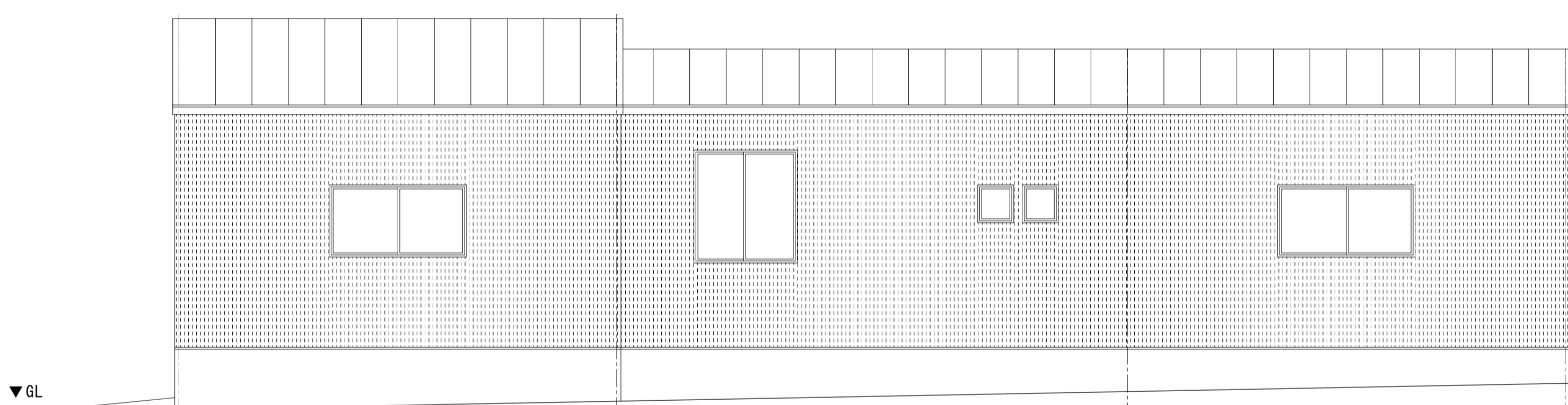
D C B A

南西側立面図S=1/50



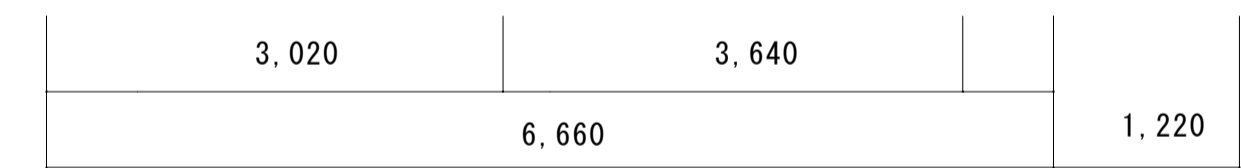
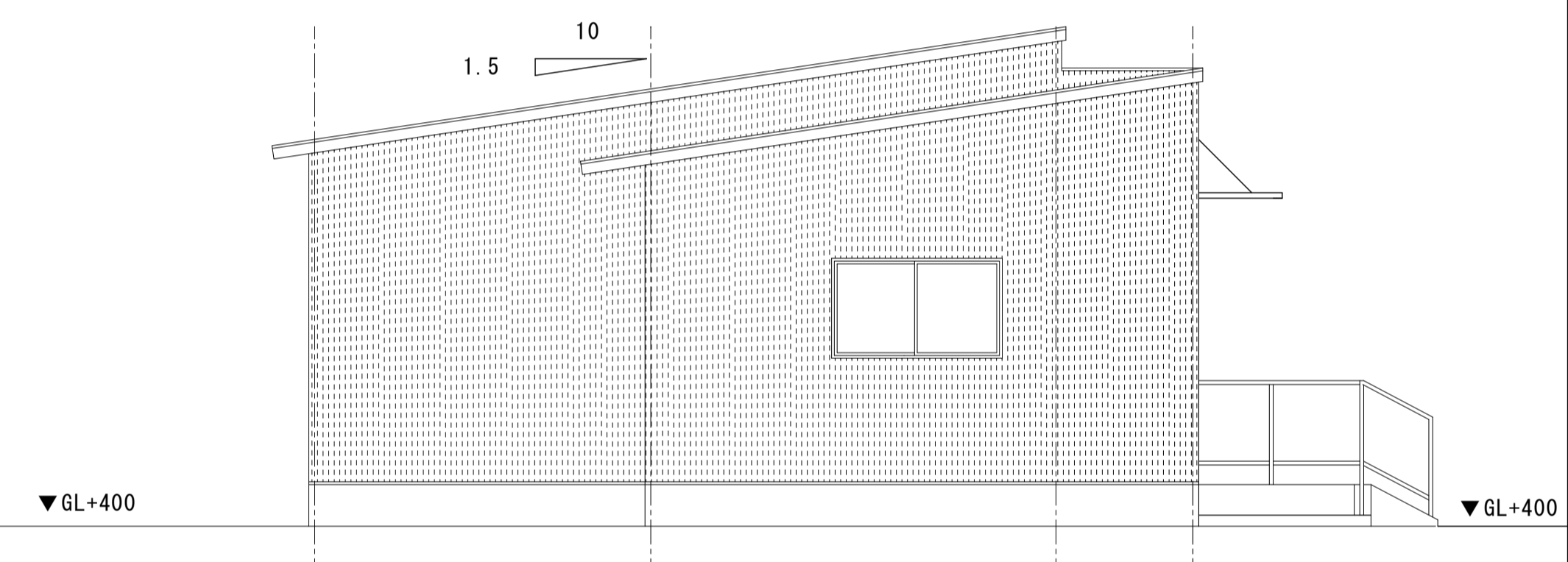
1 2 4

南東側立面図S=1/50



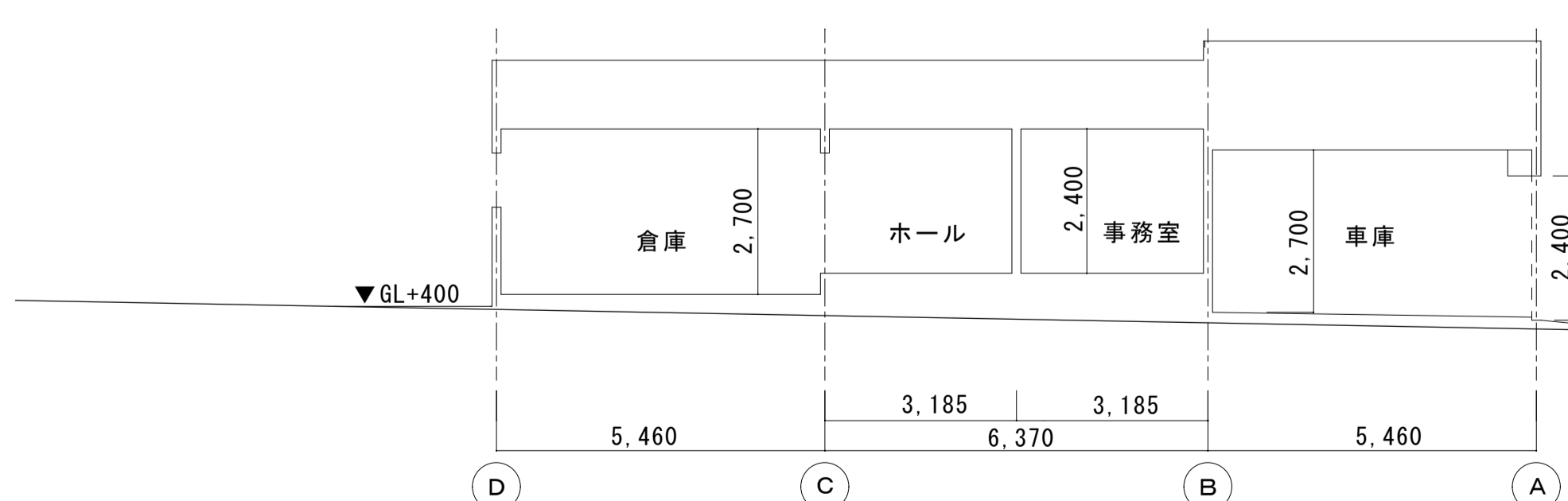
A B C D

北東側立面図S=1/50

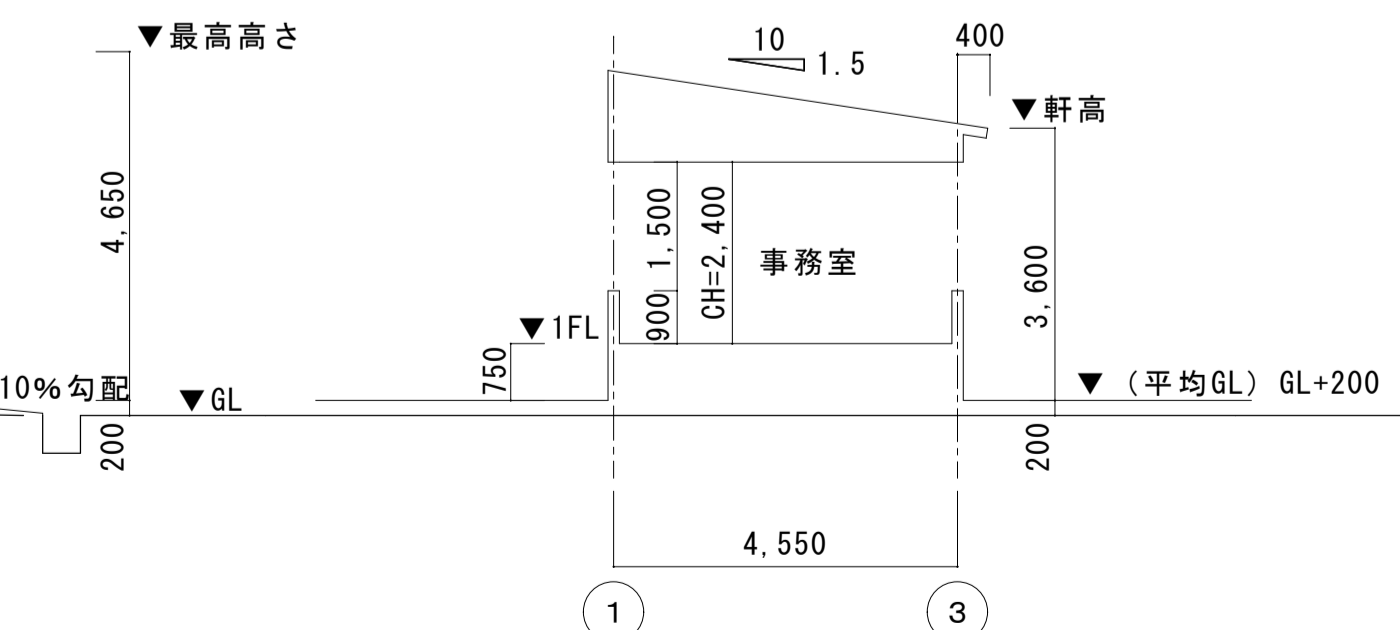


4 2 1

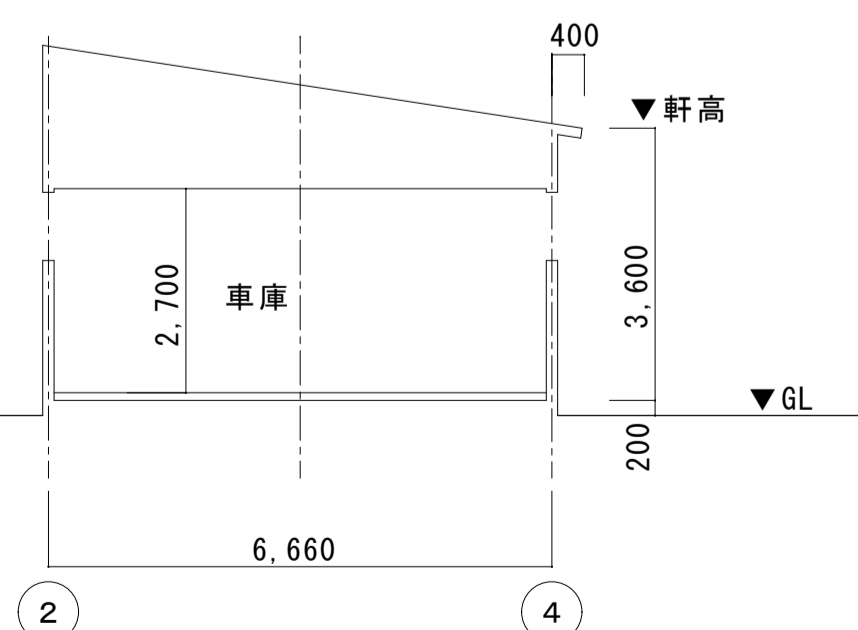
北西側立面図S=1/50



B-B断面図 S=1/100



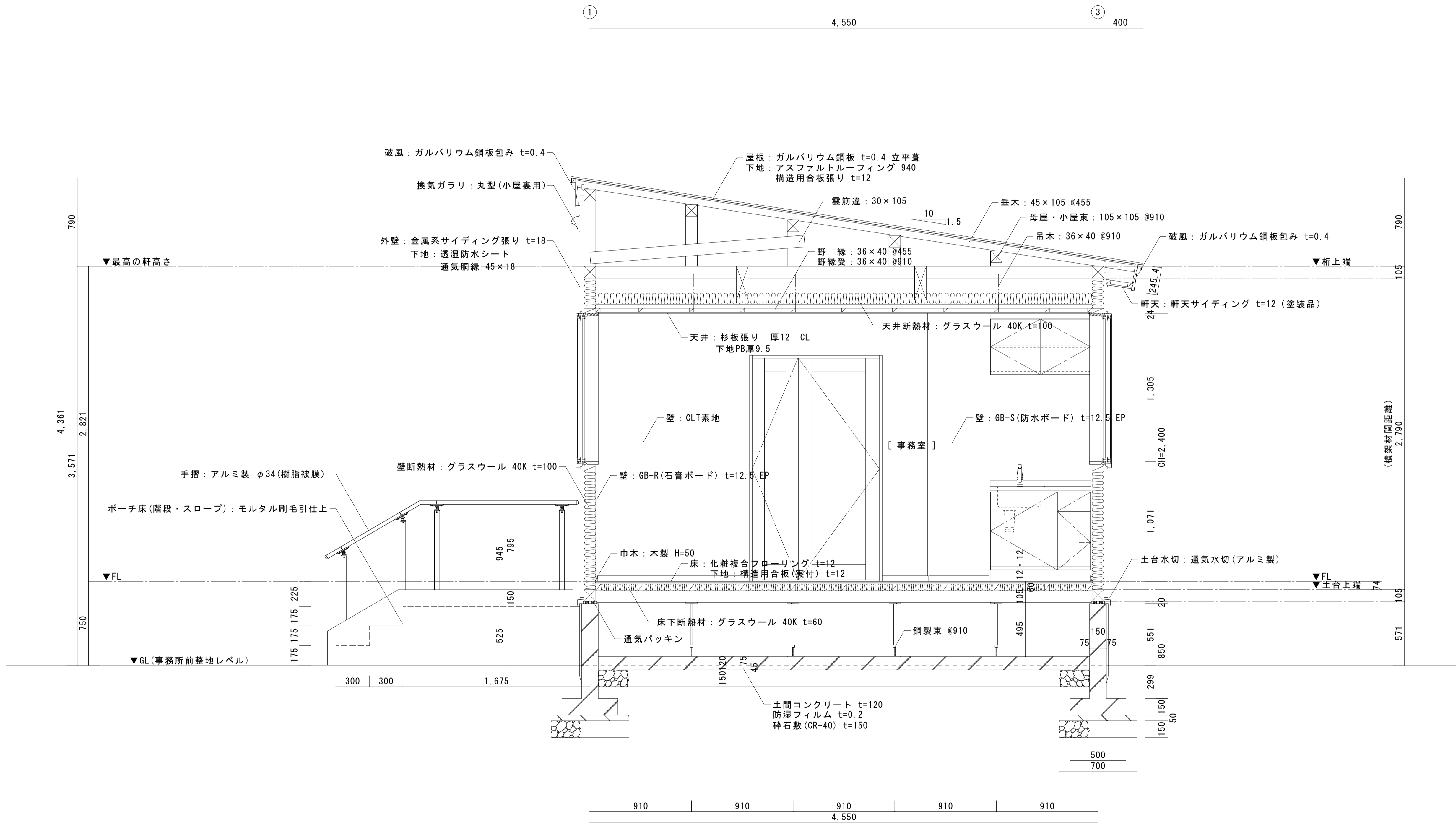
A-A断面図 S=1/100



車庫断面図 S=1/100

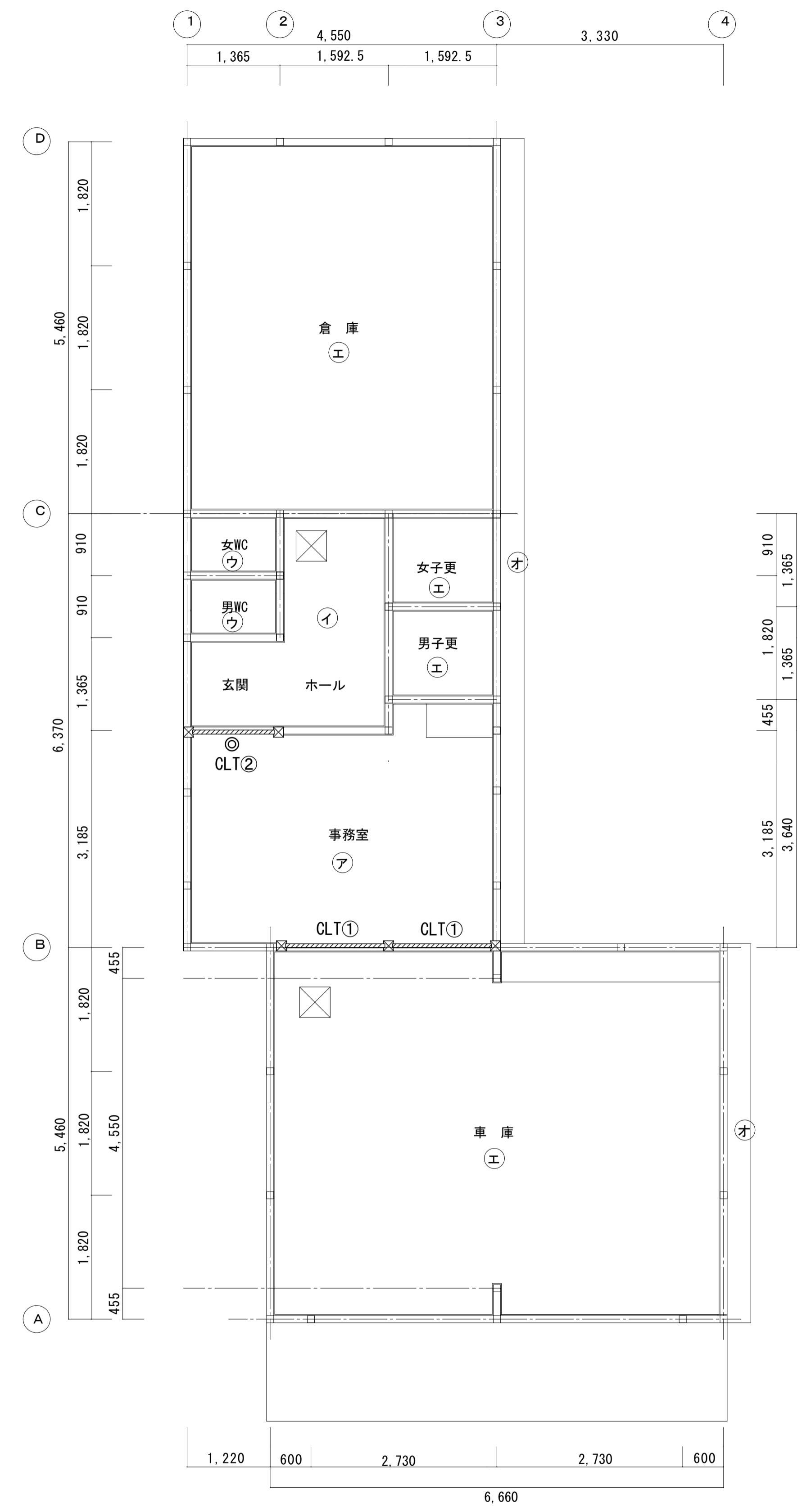
一級建築士大臣登録第207903号
石垣 孝浩

(工事名) 南沢森林事務所新築工事	A-22
立面図・断面図 A1: 1/50・100	23
A3: 1/100・200	51
秋田県建築設計事業協同組合 令和8年3月	



一級建築士大臣登録第207903号
石垣 孝浩

(工事名)	南沢森林事務所新築工事	A-23
矩計図	A1 : 1/30 A3 : 1/60	24 51
秋田県建築設計事業協同組合 令和8年3月		



凡例

ア	杉板厚12 CL
イ	ロックウール吸音板厚9
ウ	ケイカル板厚6 EP
エ	化粧石膏ボード厚9.5
オ	軒天サイディング厚12
☒	アルミ天井点検口450角

天井伏図 S=1/50

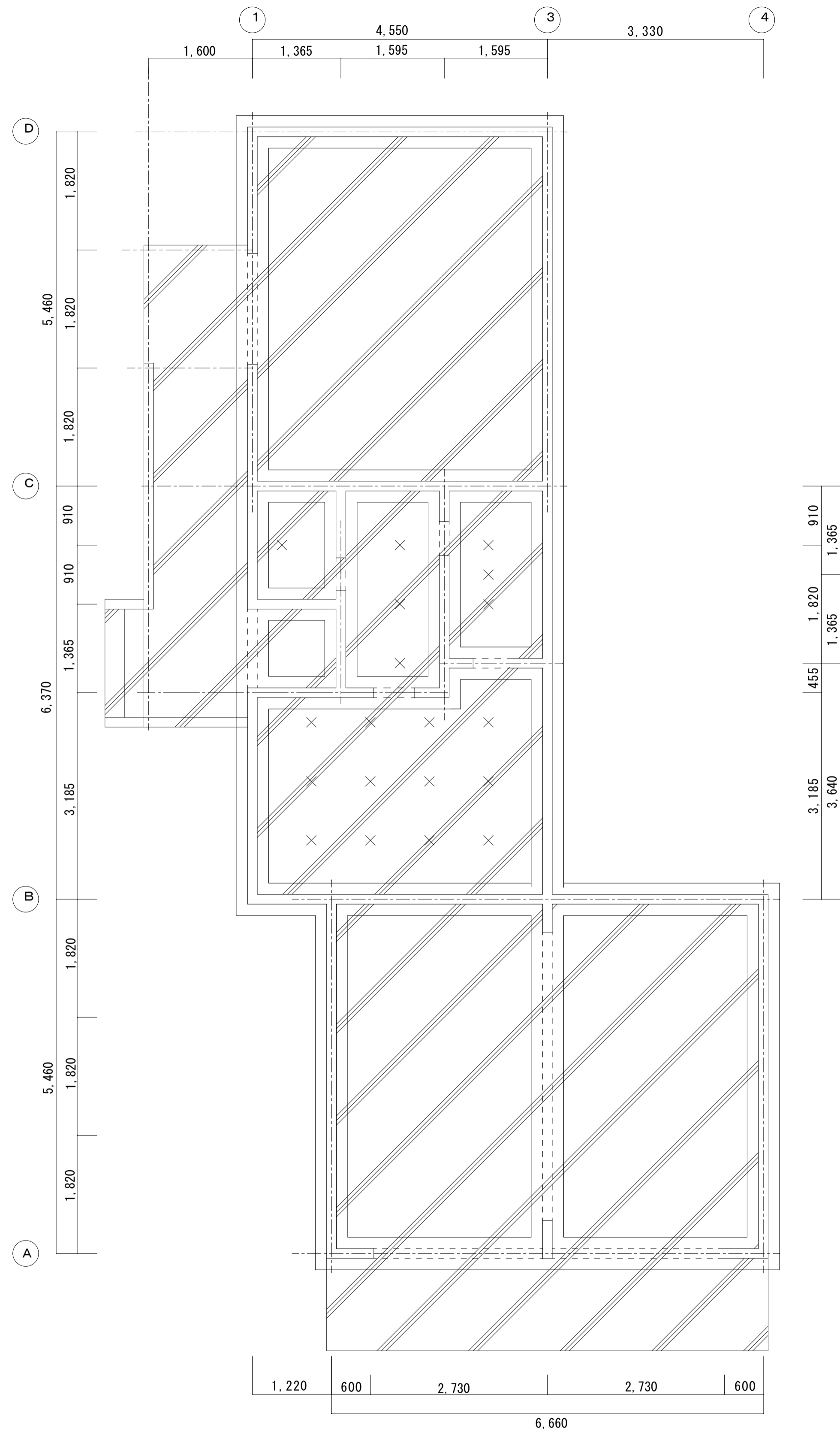
一級建築士大臣登録第207903号
石垣 孝浩

(工事名) 南沢森林事務所新築工事

展開図・天井伏図 A1: 1/50 A3: 1/100

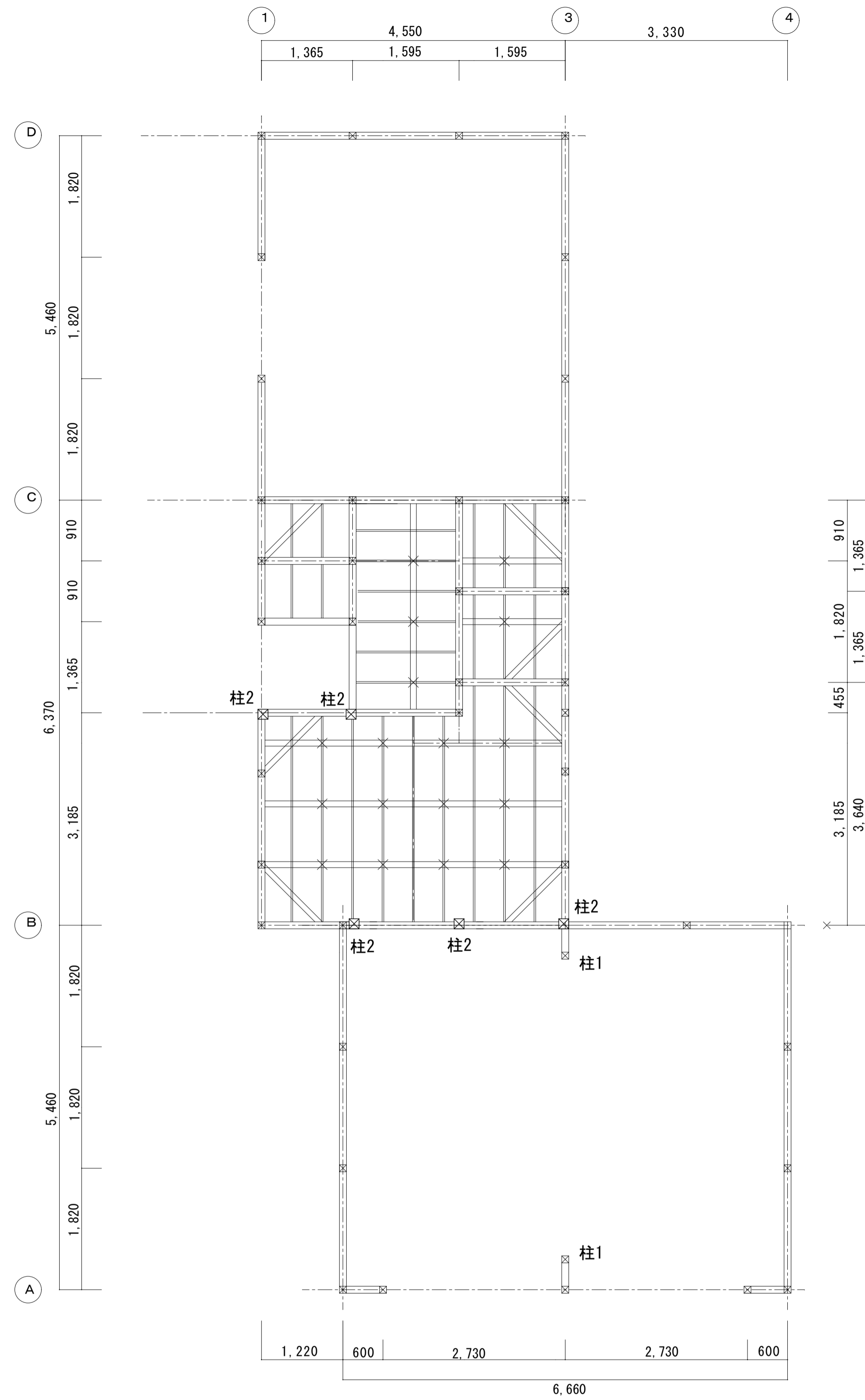
秋田県建築設計事業協同組合
令和8年3月

展開図 S=1/50



基礎図 S=1/50

凡例		
基礎	布基礎	W150
ABOLT		@2400
金物		適宜
土間	コンクリート	t=120
束	鋼製束	@910

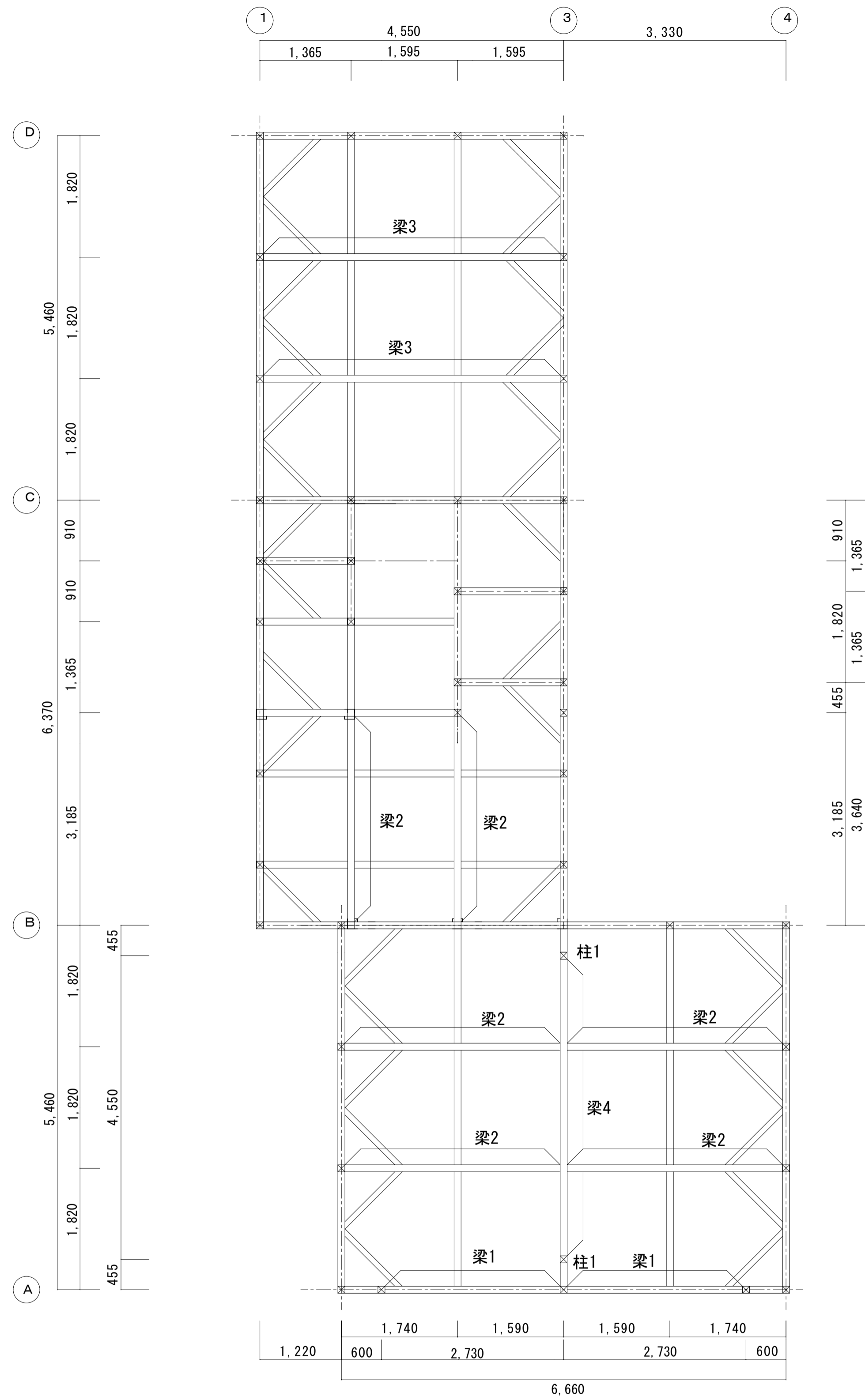


土台・床伏図 S=1/50

凡例		
柱	杉	105×105
柱1	杉	120×120
柱2	杉	150×150
土台	防腐処理	105×105
大引	杉	105×105 @910
根太	杉	45×60 @455
火打	杉	105×105 適宜

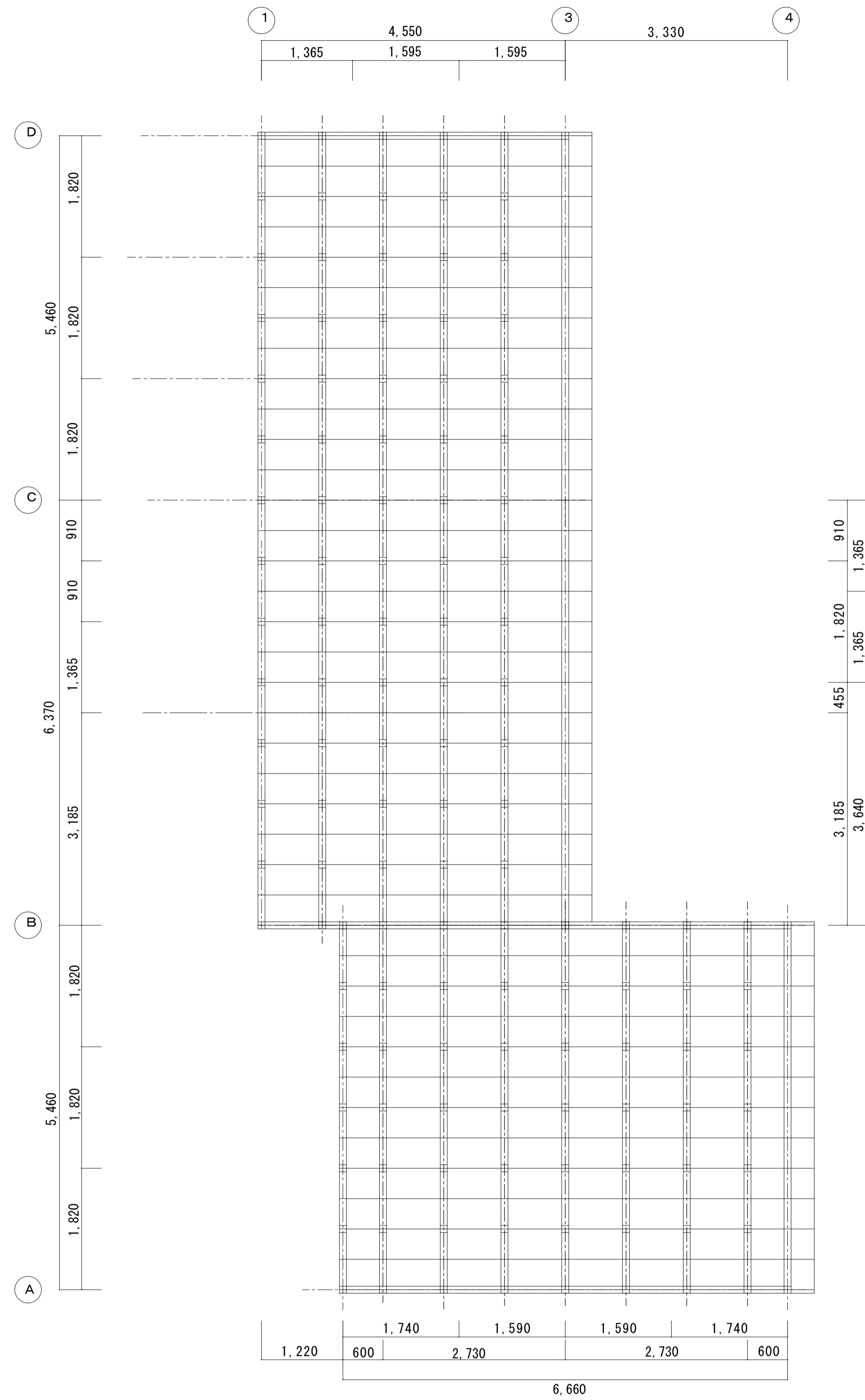
一級建築士大臣登録第207903号
石垣 孝浩

(工事名) 南沢森林事務所新築工事	A-25
基礎伏図・床伏図	A1: 1/50 A3: 1/100
秋田県建築設計事業協同組合 令和8年3月	26 51



梁伏図 S=1/50

凡例			
桁	杉	105 × 105	
梁1	米松	105 × 270	
梁2	米松	105 × 300	
梁3	米松	105 × 360	
梁4	米松	120 × 360	
火打	杉	105 × 105	適宜

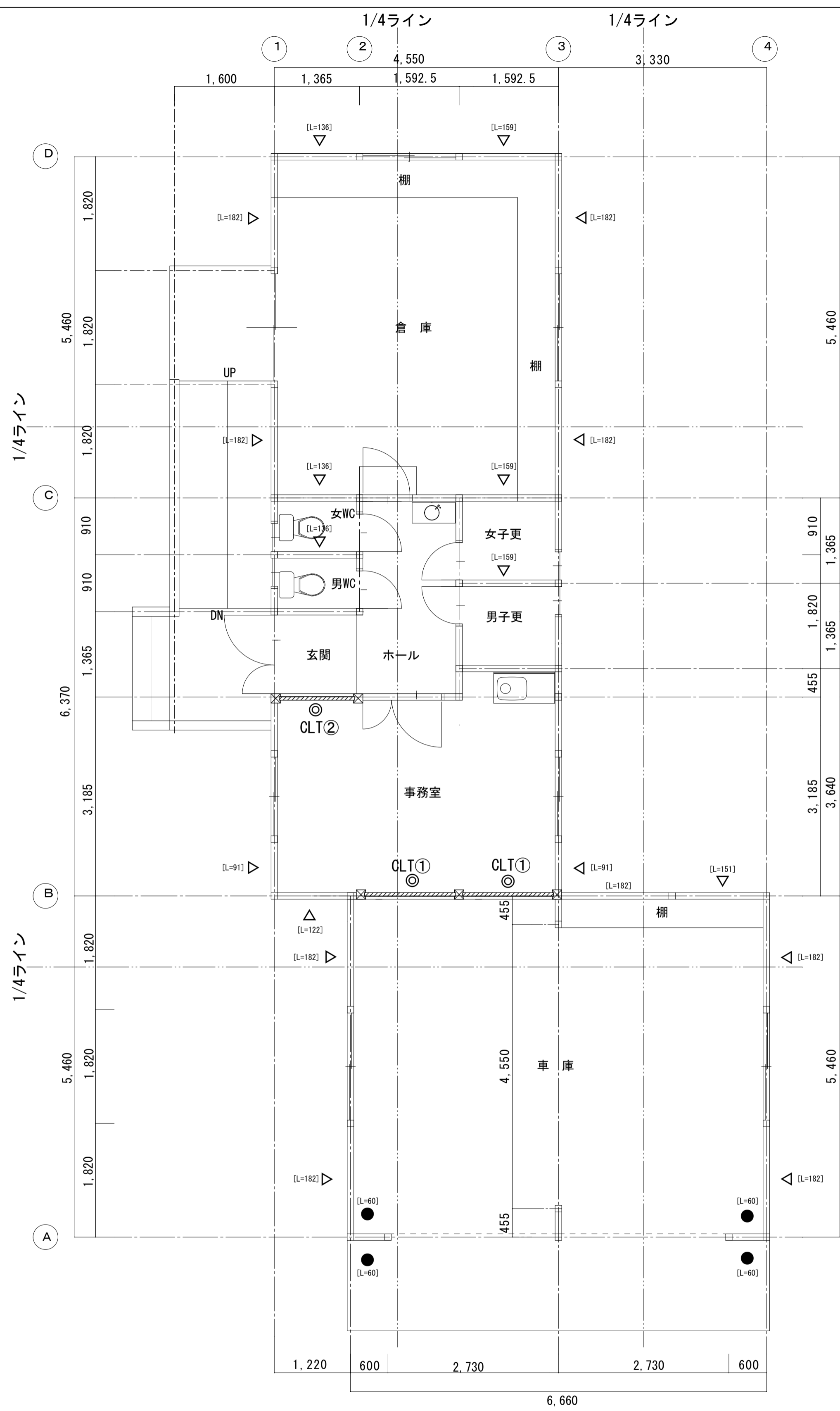


小屋伏図 S=1/50

凡例			
小屋束	杉	105 × 105	
母屋	杉	105 × 105	@910
垂木	杉	45 × 105	@455
火打	杉	105 × 105	適宜

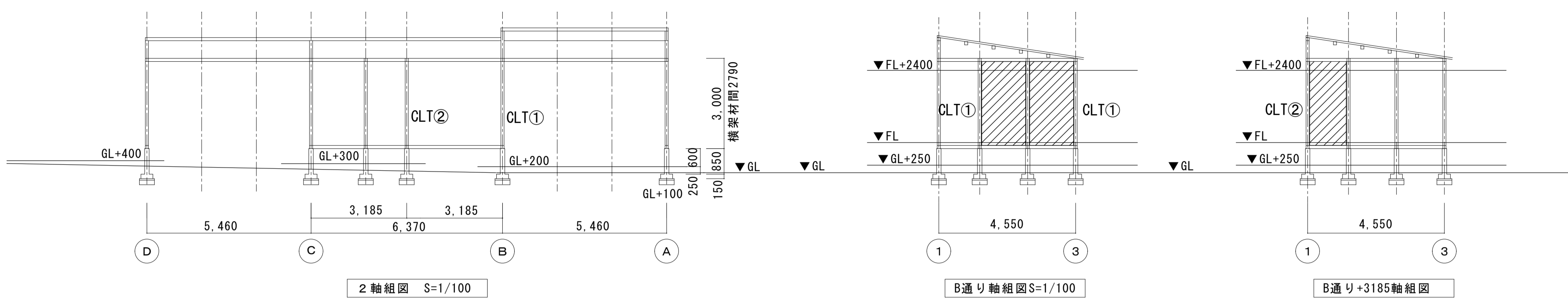
一級建築士大臣登録第207903号
石垣 孝浩

(工事名)	南沢森林事務所新築工事	A-26
梁伏図・小屋伏図	A1 : 1/50 A3 : 1/100	27 51
秋田県建築設計事業協同組合 令和8年3月		



平面図 S=1/50

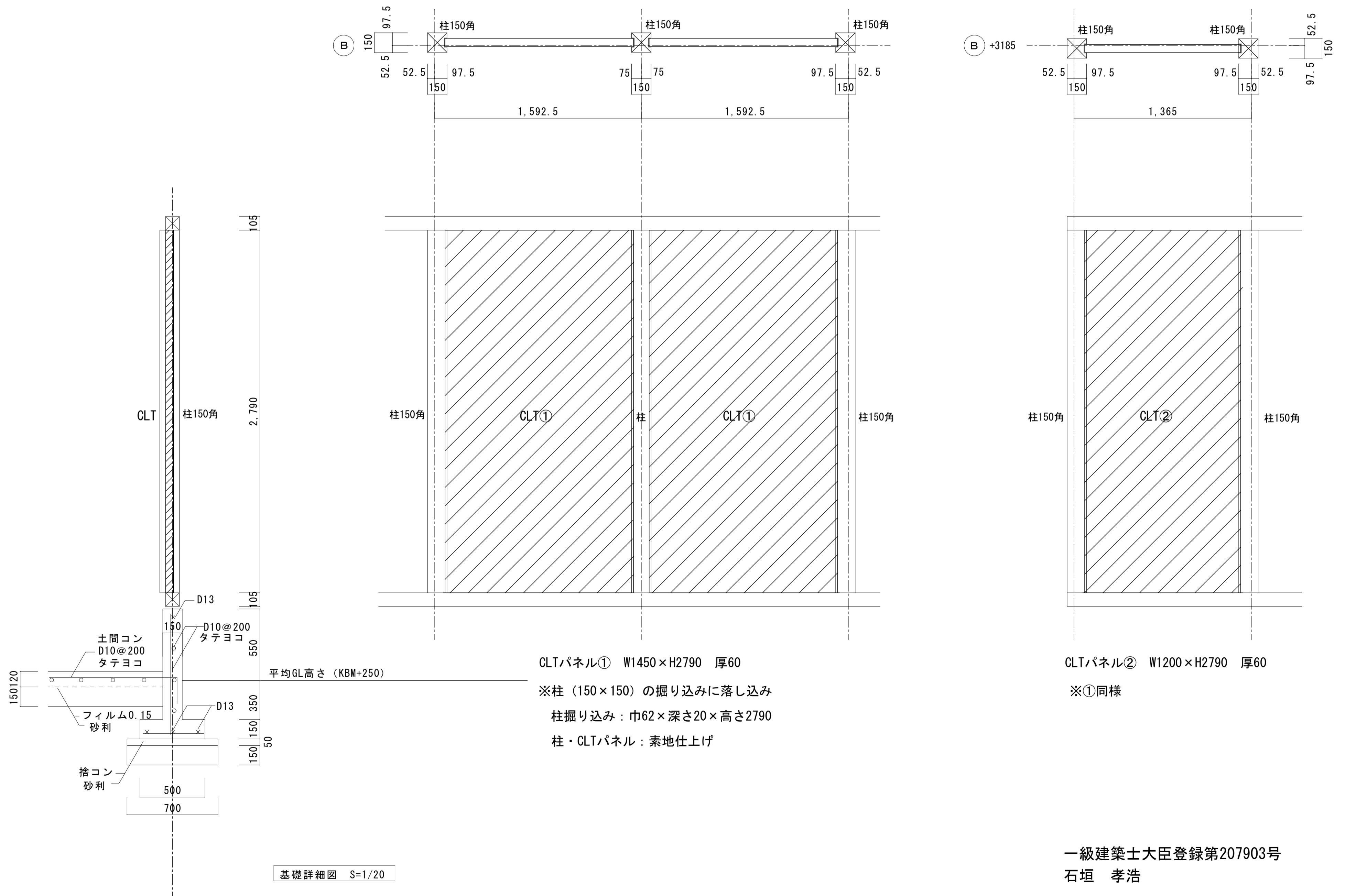
凡例		
● 壁	構造用合板	t=9
▽ 筋違い	杉	105×45
◎ 壁	CLTパネル	t=60
	CLT①	W1450×H2790 2ヶ所
	CLT②	W1200×H2790 1ヶ所



2軸組図 S=1/100

B通り軸組図S=1/100

B通り+3185軸組図



基礎詳細図 S=1/20

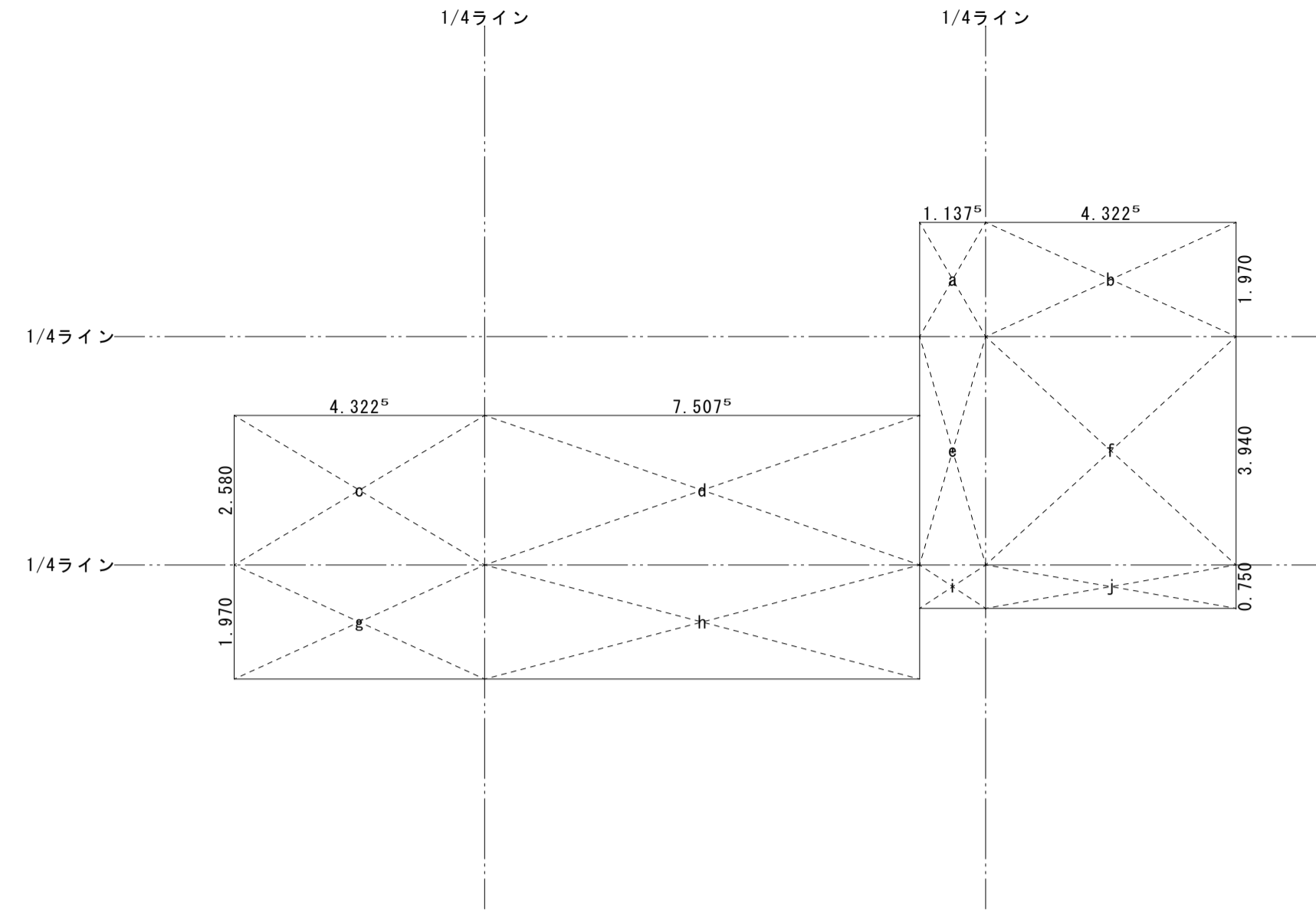
CLTパネル① W1450×H2790 厚60
 ※柱 (150×150) の掘り込みに落とし込み
 柱掘り込み：巾62×深さ20×高さ2790
 柱・CLTパネル：素地仕上げ

CLTパネル② W1200×H2790 厚60
 ※①同様

一級建築士大臣登録第207903号
 石垣 孝浩

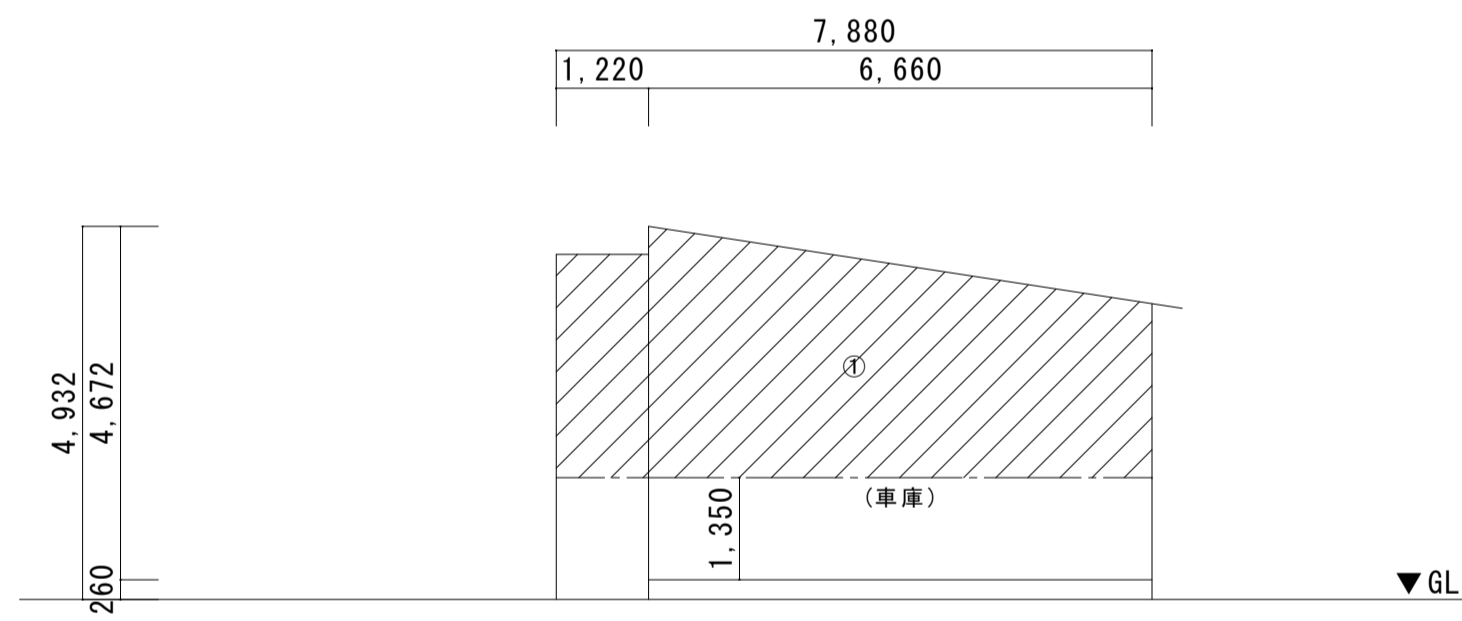
(工事名)	南沢森林事務所新築工事	A-27
平面図・軸組図・CLT図	A1: 1/20・50・100 A3: 1/40・100・200	28 51
秋田県建築設計事業協同組合 令和8年3月		

■ 壁量チェック

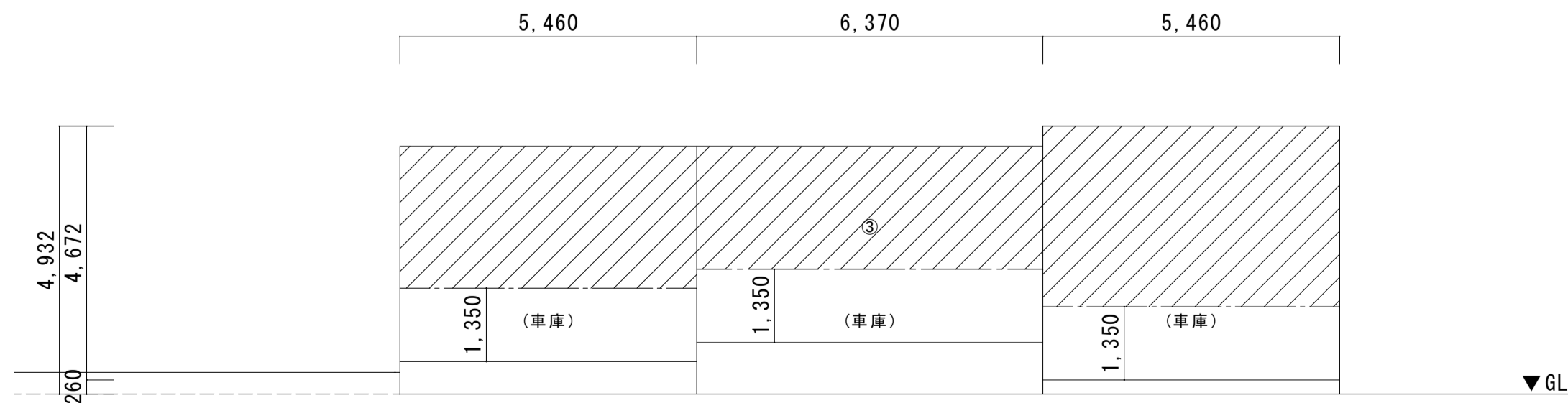


平面図 S=1/100

■ 壁量算定用見付面積



X方向壁量算定見付面積 S=1/100



Y方向壁量算定見付面積 S=1/100

■ 壁量等計算用面積表 ※CAD測定による

階	W	H	面積	階	W	H	面積	階	W	H	面積	階	W	H	面積	1階壁量計算用床面積	1階床面積=	90.190 m ²
a			2.241 m ²													2階壁量計算用床面積	2階床面積=	
b			8.515 m ²													1階北側1/4側端部	a+b=	10.756 合計
c			11.152 m ²													1階南側1/4側端部	c+d+e+f=	52.034 90.190 m ²
d			19.369 m ²													1階東側1/4側端部	g+h+i+j=	27.400
e			4.482 m ²													1階西側1/4側端部	b+f+j=	28.788 合計
f			17.031 m ²													2階東側1/4側端部	a+d+e+h+i=	41.735 90.190 m ²
g			8.515 m ²													2階西側1/4側端部	c+g=	19.667
h			14.790 m ²													2階北側1/4側端部		合計
i			0.853 m ²													2階南側1/4側端部		m ²
j			3.242 m ²													2階東側1/4側端部		合計
																2階西側1/4側端部		m ²

X方向見付面積表				Y方向見付面積表			
階	① ※CAD測定による	② ※CAD測定による	合計	階	③ ※CAD測定による	④ ※CAD測定による	合計
1階			22.323	1階			46.797
2階				2階			
合計			22.323 m ²	合計			46.797 m ²

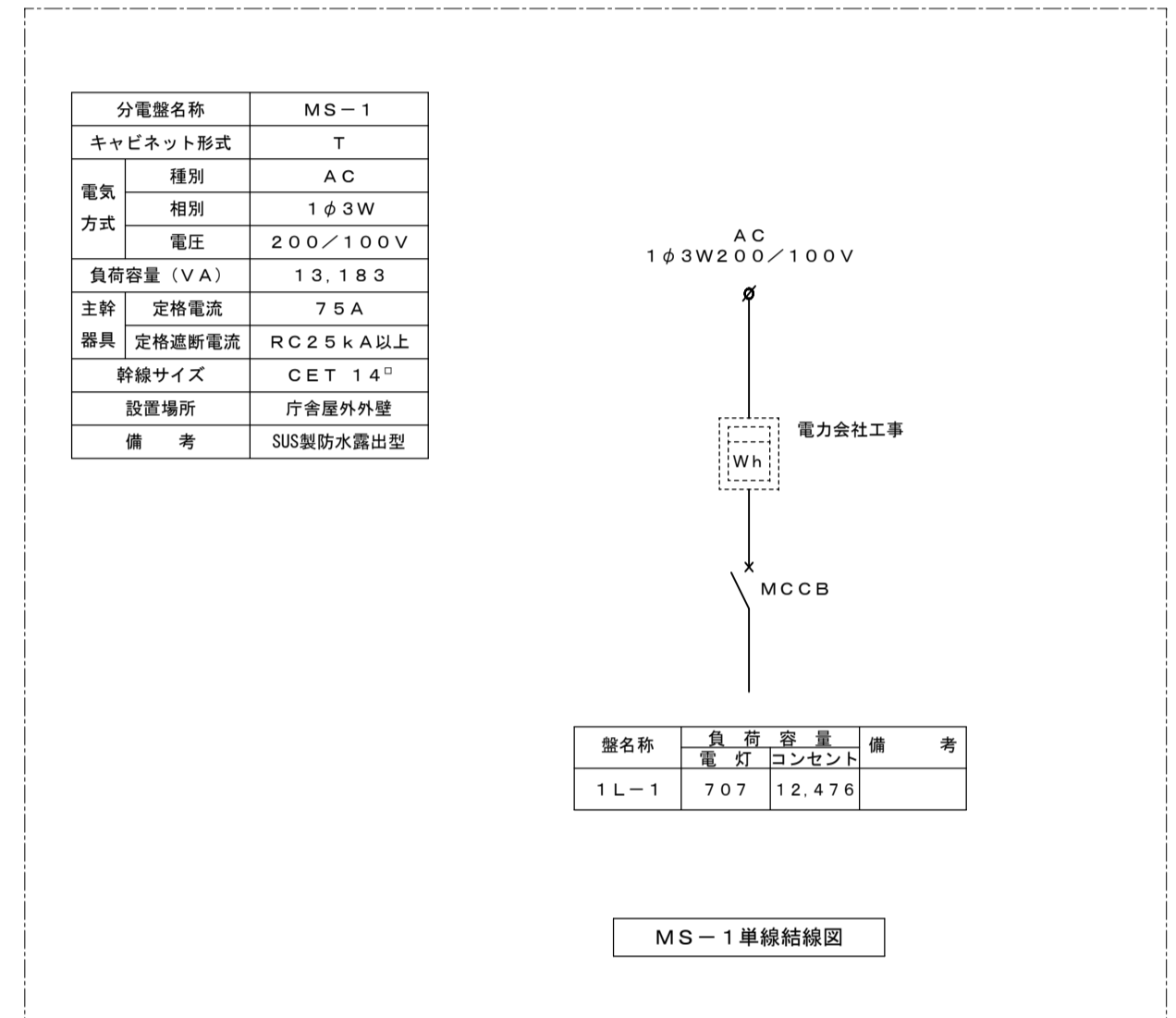
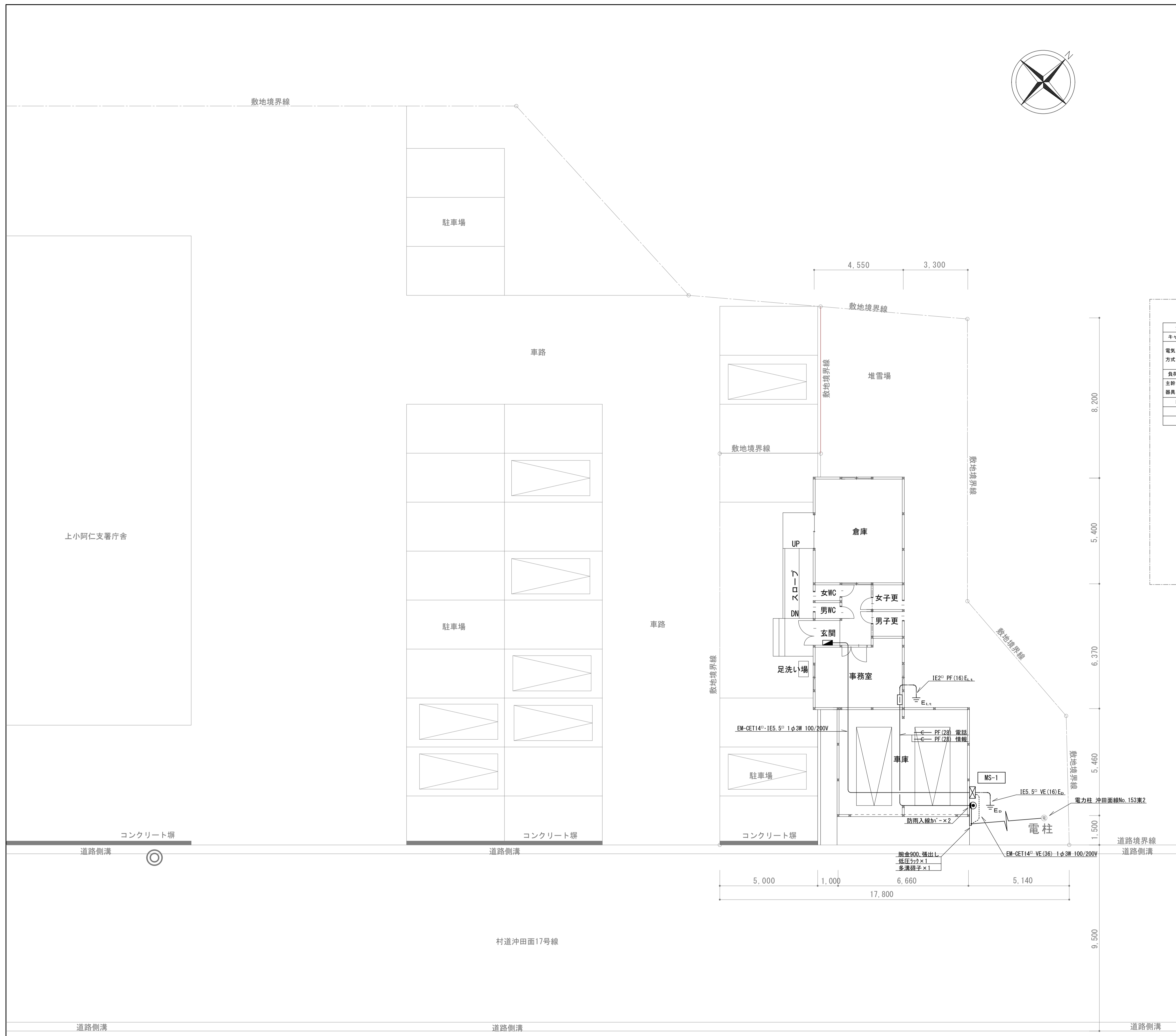
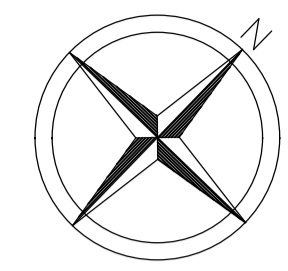
■ 壁量のチェック

方向・階	ソール	通り	耐力壁の存在壁量の計算				令46条の耐力壁量とのつりあい良い配置の計算				令46条耐風壁量計算			必要壁量算定				
			種類	壁倍率	壁の長さ	存在壁量	床面積	床面積に乘ずる係数	⑩=⑧×⑨ 耐震必要壁量	⑪=⑩/⑩ 壁量充足率	⑫ 充足率の判定 ⑫面積>1なら適	壁率比	⑬ 壁率比による バランスよい 壁配置の判定		⑭ 見付面積に 乗ずる係数	⑮=⑭×⑬ 耐風必要壁量		
X軸方向2階	北側1/4	Y()					A _{W2} =		E _{W2} =	B _{W2} =L _{W2} /E _{W2} =	上記以外は壁率比による判定は⑫,⑬を行う	⑫が不適の場合のみ⑬面積のうち小さい方を大きい方で割ったもの	⑬が不適の場合のみ⑭面積のうち小さい方を大きい方で割ったもの		W _{W2} =	L _{W2} ≥ E ₂ と W _{W2} のうち大きい方		
	中央	Y()			L _{W2}	A _{W2} =		E _{W2} =	B _{W2} =L _{W2} /E _{W2} =									
	南側1/4	Y()				A _{W2} =		E _{W2} =	B _{W2} =L _{W2} /E _{W2} =									
	合計			L _{W2}	A _{W2} =		E _{W2} =	B _{W2} =L _{W2} /E _{W2} =										
X軸方向1階	北側1/4	Y()	構造用合板 t=9	2.5			A _{W1} =		E _{W1} =	B _{W1} =L _{W1} /E _{W1} =	適			22.323	50	1116.15	3276.0 ≥ 1116.15 適	
	中央	Y()	筋かい45×90：シングル	2.0	364.0	728.0	A _{W1} =	10.756	11	118.316								6.15
	南側1/4	Y()	構造用合板 t=9	2.5			A _{W1} =		E _{W1} =	B _{W1} =L _{W1} /E _{W1} =								
	合計		筋かい45×90：シングル	2.0	455.0	910.0	A _{W1} =	52.034		E _{W1} =								301.400
Y軸方向2階	東側1/4	Y()					A _{W2} =		E _{W2} =	B _{W2} =L _{W2} /E _{W2} =	適					W _{W2} =	L _{W2} ≥ E ₂ と W _{W2} のうち大きい方	
	中央	Y()			L _{W2}	A _{W2} =		E _{W2} =	B _{W2} =L _{W2} /E _{W2} =									
	西側1/4	Y()				A _{W2} =		E _{W2} =	B _{W2} =L _{W2} /E _{W2} =									
	合計				L _{W2}	A _{W2} =		E _{W2} =	B _{W2} =L _{W2} /E _{W2} =									
Y軸方向1階	東側1/4	Y()	構造用合板 t=9	2.5	240	600.0	A _{W1} =		E _{W1} =	B _{W1} =L _{W1} /E _{W1} =	適					W _{W1} =	L _{W1} ≥ E ₁ と W _{W1} のうち大きい方	
	中央	Y()	筋かい45×90：シングル	2.0			A _{W1} =	28.788	11	316.668								1.89
	西側1/4	Y()	構造用合板 t=9	2.5			A _{W1} =		E _{W1} =	B _{W1} =L _{W1} /E _{W1} =								
	合計		筋かい45×90：シングル	2.0	1045.0	2090.0	A _{W1} =	41.735		E _{W1} =								216.337

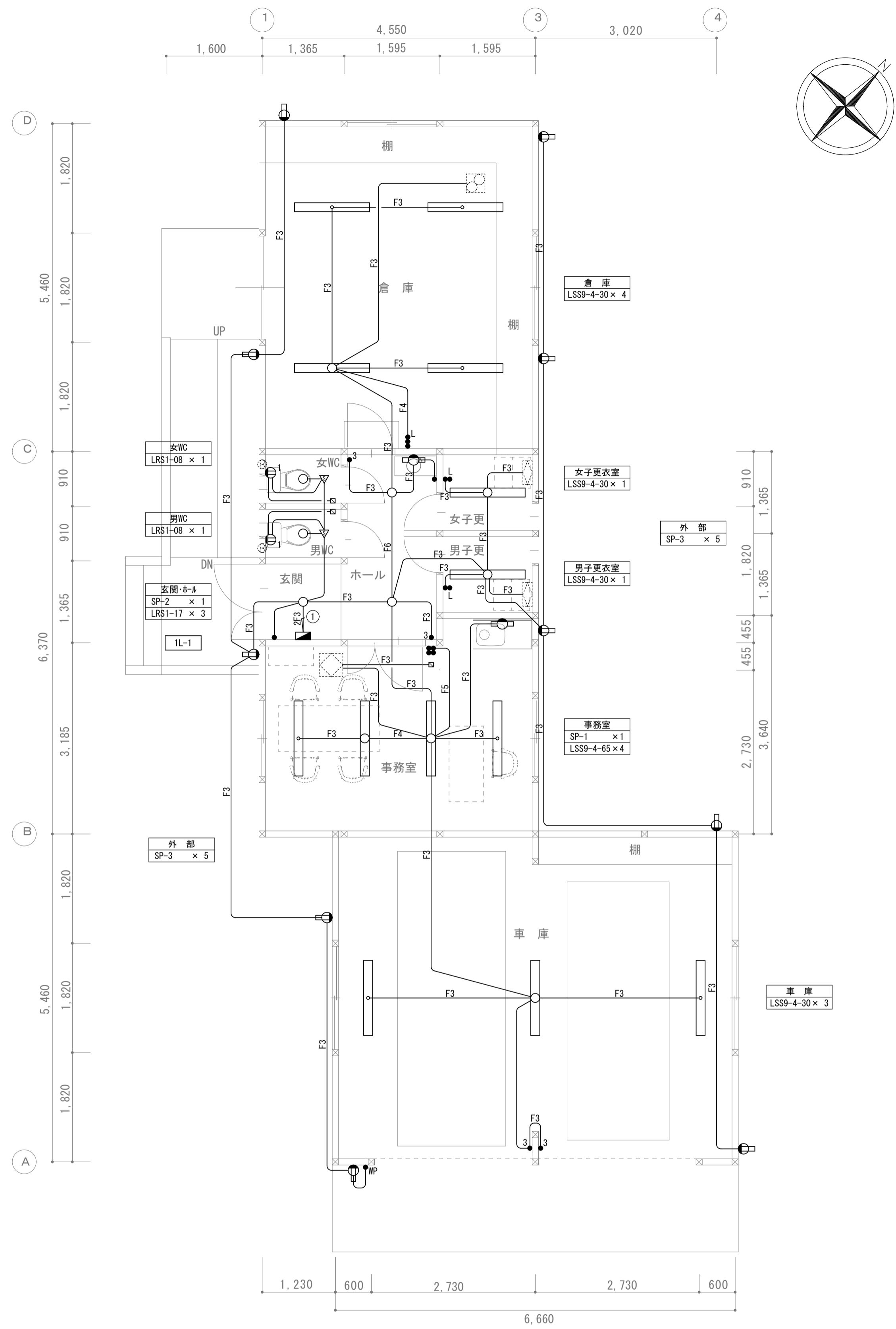
一級建築士大臣登録第207903号
石垣 孝浩

(工事名)	南沢森林事務所新築工事	A-28
壁量チェック	A1 : 1/20・50・100 A3 : 1/40・100・200	29 51
秋田県建築設計事業協同組合 令和8年3月		

木造工事構造関係補足事項		3.4 接合具（Z・C・D・S・Mマーク表示金物も含む）		7.5 ラグスクリューの工法																																		
項 目	特 記 事 項	1 項 事 般	<p>1.1 適用範囲</p> <p>建築物および工作物の構造上主要な部分に木材を用いる工事に適用する。特記仕様は、項目の番号に○の付いたもの、特記事項は◎の付いたものを適用する。</p> <p>1.2 優先順位</p> <p>図面間に相違がある場合は以下のとおりとする。</p> <p>(1) 図面</p> <ul style="list-style-type: none"> i. 設計図 ii. 木造工事構造関係補足事項(案) <p>1.3 加工図の提出</p> <p>工事に先立ち加工図を作成し、監督職員に提出する。プレカット製品を使用する場合には、プレカット図を加工図とする。</p> <p>1.4 木材等の加工場の選定、承諾</p> <p>設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有した加工工場を選定し、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>1.5 参考図書</p> <p>設計図書に示されていない事項については、監督職員の指示によるほか下記による。</p> <p>(1) 建築工事標準仕様書・同解説 JASS11 木工事</p> <p>(2)</p>	<p>検査方法は以下による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>接合具の種類</th> <th>確認項目</th> <th>確認の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・釘、特殊釘等</td> <td>鋼材種別、胴・頭径部、長さ、仕上げ</td> <td>・ミルシートの写し</td> </tr> <tr> <td>・木ねじ</td> <td>鋼材種別、径、長さ、仕上げ</td> <td>・表示の確認</td> </tr> <tr> <td>・ボルト、ナット</td> <td>鋼材種別、径、長さ、仕上げ</td> <td>・出荷証明書</td> </tr> <tr> <td>・アンカーボルト</td> <td>鋼材種別、径、長さ、仕上げ</td> <td>・認定規格書</td> </tr> <tr> <td>・座金</td> <td>鋼材種別、径、仕上げ</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ドリフトピン</td> <td>鋼材種別、径、長さ、仕上げ</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ラグスクリュー</td> <td>鋼材種別、径、長さ、仕上げ</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・木栓・木だぼ</td> <td>材種、基準強度</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・輪型ジベル</td> <td>鋼材種別、径、形状、仕上げ</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・圧入型ジベル</td> <td>鋼材種別、径、形状、仕上げ</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	接合具の種類	確認項目	確認の方法	・釘、特殊釘等	鋼材種別、胴・頭径部、長さ、仕上げ	・ミルシートの写し	・木ねじ	鋼材種別、径、長さ、仕上げ	・表示の確認	・ボルト、ナット	鋼材種別、径、長さ、仕上げ	・出荷証明書	・アンカーボルト	鋼材種別、径、長さ、仕上げ	・認定規格書	・座金	鋼材種別、径、仕上げ	・	・ドリフトピン	鋼材種別、径、長さ、仕上げ	・	・ラグスクリュー	鋼材種別、径、長さ、仕上げ	・	・木栓・木だぼ	材種、基準強度	・	・輪型ジベル	鋼材種別、径、形状、仕上げ	・	・圧入型ジベル	鋼材種別、径、形状、仕上げ	・	<p>(1) 締付けに先立ち、ラグスクリューの長さ、材質、呼び径等が設計図書に適合していることを確認する。</p> <p>(2) ネジ部の先孔の径：ネジ径の50～70%（長さはネジ部の長さと同寸とする。）</p> <p>(3) ラグスクリューは先孔にレンチなどで回しながら挿入し、ハンマーなどで打ち込んでほならない。</p> <p>(4) ねじ込みを容易にする為や損傷させない為に潤滑油などを用いてもよい。</p> <p>(5) 胴部の先孔の径は胴部と同径とし、長さも胴部と同寸とする。</p> <p>(6) 一度ねじ込んだラグスクリューを抜き直し、再びねじ込むことはしない。</p>
		接合具の種類	確認項目	確認の方法																																		
		・釘、特殊釘等	鋼材種別、胴・頭径部、長さ、仕上げ	・ミルシートの写し																																		
		・木ねじ	鋼材種別、径、長さ、仕上げ	・表示の確認																																		
		・ボルト、ナット	鋼材種別、径、長さ、仕上げ	・出荷証明書																																		
・アンカーボルト	鋼材種別、径、長さ、仕上げ	・認定規格書																																				
・座金	鋼材種別、径、仕上げ	・																																				
・ドリフトピン	鋼材種別、径、長さ、仕上げ	・																																				
・ラグスクリュー	鋼材種別、径、長さ、仕上げ	・																																				
・木栓・木だぼ	材種、基準強度	・																																				
・輪型ジベル	鋼材種別、径、形状、仕上げ	・																																				
・圧入型ジベル	鋼材種別、径、形状、仕上げ	・																																				
質 品 の 料 材	特 記 事 項	2.1 製材	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特記無き梁桁、母屋、垂木等の曲げ材のうち、見えがかり材は目視等級材の甲種2級、見え隠れ部分の木材は甲種3級とする。その他は乙種2級とする。 ・ 乾燥の際、背割りを行う。ただし見えがかり部・相欠き部材・構造用合板の釘接合面には行わない。 ・ 強度等級を指定した材料は特に、材料の欠点の節、目切れ等に注意して材料を選定する。 	<p>3.4 接合金物（Z・C・D・S・Mマーク表示金物、製作金物）</p> <p>検査方法は以下による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>接合金物・接合具等</th> <th>確認項目</th> <th>確認の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・筋交いプレート</td> <td rowspan="4">鋼材種別、形状、仕上げ、認定規格等</td> <td rowspan="4">・ミルシートの写し</td> </tr> <tr> <td>・引き寄せ金物</td> </tr> <tr> <td>・梁受け金物</td> </tr> <tr> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・鋼材</td> <td>鋼材種別、形状、仕上げ</td> <td>・表示の確認</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>・認定規格書</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	接合金物・接合具等	確認項目	確認の方法	・筋交いプレート	鋼材種別、形状、仕上げ、認定規格等	・ミルシートの写し	・引き寄せ金物	・梁受け金物	・	・鋼材	鋼材種別、形状、仕上げ	・表示の確認	・		・認定規格書	・		・	<p>7.6 ドリフトピンの工法</p> <p>(1) ドリフトピンは孔に密着させる。</p> <p>(2) 一度締付けた併用ボルトについても、木材の収縮によるボルトの緩みを確認し、緩んだものについては再度締直しを行う。</p>															
		接合金物・接合具等	確認項目	確認の方法																																		
		・筋交いプレート	鋼材種別、形状、仕上げ、認定規格等	・ミルシートの写し																																		
		・引き寄せ金物																																				
		・梁受け金物																																				
・																																						
・鋼材	鋼材種別、形状、仕上げ	・表示の確認																																				
・		・認定規格書																																				
・		・																																				
法 方 査 査 の 質 品 の 料 材	特 記 事 項	3.1 共通事項	<p>(1) 木材等の加工場に搬入された材料及び接合具・接合金物等は、受け入れ検査を行い、監督職員に報告する。また、設計図書で定められた性能を満たさない材料は用いない。</p> <p>(2) 加工材は、現場搬入前に断面寸法、長さ、仕口及び継手の位置、接合金物等の取付け位置等について全数確認を行い、記録を監督職員に提出する。</p> <p>(3) 加工材は、現場搬入後建方前に寸法及び含水率について、監督職員の検査を受ける。検査数量については、施工計画書で定める。</p>	<p>4 土壌処理</p> <p>防蟻薬剤による処理方法</p> <p>使用する薬剤は、日本しろあり対策協会または日本木材保存協会の規格による。</p> <p>処理範囲は、建築物の基礎に囲まれた床下の土壌を対象とし、以下による。</p> <p>① 基礎、束石及び配管類の立上り部分の土壌は、基礎等の壁際から20cm幅を帯状散布とする。</p> <p>② 浴室、便所、玄関、勝手口等の土間コンクリート下部は、基礎等の壁際から20cm幅を帯状散布をし、その内側を面状散布をする。</p> <p>薬剤使用量は、帯状散布が処理長さ1m当り1リットル、面状散布は1㎡当り3リットルとする。</p>	<p>7.7 輪型ジベル接合の工法</p> <p>(1) 木部材は接合部付近の割れ、節、目切れなどの欠点がないよう注意する。</p> <p>(2) 接合材は十分圧着させる。木材の収縮により圧着が不完全にならないようボルトの緩みを確認し、緩んだものについては再度締め直しを行う。</p>																																	
		3.2 製材及び枠組壁工法構造用製材	<p>検査方法は以下による。</p> <p>(1) 日本農林規格に適合する木材又は国土交通大臣の指定を受けた木材の受け入れ検査は、出荷証明書に基づき表示の確認を行う。</p> <p>(2) (1)以外の木材の受け入れ検査は出荷証明書に基づき、木造標準仕様書によるほか日本農林規格に準じて行う。</p> <p>(3) 無等級材、広葉樹製材及び丸太材の縦振動ヤング係数による基準強度の確認は、以下による。</p> <p>(i) 無等級材のうち次の樹種については、製材の日本農林規格第6条に定める品質曲げ性能における等級の区分に準拠する。それ以外の樹種については、既往の研究等に基づき適切に定め、施工計画書を作成し提出する。</p> <p>あかまつ、べいまつ、からまつ、ひば、ひのき、べいつが、えぞまつ、とどまつ、すぎ</p> <p>製材の日本農林規格第6条に定める等級の区分（機械的等級区分と測定曲げヤング係数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>等級</th> <th>E50</th> <th>E70</th> <th>E90</th> <th>E110</th> <th>E130</th> <th>E150</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>曲げヤング率 (×10 N/mm)</td> <td>3.9以上 ～5.9未満</td> <td>5.9以上 ～7.8未満</td> <td>7.8以上 ～9.8未満</td> <td>9.8以上 ～11.8未満</td> <td>11.8以上 ～13.7未満</td> <td>13.7以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(ii) 広葉樹及び丸太材については、既往の研究等に基づき適切に定め、施工計画書を作成し提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本農林規格に適合する木材を使用する場合は、製材工場の認定書の写しを提出する。 ・ 全乾重量法及び静的ヤング係数試験は、公的試験場にて行う。また、試験体は生産地毎に使用する同一部材の中から抽出し、試験方法は、木材の試験方法（JIS Z 2101）に準じて行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全乾重量法試験 ・ 静的ヤング係数試験 <p>検査数量（ ）</p>	等級	E50	E70	E90	E110	E130	E150	曲げヤング率 (×10 N/mm)	3.9以上 ～5.9未満	5.9以上 ～7.8未満	7.8以上 ～9.8未満	9.8以上 ～11.8未満	11.8以上 ～13.7未満	13.7以上	<p>8.1 アンカーボルトの施工</p> <p>(1) アンカーボルトは二重ナットとする。</p> <p>(2) 土台の孔あけはコンクリート打設後、ボルトの通り芯からのずれを実測してから行う。</p> <p>(3) 柱脚部に製作金物を使用する部位については以下の数値を受入基準とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 柱据え付け面：基準高さからの誤差 ±2mm以下 ・ 柱隣接間中心距離の誤差 e1：±2mm以下 ・ 通り芯からの離れの誤差 e2：±2mm以下 <p>a：通り芯からの離れ L：柱隣接間中心距離</p>																				
		等級	E50	E70	E90	E110	E130	E150																														
		曲げヤング率 (×10 N/mm)	3.9以上 ～5.9未満	5.9以上 ～7.8未満	7.8以上 ～9.8未満	9.8以上 ～11.8未満	11.8以上 ～13.7未満	13.7以上																														
		3.3 構造用集成材、構造用単板積層材、構造用合板、構造用パネル等	<p>検査方法は以下による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料</th> <th>確認項目</th> <th>確認の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 構造用集成材</td> <td>部位、断面、長さ、数量、樹種、品名、強度等級、材面の品質、使用環境、ホルムアルデヒド放散量</td> <td>・ 日本農林規格 (JAS) 表示の確認</td> </tr> <tr> <td>・ 構造用単板積層材</td> <td>部材、断面、長さ、数量、樹種、区分、曲げ性能、水平せん断性能、使用環境、ホルムアルデヒド放散量</td> <td>・ 立会い目視検査</td> </tr> <tr> <td>・ 構造用合板</td> <td>寸法、数量、強度等級、曲げ性能基準、板面の品質、接着の程度、ホルムアルデヒド放散量</td> <td>・ 出荷証明書</td> </tr> <tr> <td>・ 構造用パネル</td> <td>寸法、数量、部位、曲げ性能、ホルムアルデヒド放散量</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	材料	確認項目	確認の方法	・ 構造用集成材	部位、断面、長さ、数量、樹種、品名、強度等級、材面の品質、使用環境、ホルムアルデヒド放散量	・ 日本農林規格 (JAS) 表示の確認	・ 構造用単板積層材	部材、断面、長さ、数量、樹種、区分、曲げ性能、水平せん断性能、使用環境、ホルムアルデヒド放散量	・ 立会い目視検査	・ 構造用合板	寸法、数量、強度等級、曲げ性能基準、板面の品質、接着の程度、ホルムアルデヒド放散量	・ 出荷証明書	・ 構造用パネル	寸法、数量、部位、曲げ性能、ホルムアルデヒド放散量	・	<p>5.1 刻み時の注意</p> <p>製材に背割りのある場合、曲げ材は断面の弱軸と背割りの方向を一致させる。仕口や接合部に欠点当たらないよう加工する。</p> <p>5.2 加工寸法の精度</p> <p>加工材の断面寸法、長さは次による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建方精度等を考慮し、施工計画書に定める。 	<p>8.2 建方精度</p> <p>(1) 建入直し後の建方精度は、特記仕様書による。なお、特記がなければ施工計画書に定め、監督職員に提出する。</p> <p>(2) 柱据え付け面の高さ及びアンカーボルトの位置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 柱据え付け面の基準高さからの誤差：±3mm以下 ・ 通り芯からの離れの誤差：±3mm以下 ・ 階高：-5mm≦ΔH≦+5mm 																		
材料	確認項目	確認の方法																																				
・ 構造用集成材	部位、断面、長さ、数量、樹種、品名、強度等級、材面の品質、使用環境、ホルムアルデヒド放散量	・ 日本農林規格 (JAS) 表示の確認																																				
・ 構造用単板積層材	部材、断面、長さ、数量、樹種、区分、曲げ性能、水平せん断性能、使用環境、ホルムアルデヒド放散量	・ 立会い目視検査																																				
・ 構造用合板	寸法、数量、強度等級、曲げ性能基準、板面の品質、接着の程度、ホルムアルデヒド放散量	・ 出荷証明書																																				
・ 構造用パネル	寸法、数量、部位、曲げ性能、ホルムアルデヒド放散量	・																																				
法 工 の 部 合 接	特 記 事 項	6.1 寸法精度	<p>接合金物の寸法精度</p> <p>幅、長さは製作図の寸法 ± 0.2mm</p> <p>孔あけ許容寸法</p> <p>孔芯ずれ ± 1.0mm</p> <p>孔間隔のずれ ± 1.0mm</p>	<p>7.1 仕口、継手の原則</p> <p>(1) 仕口、継手の方法・位置は構造図による。</p> <p>(2) 7.2から7.8の接合部の項目については、設計図書に記載された仕様を確認し施工する。</p>	<p>7.9 その他の方法による工法</p> <p>(1) 羽子板ボルト、ひら金物、短冊金物、かね折り金物および箱金物などの取付けは、接合両材の間が密着するように締め付ける。</p> <p>(1) 使用材料及び使用方法は図示によるものとする。</p>																																	
		7.1 仕口、継手の原則	<p>(1) 釘は材の繊維に対して乱に打ち、割れを生じないように端距離、縁距離、釘間隔を大きく取る。</p> <p>(2) 釘の長さは、特記がなければ材厚の2.5倍以上とする。</p> <p>(3) 接合部1ヶ所の釘の本数は2本以上とする。</p> <p>(4) 自動釘打ち機を使用する場合は、釘頭部が過度にめり込まないようにする。</p>	<p>7.2 釘の工法</p>																																		
		7.2 釘の工法	<p>(1) 木ねじの先孔の径（dは木ねじ径）は、針葉樹の主材を0.6d、側材は0.8d、広葉樹の主材を0.8d、側材は1.0dとする。また、先孔の深さは、主材へのねじ込み深さの2/3程度とする。</p> <p>(2) ねじ込みには適切な道具を使い、ハンマーなどで打ち込んでほならない。</p> <p>(3) ねじ込みが難しい場合には、ねじ込みを容易にしたり、損傷させないために潤滑油などを用いてもよい。</p>	<p>7.3 木ねじの工法</p>																																		
		7.3 木ねじの工法	<p>(1) 締付けに先立ち、ボルトの長さ、材質、呼び径、座金等が設計図書に適合していることを確認する。</p> <p>(2) ボルトの締付けは2回以上に分けて行い、1群のボルトの締付けは一律となるように行う。</p> <p>(3) ボルトの締付けは、座金が部材にめり込む程度とし、めり込み音が発生した時点で締付けを完了する。</p> <p>(4) 締付けを完了したボルトは、ねじ部がナットから2～3山以上出ていることを確認する。</p> <p>(5) 一度締付けたボルトについても、木材の収縮によるボルトの緩みを確認し、緩んだものについては再度締め直しを行う。</p>	<p>7.4 各種ボルトの工法</p>																																		
		7.4 各種ボルトの工法	<p>(1) 締付けに先立ち、ボルトの長さ、材質、呼び径、座金等が設計図書に適合していることを確認する。</p> <p>(2) ボルトの締付けは2回以上に分けて行い、1群のボルトの締付けは一律となるように行う。</p> <p>(3) ボルトの締付けは、座金が部材にめり込む程度とし、めり込み音が発生した時点で締付けを完了する。</p> <p>(4) 締付けを完了したボルトは、ねじ部がナットから2～3山以上出ていることを確認する。</p> <p>(5) 一度締付けたボルトについても、木材の収縮によるボルトの緩みを確認し、緩んだものについては再度締め直しを行う。</p>	<p>7.9 その他の方法による工法</p>																																		



(工事名)	南沢森林事務所ほか新築工事(電気設備の部)	E-2
配置図・引込開閉器盤結線図	A1 : 1/100 A3 : 1/200	32 51
秋田県建築設計事業協同組合		
令和8年3月		



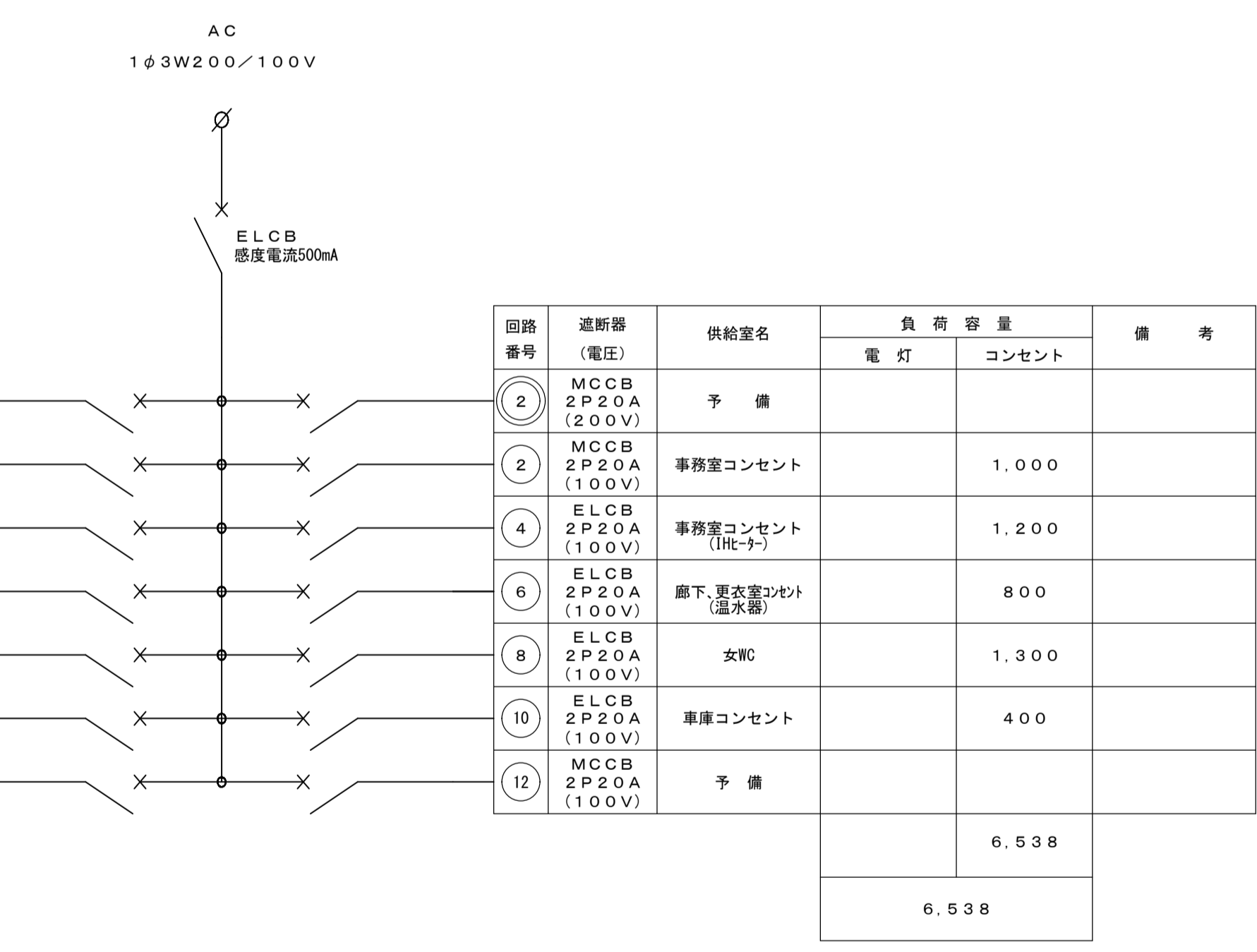
電灯設備配線図 S=1/50

照明器具姿図

直付 SP-1 LED 12.0W×1				直付 SP-2 LED 9.5W×1				直付 SP-3 LED 7.1W×1			
製造者標準仕様				製造者標準仕様				製造者標準仕様			
定格入力電圧	AC 100V	消費電力	12.0W以下	定格入力電圧	AC 100V	消費電力	9.5W以下	定格入力電圧	AC 100V	消費電力	7.1W以下
器具光束	980 lm以上			器具光束	840 lm以上			器具光束	412 lm以上		
寸法	117×558×47以下			寸法	450×65×64以下			寸法	96×323×97以下		
特記事項	5,000K			特記事項	5,000K			特記事項	5,000K, 明るさセンサー付、点灯照度調整機能付		
備考	壁直付・棚下直付型、コンセント付、プルスイッチ付			備考				備考	防雨型、段調光省エネ型		

分電盤名称	1L-1	
キャビネット形式	G	
電気方式	種別	AC
	相別	1φ3W
	電圧	200/100V
負荷容量 (VA)	13,249	
主幹器具	定格電流	75A
	定格遮断電流	RC25kA以上
幹線サイズ	CET 14 ^φ	
設置場所	庁舎1階玄関	
入線方向	上方	

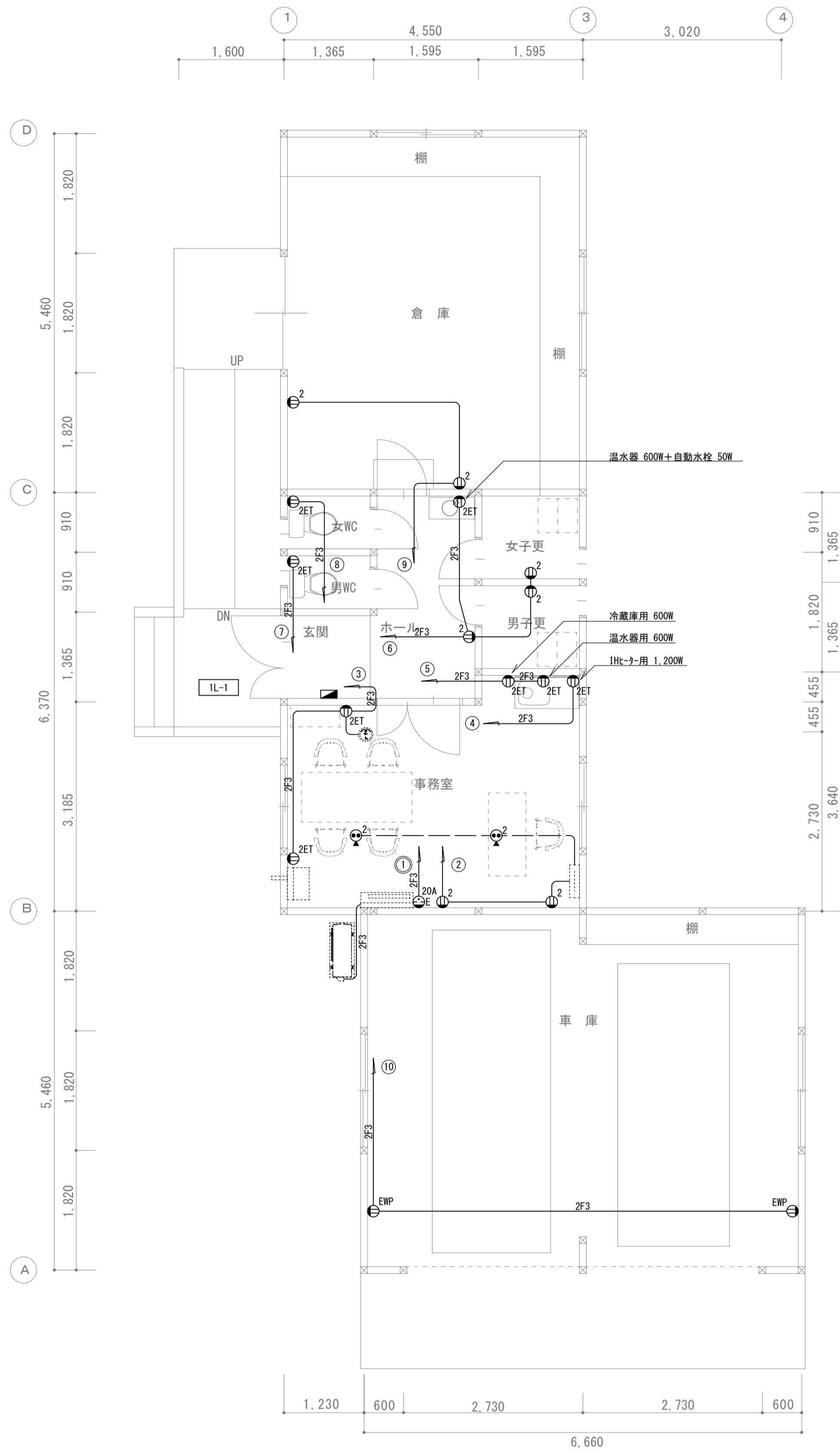
備考	負荷容量		供給室名	遮断器 (電圧)	回路番号
	コンセント	電灯			
	3,675		事務室エアコン	ELCB 2P20A (200V)	①
		773	庁舎電灯	MCCB 2P20A (100V)	①
	1,200		事務室コンセント	MCCB 2P20A (100V)	③
	1,200		事務室コンセント (冷蔵庫・温水器)	ELCB 2P20A (100V)	⑤
	1,300		男WC	ELCB 2P20A (100V)	⑦
	400		倉庫コンセント	MCCB 2P20A (100V)	⑨
			予備	MCCB 2P20A (100V)	⑪
	5,938	773			
	6,711				



1L-1 単線結線図

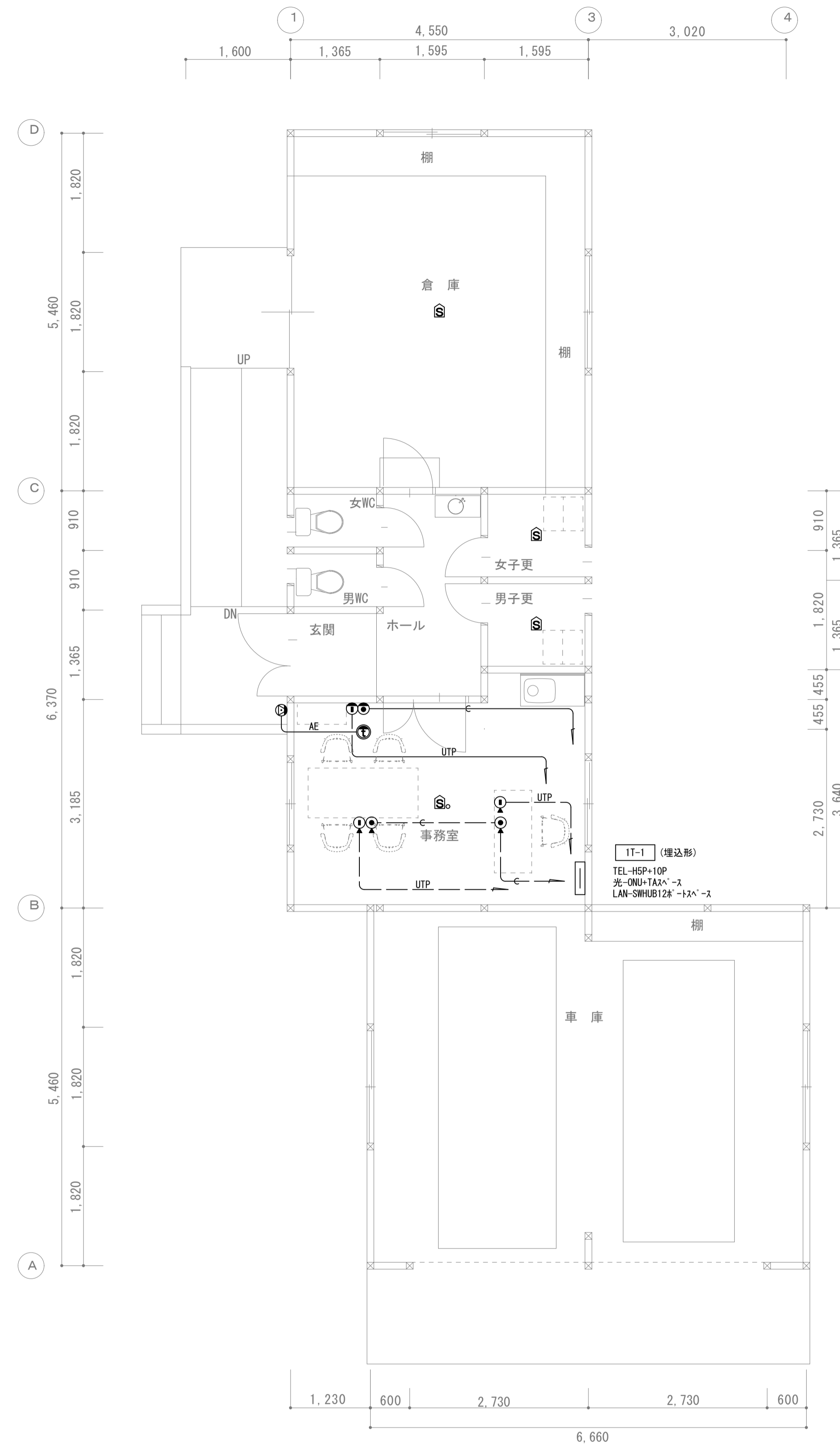
記号	名称	備考
☐	機械設備支給品入付取付	IP+3取付相当
—	EM-EEF1.6-2C 立上部保護PF (16)	天井配線
F3	EM-EEF1.6-3C 立上部保護PF (22)	〃
F4	EM-EEF1.6-20×2 立上部保護PF (22)	〃
F5	EM-EEF1.6-20×3C 立上部保護PF (22)	〃
F6	EM-EEF1.6-30×2 立上部保護PF (22)	〃
F7	EM-EEF2.0-3C 立上部保護PF (22)	〃

(工事名)	南沢森林事務所ほか新築工事(電気設備の部)	E-3
電灯設備配線図、照明器具姿図	A1 : 1/50	33
分電盤結線図	A3 : 1/100	51
秋田県建築設計事業協同組合 令和8年3月		



コンセント設備配線図 S=1/50

記号	名称	備考
EM-EFF2 0-2C	立上部保護PF (16)	天井配線
EM-EFF2 0-3C	立上部保護PF (22)	"
EM-EFF2 0-2C	立上部保護PF (16)	床下木造天井配線



構内情報・構内交換・誘導支援・火災報知設備配線図 S=1/50

【誘導支援機器姿図】

① テレビインターホン親機
モニター付親機

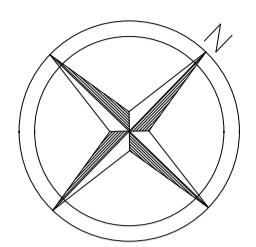
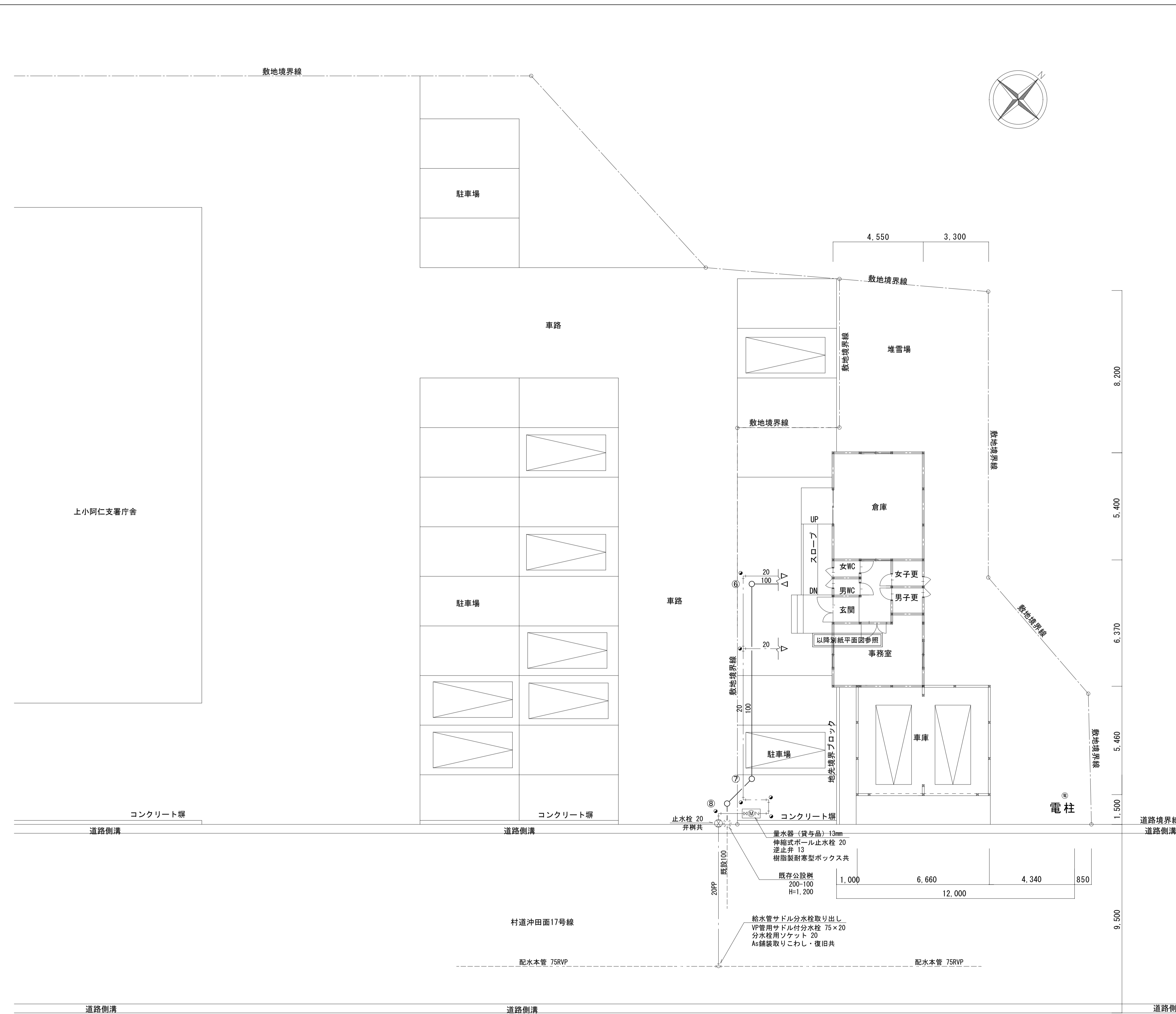
電源電圧	AC100V 50/60Hz
ディスプレイ	3.5型TFTカラー液晶
通話方式	拡声自動交互通話/ブレストーク通話
録音件数	最大40件 (1件あたり最大8面録)
形状	壁取付型 (JIS1専用スイッチボックス+セーラー)
材質	難燃性樹脂
備考	非常警報 (非常ボタン) 機能付

② テレビインターホン子機
カメラ付玄関子機

電源電圧	モニター付親機から供給
通話方式	自動交互通話
カメラ	1/5型カラーCMOS
形状	壁取付型 (JIS1専用スイッチボックス)
材質	難燃性樹脂
備考	防塵・防まつ形 (JIS C 0920 IP54 相当)

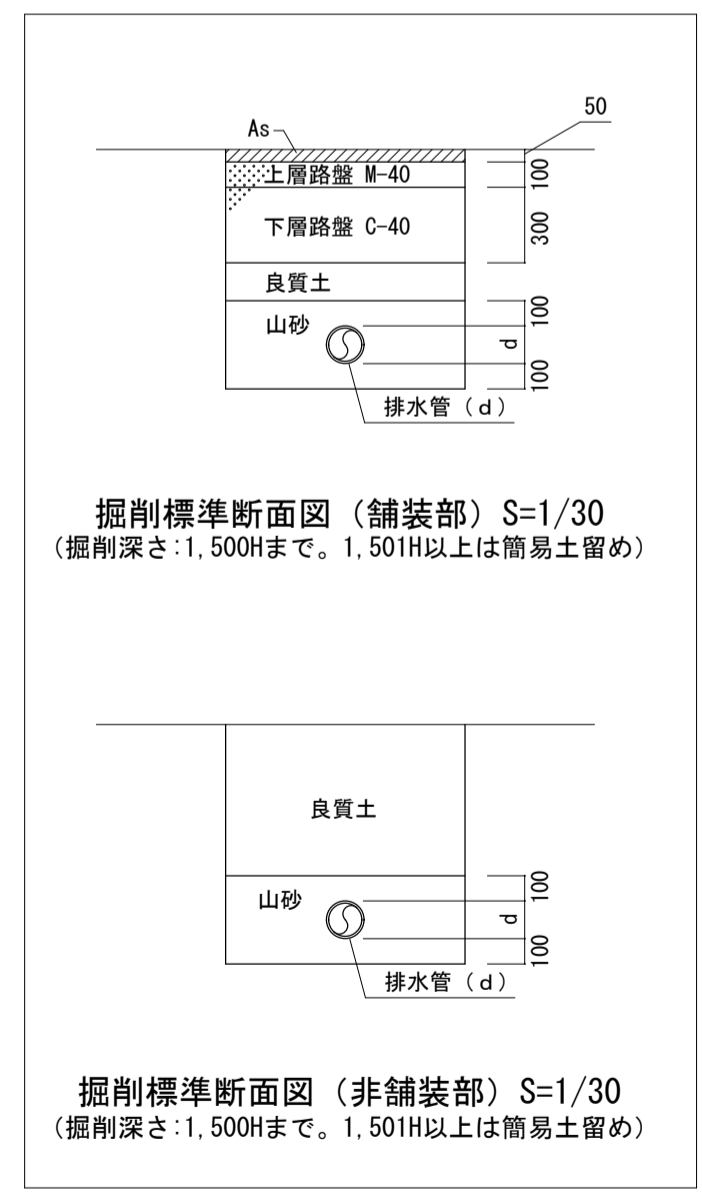
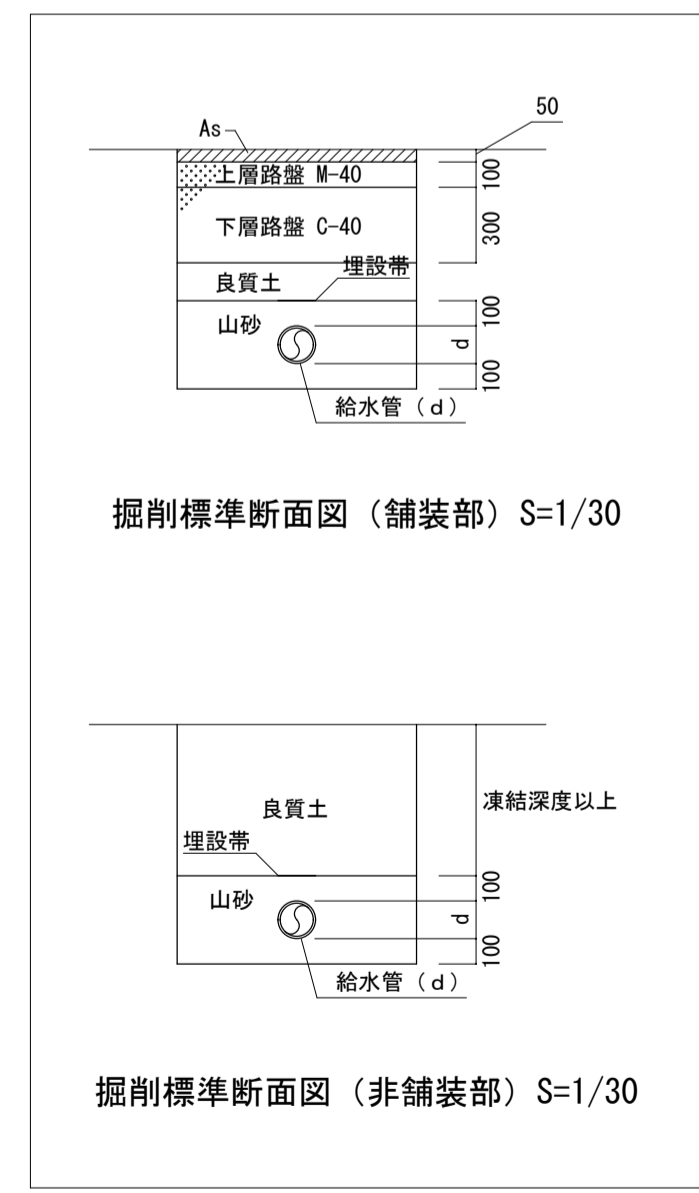
凡例

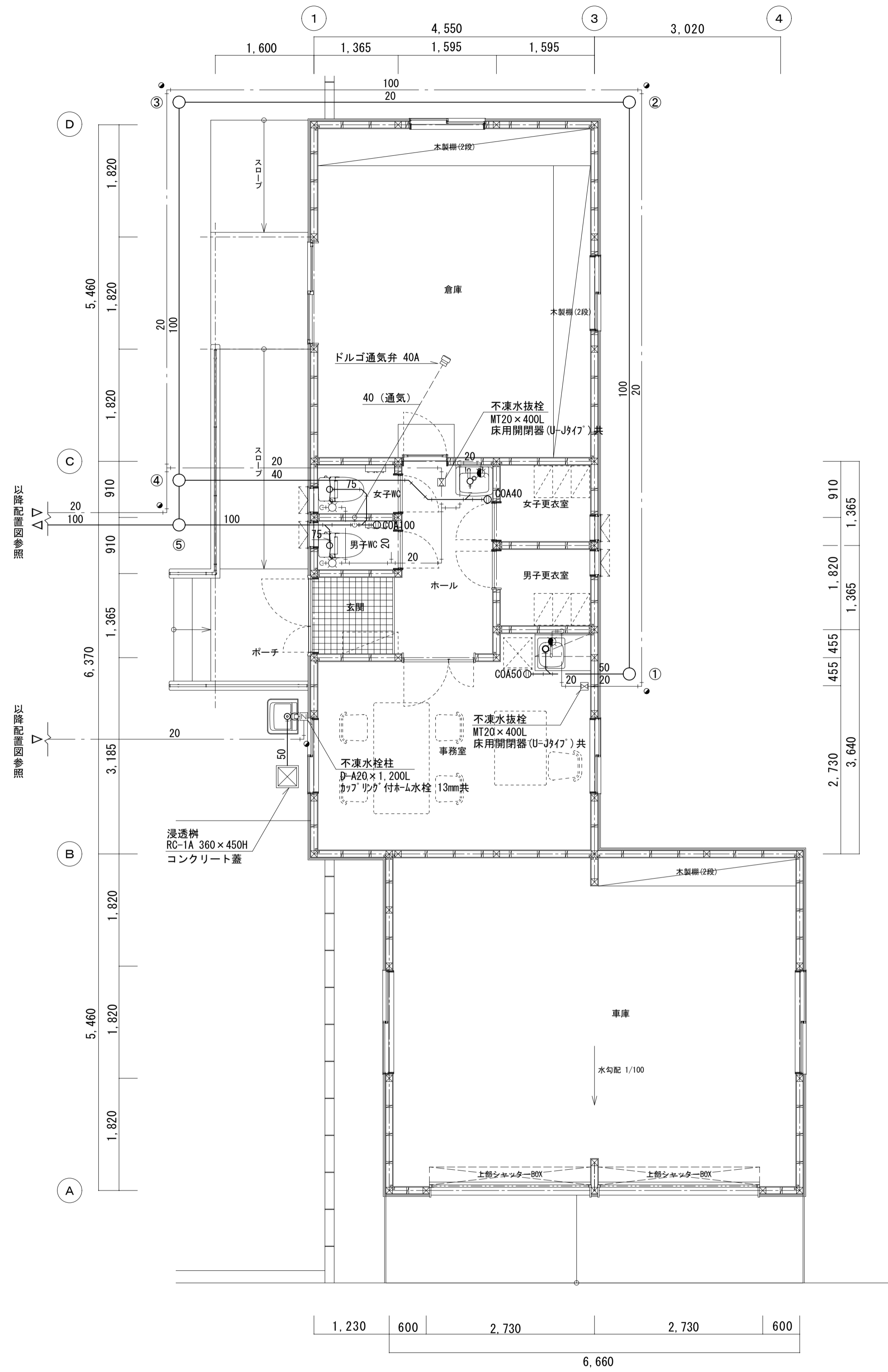
記号	名称	備考
①	テレビインターホン子機	JU-DA相当品
②	テレビインターホン親機	JU-IMEK-T相当品
③	住宅用火災警報器 電池式 無線連動型	光電式感知器 音声警報 親機
④	住宅用火災警報器 電池式 無線連動型	光電式感知器 音声警報 子機
—e—	導入線 PF (22)	天井配線
—UTP—	EM-UTP4P (CAT6) 立上部保護PF (16)	"
—AE—	EM-AE1 2-2C 立上部保護PF (16)	"
—e—	導入線 PF (22)	床下木造天井配線
—UTP—	EM-UTP4P (CAT6) 立上部保護PF (16)	"



【凡例】

記号	名称	施工箇所	仕様
—	給水管	屋内部分	ポリ粉体鋼管 (PB)
		屋内埋設配管	内外面ポリ粉体鋼管 (PD)
		屋外埋設配管	水道用ポリエチレン管 (PP)
—	汚水・雑排水管	屋内部分	硬質ポリ塩ビ管 (VP)
		屋内埋設配管	硬質ポリ塩ビ管 (VP)
		屋外埋設配管	硬質ポリ塩ビ管 (VP) ※樹まで 硬質ポリ塩ビ管 (VU) ※樹以降
— 0 —	油 管	全て	密着一層型ポリエチレン被覆鋼管 (PLS)
⊗	水抜栓	全て	不凍水抜栓MT型、弁マス (VC-P) 共
GV	仕切弁	市水道直結部	JIS-10K
MV	マレアップ弁	全て	JIS-10K
⊙	水 栓		[水]
⊗	不凍水抜栓		D-A形 (アルミ製)、カップリング付13mm水栓共
⊙	汚水・雑排水樹		小口径塩ビ製マス
■	地中埋設標	非舗装部	コンクリート製 (文字・矢印付)
●	地中埋設標	舗装部	鉄製 (文字・矢印付)
— R —	冷媒管	全て	冷媒用断熱材被覆鋼管 保温厚 (液管) 8mm、(ガス) 20mm
— D —	ドレン配管	全て	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
— 00° —	スパイラルダクト	全て	亜鉛鉄板製 0.5mm (定圧ダクト)





〔衛生設備〕事務所棟平面図 S=1/50

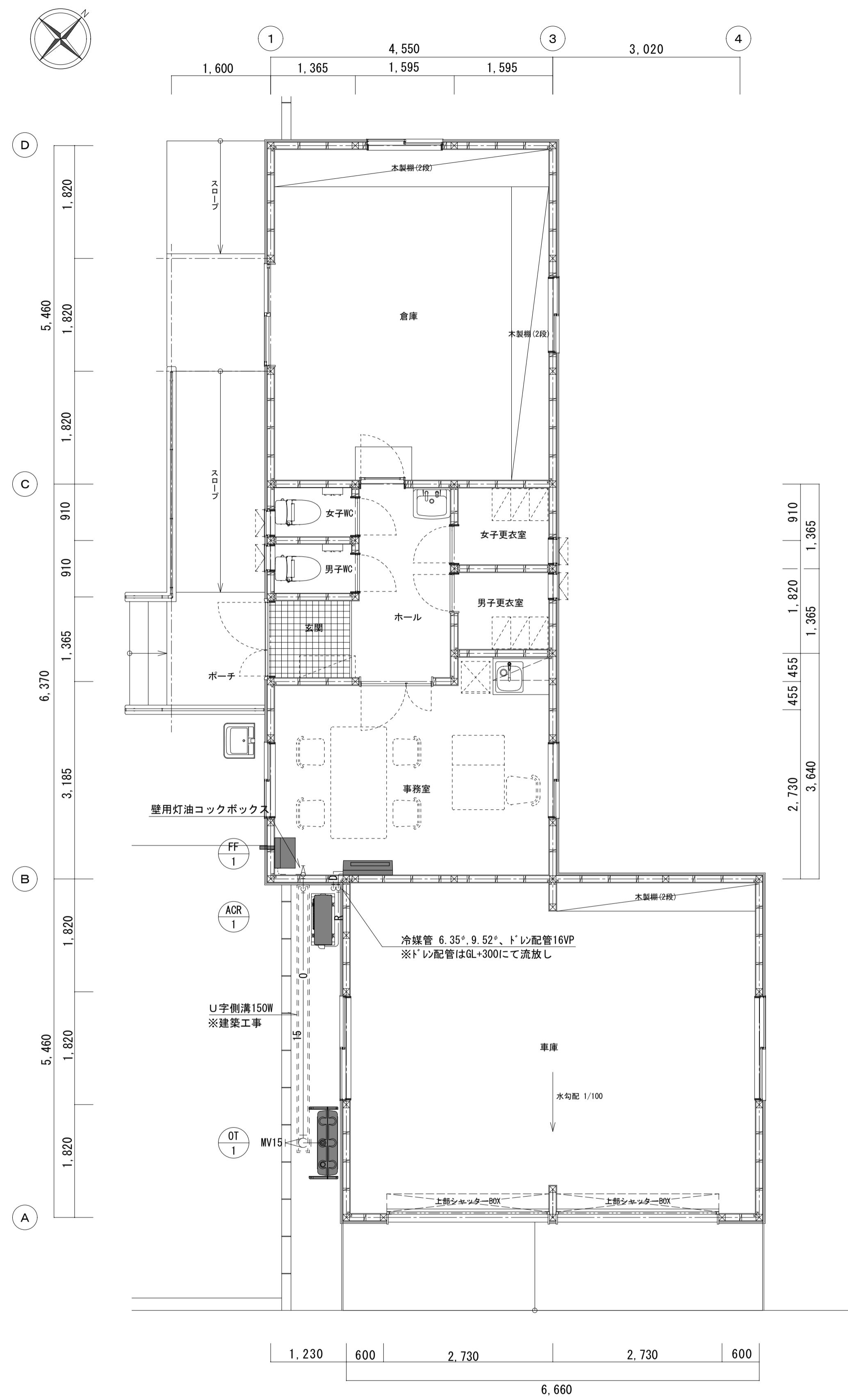
衛生器具表				部 屋 名	計	屋 内			屋外
記号	名 称	参 考 型 番				男子トイレ	女子トイレ	トイレ前洗面	
		TOTO	LIXIL						
	洋風腰掛便器	CS400B	BC-ZA10S	密結防露タンク、温水洗浄便座（リモコン付）、棚付二連紙巻器（樹脂製）、他標準付属品一式	(AC100V)	2	1	1	
	小形電気温水器	RESK06A1	EHPN-F6N5	置台形、約6.0リットル、出湯温度約60℃、標準付属品一式	(AC100V)	2		1	1
	擬音装置	YES400DR	KS-623	手かざし・露出タイプ（乾電池式）		1	1		
	横水栓	T28AUNH13	LF-35-13-CV	13mm、ホース接続カップリング付タイプ		1			1
	コンパクトキッチン			L=900 シングルレバー混合水栓共 ※建築工事手配及び設置		(1)			(1)
	洗面化粧台			L=600 シングルレバー混合水栓、化粧鏡 350×600共 ※建築工事手配及び設置		(1)			(1)

<特記事項> 1. 型番は参考とし同等品以上を使用すること。
2. 数量の（ ）表記は、建築手配及び設置を表す。

〔汚水・雑排水〕樹リスト

No	名 称	寸法(管径×樹径)	樹深さ(H)	樹・蓋形状	樹間距離	
①	塩ビ製小口径樹	100φ×150φ	GL- 585	90L / 樹脂製蓋	9.1 m	設計GL+185
②	"	"	GL- 905	90L / "	7.3 m	設計GL+400
③	"	"	GL- 990	90L / 鑄鉄製防護蓋(T-25)	6.1 m	設計GL+240
④	"	"	GL- 905	45YS / "	0.7 m	設計GL+240
⑤	"	"	GL- 930	45YS / "	2.0 m	設計GL+225
⑥	"	"	GL- 980	90L / "	9.8 m	設計GL+225
⑦	"	"	GL- 885	45L / "	1.8 m	設計GL+20
⑧	"	"	GL- 895 / 1,190	DR / "	1.0 m	設計GL±0
	既存公設樹	100φ×200φ	GL- 1,200			設計GL±0

一特記事項一
1. 配管距離、勾配は参考とする。
2. 屋外排水配管の勾配は1/100以上とすること。

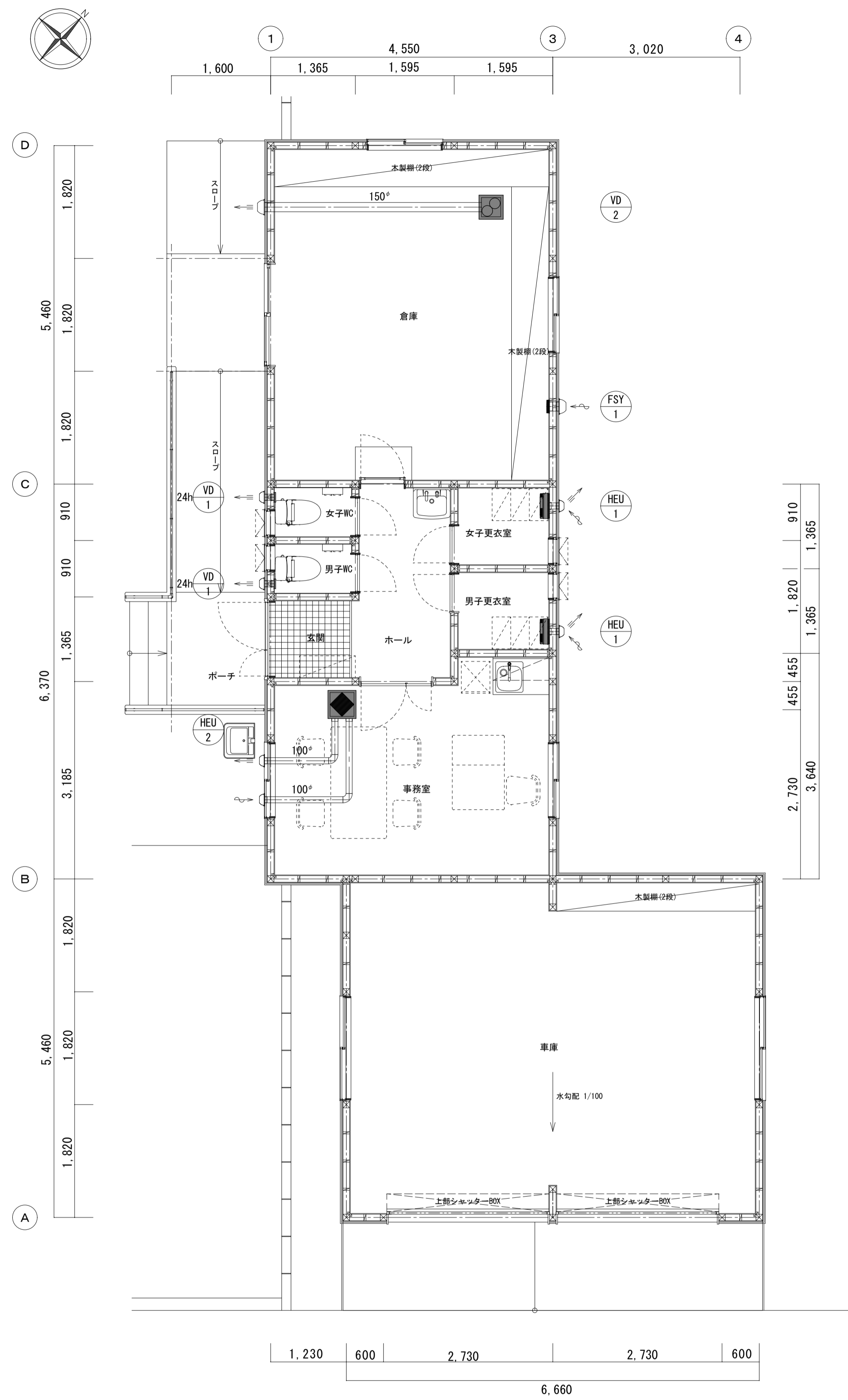


[衛生設備] 事務所棟平面図 S=1/50

機器表

機器記号	機器名称	仕様	電源			数量	備考
			相	V	kW		
ACR-1	ルームエアコン室外・室内機	型式 屋外：据置形 室内：壁掛形	1	200	(外)1.60	1	
		能力 冷房能力：4.0 kW 暖房能力：6.0 kW	1	200	(内)0.04	1	
		製品重量 外機：37.0 kg 内機：11.0 kg (参考重量とする)					
		付属品 ワイヤレスリモコン、リモコンホルダー、防雪フード (SUS製)、一段架台 H:500 (溶融亜鉛メッキ)、架台置き石共 特別仕様 寒冷地仕様					
FF-1	石油温風暖房機	型式 F F式 (強制給排気形) 能力 暖房能力：1.46 kW ~ 5.22 kW 燃料種類 灯油 消費量：0.167 L/h ~ 0.583 L/h 製品重量 21.0 kg (参考重量とする) 付属品 背面カバー、教台、給排気筒セット、他標準付属品一式	1	100	0.63	1	
OT-1	オイルタンク	型式 屋外据置形 材質 溶融亜鉛メッキ鋼板製 容量 198.0 L 付属品 ルーフ (溶融亜鉛メッキ鋼板製)、置き石、他標準付属品一式				1	

<特記事項> 1. 電気容量は参考とする。



[衛生設備] 事務所棟平面図 S=1/50

機器表

機器記号	機器名称	仕様	電源			数量	参考機器型番
			相	V	W		
HEU-1	熱交換形換気扇	型式 1パイプ形、壁付形 風量 20.0 m3/h 静圧 10.0 Pa 交換効率 (暖房時): 51.0% . . (冷房時): 46.0% 製品重量 2.5 kg (参考重量とする) 付属品 給排気パイプ、1パイプ用専用フード、他標準付属品一式 特別仕様 24時間機能、寒冷地仕様	1	100	(強)11.5 (弱)5.5	2	
HEU-2	熱交換形換気扇	型式 天井埋込形 風量 60.0 m3/h (弱運転時) 静圧 30.0 Pa 交換効率 (暖房時): 57.0% . . (冷房時): 52.0% ※ (弱運転時) 製品重量 7.0 kg (参考重量とする) 付属品 深形フード (SUS製網付)、他標準付属品一式	1	100	(強)35.0 (弱)22.0	1	
VD-1	パイプファン 24時間運転	型式 壁取付、角格子タイプ 風量 30.0 m3/h 静圧 10.0 Pa 製品重量 0.6 kg (参考重量とする) 付属品 24時間スイッチ、深形フード (SUS製網付)、他標準付属品一式	1	100	3.90	2	
VD-2	天井換気扇	型式 天井埋込形、低騒音形 風量 340.0 m3/h 静圧 40.0 Pa 製品重量 4.0 kg (参考重量とする) 付属品 深形フード (SUS製網付)、他標準付属品一式	1	100	44.00	1	
FSY-1	自然給気ユニット	型式 壁取付、差圧式形 開口面積 185 cm2 パイプ径 150 φ 製品重量 0.4 kg (参考重量とする) 付属品 深形フード (SUS製網付)、他標準付属品一式				1	

<特記事項> 1. 電気容量は参考とすること。

換気風量計算表

系統名:24時間換気系統

室名	室面積 (m ²)	平均天井高 (m)	気積 (m ³)	換気種別	給気機による給気量 (m ³ /h)	排気機による排気量 (m ³ /h)	換気回数 (回/h)
男子トイレ	1.24	2.40	2.98	第3種換気		30	10.07
女子トイレ	1.24	2.40	2.98				
系統合計	2.48	2.40	5.96			60	10.07

換気風量計算表

系統名:局所換気系統

室名	室面積 (m ²)	平均天井高 (m)	気積 (m ³)	換気種別	給気機による給気量 (m ³ /h)	排気機による排気量 (m ³ /h)	換気回数 (回/h)
男子更衣室	2.17	2.40	5.21	第1種換気	20	20	3.84
女子更衣室	2.17	2.40	5.21				
倉庫	24.84	2.70	67.07	第3種換気	自然給気ユニット	340	5.07
系統合計	29.18	2.66	77.49		0	380	4.90

南沢森林事務所ほか新築工事 萩形森林事務所解体工事 特記仕様書		章	項 目	特 記 事 項	6章 アスベスト含有建材の除去等	7章 その他	アスベスト含有の設備資機材の処理については、取りこわし特記仕様書（電気設備の部）及び（機械設備の部）による。																																																																										
I 工事概要	1. 工事場所	秋田県上小阿仁村沖田面字西山下3-35	1章 一般共通事項	<ul style="list-style-type: none"> 適用基準等 1) 図面、本特記仕様書、解体共通仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 2) 本特記仕様書における「標準詳細図」とは次の基準を示す。 <ul style="list-style-type: none"> 建築工事標準詳細図（平成28年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 	<ul style="list-style-type: none"> 石綿含有建材の除去工事 	<ul style="list-style-type: none"> ※図示以外の建材が発見された場合を対象とする。《6.1.3》 施工調査 ※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。 <ul style="list-style-type: none"> 調査範囲（・ 図示 ） （・ 図示 ） 貸与資料（ ） 分析による石綿含有建材の調査 分析対象 <ul style="list-style-type: none"> アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリンタイト、クロシドライト、トレモライト 分析方法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>定性分析方法</th> <th>定量分析方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>JIS A 1481-1または JIS A 1481-2</td> <td>JIS A 1481-3または JIS A 1481-4</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・ 図示</p>	材 料 名	定性分析方法	定量分析方法	・	JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3または JIS A 1481-4	・	・ 箇所	・ 箇所	・	・ 箇所	・ 箇所	・	・ 箇所	・ 箇所	<ul style="list-style-type: none"> ライフライン 隣接地 近隣家屋調査 解体方法 再資源他 	<ul style="list-style-type: none"> 電気、給排水設備等のライフラインの協議手続き一式 ・ 通行料等の費用を計上 ・ 近隣住宅の許可の範囲で行う 建設リサイクル法による 建設リサイクル法による 																																																										
	材 料 名	定性分析方法					定量分析方法																																																																										
	・	JIS A 1481-1または JIS A 1481-2					JIS A 1481-3または JIS A 1481-4																																																																										
・	・ 箇所	・ 箇所																																																																															
・	・ 箇所	・ 箇所																																																																															
・	・ 箇所	・ 箇所																																																																															
2. 敷地面積	777.63㎡	2章 仮設工事	<ul style="list-style-type: none"> 騒音・粉塵等の対策 《2.2.1》 ・ シート ※防音パネル 設置範囲及び高さ ・ 図示（ / 図による） 足場その他 《2.2.2》 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 山留めの撤去 《2.4.3》 鋼鉄板等の抜き後の処理 ※直ちに砂等で充填する 	<ul style="list-style-type: none"> 石綿粉じん濃度測定 《6.1.4》 測定時期、場所及び測定点 <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定箇所数 (各施工箇所ごと)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>測定1</td> <td rowspan="2">処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>・ 計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定2</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>・ 計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定3</td> <td rowspan="3">処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>・ 計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定4</td> <td>セキュリティゾーン入口</td> <td>・ 計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定5</td> <td>集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）</td> <td>出口吹出し風速1m/sec以下の位置 ・ 計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定6</td> <td>処理作業室外 ・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界</td> <td>・ 計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定7</td> <td>処理作業後（シート養生中）</td> <td>処理作業室内</td> <td>・ 計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定8</td> <td>処理作業後シート</td> <td>処理作業室内</td> <td>・ 計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定9</td> <td>撤去後1週間以降</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>・ 計 点</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動測定器による測定 <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th colspan="3">測定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 測定 4</td> <td colspan="3">粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）</td> </tr> <tr> <td>・ 測定 5</td> <td colspan="3">パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> JIS K 3850-1に基づいた測定 <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>メンブレンフィルタ直径(mm)</th> <th>試料の吸引流量(L/min)</th> <th>試料の吸引時間(min)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 測定 4</td> <td rowspan="2">25</td> <td rowspan="2">5</td> <td rowspan="2">30</td> </tr> <tr> <td>・ 測定 5</td> </tr> <tr> <td>・ 測定</td> <td rowspan="2">25</td> <td rowspan="2">10</td> <td rowspan="2">120</td> </tr> <tr> <td>・ 測定</td> </tr> <tr> <td>・ 測定</td> <td rowspan="2">47</td> <td rowspan="2">10</td> <td rowspan="2">240</td> </tr> <tr> <td>・ 測定</td> </tr> </tbody> </table>	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)	・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・ 計 点	・	測定2	調査対象室外部の付近	・ 計 点	・	測定3	処理作業中	処理作業室内	・ 計 点	・	測定4	セキュリティゾーン入口	・ 計 点	・	測定5	集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/sec以下の位置 ・ 計 点	・	測定6	処理作業室外 ・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界	・ 計 点	・	測定7	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	・ 計 点	・	測定8	処理作業後シート	処理作業室内	・ 計 点	・	測定9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	・ 計 点	測定名称	測定方法			・ 測定 4	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）			・ 測定 5	パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定			測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)	・ 測定 4	25	5	30	・ 測定 5	・ 測定	25	10	120	・ 測定	・ 測定	47	10	240	・ 測定
適用	測定名称				測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)																																																																										
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・ 計 点																																																																													
・	測定2		調査対象室外部の付近	・ 計 点																																																																													
・	測定3	処理作業中	処理作業室内	・ 計 点																																																																													
・	測定4		セキュリティゾーン入口	・ 計 点																																																																													
・	測定5		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/sec以下の位置 ・ 計 点																																																																													
・	測定6	処理作業室外 ・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界	・ 計 点																																																																														
・	測定7	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	・ 計 点																																																																													
・	測定8	処理作業後シート	処理作業室内	・ 計 点																																																																													
・	測定9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	・ 計 点																																																																													
測定名称	測定方法																																																																																
・ 測定 4	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）																																																																																
・ 測定 5	パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																
測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)																																																																														
・ 測定 4	25	5	30																																																																														
・ 測定 5																																																																																	
・ 測定	25	10	120																																																																														
・ 測定																																																																																	
・ 測定	47	10	240																																																																														
・ 測定																																																																																	
3. 工事種目	木造2階建	取りこわし1棟	3章 解体施工	<ul style="list-style-type: none"> 杭の解体 《3.9.2》 杭の解体 <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う ・ 行わない 杭の解体工法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 引抜き工法 ・ 粉碎による解体 樹木の伐採根及び移植 《3.11.1》 樹木の伐採根及び移植 <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う（ / 図による） 地下埋設物埋設配管 《3.12.1》 地下埋設物及び埋設配管の解体 <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う（ / 図による） 解体後の整地 《3.13.1》 解体後の埋戻し及び盛土 <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う <ul style="list-style-type: none"> 整地高さ ・ 現状GL ・ 図示（ / 図による） 埋戻し及び盛土の材料 <ul style="list-style-type: none"> ・ 山砂の類 ・ 他現場の建設発生土の中の良質土 ・ 再生コンクリート砂利 埋戻し及び盛土に当たっては、各層30cm程度毎に締め固めること。 荒整地のみ行う ・ 行わない 	<ul style="list-style-type: none"> 石綿含有建材の処理 《6.3.2、3》 石綿含有吹き付け材の除去 <ul style="list-style-type: none"> 除去対象範囲 ・ 図示 除去工法 ・ ※6.3.2(1)(ア)による 除去した石綿含有吹き付け材等の飛散防止措置 <ul style="list-style-type: none"> ※湿潤化 ・ 固形化 除去した石綿含有吹き付け材等の処分 <ul style="list-style-type: none"> ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） 石綿含有保温材等の除去 《6.4.1》 除去対象範囲 ・ 図示 除去工法 ・ 破碎して除去 ・ 手ばらし 除去した石綿含有保温材等の飛散防止 <ul style="list-style-type: none"> ※湿潤化 ・ 固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 <ul style="list-style-type: none"> ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） 石綿含有成形板の除去 《6.5.4》 除去対象範囲 ・ 図示 除去した石綿含有成形板の処分 <ul style="list-style-type: none"> ・ 石綿含有せっこうボード ※埋立処分（管理型最終処分場） ・ 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板 ・ 埋立処分（安定型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） 																																																																												
4. 工事内容	2) 外構	土間、ため池、鉄塔、小屋、廃棄物撤去処分 一式				<ul style="list-style-type: none"> ため池 鉄塔 小屋 																																																																											
5. 工事範囲	※すべての躯体（捨てコンクリートまでとし、砂利地業は除く）及び仕上げ材すべてとする。		5章 特別管理産業廃棄物等の処理等	<ul style="list-style-type: none"> 施工調査 《5.1.2》 <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>調査を行う範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※図示 ・ 工事対象範囲</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※図示 ・ 工事対象範囲</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※図示 ・ 工事対象範囲</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※図示 ・ 工事対象範囲</td> </tr> </tbody> </table>	材 料 名	厚さ(mm)	調査を行う範囲			※図示 ・ 工事対象範囲			※図示 ・ 工事対象範囲			※図示 ・ 工事対象範囲			※図示 ・ 工事対象範囲	<ul style="list-style-type: none"> 建設リサイクル法による 																																																													
材 料 名	厚さ(mm)	調査を行う範囲																																																																															
		※図示 ・ 工事対象範囲																																																																															
		※図示 ・ 工事対象範囲																																																																															
		※図示 ・ 工事対象範囲																																																																															
		※図示 ・ 工事対象範囲																																																																															
II 解体工事仕様	1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「建築物解体工事共通仕様書（建築工事編）（平成31年版）」（以下「解体共通仕様書」という。）による。	図面、本特記仕様書及び解体共通仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成31年版）以下「標準仕様書」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（平成31年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）による。	<ul style="list-style-type: none"> 2) 本特記仕様書の表記 1) 項目は、印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、印の付いたものを適用する。 <ul style="list-style-type: none"> 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 印と※印の付いた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の《 . . . 》内表示番号は、解体共通仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 3) 特記事項に記載の（ . . . ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 4) 特記事項に記載の [. . .] 内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 																																																																														

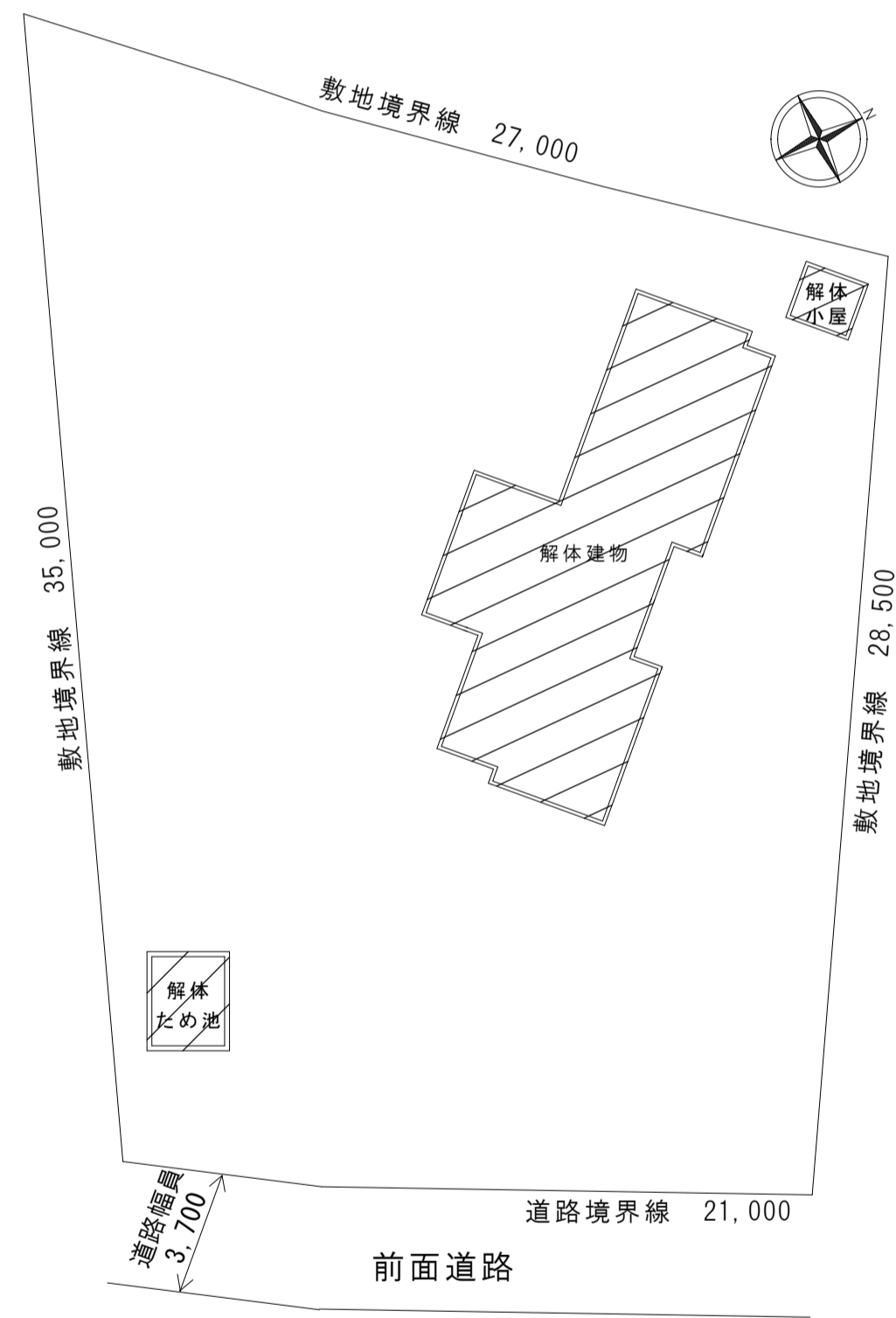
南沢森林事務所ほか新築工事 萩形森林事務所解体工事	K-01
取りこわし特記仕様書	40
秋田県建築設計事業協同組合 令和 8年 3月	51

外部仕上表					
基礎	開口部	外壁	軒裏	屋根	特記事項
東基礎 一部 RC布基礎 階段部分 RC造	アルミサッシ 木製窓	角波カラー鉄板 波形ポリカ板	スレート板	長尺カラー鉄板立平葺	

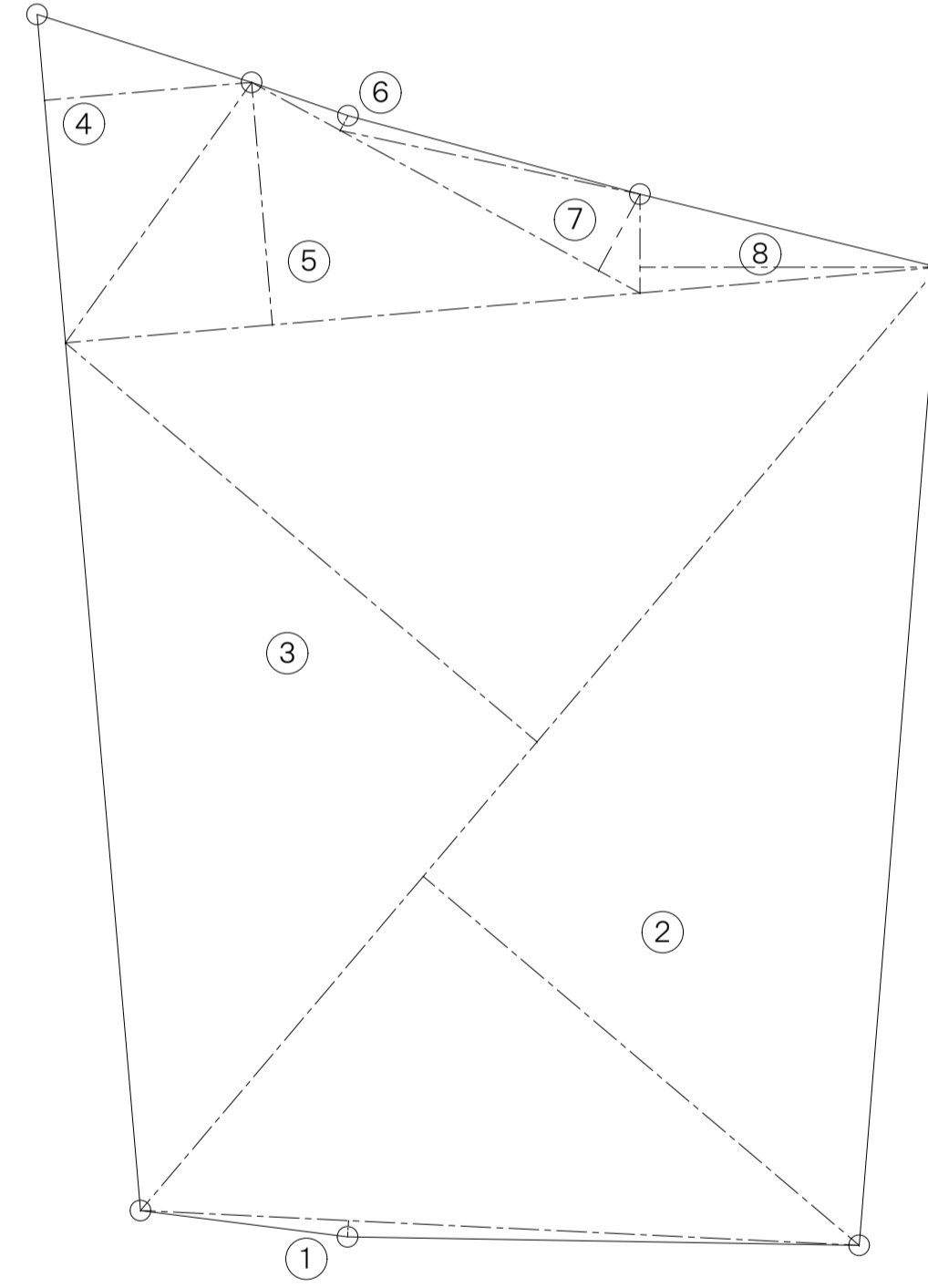
内部仕上表								
室名	床	巾木	壁	天井	廻縁	天井高	備考	※特記事項
(2F) 玄関	モルタル金ゴテ	モルタル	化粧合板	化粧合板張	木製	2.700	薪、パイプ椅子、盤	
事務室	合板フロア 一部モルタル金ゴテ	木製	石膏ボード厚9 下地クロス張	石膏ボード厚9 下地クロス	木製	2.500	棚、流し台、ロッカー、金庫、机	
便所A	モルタル金ゴテ	モルタル	化粧合板	化粧合板張	木製	2.400	便器	
便所	合板フロア	木製	化粧合板	化粧合板張	木製	2.400	便器	
洗面所	合板フロア	木製	化粧合板	化粧合板張	木製	2.300	棚	
浴室	モルタル金ゴテ	モザイクタイル	モザイクタイル 漆喰塗	板張	木製	2.600	浴槽	
廊下	板張	木製	化粧合板	化粧合板張	木製	2.400		
和室A	タタミ	タタミ寄せ	化粧石膏ボード厚9	化粧合板張	木製	2.400		
和室B	タタミ一部シート張	タタミ寄せ	化粧合板	木質パネル張	木製	2.400	流し台、吊戸棚、換気扇、パイプ椅子、薪、ホウキ	
和室C	タタミ一部板張	タタミ寄せ	化粧合板	化粧合板張	木製	2.400	床ノ間	
押入	板張	雑布摺	合板張	合板張	木製	2.400	中段	
(1F) 倉庫	モルタル金ゴテ	モルタル金ゴテ	板張	板張		2.100	シャッター、棚、凍止め	
物置	板張一部土間コン		板張	板張		2.100	便槽、棚	



案内図 S=NON



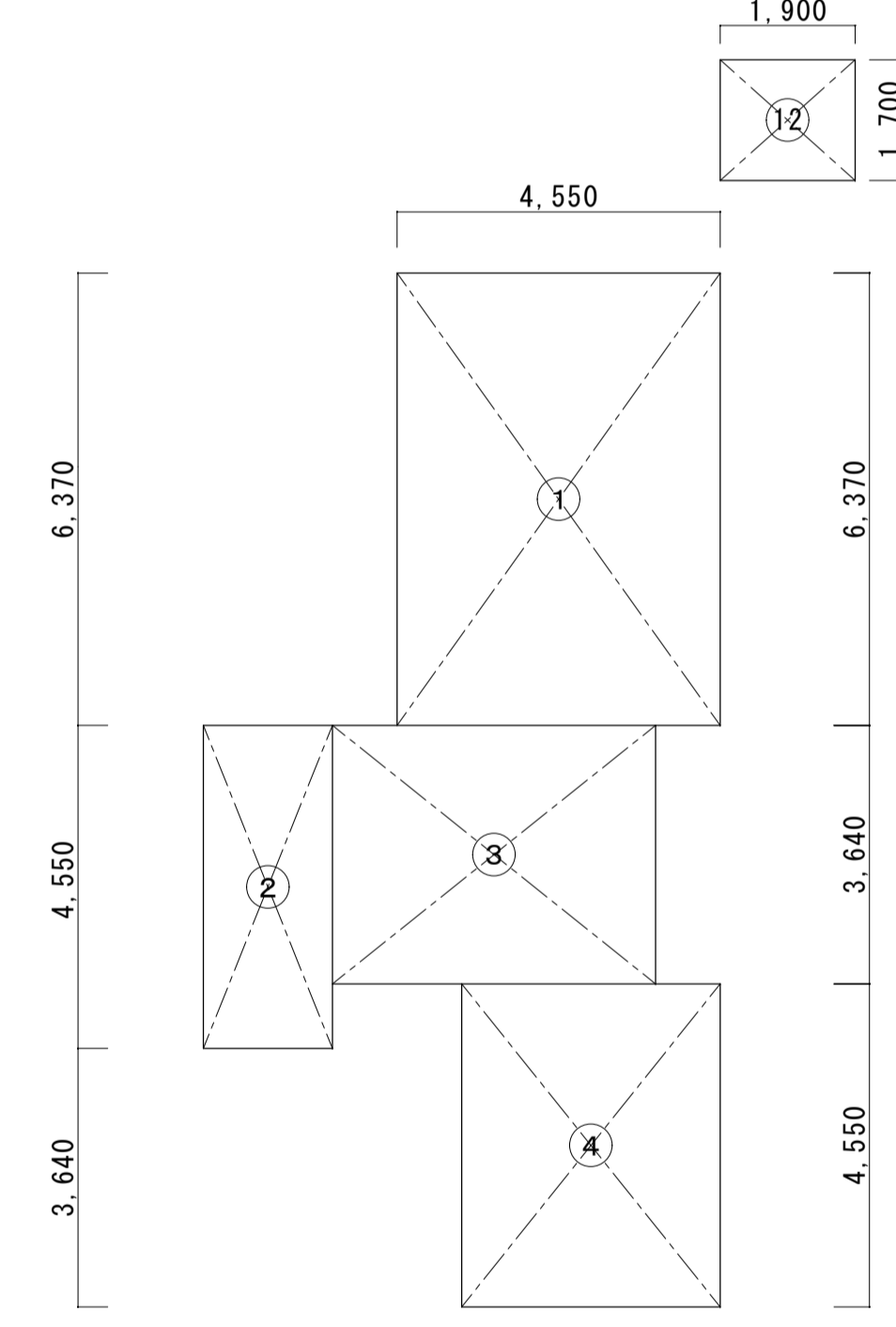
配置図 S=1/200



敷地求積図 S=1/200

敷地求積表

番号	計算式(底辺×高さ)	計 m ² (倍面積)
①	21.00 × 0.50	10.50
②	36.00 × 17.50	630.00
③	35.90 × 18.50	664.15
④	9.50 × 6.40	60.80
⑤	16.80 × 7.50	126.00
⑥	11.80 × 0.50	5.90
⑦	10.00 × 2.80	28.00
⑧	3.40 × 8.80	29.92
倍面積		1555.27
面積		777.63

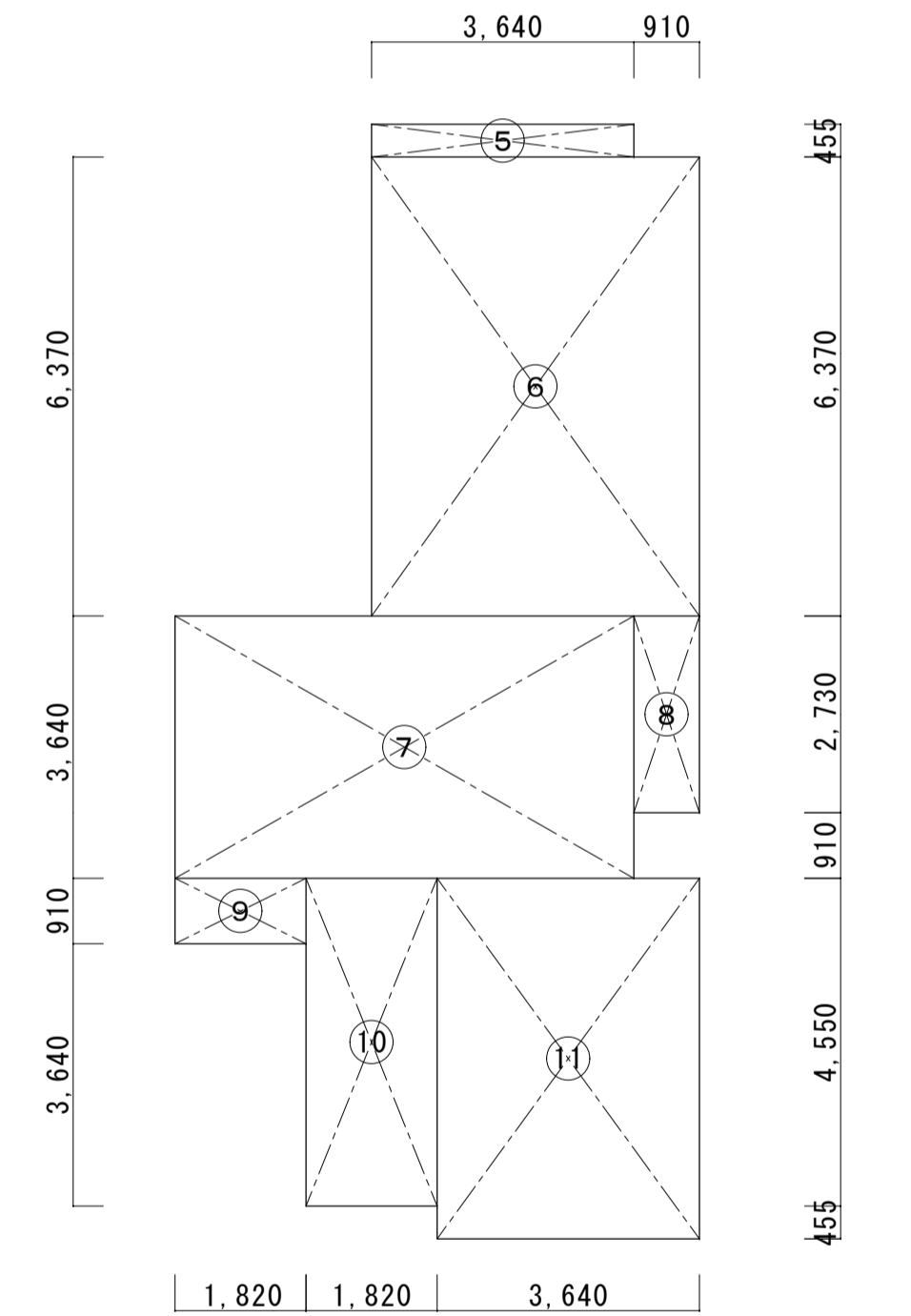


1階建物求積図

建物求積表

番号	計算式	計 m ²
①	6.370 × 4.550	28.983
②	4.550 × 1.820	8.281
③	3.640 × 4.550	16.562
④	4.550 × 3.640	16.562
⑤	0.455 × 3.640	1.656
⑥	6.370 × 4.550	28.983
⑦	3.640 × 6.370	23.186
⑧	2.730 × 0.910	2.484
⑨	0.910 × 1.820	1.656
⑩	4.550 × 1.820	8.281
⑪	5.005 × 3.640	18.218
⑫	1.900 × 1.700	3.230

1階床面積	①+②+③+④	70.388
2階床面積	⑥+⑦+⑨+⑪+⑩	80.324
延べ面積		150.712

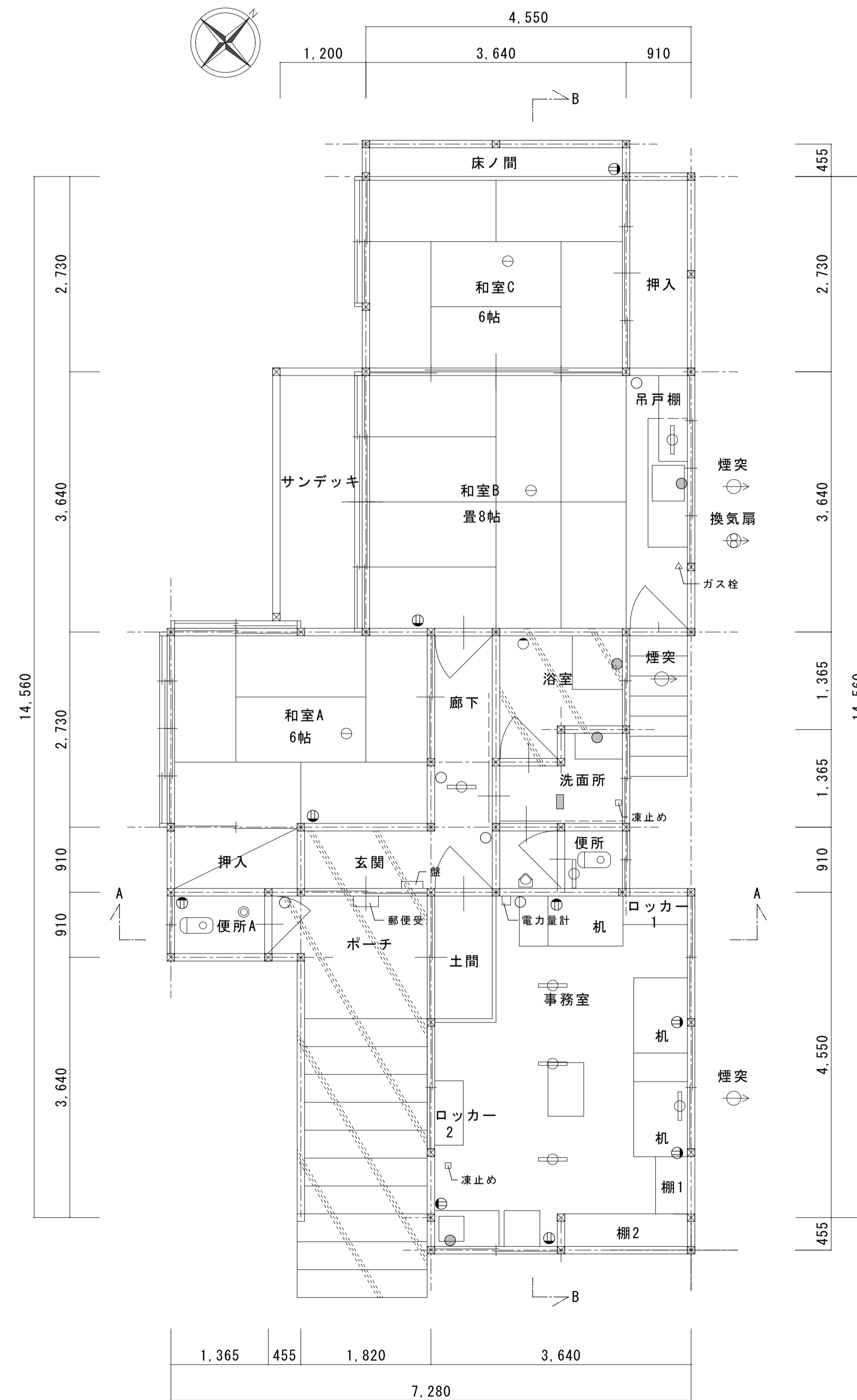
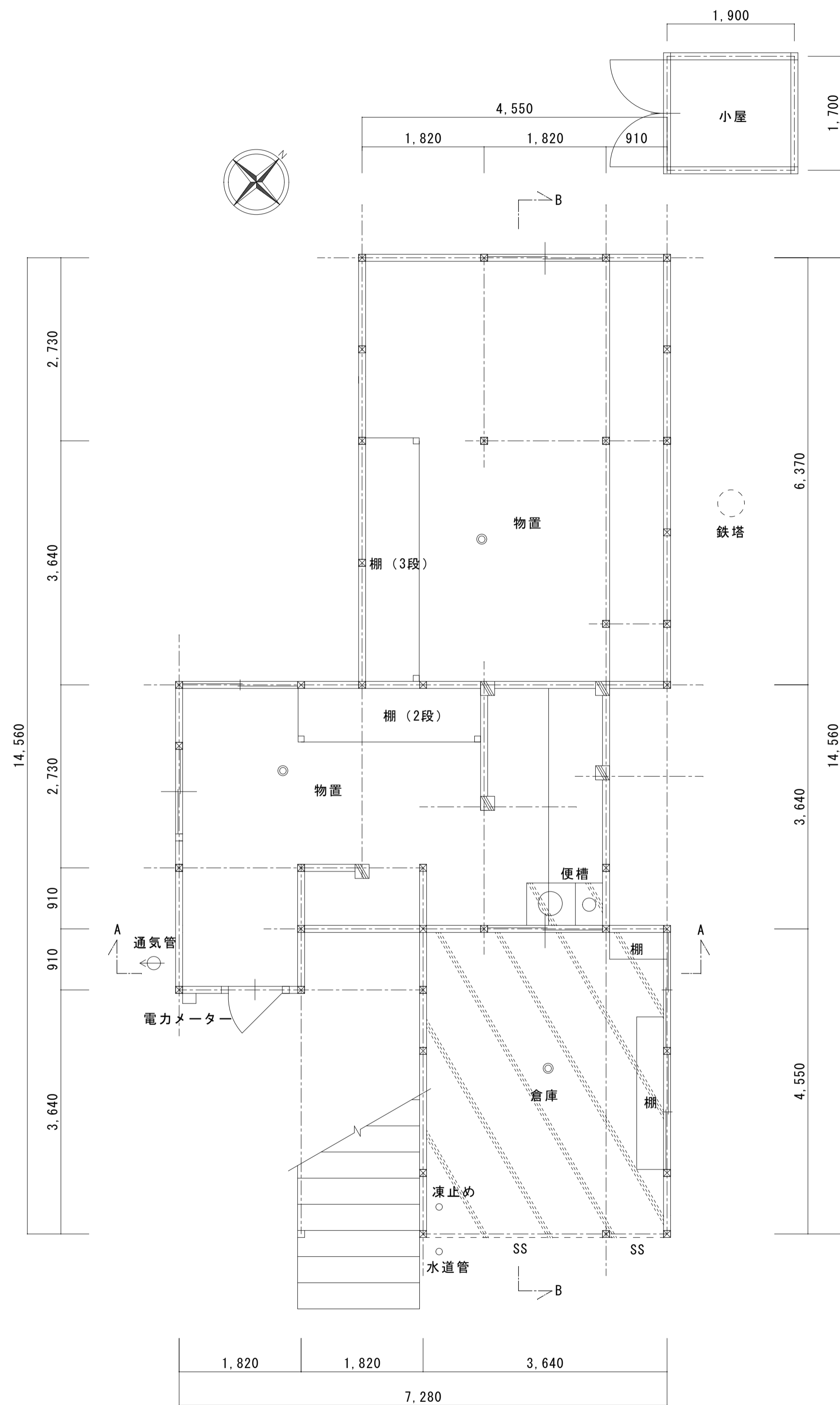


2階建物求積図

【事務所】 1F床面積 70.388
2F床面積 80.324
延べ面積 150.712(m²)

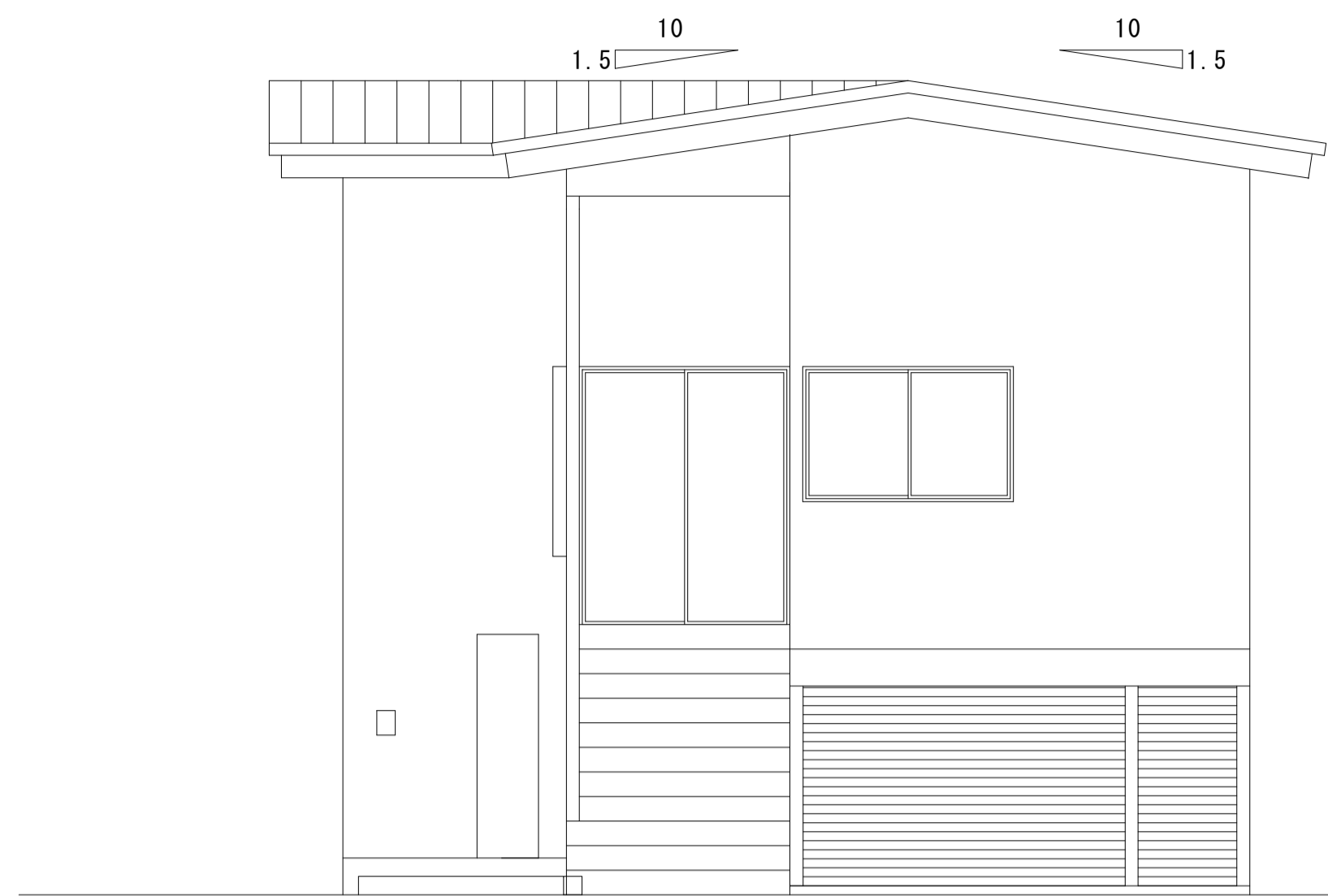
【倉庫】 1F床面積 3.230(m²)

南沢森林事務所ほか新築工事	K-02
秋形森林事務所解体工事	
仕上表・案内図・配置図 A1: 1/200	41
敷地求積図・1、2階建物求積図 A3: 1/400	51
秋田県建築設計事業協同組合 令和 8年 3月	

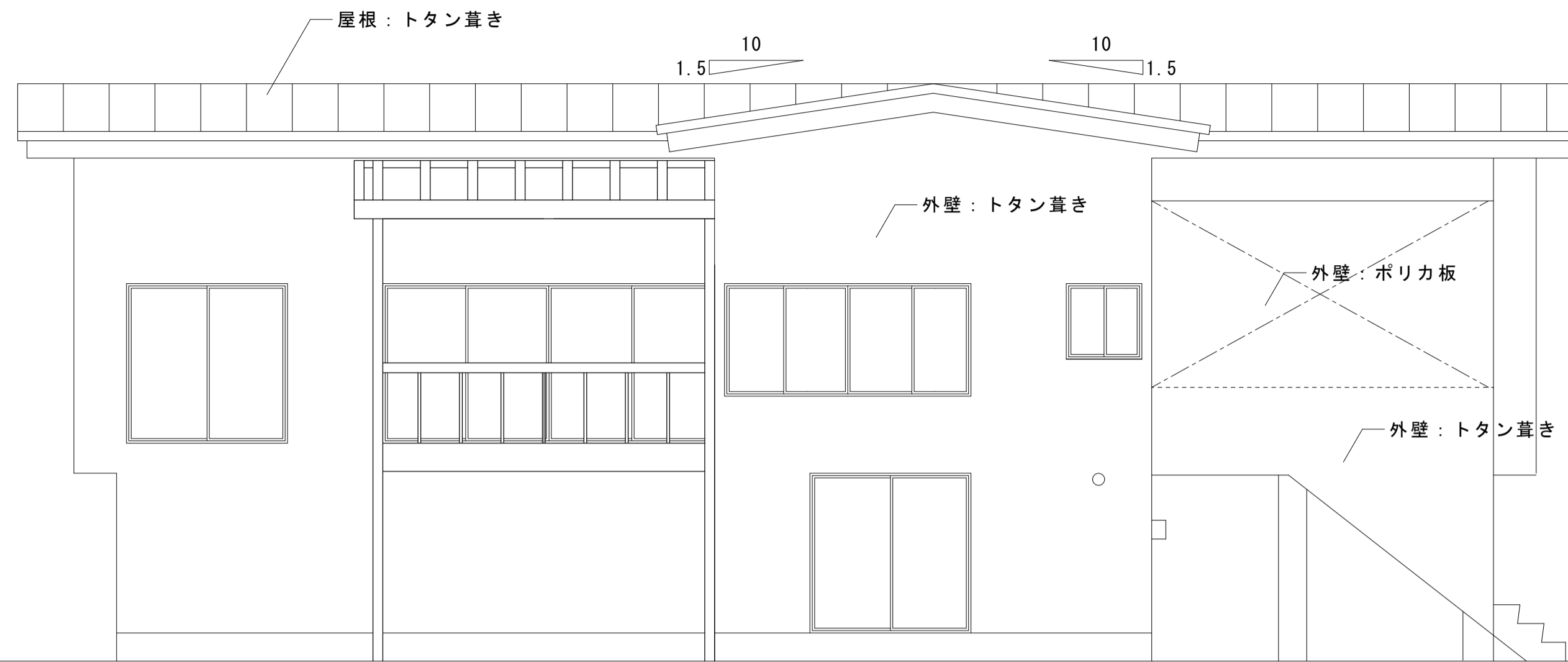


備品一覧表	寸法 (W × D × H)	材種
倉庫	棚	800 × 400 × 2,000 木製
	棚	2,300 × 400 × 1,400 木製
物置	棚 (2段)	2,700 × 800 × 1,000 木製
	棚 (3段)	2,700 × 800 × 2,000 木製
ポーチ	郵便受	350 × 150 × 250 スチール
便所A	和式便器	250 × 500 × 200 陶製
	引出机	420 × 700 × 750 木製
事務室	机	1,050 × 700 × 750 スチール
	棚1	800 × 250 × 1,700 木製
	棚2	1,800 × 400 × 1,800 木製
	金庫	500 × 400 × 900 スチール
	流し台	900 × 400 × 700 木製SUS
	ロッカー1	900 × 400 × 1,800 スチール
	ロッカー2	900 × 400 × 850 スチール
	煙突	φ100 1,800 スチール
	薪ストーブ	500 × 400 × 500 スチール
玄関	壁	300 × 50 × 250 塩ビ
	浴槽	700 × 750 × 600 塩ビ
浴室	煙突	φ100 1,800 スチール
	小便器	300 × 250 × 700 陶製
便所	和式便器	200 × 600 陶製
	流し台	1,800 × 550 × 800 木製SUS
和室B	換気扇	350 × 350 スチール
	煙突	φ100 1,800 スチール
	吊戸棚	1,200 × 400 × 850 木製
その他		

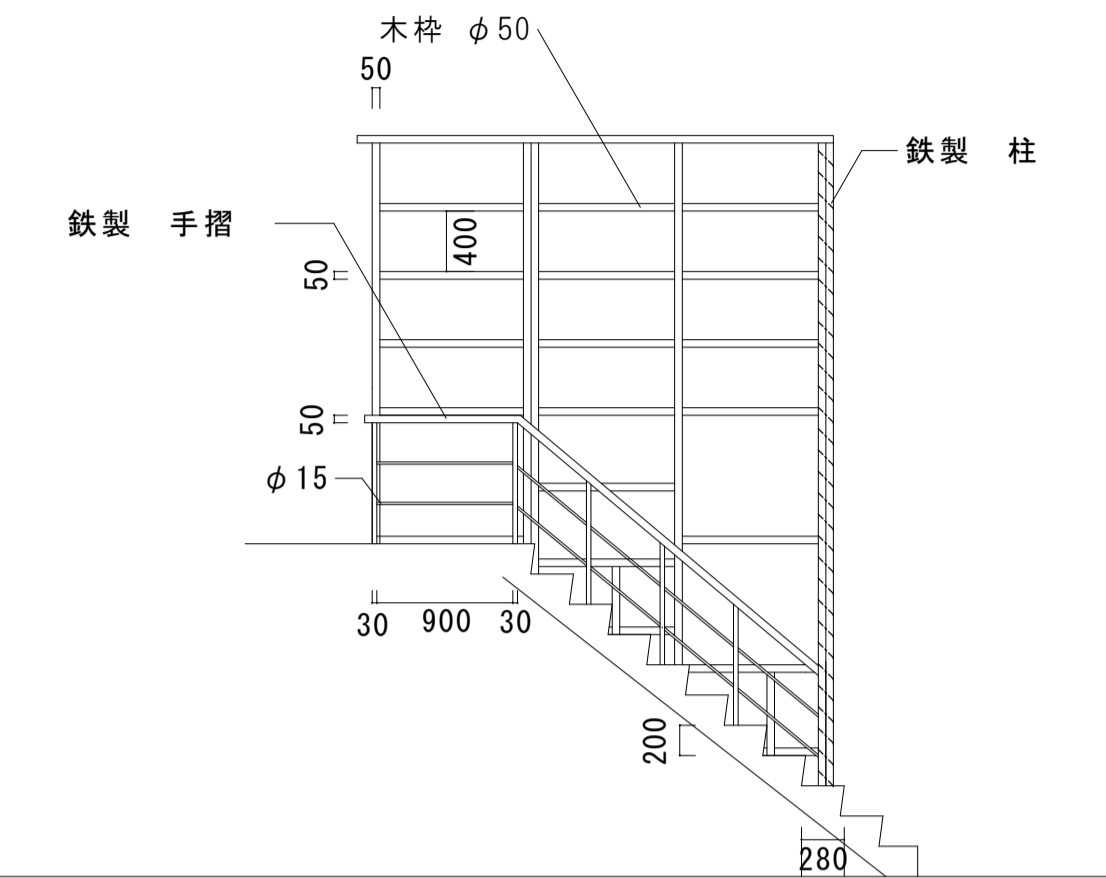
- 凡例
- ペンダント型蛍光灯 40W×2
 - ⊕ 蛍光灯 L1200 40W×2
 - 壁付 40W×1
 - 電球 40W
 - ⊖ コンセント
 - 水道
 - スイッチ
 - シーリング照明



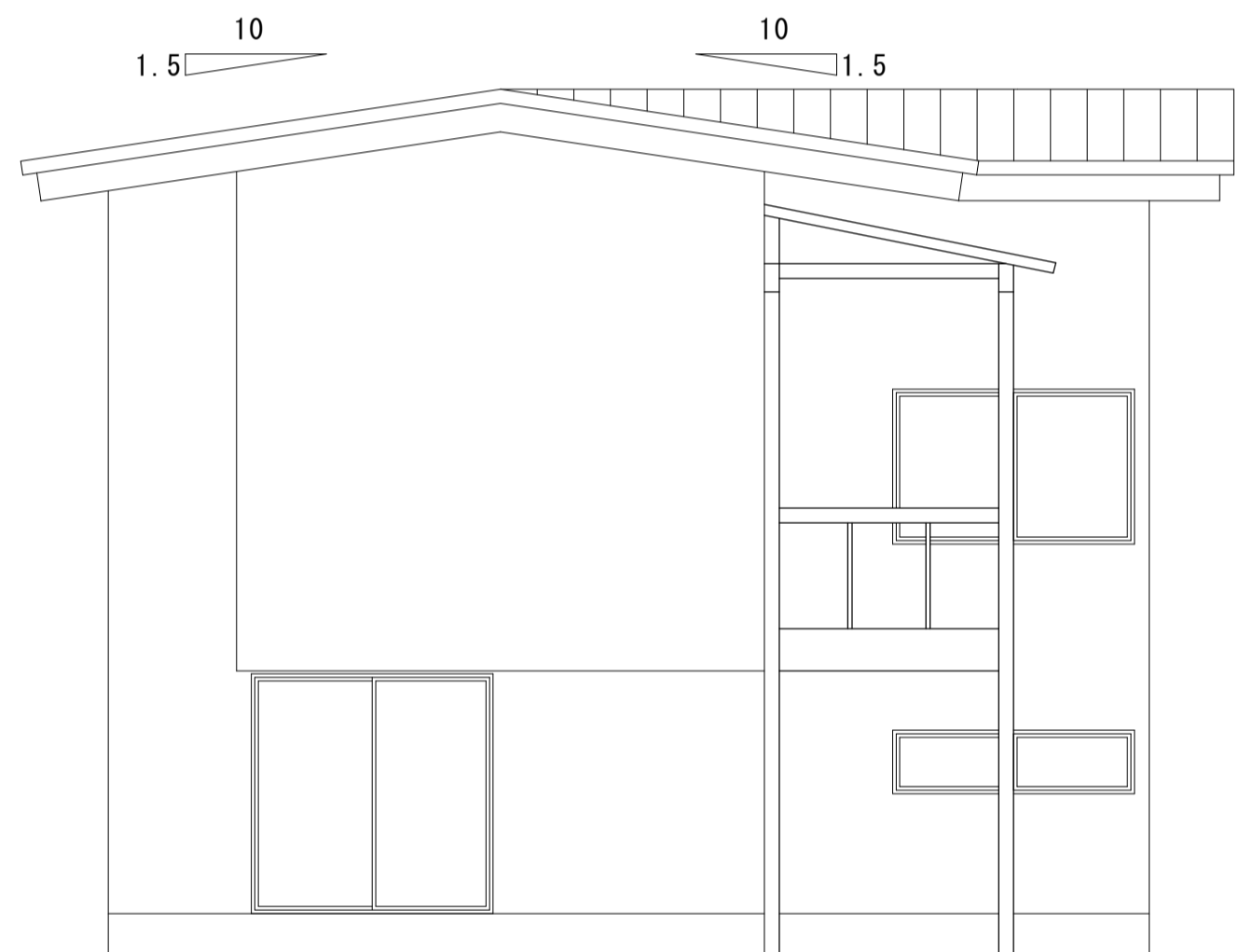
南側立面図 S=1/50



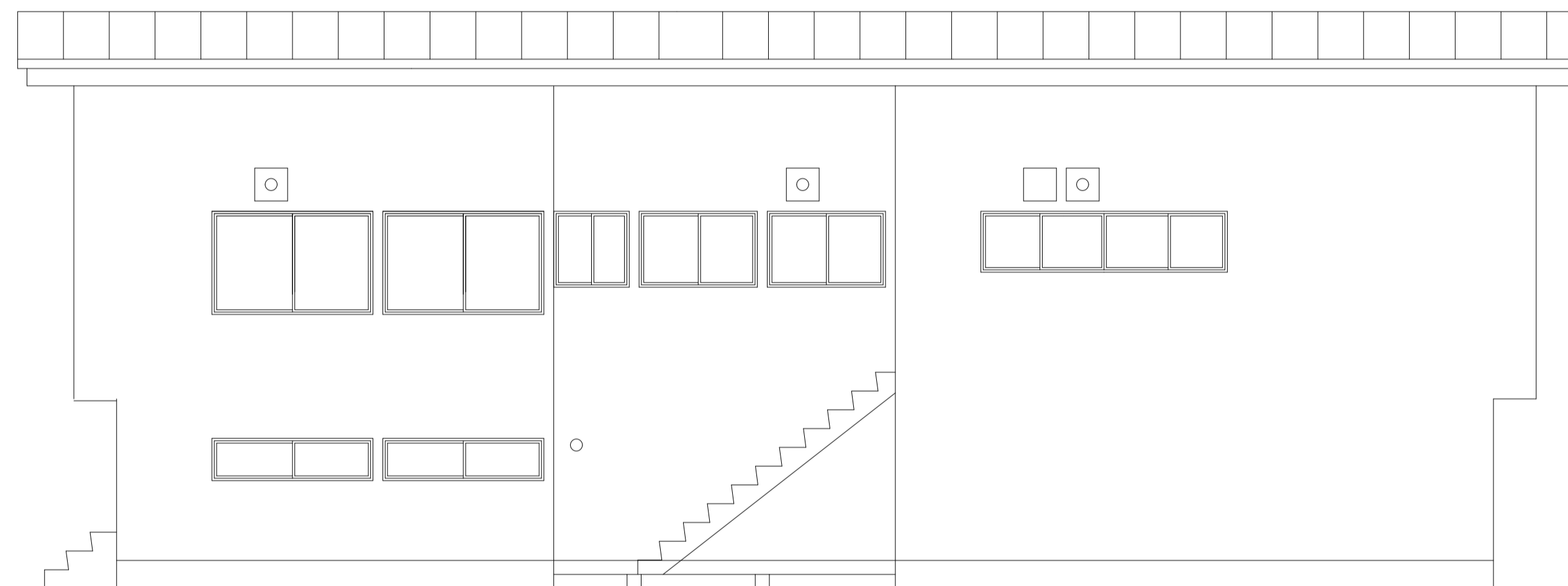
西側立面図 S=1/50



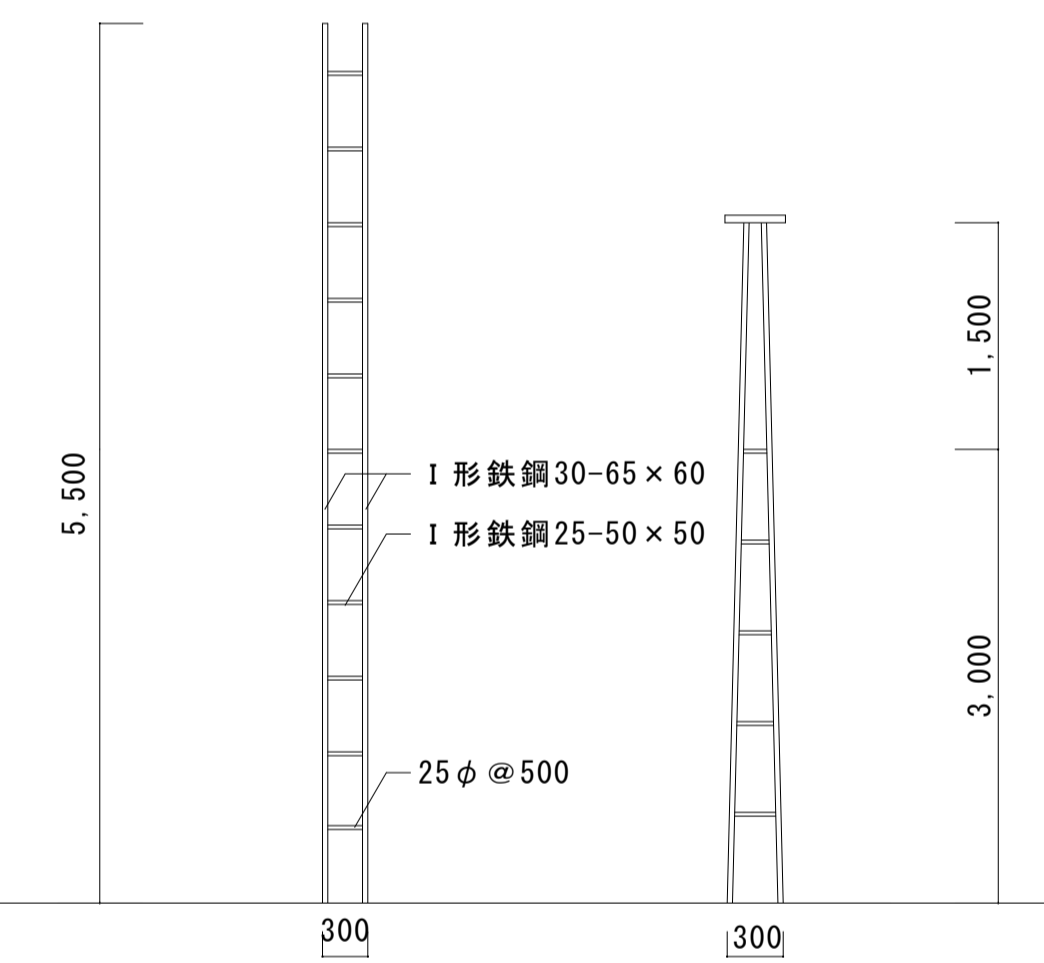
階段手摺詳細図 S=1/50



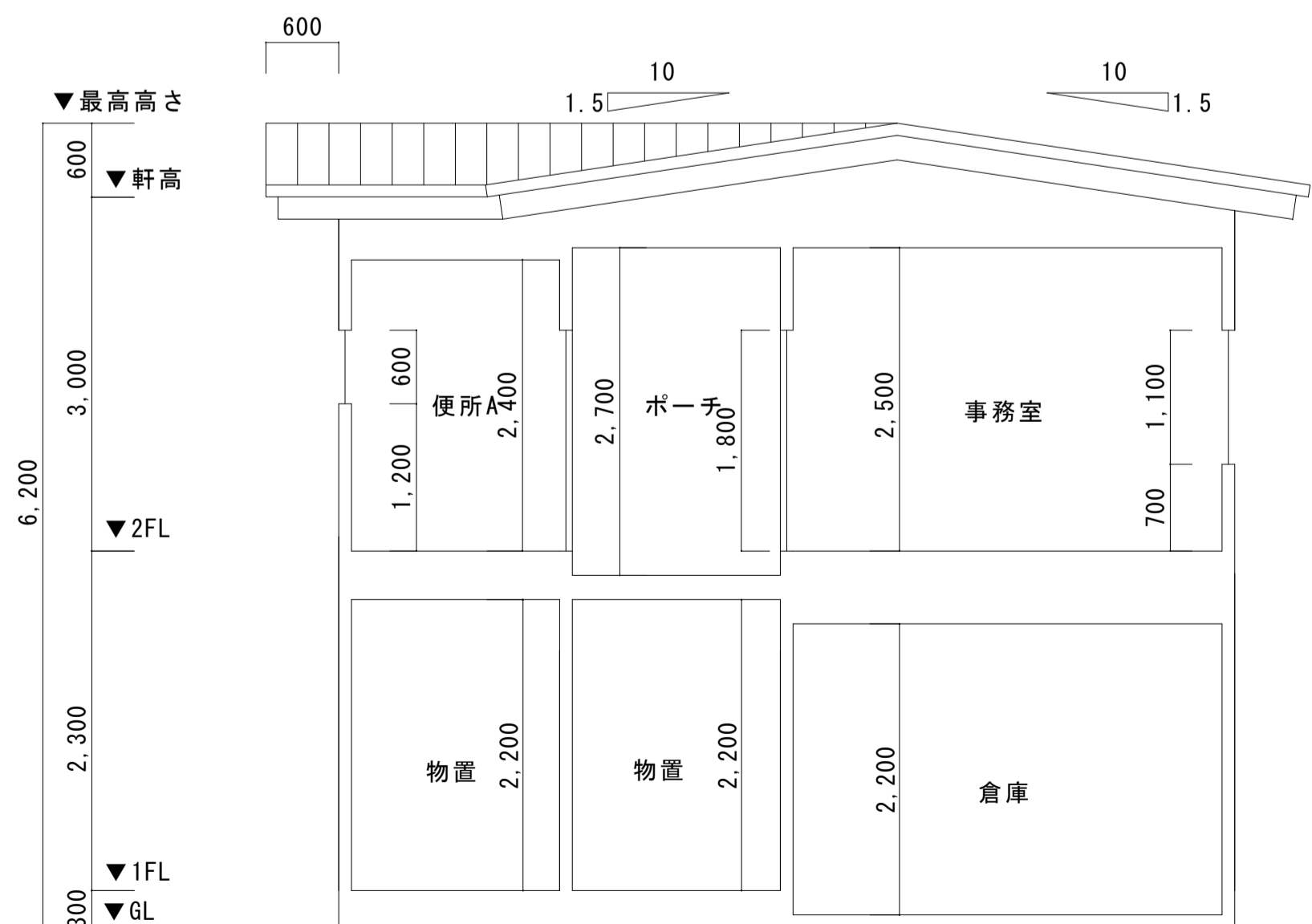
北側立面図 S=1/50



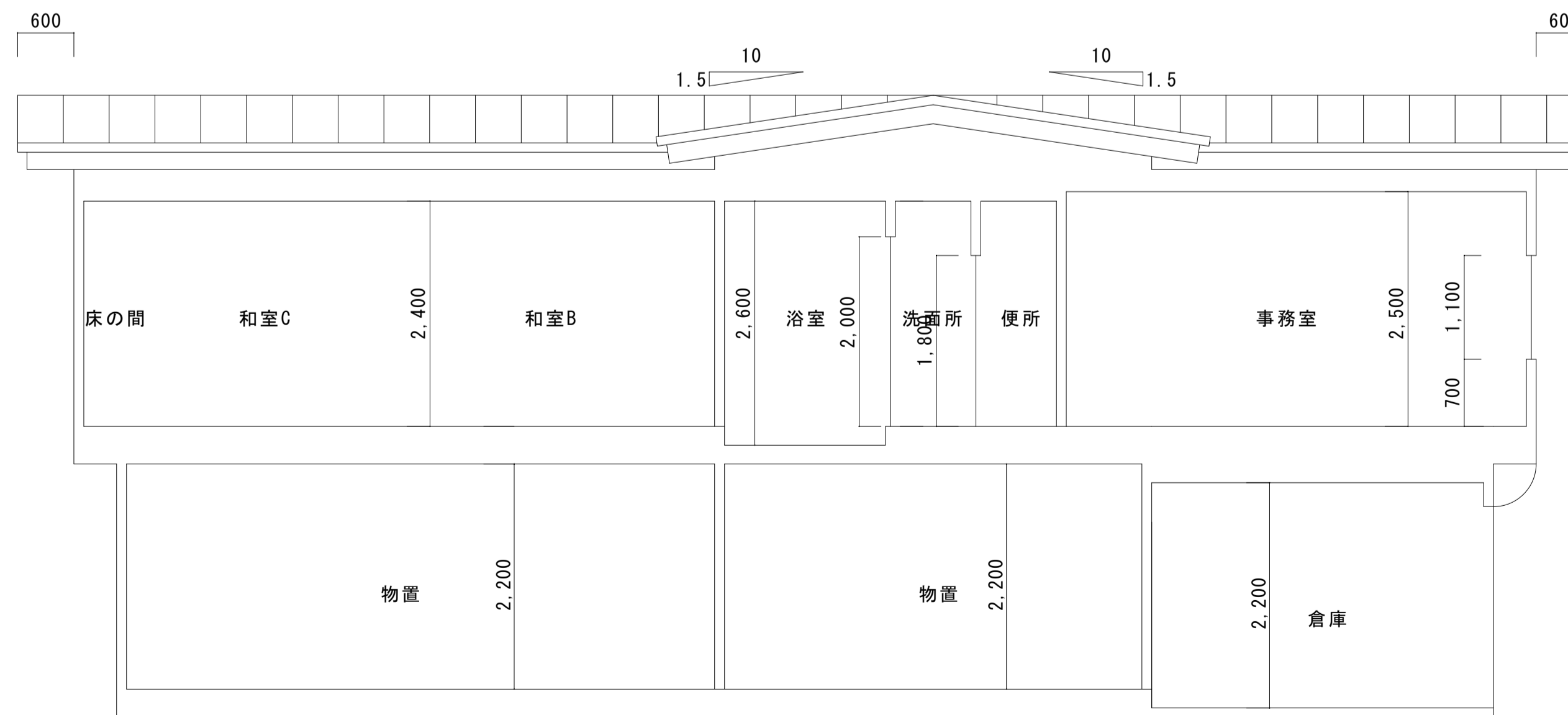
東側立面図 S=1/50



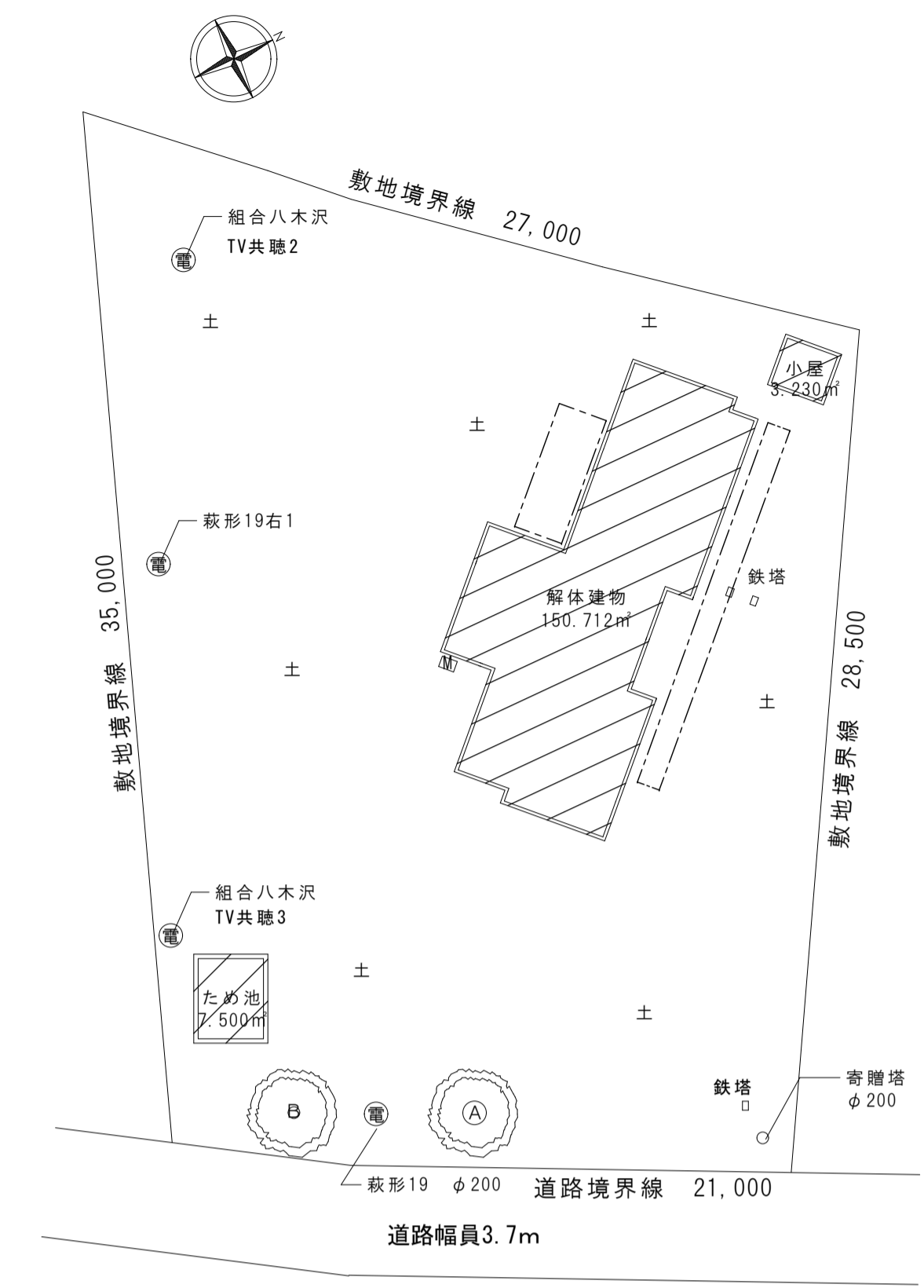
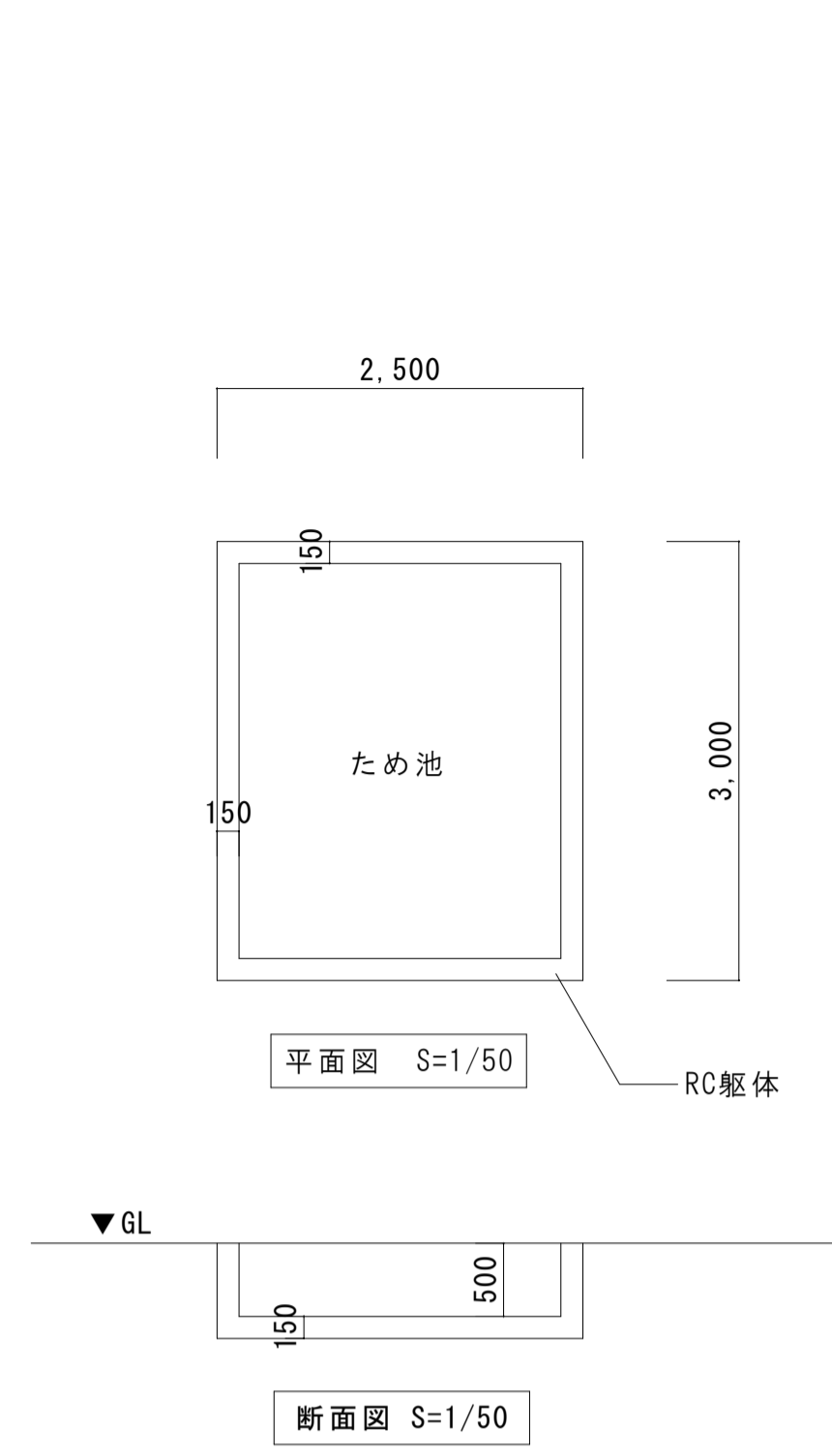
鉄塔詳細図 S=1/50



A-A断面図 S=1/50



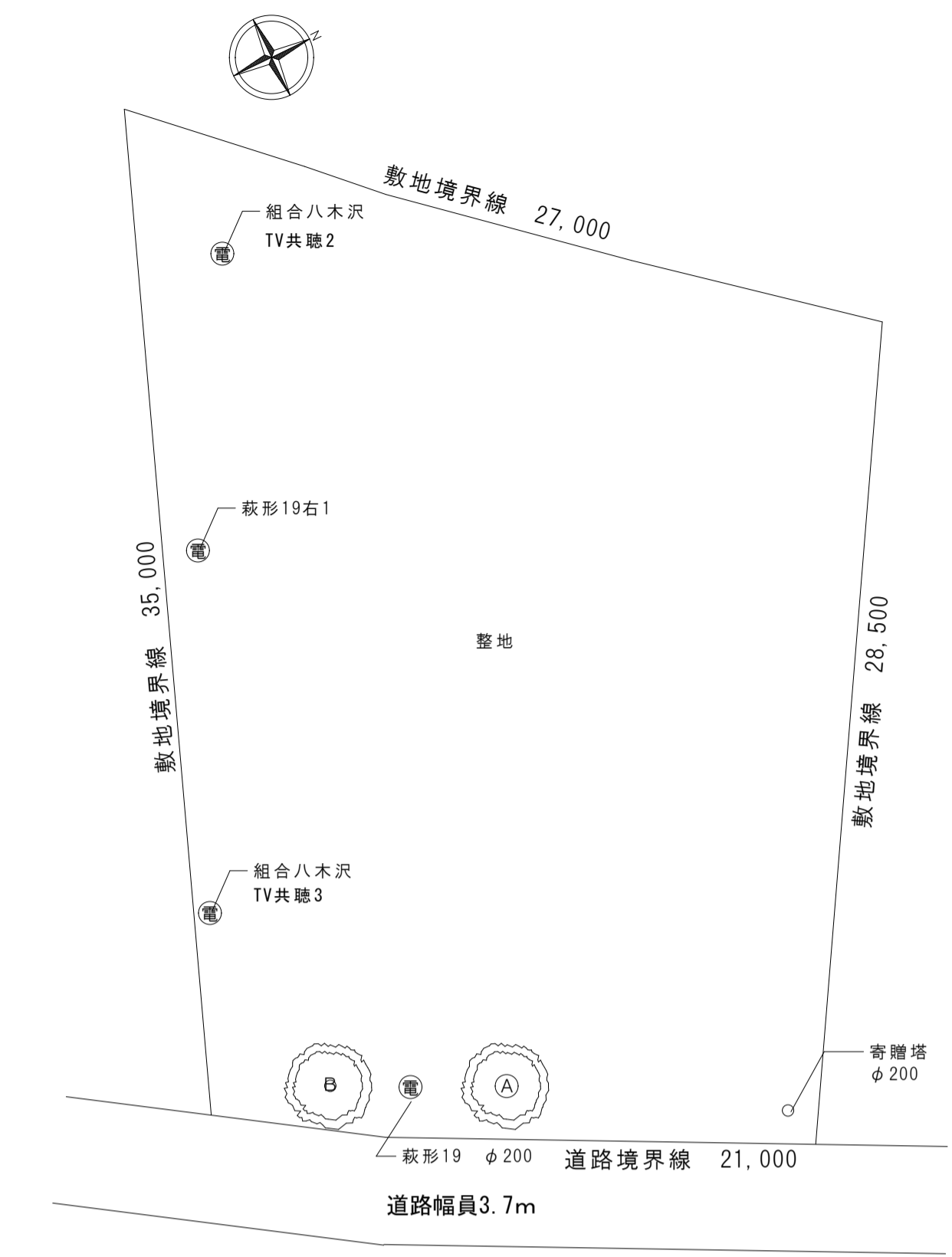
B-B断面図 S=1/50



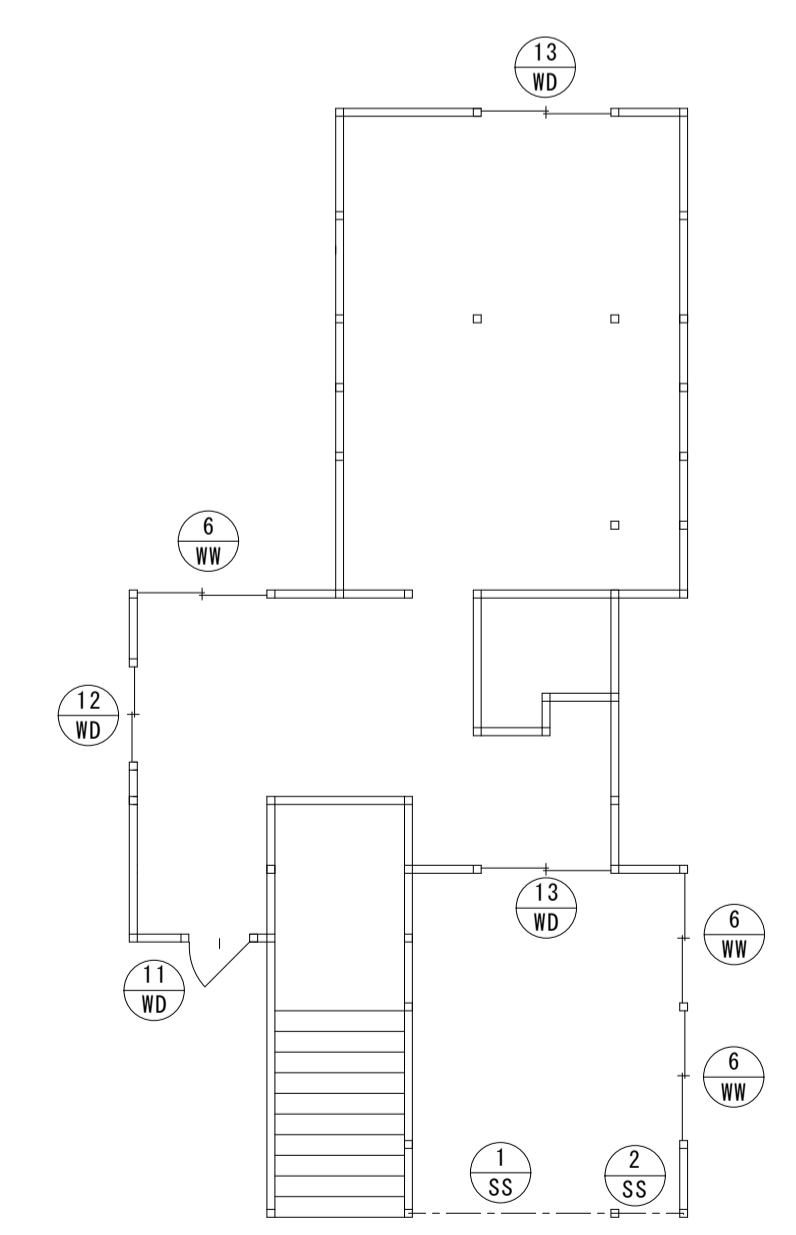
外構撤去図 S=1/200

樹木凡例	名称	高さ	数量
A	杉	15m	1
B	杉	10m	1

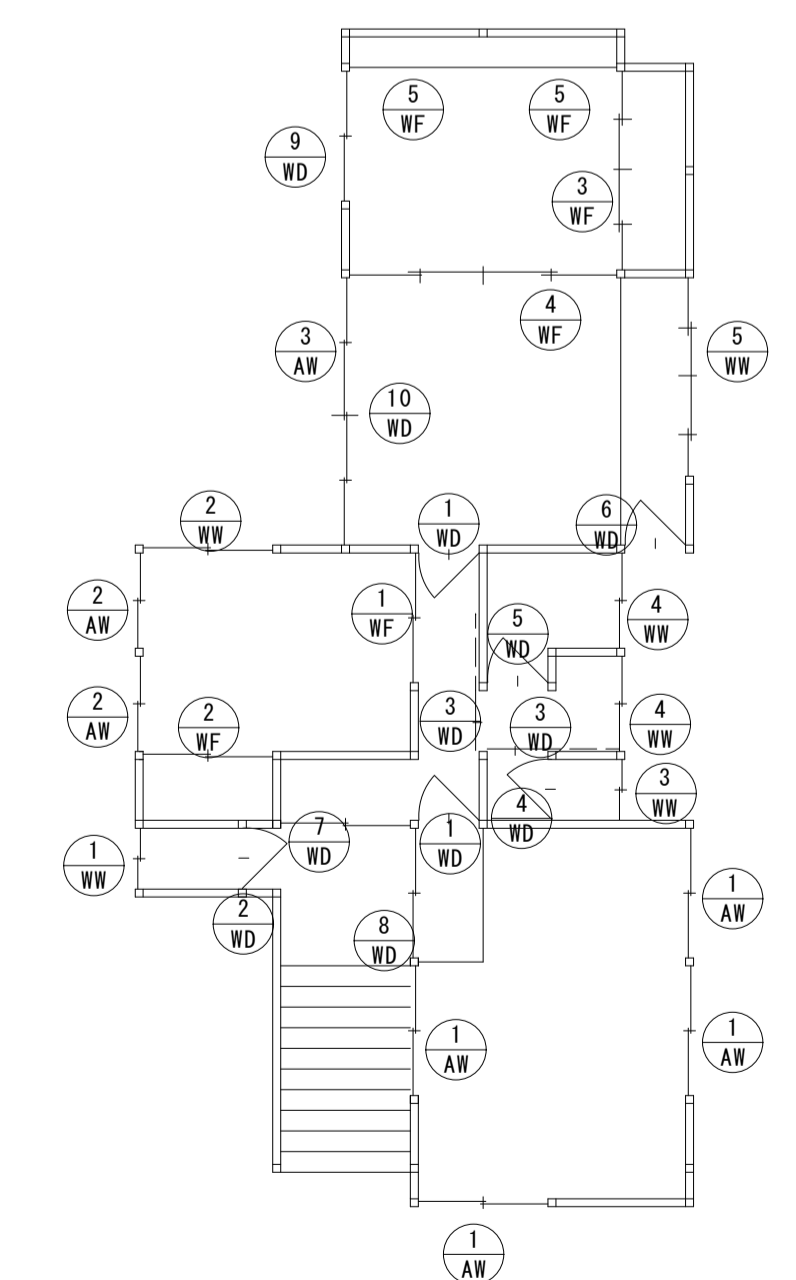
凡例	土	土
斜線	解体部	M 電気メーター
点線	廃棄物	電柱



外構改修図 S=1/200

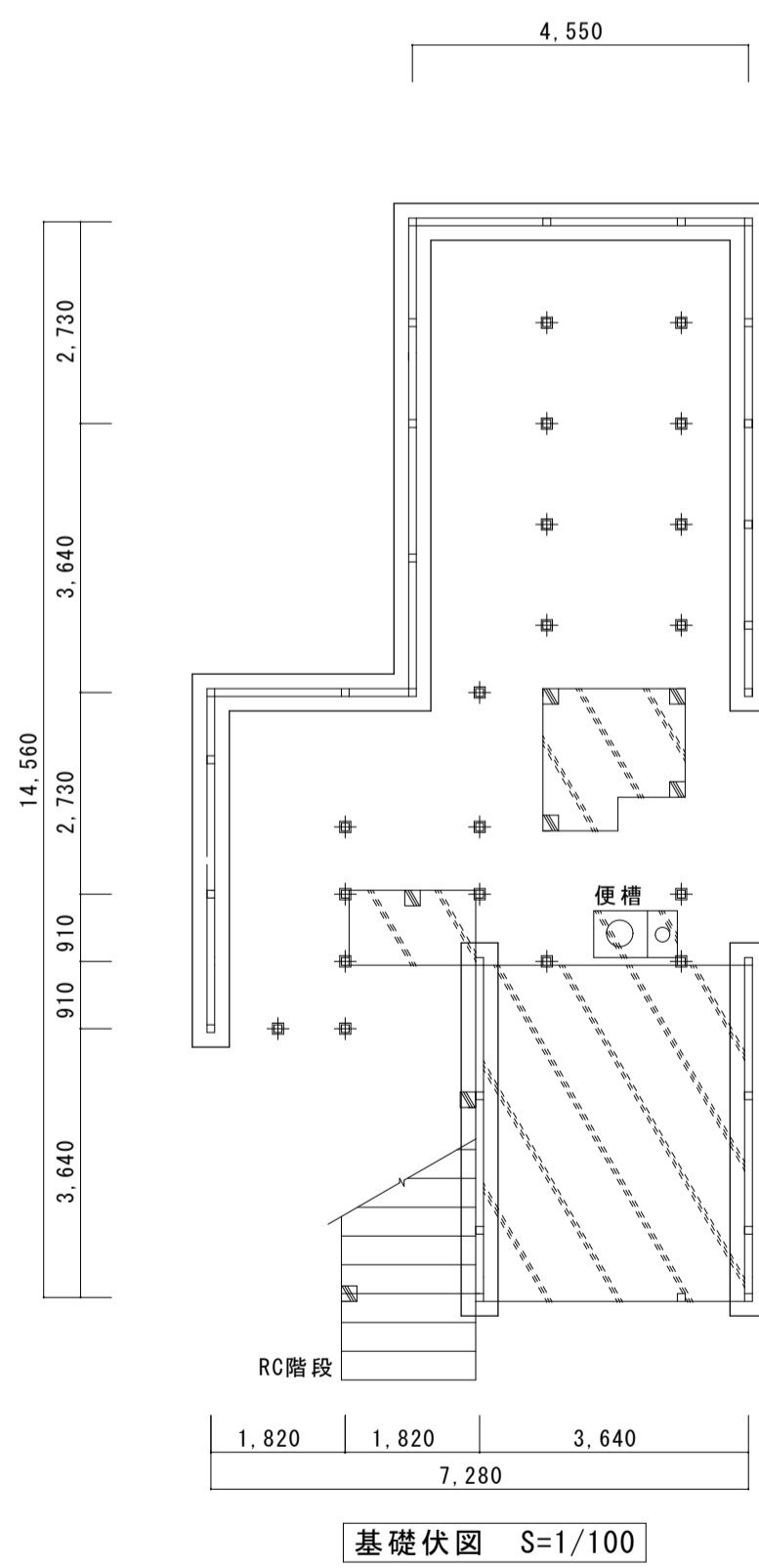
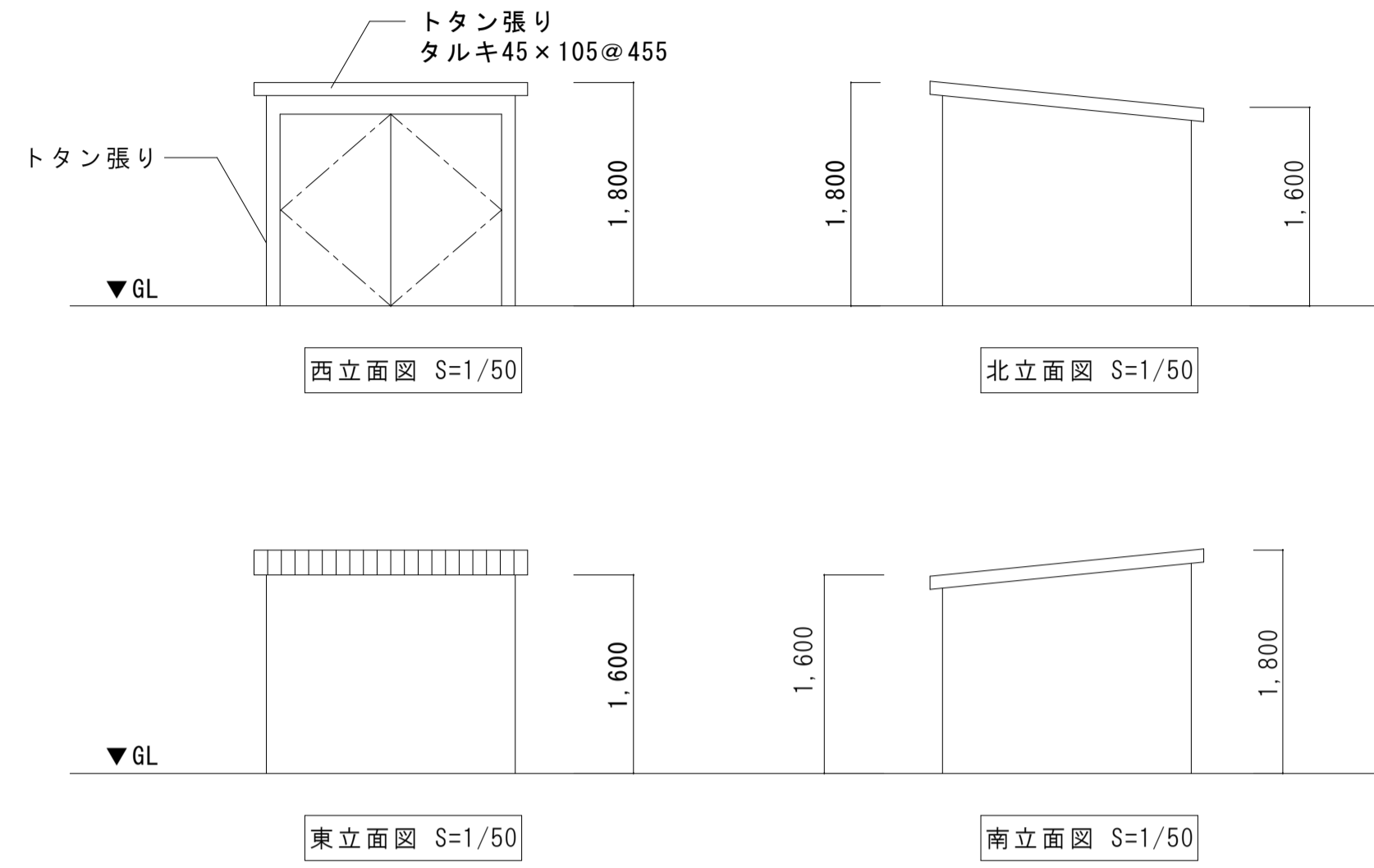
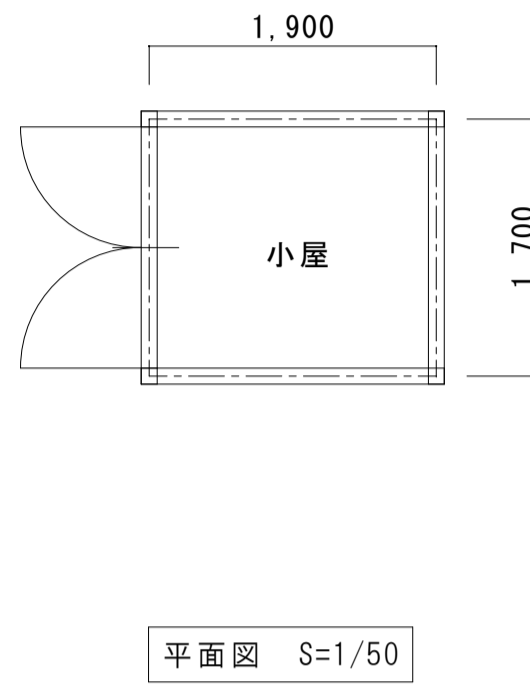
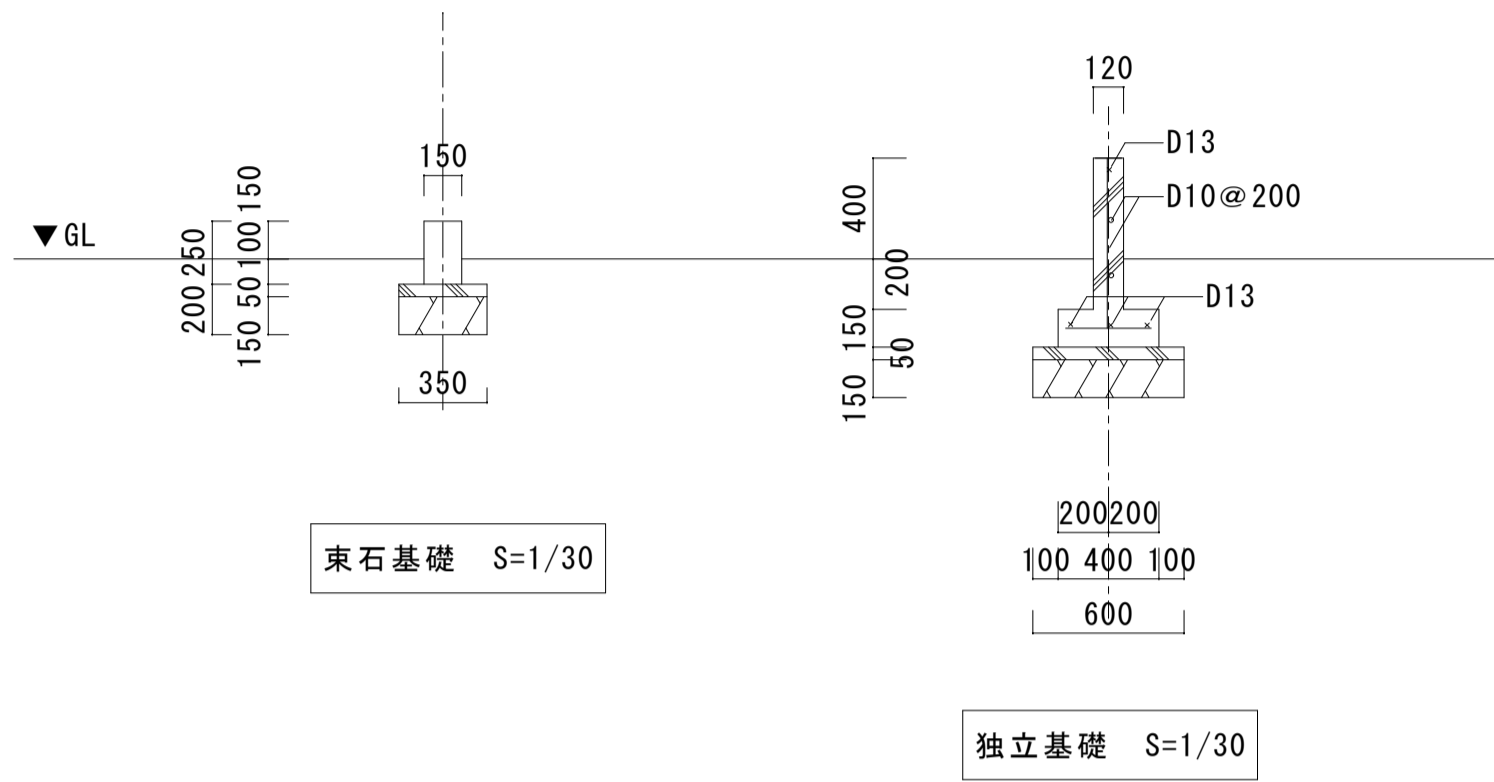


1階建具キープラン

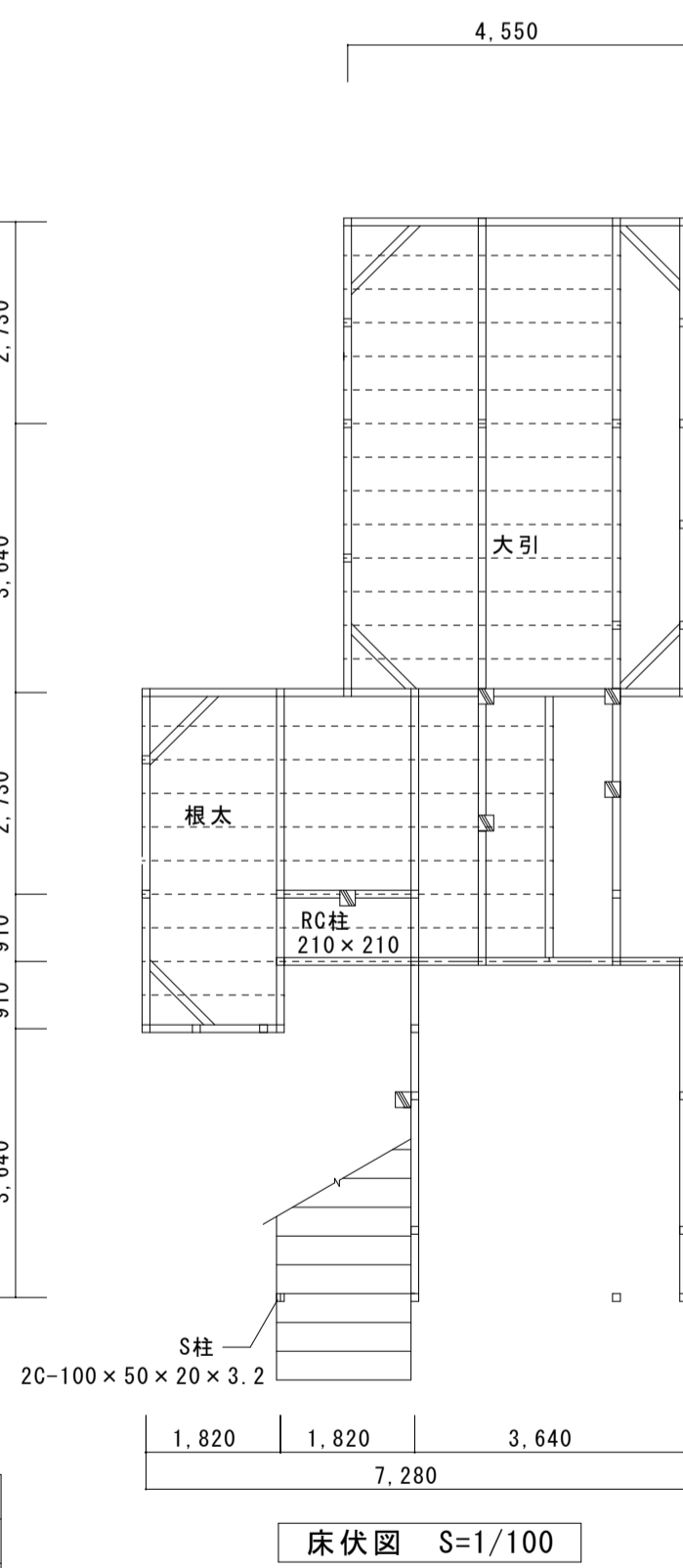


2階建具キープラン

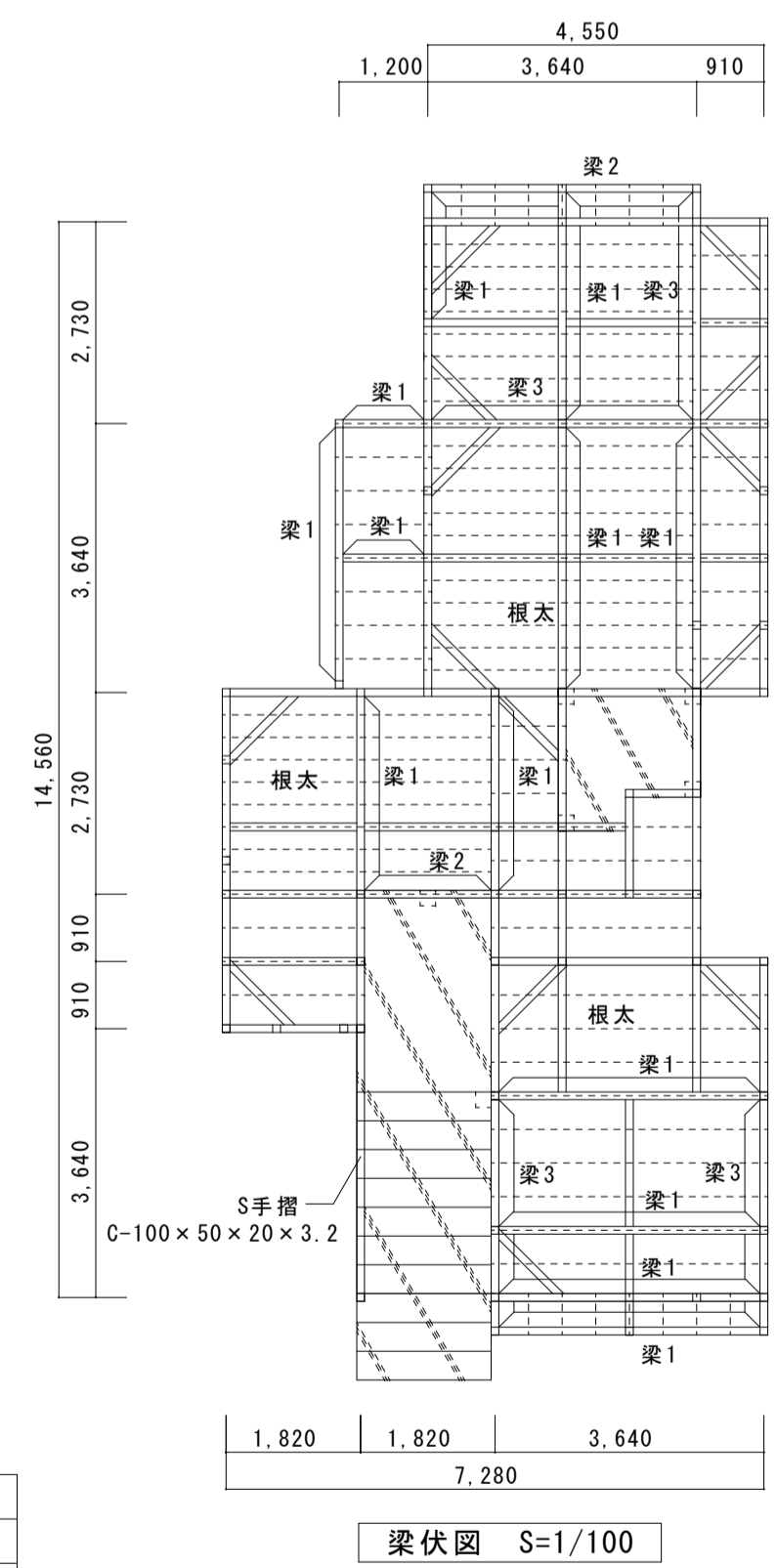
符号	名称	寸法(W×H)	硝子寸法	個数
1 AW	アルミ製引違窓	1,700 × 1,100	1,600 × 1,000	4
2 AW	アルミ製引違窓	1,700 × 1,200	1,600 × 1,000	2
3 AW	アルミ製引違窓	3,500 × 1,800	3,400 × 1,700	1
4 AW	アルミ製引違窓	1,700 × 1,800	1,600 × 1,000	1
1 WW	木製引違窓	800 × 600	700 × 500	1
2 WW	木製引違窓	1,700 × 1,100	1,600 × 1,000	1
3 WW	木製引違窓	800 × 800	700 × 700	1
4 WW	木製引違窓	1,200 × 800	1,100 × 700	2
5 WW	木製引違窓	2,550 × 650	2,400 × 550	1
6 WW	木製引違窓	1,700 × 400	1,600 × 300	3
1 WD	木製片開き戸	800 × 1,800	600 × 400	2
2 WD	木製片開き戸	800 × 1,800	250 × 400	1
3 WD	木製引戸	1,700 × 1,800	400 × 250	2
4 WD	木製片開き戸	800 × 1,800	---	1
5 WD	木製片開き戸	800 × 2,000	650 × 900 × 2	1
6 WD	木製片開き戸	800 × 2,000	450 × 250	1
7 WD	木製引違戸	1,700 × 2,100	750 × 900 × 2 750 × 700 × 2	1
8 WD	木製引違戸	1,700 × 1,900	750 × 700 × 2 750 × 600 × 2	1
9 WD	木製引違戸	1,700 × 1,800	1,600 × 1,600	1
10 WD	木製引違戸	3,500 × 1,800	3,200 × 1,600	1
11 WD	木製片開き戸	500 × 1,800	---	1
12 WD	木製引違戸	1,700 × 1,800	---	1
13 WD	木製引違戸	1,700 × 1,800	800 × 300 × 6	2
1 WF	引違フスマ	1,700 × 1,800	---	3
2 WF	引違フスマ	1,700 × 2,400	---	1
3 WF	引違フスマ	2,600 × 2,400	---	1
4 WF	引違フスマ	3,500 × 1,800	---	1
5 WF	引違フスマ	1,800 × 450	---	2
1 SS	スチールシャッター	2,600 × 1,700	---	1
2 SS	スチールシャッター	800 × 1,700	---	1



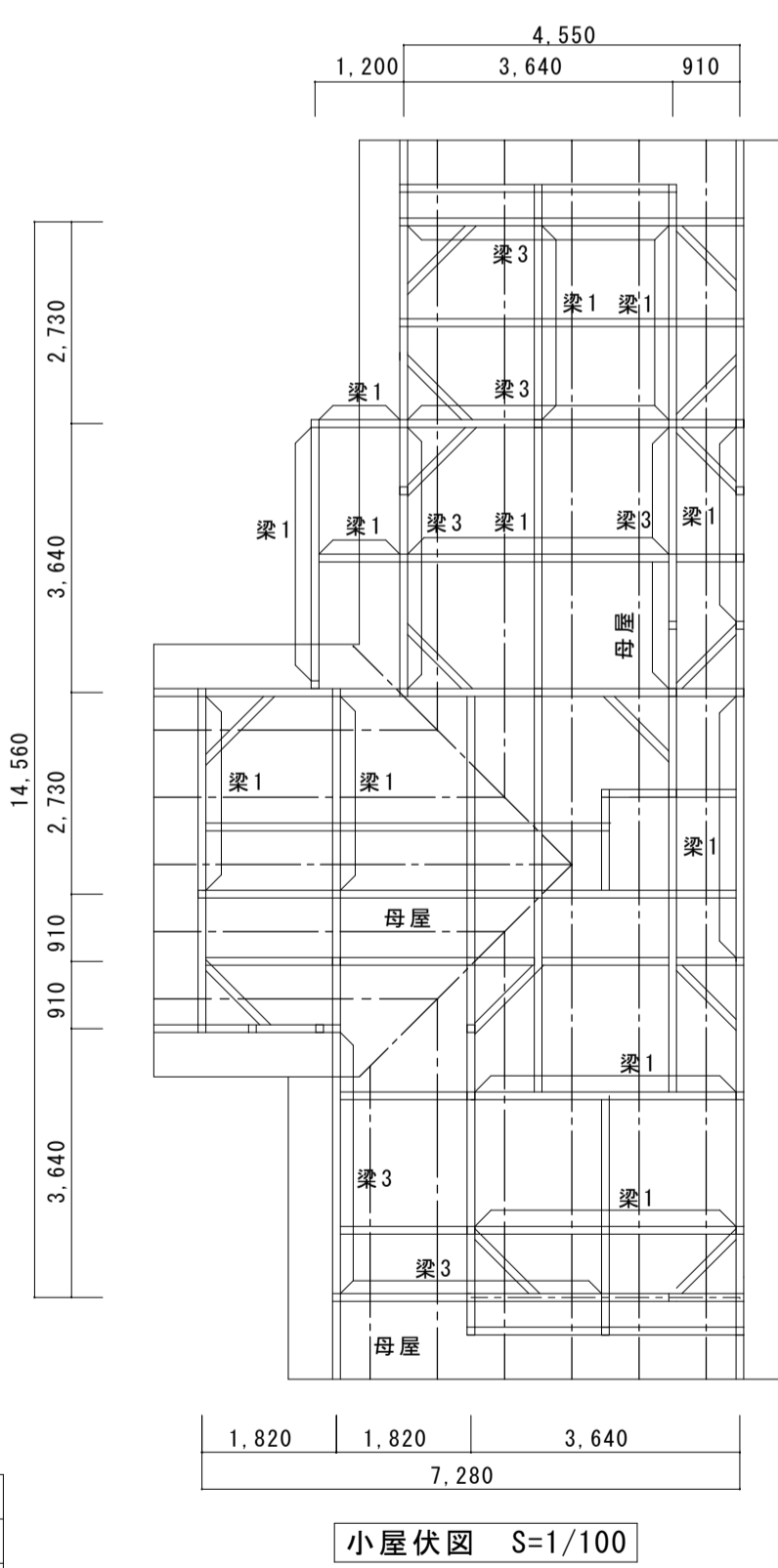
特記事項	
■	東石
▨	布基礎
□	RC柱 210×210
▧	土間コンクリート



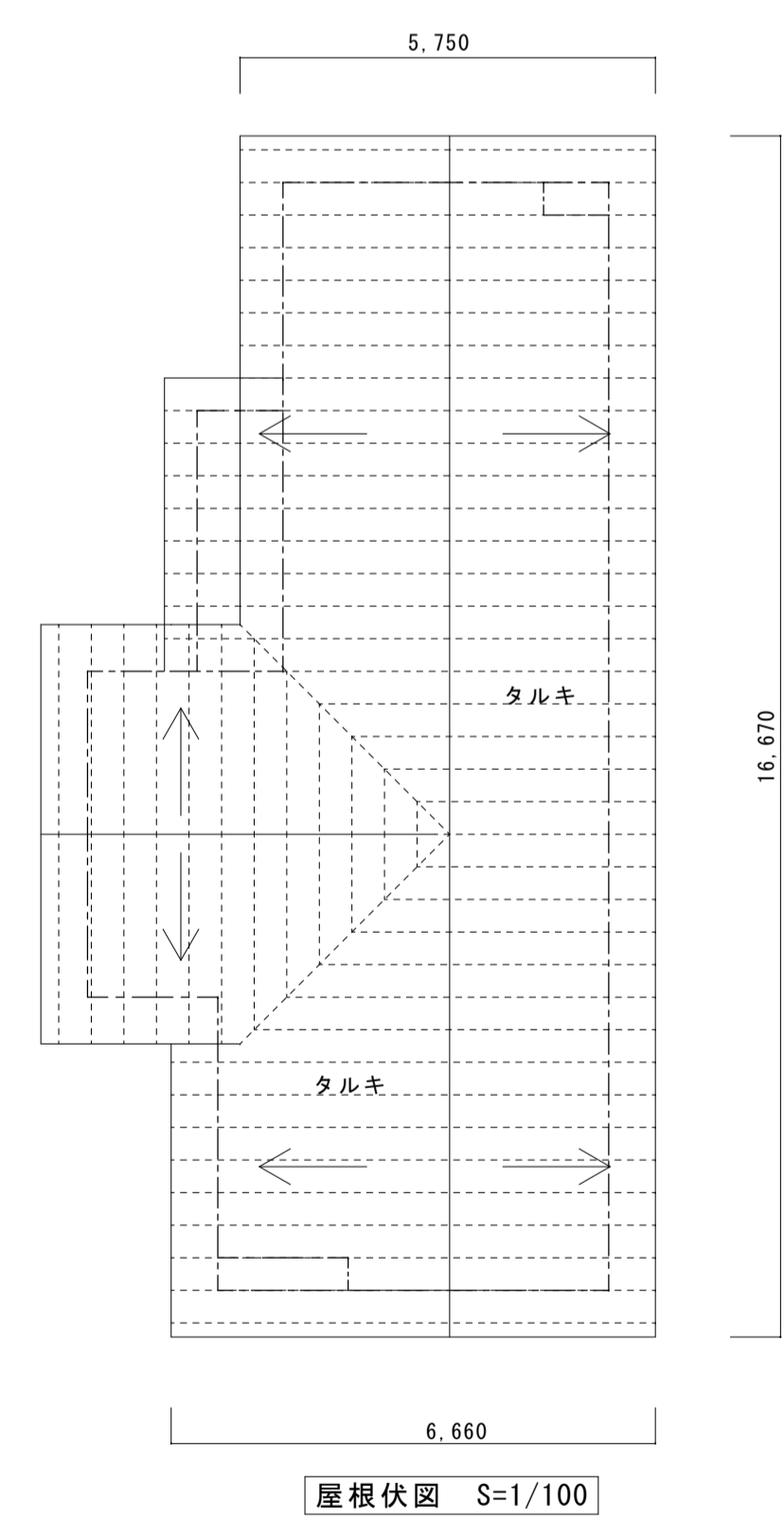
特記事項	
土台	土台 105×105
大引	105×105
根太	45×105@455
根太掛	30×90
火打土台	105×105
柱	105×105
間柱	45×105@455
筋違	45×105



特記事項	
桁	105×105
梁1	105×240
梁2	105×270
梁3	105×300
根太	45×105@455
根太掛	30×90
火打梁	105×105
柱	105×105
胴縁	45×36@455
筋違	45×105



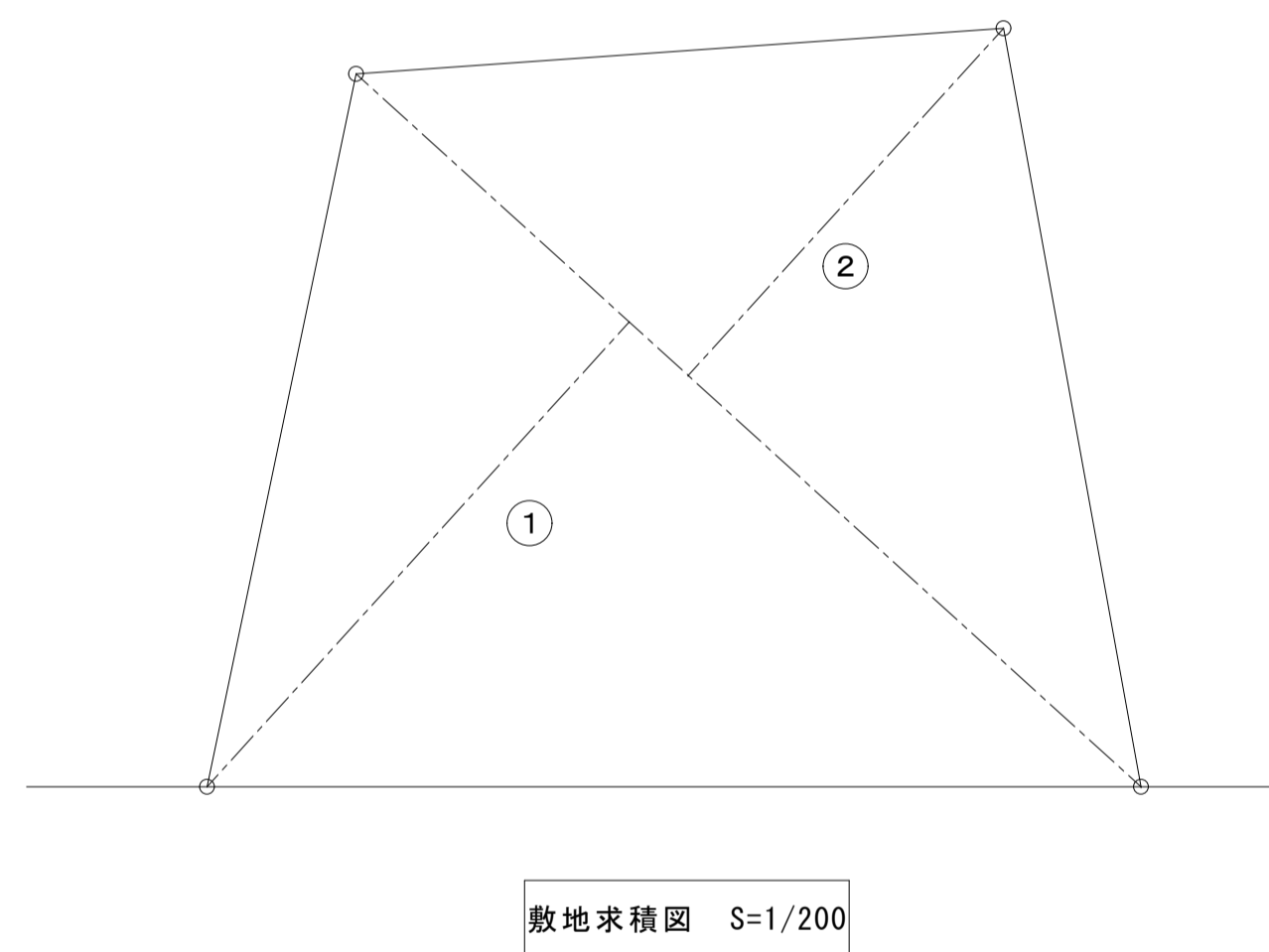
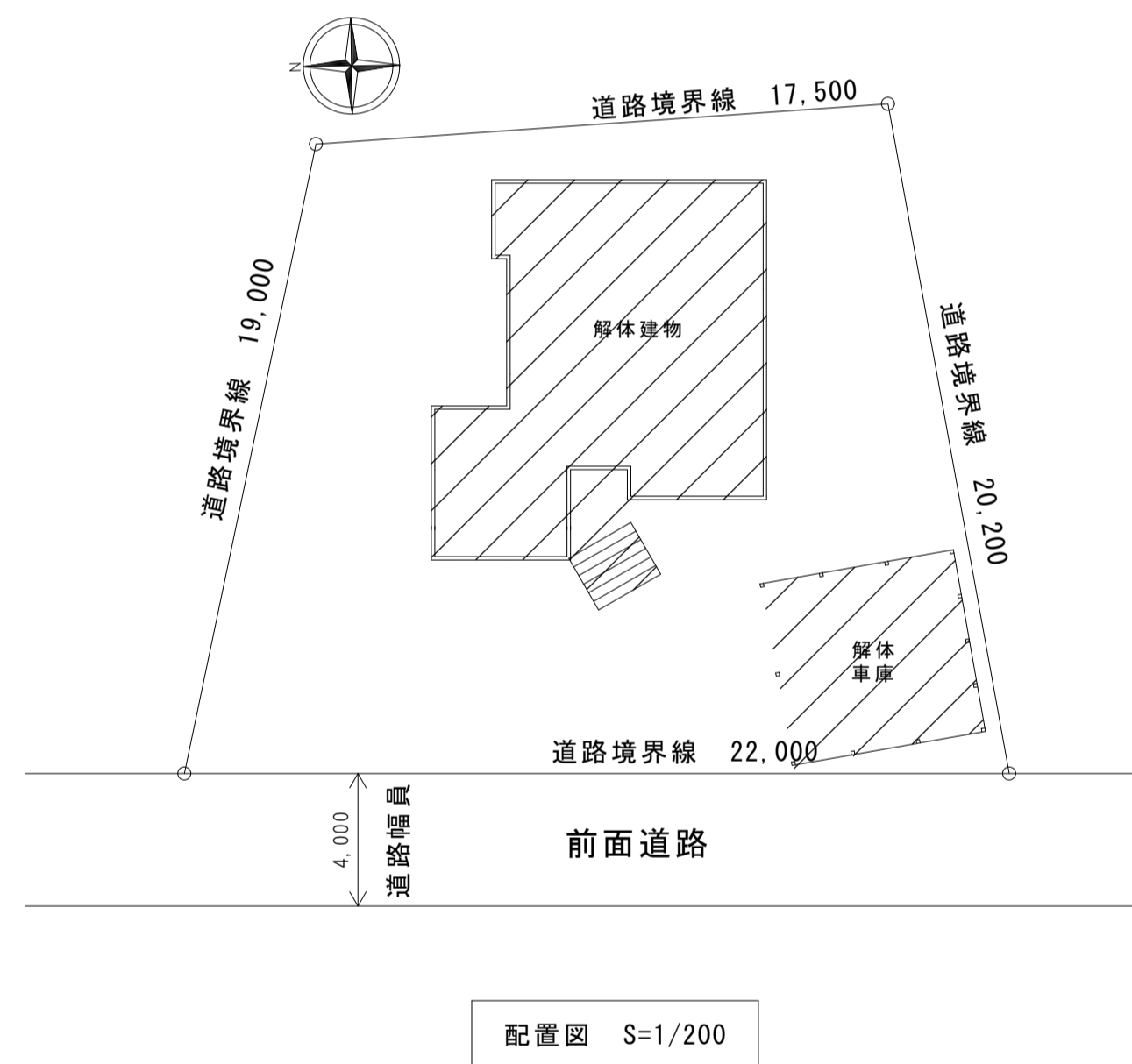
特記事項	
桁	105×105
梁1	105×240
梁2	105×270
梁3	105×300
母屋	105×105@910
タルキ	45×105@455
火打梁	105×105
束柱	105×105
小屋筋違	105×45



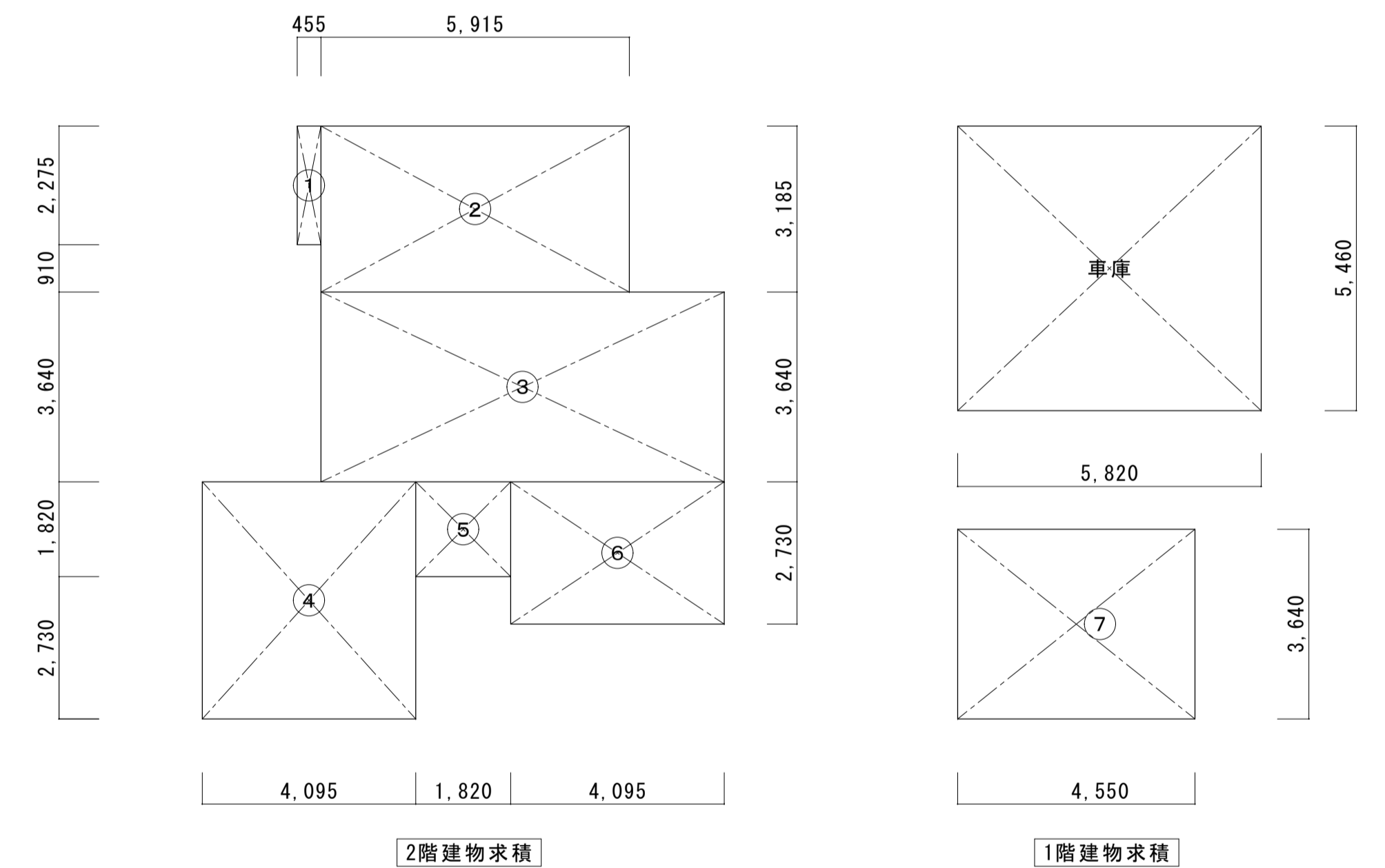
南沢森林事務所ほか新築工事 南沢森林事務所解体工事 特記仕様書		章	項目	特記事項	6章 アスベスト含有建材の除去等	7章 その他	取扱い																																																																																															
I 工事概要	1. 工事場所	秋田県上小阿仁村南沢字箱淵岱10-5	1章 一般共通事項	<ul style="list-style-type: none"> 適用基準等 1) 図面、本特記仕様書、解体共通仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 2) 本特記仕様書における「標準詳細図」とは次の基準を示す。 <ul style="list-style-type: none"> 建築工事標準詳細図（平成28年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 	<ul style="list-style-type: none"> 石綿含有建材の除去工事 	<p>※図示以外の建材が発見された場合を対象とする。《6.1.3》</p> <p>施工調査</p> <p>※石綿含有建材の事前調査</p> <p>工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。</p> <p>調査範囲（ ・ 図示 ）</p> <p>貸与資料（ ・ ）</p> <p>○分析による石綿含有建材の調査</p> <p>分析対象</p> <p>アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリンタイト、クロシドライト、トレモライト</p> <p>分析方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>定性分析方法</th> <th>定量分析方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>JIS A 1481-1または</td> <td>JIS A 1481-3または</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>JIS A 1481-2</td> <td>JIS A 1481-4</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル</p> <p>採取箇所 ・ 図示</p> <p>・石綿粉じん濃度測定 《6.1.4》</p> <p>測定時期、場所及び測定点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定箇所数 (各施工箇所ごと)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>測定1</td> <td rowspan="2">処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>・ 計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定2</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>・ 計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定3</td> <td rowspan="3">処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>・ 計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定4</td> <td>セキュリティゾーン入口</td> <td>・ 計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定5</td> <td>集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）</td> <td>出口吹出し風速1m/sec以下の位置</td> <td>・ 計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定6</td> <td>処理作業室外</td> <td>・ 施工区画周辺</td> <td>・ 計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定7</td> <td>処理作業後（シート養生中）</td> <td>処理作業室内</td> <td>・ 計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定8</td> <td>処理作業後シート</td> <td>処理作業室内</td> <td>・ 計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定9</td> <td>撤去後1週間以降</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>・ 計 点</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法</p> <p>・自動測定器による測定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・測定 4</td> <td rowspan="2">粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計） パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> <tr> <td>・測定 5</td> </tr> </tbody> </table> <p>・JIS K 3850-1に基づいた測定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>メンブレンフィルタ直径(mm)</th> <th>試料の吸引流量(L/min)</th> <th>試料の吸引時間(min)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・測定 4</td> <td rowspan="2">25</td> <td rowspan="2">5</td> <td rowspan="2">30</td> </tr> <tr> <td>・測定 5</td> </tr> <tr> <td>・測定</td> <td rowspan="2">25</td> <td rowspan="2">10</td> <td rowspan="2">120</td> </tr> <tr> <td>・測定</td> </tr> <tr> <td>・測定</td> <td rowspan="2">47</td> <td rowspan="2">10</td> <td rowspan="2">240</td> </tr> <tr> <td>・測定</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	材 料 名	定性分析方法	定量分析方法	・	JIS A 1481-1または	JIS A 1481-3または	・	JIS A 1481-2	JIS A 1481-4	・	・ 箇所	・ 箇所	・	・ 箇所	・ 箇所	・	・ 箇所	・ 箇所	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)	・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・ 計 点	・	測定2	調査対象室外部の付近	・ 計 点	・	測定3	処理作業中	処理作業室内	・ 計 点	・	測定4	セキュリティゾーン入口	・ 計 点	・	測定5	集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/sec以下の位置	・ 計 点	・	測定6	処理作業室外	・ 施工区画周辺	・ 計 点	・	測定7	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	・ 計 点	・	測定8	処理作業後シート	処理作業室内	・ 計 点	・	測定9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	・ 計 点	測定名称	測定方法	・測定 4	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計） パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	・測定 5	測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)	・測定 4	25	5	30	・測定 5	・測定	25	10	120	・測定	・測定	47	10	240	・測定	・				<p>アスベスト含有の設備資機材の処理については、取りこわし特記仕様書（電気設備の部）及び（機械設備の部）による。</p> <p>○電気、給排水設備等のライフラインの協議手続き一式</p> <p>・ 隣接地</p> <p>・ 近隣家屋調査</p> <p>・ 近隣住宅の許可の範囲で行う</p> <p>○解体方法</p> <p>○再資源他</p> <p>○建設リサイクル法による</p> <p>○建設リサイクル法による</p>	<p>南沢森林事務所ほか新築工事 南沢森林事務所解体工事</p> <p>取こわし特記仕様書</p> <p>秋田県建築設計事業協同組合 令和 8年 3月</p>
	材 料 名	定性分析方法					定量分析方法																																																																																															
	・	JIS A 1481-1または					JIS A 1481-3または																																																																																															
・	JIS A 1481-2	JIS A 1481-4																																																																																																				
・	・ 箇所	・ 箇所																																																																																																				
・	・ 箇所	・ 箇所																																																																																																				
・	・ 箇所	・ 箇所																																																																																																				
適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)																																																																																																		
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・ 計 点																																																																																																		
・	測定2		調査対象室外部の付近	・ 計 点																																																																																																		
・	測定3	処理作業中	処理作業室内	・ 計 点																																																																																																		
・	測定4		セキュリティゾーン入口	・ 計 点																																																																																																		
・	測定5		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/sec以下の位置	・ 計 点																																																																																																	
・	測定6	処理作業室外	・ 施工区画周辺	・ 計 点																																																																																																		
・	測定7	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	・ 計 点																																																																																																		
・	測定8	処理作業後シート	処理作業室内	・ 計 点																																																																																																		
・	測定9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	・ 計 点																																																																																																		
測定名称	測定方法																																																																																																					
・測定 4	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計） パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																																					
・測定 5																																																																																																						
測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)																																																																																																			
・測定 4	25	5	30																																																																																																			
・測定 5																																																																																																						
・測定	25	10	120																																																																																																			
・測定																																																																																																						
・測定	47	10	240																																																																																																			
・測定																																																																																																						
・																																																																																																						
2. 敷地面積	303.15㎡	2章 仮設工事	<ul style="list-style-type: none"> 騒音・粉塵等の対策 《2.2.1》 ○シート ○防音パネル 設置範囲及び高さ ・ 図示（ ・ 図による） 	<ul style="list-style-type: none"> 足場その他 《2.2.2》 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 山留めの撤去 《2.4.3》 鋼鉄板等の抜き後の処理 ※直ちに砂等で充填する 	<ul style="list-style-type: none"> 杭の解体 《3.9.2》 杭の解体 ・ 行う ・ 行わない 杭の解体工法 ・ 引抜き工法 ・ 粉碎による解体 	<ul style="list-style-type: none"> 樹木等 《3.11.1》 樹木の伐採抜根及び移植 ・ 行う（ ・ 図による） 	<ul style="list-style-type: none"> 地下埋設物埋設配管 《3.12.1》 地下埋設物及び埋設配管の解体 ○ 行う（ ・ 図による） 	<ul style="list-style-type: none"> 解体後の整地 《3.13.1》 解体後の埋戻し及び盛土 ○ 行う 整地高さ ○ 現状G L ・ 図示（ ・ 図による） 埋戻し及び盛土の材料 ○ 山砂の類 ・ 他現場の建設発生土の中の良質土 ・ 再生コンクリート砂利 埋戻し及び盛土に当たっては、各層30cm程度毎に締め固めること。 ○ 荒整地のみ行う ・ 行わない 	<ul style="list-style-type: none"> 車庫 	<p>○ライフライン</p> <p>○建設リサイクル法による</p>																																																																																												
3. 工事種目	木造平屋建										取りこわし1棟	3章 解体施工	<ul style="list-style-type: none"> 杭の解体 《3.9.2》 杭の解体 ・ 行う ・ 行わない 杭の解体工法 ・ 引抜き工法 ・ 粉碎による解体 	<ul style="list-style-type: none"> 樹木等 《3.11.1》 樹木の伐採抜根及び移植 ・ 行う（ ・ 図による） 	<ul style="list-style-type: none"> 地下埋設物埋設配管 《3.12.1》 地下埋設物及び埋設配管の解体 ○ 行う（ ・ 図による） 	<ul style="list-style-type: none"> 解体後の整地 《3.13.1》 解体後の埋戻し及び盛土 ○ 行う 整地高さ ○ 現状G L ・ 図示（ ・ 図による） 埋戻し及び盛土の材料 ○ 山砂の類 ・ 他現場の建設発生土の中の良質土 ・ 再生コンクリート砂利 埋戻し及び盛土に当たっては、各層30cm程度毎に締め固めること。 ○ 荒整地のみ行う ・ 行わない 	<ul style="list-style-type: none"> 車庫 	<p>○ライフライン</p> <p>○建設リサイクル法による</p>																																																																																				
4. 工事内容	木造		5章 特別管理産業廃棄物等の処理等	<ul style="list-style-type: none"> 施工調査 《5.1.2》 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>調査を行う範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※図示 ・ 工事対象範囲</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※図示 ・ 工事対象範囲</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※図示 ・ 工事対象範囲</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※図示 ・ 工事対象範囲</td> </tr> </tbody> </table>	材 料 名	厚さ(mm)	調査を行う範囲			※図示 ・ 工事対象範囲										※図示 ・ 工事対象範囲			※図示 ・ 工事対象範囲			※図示 ・ 工事対象範囲	<p>石綿含有建材の処理 《6.3.2、3》</p> <p>・石綿含有吹き付け材の除去</p> <p>除去対象範囲 ・ 図示</p> <p>除去工法 ・ ※6.3.2(1)(ア)による</p> <p>除去した石綿含有吹き付け材等の飛散防止措置</p> <p>※湿潤化 ・ 固形化</p> <p>除去した石綿含有吹き付け材等の処分</p> <p>・埋立処分（管理型最終処分場）</p> <p>・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）</p> <p>・石綿含有保温材等の除去 《6.4.1》</p> <p>除去対象範囲 ・ 図示</p> <p>除去工法 ・ 破碎して除去 ・ 手ばらし</p> <p>除去した石綿含有保温材等の飛散防止</p> <p>※湿潤化 ・ 固形化</p> <p>除去した石綿含有保温材等の処分</p> <p>・埋立処分（管理型最終処分場）</p> <p>・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）</p> <p>・石綿含有成形板の除去 《6.5.4》</p> <p>除去対象範囲 ・ 図示</p> <p>除去した石綿含有成形板の処分</p> <p>・石綿含有せっこうボード</p> <p>※埋立処分（管理型最終処分場）</p> <p>・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板</p> <p>・埋立処分（安定型最終処分場）</p> <p>・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）</p>																																																																										
材 料 名	厚さ(mm)	調査を行う範囲																																																																																																				
		※図示 ・ 工事対象範囲																																																																																																				
		※図示 ・ 工事対象範囲																																																																																																				
		※図示 ・ 工事対象範囲																																																																																																				
		※図示 ・ 工事対象範囲																																																																																																				
5. 工事範囲	※すべての躯体（捨てコンクリートまでとし、砂利地業は除く）及び仕上げ材すべてとする。		5章 特別管理産業廃棄物等の処理等	<ul style="list-style-type: none"> 施工調査 《5.1.2》 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>調査を行う範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※図示 ・ 工事対象範囲</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※図示 ・ 工事対象範囲</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※図示 ・ 工事対象範囲</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※図示 ・ 工事対象範囲</td> </tr> </tbody> </table>	材 料 名	厚さ(mm)	調査を行う範囲			※図示 ・ 工事対象範囲			※図示 ・ 工事対象範囲			※図示 ・ 工事対象範囲			※図示 ・ 工事対象範囲	<p>石綿含有建材の処理 《6.3.2、3》</p> <p>・石綿含有吹き付け材の除去</p> <p>除去対象範囲 ・ 図示</p> <p>除去工法 ・ ※6.3.2(1)(ア)による</p> <p>除去した石綿含有吹き付け材等の飛散防止措置</p> <p>※湿潤化 ・ 固形化</p> <p>除去した石綿含有吹き付け材等の処分</p> <p>・埋立処分（管理型最終処分場）</p> <p>・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）</p> <p>・石綿含有保温材等の除去 《6.4.1》</p> <p>除去対象範囲 ・ 図示</p> <p>除去工法 ・ 破碎して除去 ・ 手ばらし</p> <p>除去した石綿含有保温材等の飛散防止</p> <p>※湿潤化 ・ 固形化</p> <p>除去した石綿含有保温材等の処分</p> <p>・埋立処分（管理型最終処分場）</p> <p>・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）</p> <p>・石綿含有成形板の除去 《6.5.4》</p> <p>除去対象範囲 ・ 図示</p> <p>除去した石綿含有成形板の処分</p> <p>・石綿含有せっこうボード</p> <p>※埋立処分（管理型最終処分場）</p> <p>・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板</p> <p>・埋立処分（安定型最終処分場）</p> <p>・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）</p>																																																																																	
材 料 名	厚さ(mm)	調査を行う範囲																																																																																																				
		※図示 ・ 工事対象範囲																																																																																																				
		※図示 ・ 工事対象範囲																																																																																																				
		※図示 ・ 工事対象範囲																																																																																																				
		※図示 ・ 工事対象範囲																																																																																																				
II 解体工事仕様	<p>(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「建築物解体工事共通仕様書（建築工事編）（平成31年版）」（以下「解体共通仕様書」という。）による。</p> <p>図面、本特記仕様書及び解体共通仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成31年版）以下「標準仕様書」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（平成31年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）による。</p> <p>(2) 本特記仕様書の表記</p> <p>1) 項目は、○印の付いたものを適用する。</p> <p>2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。</p> <p>○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。</p> <p>○印と※印の付いた場合は、共に適用する。</p> <p>3) 特記事項に記載の《 . . . 》内表示番号は、解体共通仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p> <p>3) 特記事項に記載の（ . . . ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p> <p>4) 特記事項に記載の [. . .] 内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p>		<ul style="list-style-type: none"> 車庫 	<p>○ライフライン</p> <p>○建設リサイクル法による</p>																																																																																																		

外部仕上表					
基礎	開口部	外壁	軒裏	屋根	特記事項
東基礎 一部 RC布基礎 階段部分 RC造	アルミサッシ 木製窓	モルタル塗り 鉄板サイディング 角波カラー鉄板	モルタル塗り	長尺カラー鉄板立平葺	

内部仕上表								
室名	床	巾木	壁	天井	廻縁	天井高	備考	※特記事項
(1F) 物置	土間コンクリート	モルタル	板張			1.500	棚	
(2F) 玄関	モルタル金ゴテ	モルタル	化粧ボード	板張	木製	2.400		
事務室	合板フロア 一部モルタル金ゴテ	木製	合板下地クロス	有孔スレート板	木製	2.400	棚、流し台	
便所	合板フロア	木製	石膏ボード下地クロス	石膏ボードクロス	木製	2.400	便器	
洗面所	合板フロア	木製	石膏ボード下地クロス	石膏ボードクロス	木製	2.400	手洗	
浴室						2.400	浴槽	
台所	フローリング 一部モルタル	木製	化粧ボード	石膏ボードクロス	木製	2.400	流し台、コンロ台、ガス	
居間	タタミ	タタミ寄せ	化粧ボード	石膏ボードクロス	木製	2.400		
廊下	合板フロア	木製	板張	板張	木製	2.400		
和室B	タタミ	タタミ寄せ	化粧ボード	石膏ボード下地クロス	木製	2.400		
和室C	タタミ	タタミ寄せ	化粧ボード	化粧ボード	木製	2.400		
押入	合板張	雑布摺	板張	板張	木製	2.400		
出窓	板張	雑布摺	化粧ボード	化粧ボード	木製	2.400	収納	
サンデッキ	板張							



番号	計算式(底辺×高さ)	計 m ² (倍面積)
①	23.00×14.18	326.14
②	23.00×12.18	280.14
倍面積		606.280
面積		303.140

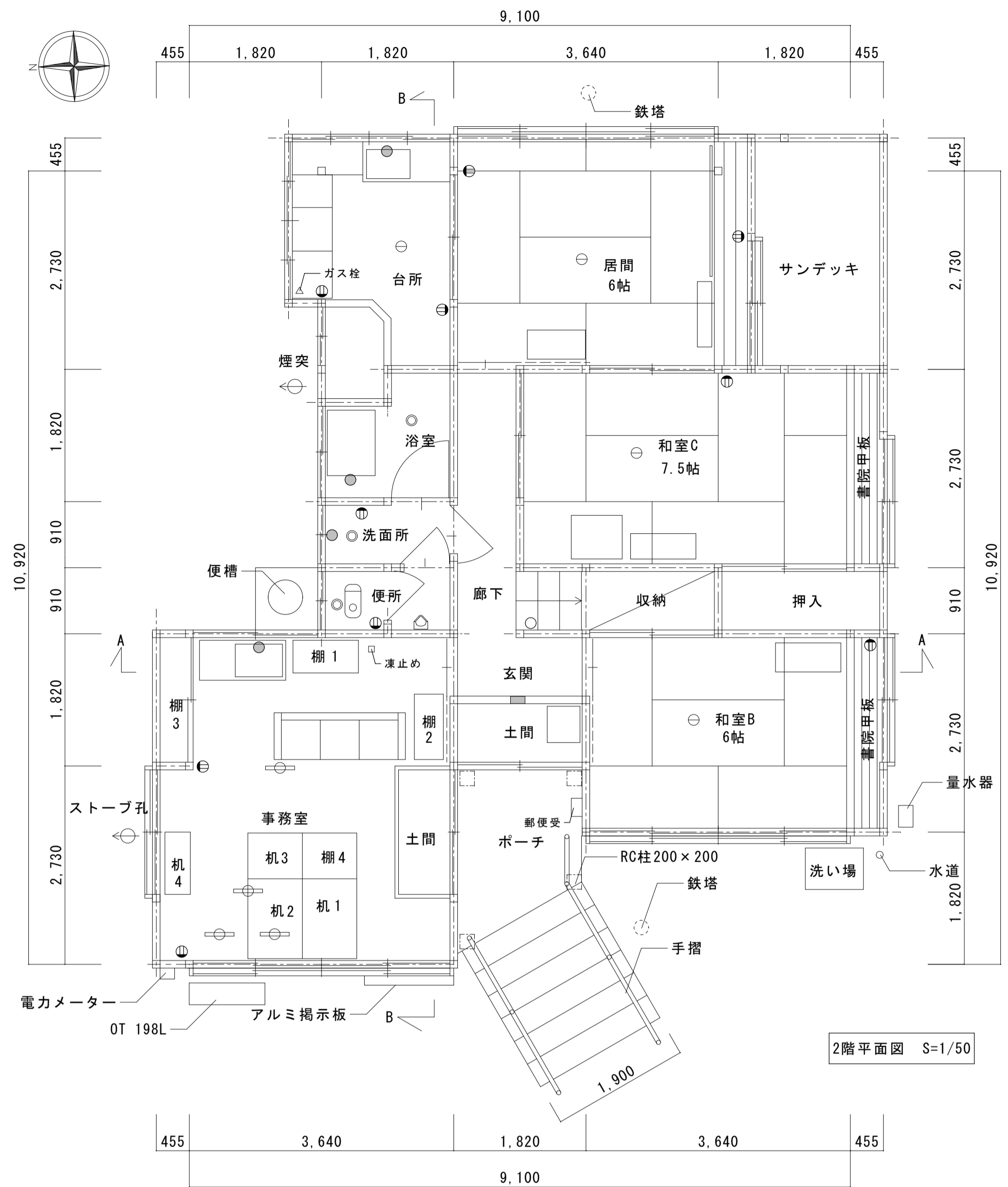


番号	計算式	計 m ²
①	2.275×0.445	1.035
②	3.185×5.915	18.839
③	3.640×7.735	28.155
④	4.550×4.095	18.632
⑤	1.820×1.820	3.312
⑥	2.730×4.095	11.179
⑦	3.640×4.550	16.562

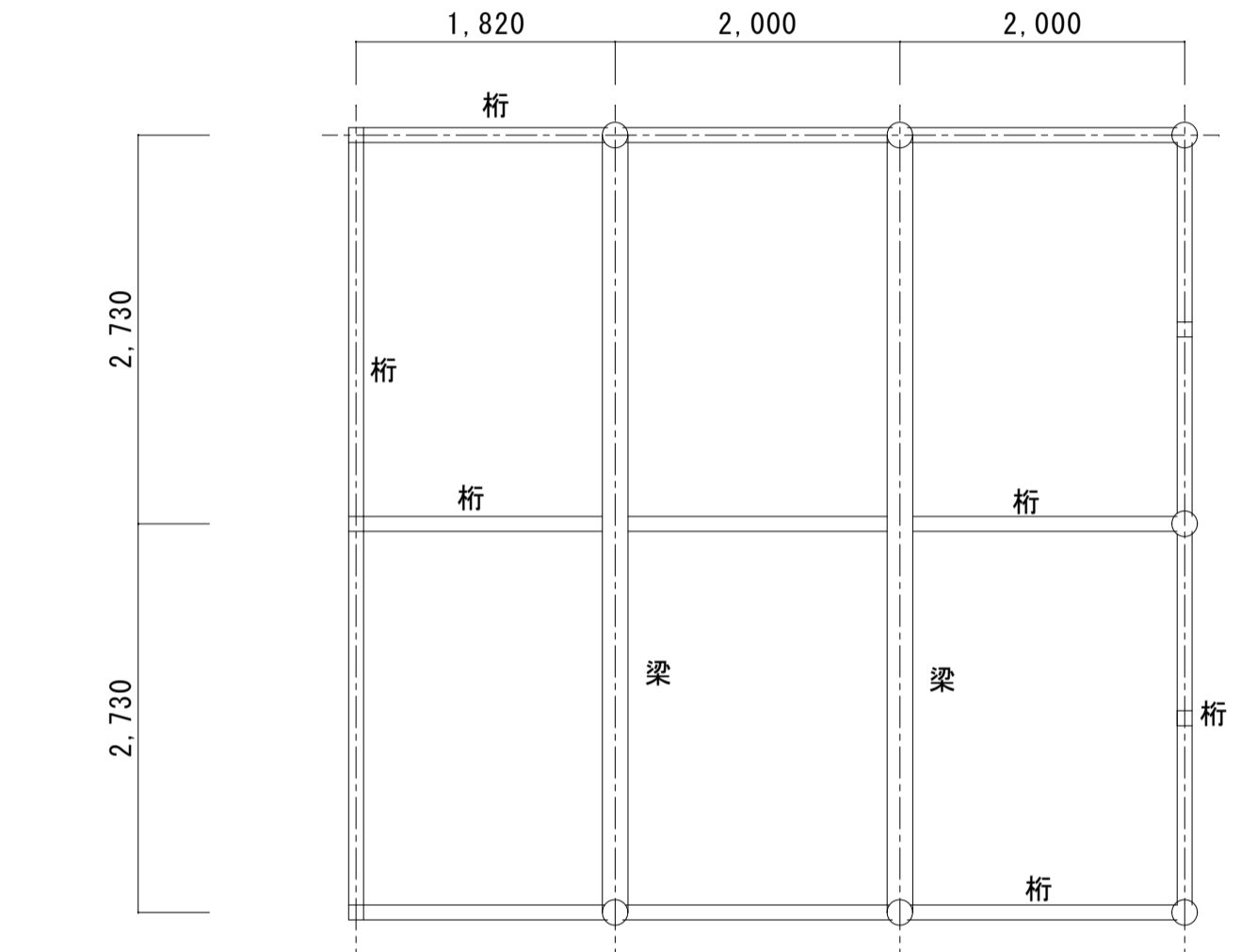
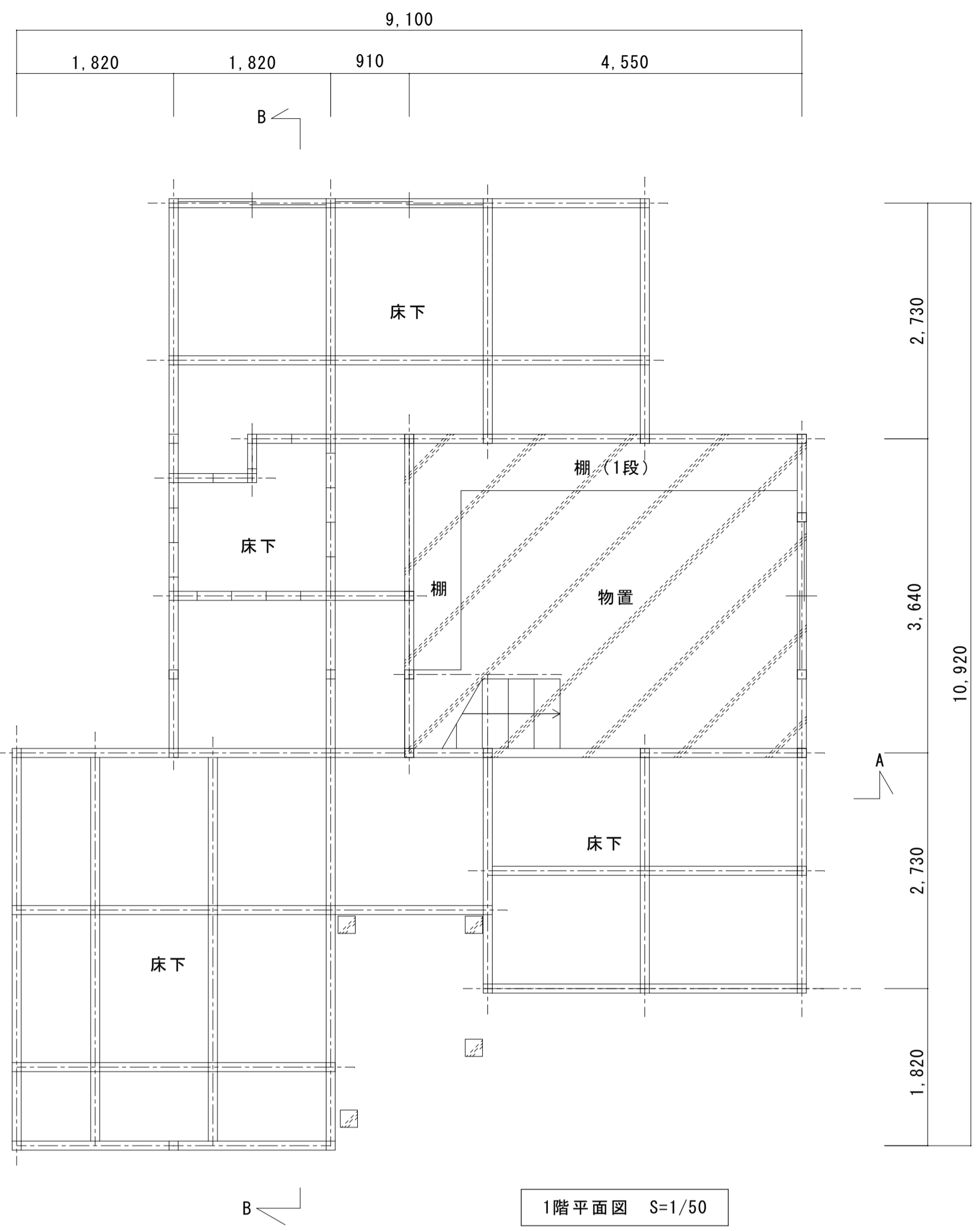
車庫	5.460×5.820	31.777
1階床面積	⑦	16.562
2階床面積	①+②+③+④+⑤+⑥	81.152
延べ面積		97.714

【事務所】 1 F床面積 16.562
2 F床面積 81.152
延べ面積 97.714(m²)

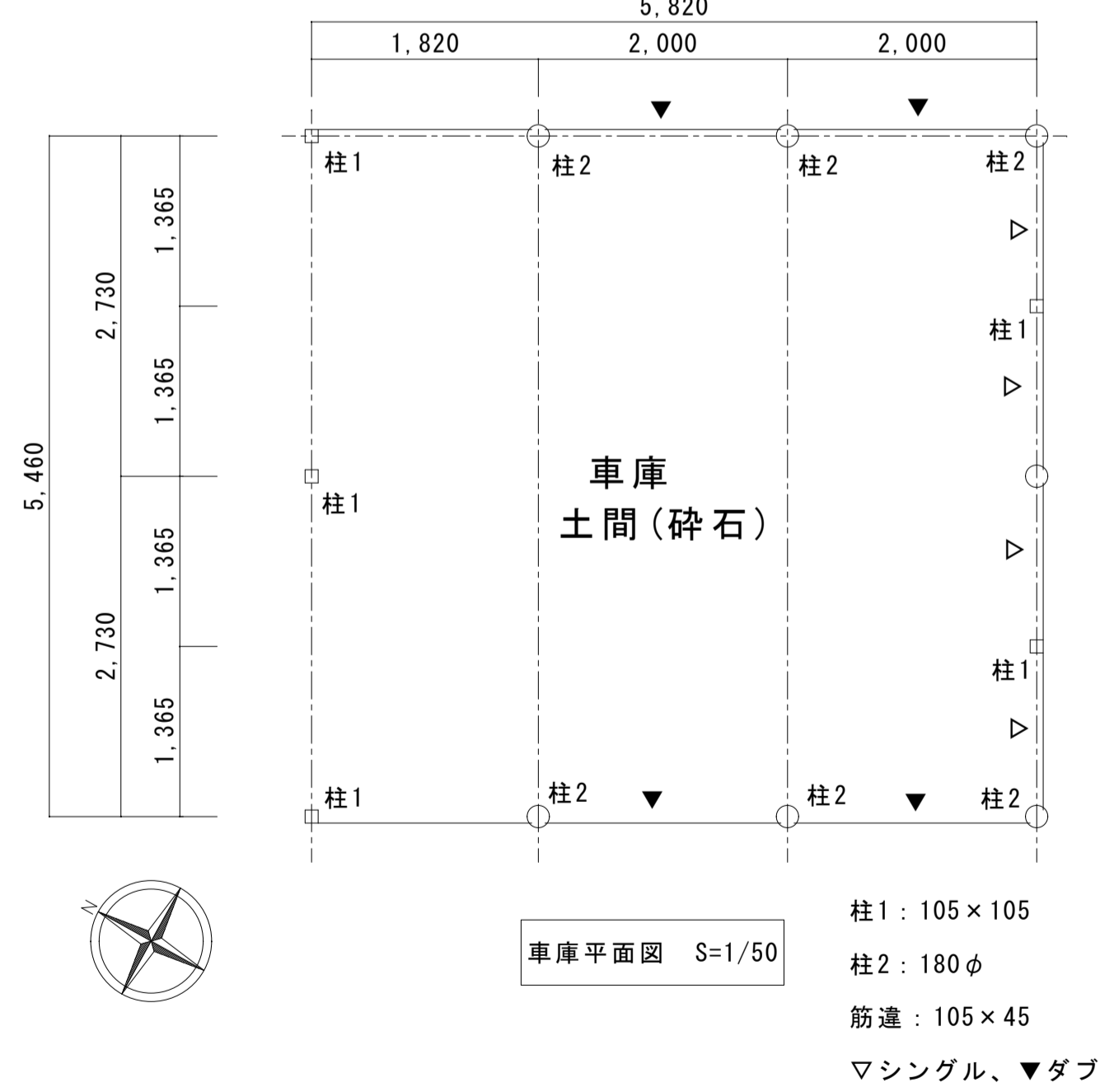
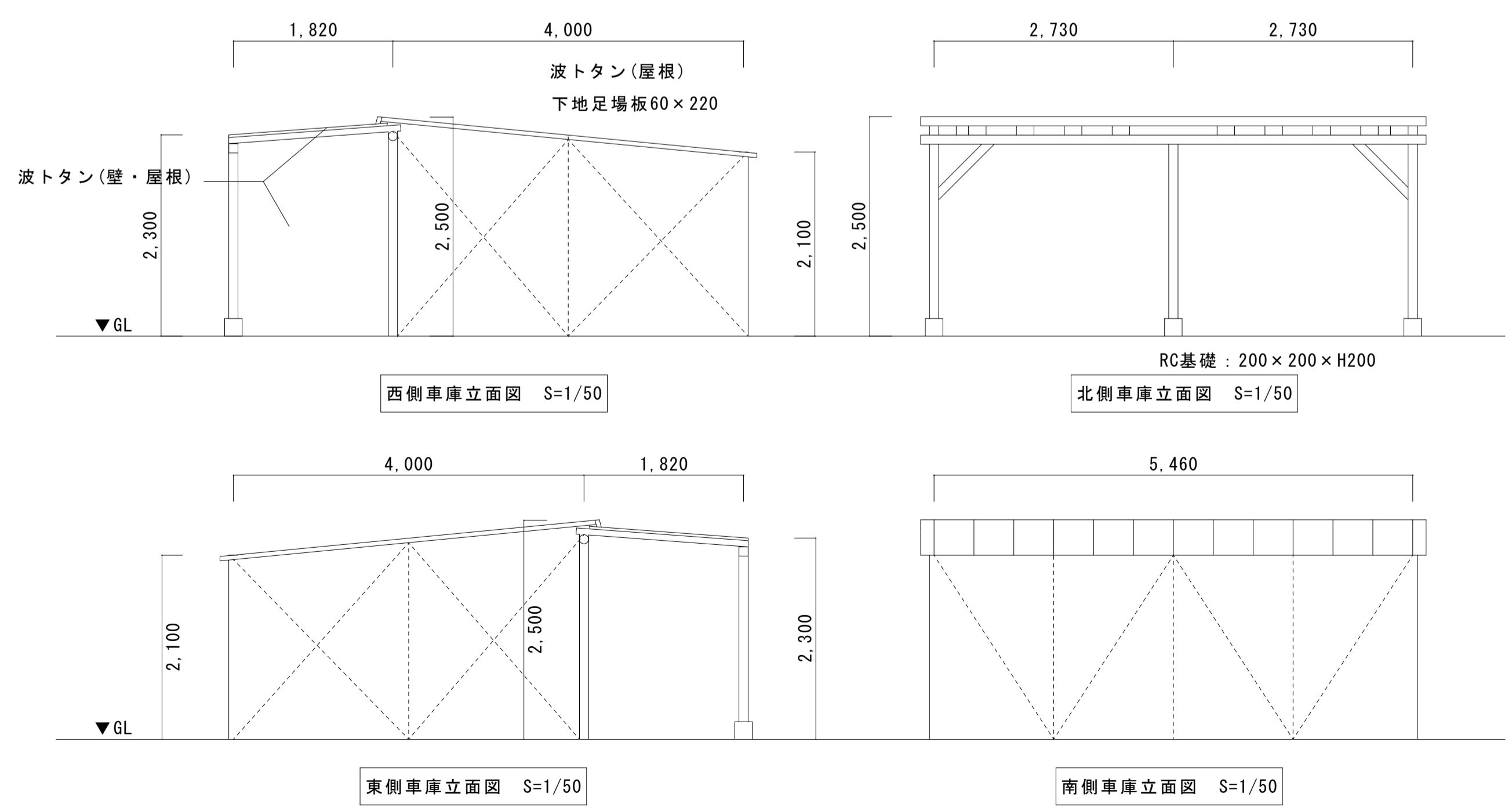
【車庫】 1 F床面積 31.777(m²)

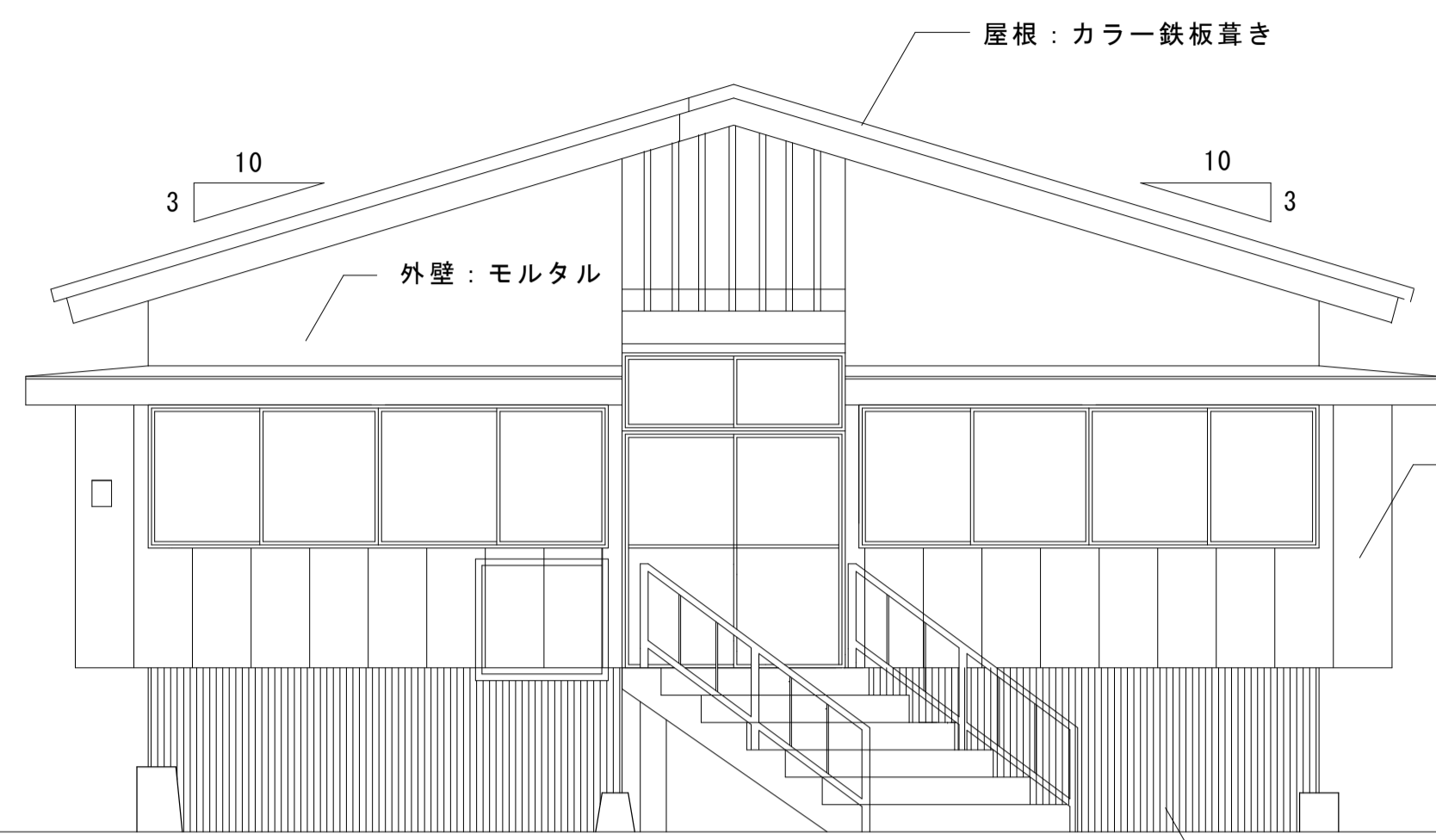


- 凡例
- ペンダント型蛍光灯 30W×2
 - 蛍光灯 L1200 40W×2
 - 電球 40W
 - コンセント
 - 水道
 - スイッチ
 - シーリング照明

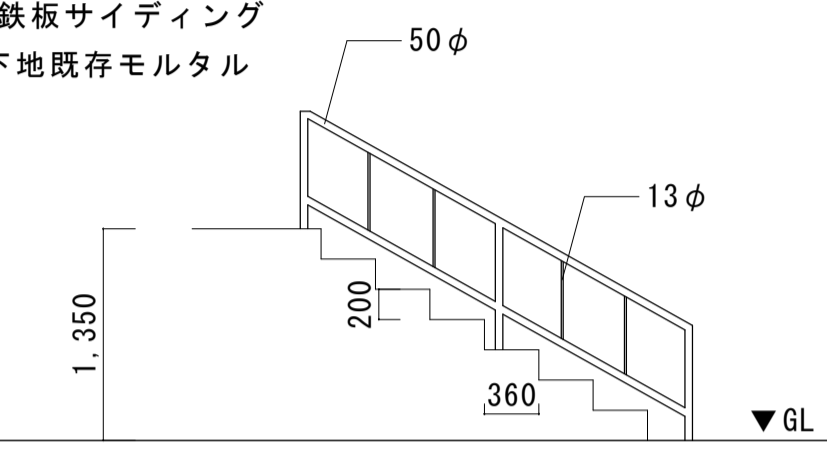


備品一覧表		寸法 (W × D × H)	材種
ポーチ	郵便受	250 × 150 × 350	スチール
	机1	1,050 × 750 × 750	スチール
	机2	1,100 × 750 × 750	木製
	机3	700 × 400 × 750	スチール
事務室	机4	850 × 350 × 550	木製
	ソファ	1,900 × 700 × 700	布製
	棚1	900 × 450 × 1,050	スチール
	棚2	900 × 400 × 1,800	スチール
	棚3	1,800 × 400 × 2,000	スチール
	棚4	600 × 400 × 750	木製
	流し台	1,200 × 550 × 800	木製SUS
	玄関 土間	ロッカー	450 × 500 × 1,800
浴室	浴槽	900 × 700 × 700	塩ビ
	小便器	300 × 300 × 800	陶製
便所	和式便器	250 × 500	陶製
	ロッカー	900 × 400 × 1,700	スチール
和室B	机	700 × 600 × 650	木製
	棚	900 × 350 × 900	木製
和室C	木箱1	900 × 200 × 450	木製
	木箱2	400 × 800 × 600	木製
居間	黒板	1,800 × 30 × 900	スチール
	流し台	1,200 × 550 × 800	木製SUS
台所	作業台1	450 × 550 × 800	木製SUS
	作業台2	600 × 550 × 600	木製SUS
	煙突	φ100 1,800	スチール
物置	棚	6,000 × 850 × 1,050	木製

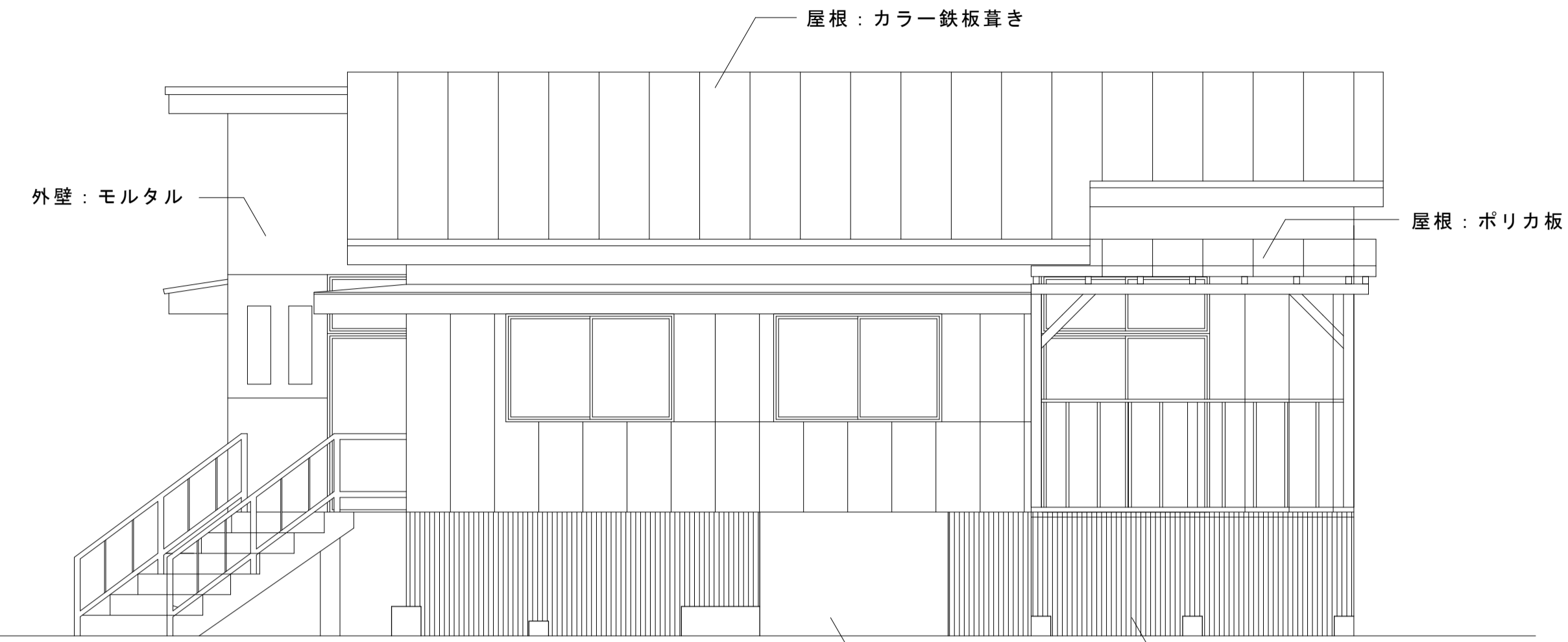




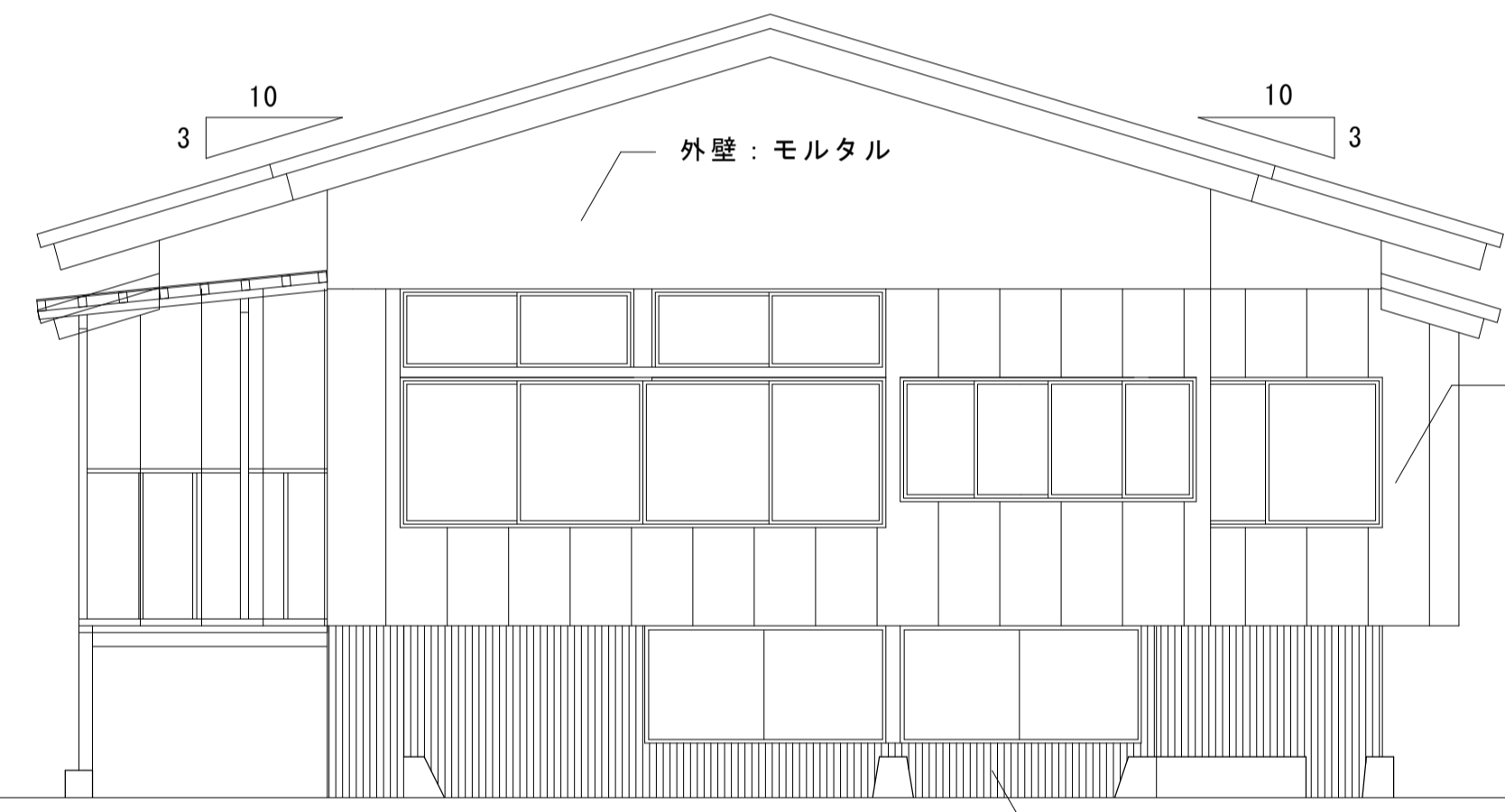
西側立面図 S=1/50



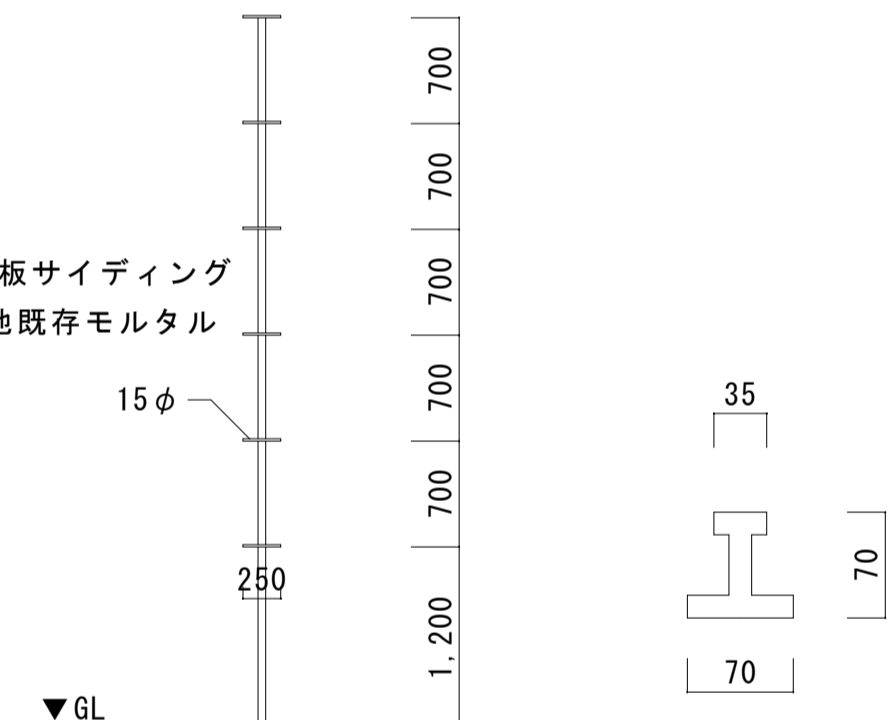
階段詳細図 S=1/50



南側立面図 S=1/50



東側立面図 S=1/50

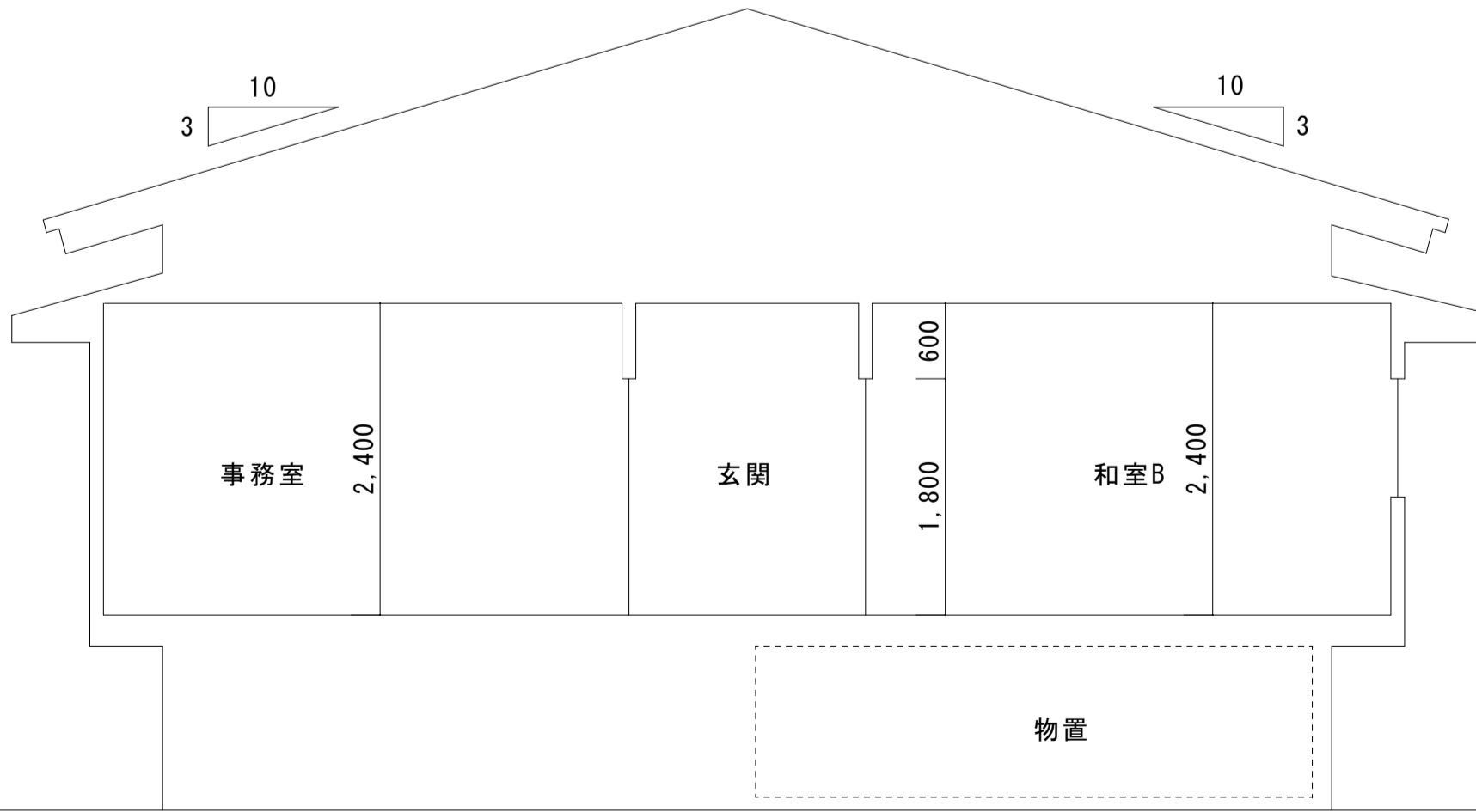
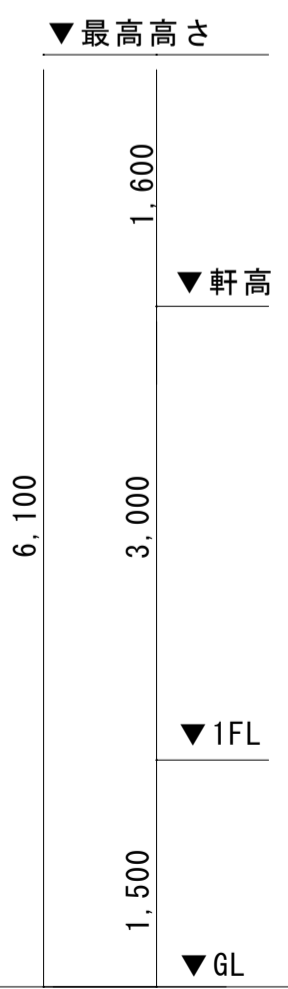


鉄塔詳細図 S=1/50

鉄塔断面図 S=1/5

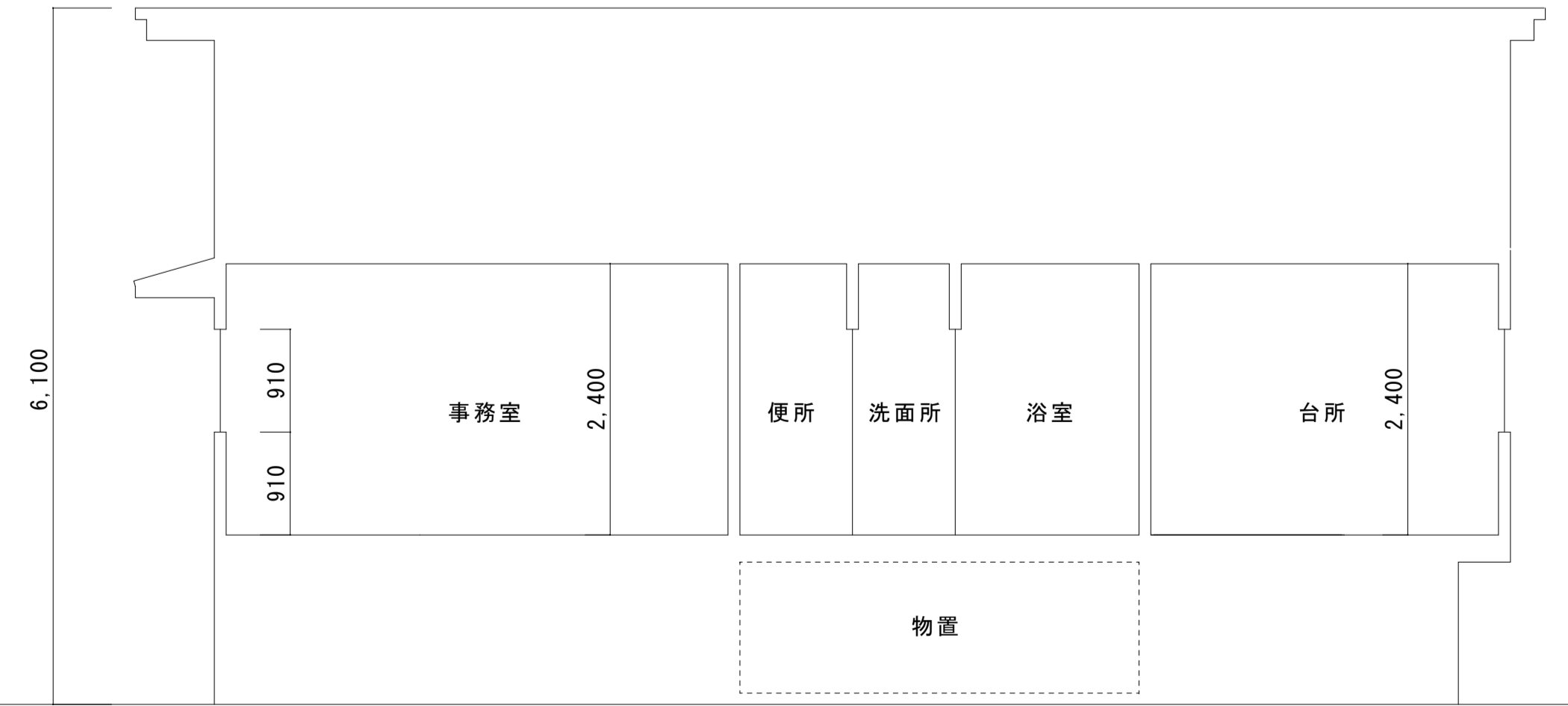


北側立面図 S=1/50



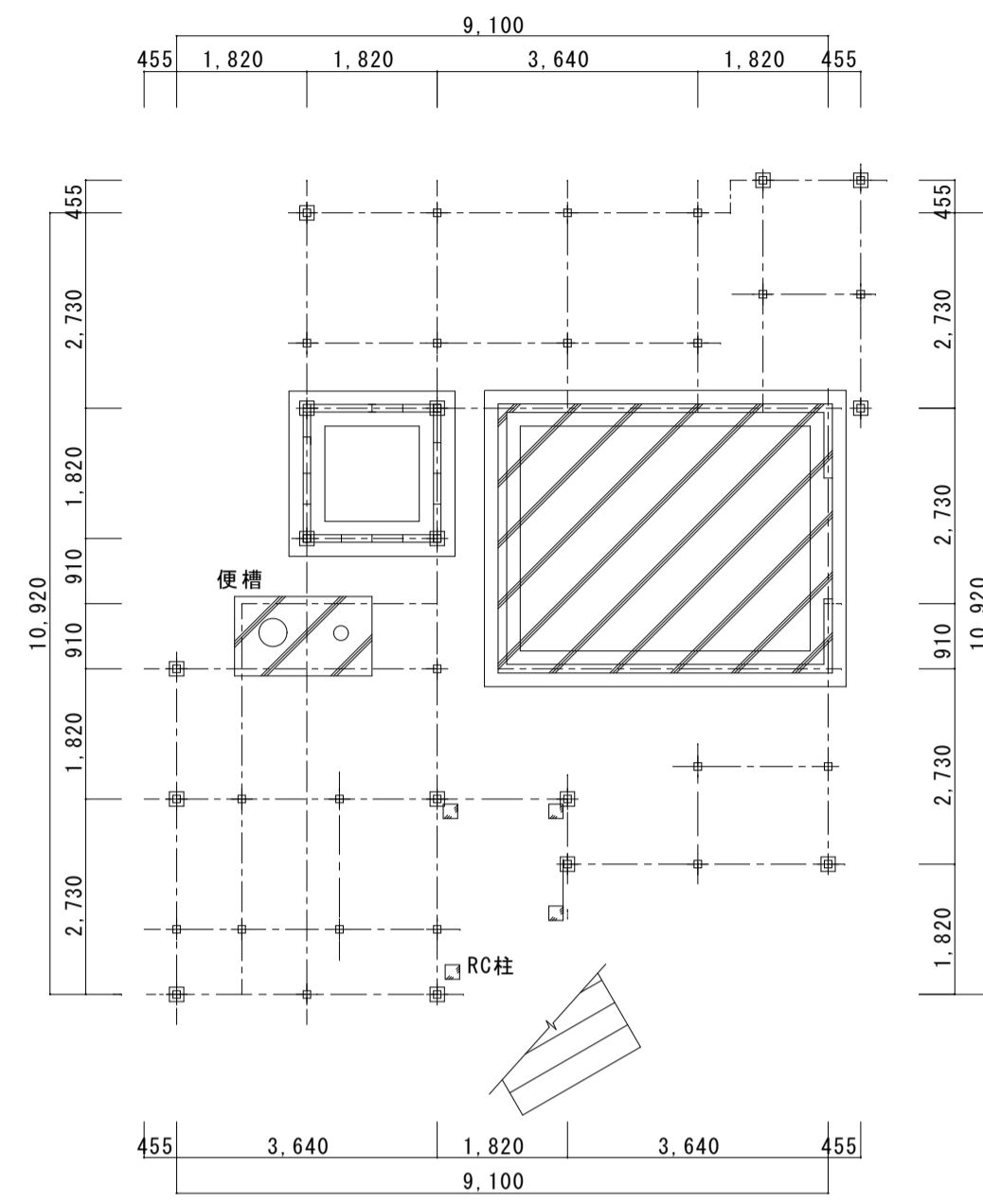
A-A断面図 S=1/50

洗い場詳細図 S=1/50



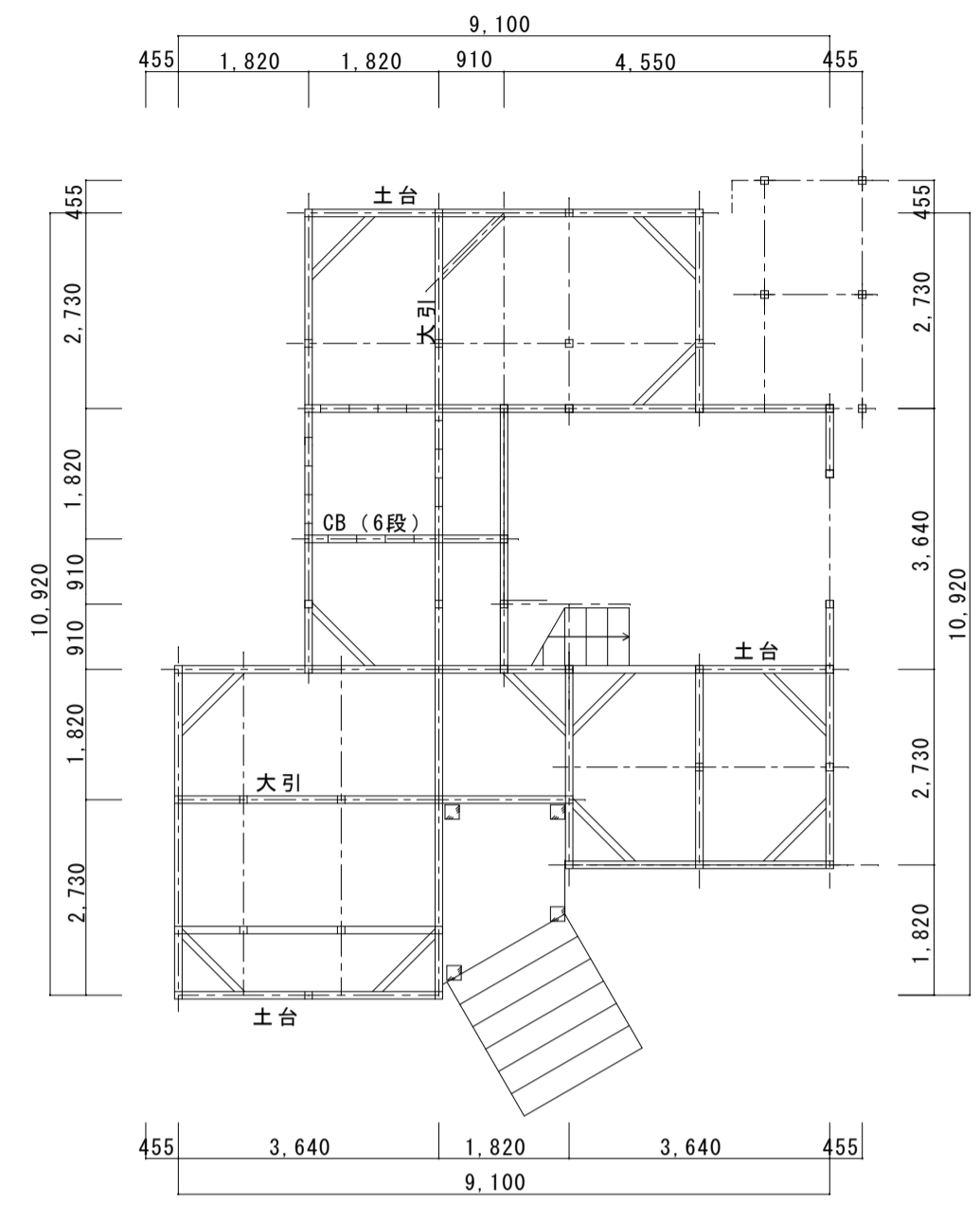
B-B断面図 S=1/50

南沢森林事務所ほか新築工事		K-10
南沢森林事務所解体工事		
立面図・断面図	A1: 1/50	49
	A3: 1/100	51
秋田県建築設計事業協同組合		
令和 8年 3月		



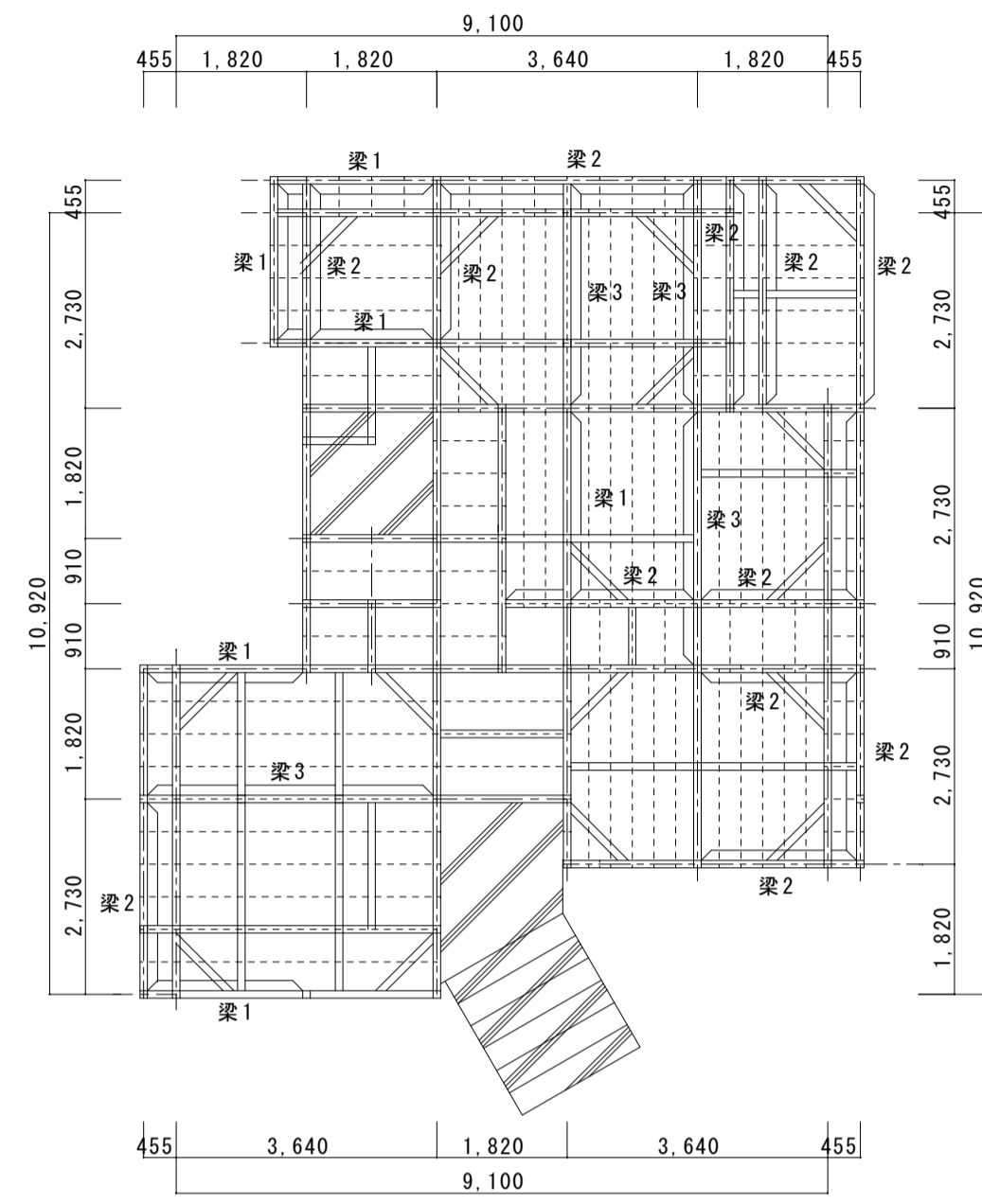
基礎伏図 S=1/100

特記事項	
■	独立基礎
+	束石
▨	布基礎
□	コンクリートブロック
▩	土間コンクリート



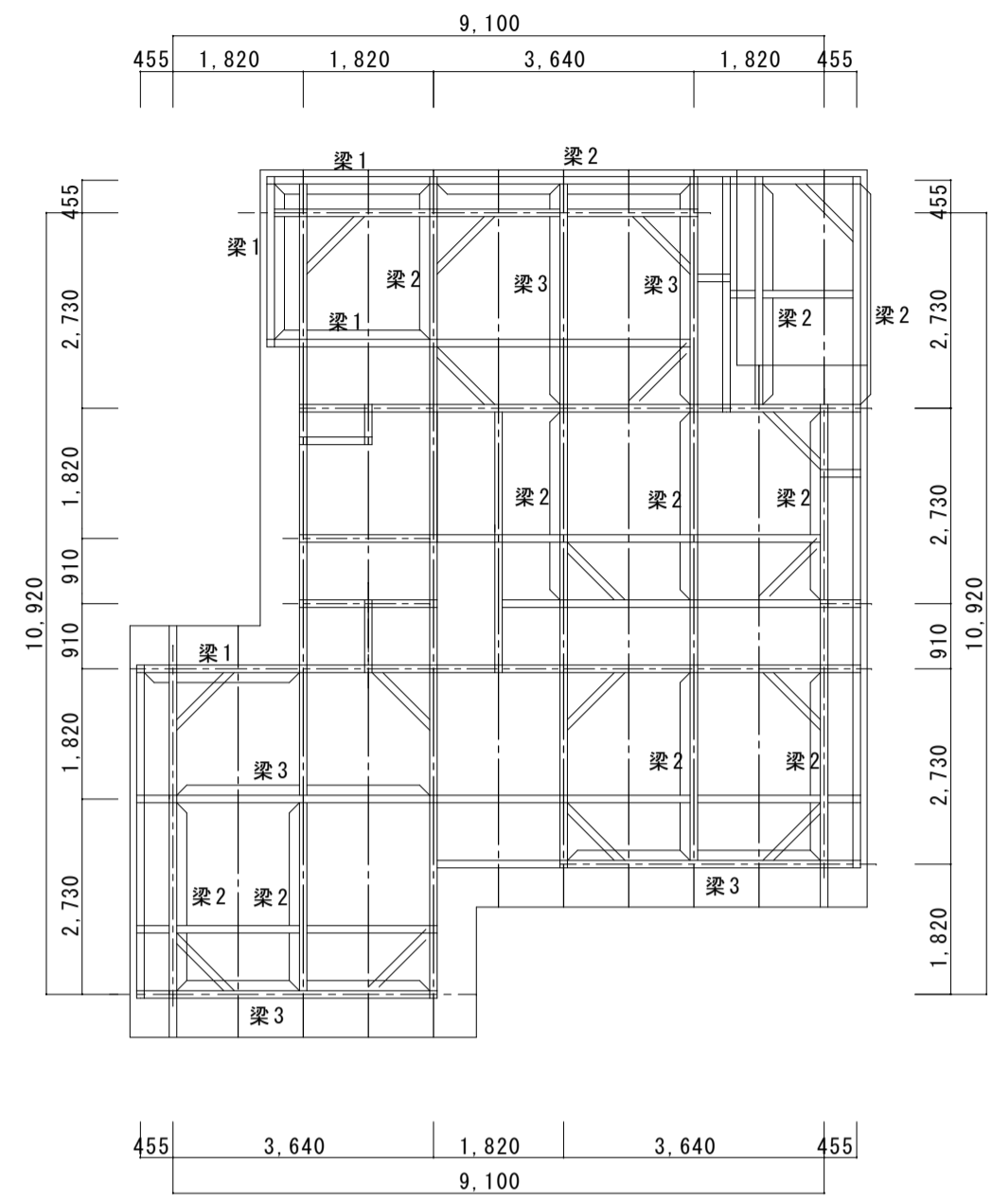
床伏図 S=1/100

特記事項	
土台	105 × 105
大引	105 × 105
柱	105 × 105
火打土台	105 × 105



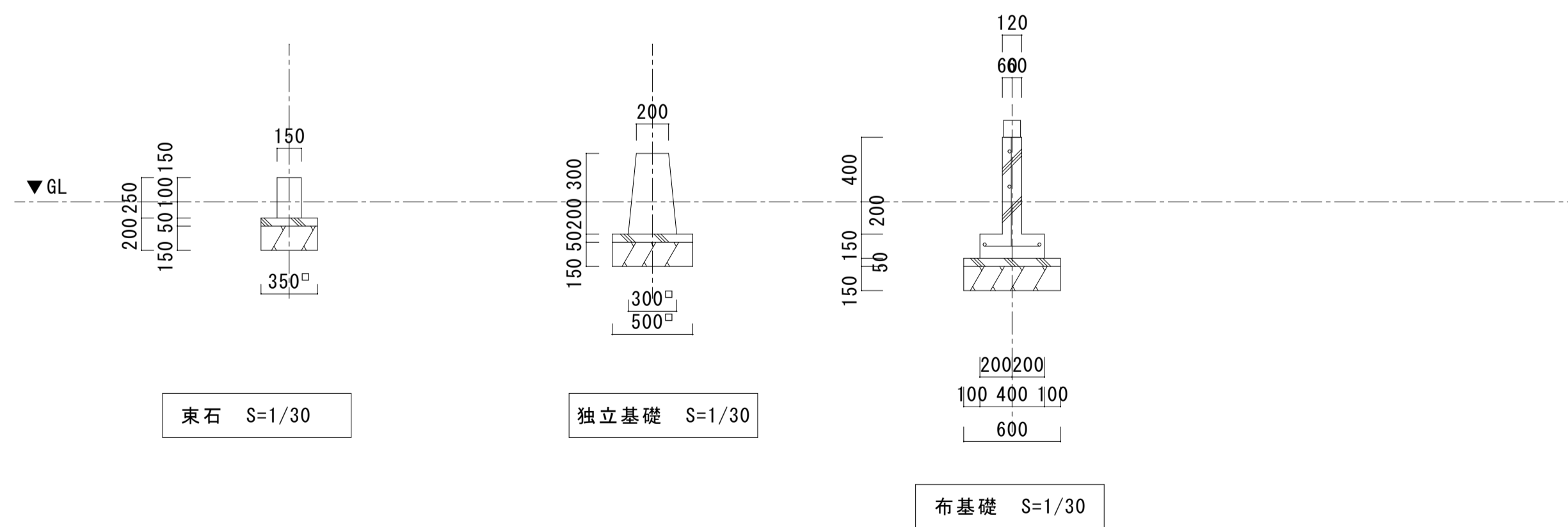
梁伏図 S=1/100

特記事項	
桁	105 × 105
梁1	105 × 240
梁2	105 × 270
梁3	105 × 300
根太	45 × 105 @ 455
根太掛	30 × 90
火打梁	105 × 105
柱	105 × 105
崩縁	45 × 36 @ 455
筋違	45 × 105



小屋伏図 S=1/100

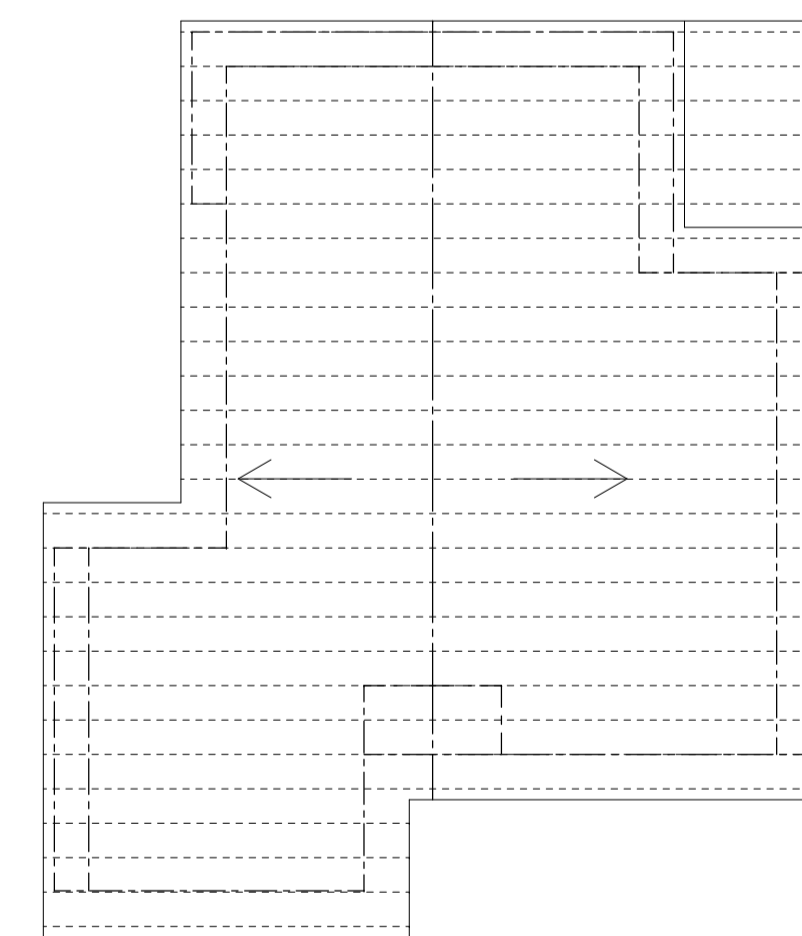
特記事項	
桁	105 × 105
梁1	105 × 240
梁2	105 × 270
梁3	105 × 300
母屋	105 × 105 @ 910
タルキ	45 × 105 @ 455
火打梁	105 × 105
束柱	105 × 105
小屋筋違	105 × 45



東石 S=1/30

独立基礎 S=1/30

布基礎 S=1/30



屋根伏図 S=1/100